

年報 23

平成 22 年度 (2010. 4. 1-2011. 3. 31)

千葉県立中央博物館

目次

東北地方太平洋沖地震による影響	iii
-----------------	-----

<事業の実施>

1 資料収集・整理保存

実施概要	1
実施詳細	3
1.1 登録点数	3
1.2 資料収集	5
1.3 資料借用	7
1.4 資料の利用	14
1.6 資料の保存・管理	20

2 調査研究

実施概要	21
実施詳細	22
2.1 研究課題（館企画・助成研究・共同研究）	29
2.2 研究交流（海外調査・海外研究員の受入）	29
2.3 館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入	29
2.4 研究成果の公表（シンポジウム・研究紹介展示・研究報告の発行・セミナー・執筆・発表）	30
2.5 職員の学会貢献（委員・幹事）	33

3 展示

実施概要	34
実施詳細	35
3.1 常設展示	35
3.2 企画展示	36
3.3 出前展示	39

4 教育普及

実施概要	40
実施詳細	43
4.1 講座・観察会・イベント・展示解説等の年間行事の実施	43
4.2 展示観覧プログラムの実施	55
4.3 学習キットの貸出・提供・製作	55
4.4 団体・機関の学習支援（学校団体・一般団体）	57
4.5 友の会活動支援	59
4.6 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修	60
4.7 大学非常勤講師	61
4.8 専門分野における助言・相談対応	62
4.9 ボランティアの受入	63

5 情報発信

実施概要	64
実施詳細	65
5.1 出版・印刷	65
5.2 デジタルミュージアムの公開	67
5.3 Webによる発信・メルマガ発信	67
5.4 マスコミを通じての発信（行事情報の発信・取材対応・メディア掲載）	69

6 県立博物館ネットワーク

6.1 県立博物館情報システム	76
6.2 千葉県美術館・博物館職員等研修会	76
6.3 千葉学講座の開催	76

＜館の概要＞

7 入館者状況

7.1 月別入館者数	77
7.2 団体入館状況	78
7.3 団体地域別割合	79

8 予算・決算

8.1 歳入決算額	81
8.2 歳出予算・決算	81
8.3 外部資金	81

9 組織・運営

9.1 博物館協議会	82
9.2 館組織・職員	83
9.3 運営推進チーム	84

10 千葉県立中央博物館友の会

10.1 会員数	85
10.2 役員	85
10.3 事業	85

＜資料編＞

2.1 研究課題成果一覧	88
2.4 各職員の執筆活動・口頭発表一覧	99
2.5 学会委員・幹事一覧	118
4.4 団体学習支援の実施詳細	119
4.6 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修の実施詳細	128
4.8 委員受託一覧（教育関係・文化財保護・自然保護）	130
7 団体の内訳詳細（団体の種類・市町村内訳）	132

所在地・開館日・入場料	136
-------------	-----

東北地方太平洋沖地震による影響

1. 臨時休館

3月11日(金)	午後2時46分に地震発生。来館者を避難誘導した後、緊急閉館した。大利根分館は、閉館中であった。
3月12日(土)	施設点検により休館
3月13日(月)	開館
3月15日(火)～18日(月)	輪番停電により休館（14日、18日は通常の休館日）

2. 短縮開館の実施

3月19日(火)から再開したが、東京電力の輪番停電の影響により、短縮開館を行った。ただし、土日祝および春休み期間（3月25日～4月4日）は、通常どおり開館した。
実施期間：3月19日（土）～4月24日（日）

開館時間	備考
正午	平日3月23～24日（平成23年4月5日から午前10時開館となる。）
午前9時	土日祝および春休み期間（3月25日～4月4日）

3. 被害状況

	場所	被害状況
本館	建物等	荷時入口水道等亀裂等 7箇所 身障者駐車場タイル破損 2箇所
	展示室	展示用室用のライトの破損 7台 軽微な天井剥離 小動物展示室外溝タイル破損
	図書室	電動書架の破損 アーム等3箇所 製本雑誌の飛び出し、落下（10冊程度）
	生態園野鳥観察舎	生態園野鳥観察舎の土台部分の露出。
	収蔵資料	収蔵庫の一部標本破損、腊葉標本・液新標本の落下・破損
大利根分館	建物等	スロープ前から身障者駐車場までの舗装の液状化 博物館と土台のずれ発生 玄関前スロープ損傷により段差発生。玄関前の石壁に亀裂 浄化槽配管破損（浄化槽使用不能に伴う仮設トイレの借上げ及び糞尿処理）
	収蔵資料	借用資料2点（丸太船（匠瑤市））破損
大多喜城分館	建物等	階段壁側に1m程度の亀裂発生 2箇所（1階～2階、3階～4階）
分館海の博物館		建物・資料への影響は特になし。

1. 資料収集・整理保存

実施概要

1.1 資料の登録点数

(平成 24 年 3 月 31 日)

	年間登録点数	登録総点数	情報システム登録点数
本館	28,975	701,438	134,704
大利根分館	408	3,614	2,047
大多喜城分館	169	4,726	1,030
分館海の博物館	392	58,615	5,781

1.2 資料の収集

	寄贈		寄託		館員収集		各館合計	
	件数	点数	件数	点数	件数*	点数	件数	点数
本館	9	5,369	0	0		29,719	9	35,088
大利根	0	0	16	5,430		0	16	5,430
大多喜城	4	15	74	816		0	78	831
海の博物館	0	0	0	0		0	0	0
合計	13	5,384	90	6,246	0	29,719	103	41,349

*館員収集の件数は集計しない。

1.3 資料の借用

	常設展示		企画展示		調査・その他		各館合計	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
本館	40	926	152	292	1	835	193	2,053
大利根	8	146	77	138	0	0	85	284
大多喜城	17	64	45	45	0	0	62	109
海の博物館	0	0	11	72	0	0	11	72
合計	65	1,136	285	547	1	835	351	2,518

1.5 資料の利用

	本館		大利根分館		大多喜城分館		分館海の博物館		4館合計	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
閲覧	5	471							5	471
館内撮影	12	1,105	5	17	3	55			20	1,177
複製	2	7							2	7
貸出	41	338	7	10	31	39			79	387
研究用貸出	29	587					12	26	41	613
デジタル情報の複製	35	105	5	31	32	32	7	26	79	194
デジタルミュージアム転載	2	7							2	7
各館合計	126	2,613	17	58	66	126	19	131	228	2,928

②登録データの提供（本館） 2件 122,240点

③図書の利用（本館） 1,319冊

1.6 資料の保存・管理

1.6.1 IPM（総合的有害生物防除）の実施

1.6.2 資料の修理・修復（本館）

図書資料の館内修理（本館） 30冊

実施詳細

1.1 登録点数

本館

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

分野		年間登録点数	登録総点数	情報システム登録点数
地学資料	岩石・鉱物	685	12,948	12,962
	地層 (はぎとりなど)	0	26	22
	植物化石	0	115	0
	脊椎動物化石	38	1,065	936
	軟体動物化石	52	5,192	3,924
	その他無脊椎動物化石	17	2,635	1,932
	地学景観画像	0	217	217
	その他	0	819	0
小計		792	23,017	19,993
動物資料	哺乳類	22	5,204	685
	鳥類	0	1,666	0
	魚類	161	12,438	9,209
	両棲・は虫類	0	2,049	0
	昆虫	5,340	136,890	46,474
	甲殻類	451	10,385	390
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	9	599	571
	クモ類	79	626	237
	軟体動物	197	67,608	1,725
	多毛類	7	1,031	0
	その他無脊椎動物	0	76	0
小計		6,266	238,572	59,291
植物・菌類資料	維管束植物	15,789	268,831	33,282
	蘚苔類	918	34,293	4,957
	藻類	0	5,920	3,377
	植物資料小計	16,707	309,044	41,616
	地衣類	2,147	12,947	6,204
	担子菌類	573	22,898	6,263
	微小菌類	15	3,055	190
	変形菌類	2	171	2
	菌類資料小計	2,737	39,071	12,659
小計		19,444	348,115	54,275
自然誌資料合計		26,502	609,704	133,559
歴史資料	古文書・古典籍	0	1,345	212
	美術工芸品	816	9,55	480
	埋蔵文化財	0	12,738	50
	その他 (工業・科学技術)	0	1,041	40
	小計	816	16,079	782
特殊資料 ・貴重書	リンネコレクション	0	5,397	0
	その他稀覯本	0	50	0
	小計	0	5,447	0
生態・環境資料	生態・環境にかかわる生物音響資料	212	1,115	0
	生態・環境にかかわる映像資料	0	14,117	0
	生態・環境にかかわる文献資料	0	5,543	0
	環境教育資料	0	54	0
	地域の生態系に関する資料	26	62	0
小計		238	20,891	0
図書資料	図書 (冊数)	1,368	44,546	362
	雑誌 (誌数) *	51	4,771	1
	小計	1,419	49,317	363
合計		28,975	701,438	134,704

雑誌 (誌数) *: 増加 (52 誌) - 廃棄 (1 誌)。

大利根分館

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

分野		年間登録点数	登録総点数	情報システム登録点数
地学資料	古生物	0	0	1
動物資料	動物資料（鳥類）	0	262	262
歴史・民俗資料	民俗資料	0	237	569
	埋蔵文化財	0	253	253
その他	絵葉書	0	258	258
	古文書	0	0	705
小計		0	1,010	2,048
図書資料	図書（冊数）	0	221	1,255
	雑誌（冊数）	187	1,349	0
	雑誌（誌数）※	12	315	0
合計		408	2,048	1,010

※合計に含まない。

大多喜城分館

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

分野		年間登録点数	登録総点数	情報システム登録点数
歴史・民俗資料	歴史	0	747	669
	生活	0	385	0
	芸術	0	1	0
	宗教	0	54	0
	文学	0	18	0
	古文書	0	299	361
	考古	0	9	0
	その他	0	409	0
	小計	0	1,922	1,030
図書資料	図書（冊数）	86	2,133	0
	雑誌（冊数）	83	671	0
	雑誌（誌数）※	12	225	0
合計		169	4,726	1,030

※合計に含まない。

分館海の博物館

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

分野		年間登録点数	登録総点数	情報システム登録点数
動物資料	海綿	0	299	0
	刺胞	0	5,924	845
	環形	0	2,067	618
	貝類	0	8,957	112
	頭足類	0	243	108
	甲殻類	21	2,523	706
	棘皮	0	1,560	179
	その他	34	362	20
	魚類	142	14,383	2,234
植物資料	種子植物	0	72	23
	藻類	101	6,717	936
画像資料	写真	0	12,215	0
	動画	94	1,416	0
図書資料	図書・雑誌等	0	1,877	0
合計		392	58,615	5,781

1.2 資料収集

本館

◆(1)寄贈 9 件 5,369 点

資料名		点数	寄贈者 (敬称略)
地学資料	地学関係雑誌・図書	91	個人
	鯉南町千畑層産サメ類等化石	2,510	個人
	鯉南町千畑層産サメ類等化石	2,739	個人
	イノシシ頭骨化石	1	個人
動物資料	イシサンゴ類標本	1	個人
歴史資料	篠崎四郎関係資料	一式	個人
	香取秀真の鍔金落款	1	〃
生態・環境	木積の箕づくりにかかわる道具・材料	26	個人
	金田忍生物音声録音コレクション	約 300	個人
		5,369	

◆(2)館員による収集 (採集) 29,719 点

資料系	点数
地学資料	534
動物資料	9,741
植物・菌類資料	19,444
生態環境資料	0
合計	29,719

大利根分館

◆(1)寄託 16 件 5,430 点

資料名		点数	寄託者 (敬称略)
古文書	下小野区有文書	5	下小野区
	十六島図	1	香北土地改良区
	神宮寺文書	540	個人
	柴田家蔵書	119	個人
	寺田家文学資料	447	個人
	鈴木家文書	167	個人
	神崎神社文書	91	神崎神社
	三区用水関係文書	20	三区
	石毛嘉左衛門家文書	1,525	個人
	船板図	20	個人
	鵜崎区有文書	34	鵜崎区
	寺内区有文書	15	寺内区
山来家文書	2,127	個人	
民俗資料	船大工道具・船模型	73	九十九里町
古文書・民俗資料	古文書・造船関係用具他	244	個人
地学資料	ナウマン・クジラの化石	2	成田市教育委員会
合計		5,430	

大多喜城分館

◆(1)寄贈 4 件 15 点

資料名		点数	寄贈者
歴史資料	御貸具足	1	個人
	布袋図三幅対・模造刀・等身大甲冑	8	個人
	官軍進軍布告分・官軍進軍制札・火縄銃	3	個人
	紺糸威桶側胴具足(越中形兜付)・成田山御供米箱	3	個人

◆寄託 74 件 816 点

資料名		点数	寄託者 (敬称略)
歴史、古文書	書画	8	個人
歴史、古文書	遠山景元肖像画	2	個人
歴史	刀剣ほか	3	個人
歴史、生活	陶磁器ほか	6	個人
歴史	絵馬、刀剣	3	個人
古文書、生活	古文書	20	個人
歴史	刀剣	2	個人
古文書、歴史	古文書、三つ扇紋鬼瓦	3	個人

古文書	古文書	3	個人
歴史	三つ葉葵紋ぬき瓦	1	個人
宗教	白磁製マリア観音像	1	個人
歴史	四季豊年図	1	個人
歴史	刀剣	1	個人
歴史	刀剣	1	個人
古文書	古文書	7	個人
歴史	刀剣	3	個人
古文書	津軽照子書簡	6	個人
歴史	陣笠	1	個人
宗教	熊野観心十界図	1	個人
歴史	短刀	1	個人
宗教	木造薬師如来坐像ほか	2	個人
歴史	甲冑ほか	5	個人
歴史、生活	万祝ほか	34	九十九里町
歴史、古文書	刀剣、樋口一葉書簡ほか	14	個人
歴史、生活	刀剣、裱ほか	23	個人
歴史	刀剣	1	個人
歴史、生活	薬箆筒ほか	6	個人
歴史	勝海舟扁額	1	上瀑小学校
歴史	大河内正實寄贈掛時計	1	大多喜小学校
歴史	三つ葉葵紋ぬき瓦ほか	2	個人
歴史	甲冑、打掛	2	個人
古文書	古文書ほか	10	個人
歴史	刀筒ほか	5	個人
生活	はかり	2	個人
歴史	甲冑ほか	2	個人
歴史、宗教	勝浦市東光寺旧蔵資料	46	個人
古文書、歴史	古文書ほか	17	個人
歴史、古文書	蒋介石扁額船方往来	2	個人
歴史	刀剣	2	個人
歴史	刀剣	10	個人
宗教	日妙曼荼羅	1	個人
歴史	具足	1	個人
歴史、宗教	仏像ほか	5	個人
歴史	松平正和書	1	個人
歴史	陣笠	1	個人
歴史	裱	2	個人
歴史、古文書	刀剣、古文書	12	個人
宗教	仏像ほか	9	個人
歴史	刀剣	2	個人
古文書、歴史	古書籍	2	個人
古文書、歴史	古文書ほか	17	個人
古文書	古文書ほか	2	個人
歴史	槍ほか	2	個人
歴史	刀剣	2	個人
古文書、歴史	古文書ほか	6	個人
歴史	刀剣	1	個人
宗教	百万遍講中道具ほか	2	個人
歴史、古文書	甲冑、刀剣、鏡ほか	36	個人
歴史	刀剣	1	個人
考古	中瀧城跡出土遺物	1	個人
歴史	奉納額ほか	3	個人
古文書	古文書	81	個人
古文書、歴史	古文書ほか	21	個人
古文書	古文書（区有文書、一括）	1	個人
歴史	額	1	個人
歴史	刀剣	3	個人
歴史、宗教	長持、小袖ほか	4	個人
歴史、古文書	刀剣、絵図ほか	13	個人
古文書、歴史	古文書ほか	4	個人
歴史	甲冑ほか	5	個人
歴史、古文書	大多喜町資料	306	個人
古文書、歴史	伝日蓮消息断簡1幅ほか	2	個人
歴史	刀、脇差	2	個人
歴史	近世肉筆画、甲冑	3	個人

1.3 資料借用

本館

◆(1)常設展示資料の借用 40 件 926 点

◇地学展示室

	資料名	点数	借用先 (敬称略)
地学	千葉石標本 (南房総市荒川産)	1	個人
	方解石標本 (南房総市荒川産)	1	個人
	千葉石の産状写真	1	個人
	千葉石拡大写真	1	個人
	千葉石拡大写真	1	個人
	千葉石結晶構造イラスト	1	個人
	千葉石結晶形態模式図	1	個人
	サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部
	ニホンジカ角化石	1	木更津市立中郷小学校
	馬蹄石	1	個人
	銚子産化石・岩石	105	個人
	ナウマン象臼歯化石ほか	23	個人
	トロゴンテリイ象臼歯化石	2	個人
	ナウマンゾウ臼歯化石	1	個人
	ナウマンゾウ顎骨化石	4	個人
	石筍ほか	2	個人
山岳鳥瞰図	一式	個人	

◇生物展示室

動物	海岸漂着物	16	個人
植物	海岸漂着物	17	個人

◇歴史展示室

歴史	鳥浜貝塚出土クルミほか	9	福井県立若狭歴史民俗資料館
	下ヶ戸貝塚出土骨角製刺突具	7	我孫子市教育委員会
	姥山貝塚出土縄文土器	9	慶應義塾大学
	林跡遺跡出土木葉形尖頭器ほか	8	鎌ヶ谷市教育委員会
	城の腰遺跡出土土器ほか	88	千葉県立房総のむら指定管理者 (財) 千葉県教育振興財団
	下向山遺跡出土土器ほか	4	袖ヶ浦市郷土博物館
	本名輪遺跡出土炭化米	一式	君津市教育委員会
	西広貝塚出土石剣ほか	17	市原市教育委員会
	三田遺跡出土赤彩土器ほか	8	芝山町教育委員会
	山田水呑遺跡出土墨書土器ほか	24	東金市教育委員会
	四留作第 1 号墳出土鋤先ほか	35	木更津市教育委員会
	新坂 1 号墳出土円頭大刀ほか	60	山武市教育委員会
	草木撰種録ほか	3	個人
	村明細帳・年貢割付状	2	個人
	地租改正の丈量器具	一式	富津市文化協会
	中山新田 I 遺跡出土土器ほか	427	(財) 千葉県教育振興財団
	内野第 1 遺跡出土土偶	2	千葉県教育委員会
	宮内井戸作遺跡出土深鉢	13	佐倉市教育委員会
	飯山満東遺跡出土浅鉢	5	国立歴史民俗博物館
	職工人夫心得ほか	4	個人
	鉄帽ほか	18	印西市立印旛歴史民俗資料館

◆(2)企画展示資料の借用 151 件 292 点

◇企画展「海藻, 35 億年の旅人-それは, 生命をつたえるものがたり-」

資料系	資料名	点数	借用先
植物・菌類	藻類の多様性を示す生命の樹 (デジタルデータ)	1	個人
	最古の生命化石 (写真)	1	個人
	海苔養殖「語りはじめた道具たち」(DVD)	1	大田区立郷土博物館
	海苔養殖「のりの養殖、富津の海苔養殖」(DVD)	1	木更津市郷土博物館金のすず
	勝川春扇「海苔つくりの図」1817 年頃 (写真)	1	山形屋海苔店
	アマモの茂み生息するホッカイイエビ (写真)	1	個人
	平沢屏山「アイヌ絵／蝦夷風俗 12 ヶ月屏風」3 月布海苔採り 6 月昆布採り (江戸末期から明治初め) (写真)	1	市立函館博物館
	マーチソン隕石	1	神奈川県立生命の星・地球博物館

植物・菌類	世界最古の岩石-礫岩	1	〃
	ストロマトライト	1	〃
	縞状鉄鉱層	1	〃
	現生ストロマトライト	1	〃
	現生ストロマトライトの断面実物標本	1	〃
	世界最古の藻類化石-グリパニア (写真)	1	〃
	最初の陸上植物化石-プシロフィトン (Psilophyton princeps)	1	〃
	最古の生命化石を含むチャート	1	〃
	北海道水産調査報告 巻之三 昆布採取業「昆布科」(明治 35 年)	1	個人
	北海道昆布科図譜 (昭和 37 年)	1	〃
	海苔たとう紙 (複製)	1	千葉県立房総のむら所蔵
	海苔料理 (太巻き寿司、寿司、ざるそば) (複製)	3	〃
	現生ストロマトライト (写真)	1	個人
	古生代/中生代境界層 (写真)	1	〃
	グリーンランド・イスア地域にみる世界最古の礫岩の露頭 (写真)	1	〃
	最古の生命化石が見つかったチャート層 (写真)	1	〃
	縞状鉄鉱層の露頭 (写真)	1	〃
	宮部原記載実物標本ホソメコンブ (1890 年 4 月小樽)	1	北海道大学総合博物館
	宮部金吾同定実物標本トロロコンブ (1928 年 5 月 18 日厚岸)	1	〃
	新渡戸稲造から宮部金吾へ書簡 (1926 年 6 月 30 日) (写真)	1	〃
	内村鑑三から宮部金吾への書簡 (大正 7 年 10 月 25 日) (写真)	1	北海道大学大学文書館
	内村鑑三から宮部金吾への書簡 (1906 年 9 月 11 日) (写真)	1	〃
	宮部金吾肖像画 (正面映像、側面映像) (写真)	2	北海道大学植物園・宮根金吾記念館
	宮部金吾明治 17 年コンブ調査旅行フィールドノート 4 冊	1	〃
	宮部金吾の帽子ロンドン製	1	〃
	宮部金吾博士 (写真)	16	〃
宮部金吾博士に献名された動物ミヤベイワナ <i>Salvelinus malma miyabei</i>	1	北海道大学水産学部	

◇ 春の展示「雲南の地衣類」

資料系	資料名	点数	借用先 (敬称略)
植物・菌類	金糸猴写真 (デジタルデータ)	19	個人
	雲南の自然・民俗・茶業写真 (デジタルデータ)	24	個人
	日本画集	4	個人

◇ トピックス展「相模湾の海底をさぐる-JAMSTEC KO-OHO-O 航海報告」

資料系	資料名	点数	借用先 (敬称略)
地学	KO-OHO-O 航海の紹介 パネル	2	海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
	相模湾バイオジオトラバース パネル	1	〃
	相模湾周辺の海底地形図 パネル	1	〃
	相模湾の鯨鯨図 パネル	1	〃
	相模湾各潜行地点解説 パネル	4	〃
	シロウリガイ標本 (相模湾初島沖 水深 1,173m)	6	〃
	シロウリガイ標本 (プラスチックネーション) (相模湾初島沖 水深 1,173m)	1	〃
	ハオリムシ標本 (相模湾初島沖 水深 1,000m)	1	〃
	空き缶実物 (相模湾初島沖 水深 1,172m)	1	〃
	ソフトコーラル標本 (相模湾門脇海丘 水深 1,006m)	1	〃
	ウミサボテンの仲間標本 (相模湾門脇海丘 水深 995m)	1	〃
	ヒカリボヤ標本 (相模湾初島沖 水深 949m)	1	〃
	ゴカイの仲間標本 (相模湾初島沖 水深 1,172m)	1	〃
	玄武岩標本 (相模湾初島沖 水深 809m)	1	〃
	玄武岩標本 (相模湾初島沖 水深 682m)	1	〃
	玄武岩 (縄状溶岩) 標本 (相模湾熱川沖 水深 1,008m)	1	〃
	玄武岩 (枕状溶岩) 標本 (相模湾熱川沖 水深 994m)	1	〃
	玄武岩 (ブロック状溶岩) 標本 (相模湾熱川沖 水深 992m)	1	〃
	玄武岩 (シート状溶岩) 標本 (相模湾熱川沖 水深 1,008m)	1	〃
	輝石安山岩 (円礫) 標本 (相模湾相模海丘上 水深 490m)	1	〃

地学	泥岩標本 (相模湾相模海丘 水深 1,149m)	1	〃
	シロウリガイ標本 (相模湾相模海丘 水深 1,090m)	1	〃
	KOOHOO 航海の船上レポート実物	1	〃
	MBARI コア標本	7	〃
	MBARI コア柱状図 パネル	1	〃
	コア採集の様子 写真	1	〃
	深海生物写真 (小)	4	〃
	KOOHOO 航海の紹介 映像	1	〃
	相模湾八景 パネル	1	〃
	相模湾八景 パネル	10	〃
深海生物写真 (大)	6	〃	

◇トピックス展「新鉱物発見! 名前は『千葉石』!」

資料系	資料名	点数	借用先 (敬称略)
地学	千葉石拡大写真	1	個人
	千葉石結晶構造イラスト	1	〃
	千葉石結晶形態模式図	1	個人
	千葉石標本 (南房総市荒川産)	1	個人
	メラノフロジャイト標本 (南房総市荒川産)	1	〃
	千葉石の産状写真	1	〃
	方解石標本 (南房総市荒川産)	1	〃
	石英標本 (南房総市荒川産)	3	〃
	オウナガイ類化石 (南房総市荒川産)	2	〃
	キスタレガイ類化石 (南房総市荒川産)	3	〃
	オトヒメハマグリ類化石 (南房総市荒川産)	1	〃
	イカ石標本 (南房総市荒川産)	1	〃
	オパール標本 (南房総市荒川産)	1	〃
	珪化木標本 (アメリカ アリゾナ州産)	1	個人
	モガン石標本 (スペイン産)	1	〃
	メラノフロジャイト標本 (アメリカ カリフォルニア州産)	1	〃
	コース石を含む隕石衝突岩標本 (アメリカ アリゾナ州産)	1	〃
	現生ナギナタシロウリガイ群集写真	1	海洋研究開発機構
	メタンハイドレート燃える様子写真	1	メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム
	メタンハイドレートの結晶構造	1	〃
日本付近の BSR 分布図	1	〃	
海底下反射断面図 (BSR)	1	〃	

◇トピックス展「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」

資料系	資料名	点数	借用先 (敬称略)
地学	東北地方太平洋沖地震の余震分布図	1	東京大学地震研究所
	GPS による日本列島の定常的な動きの図	1	国土地理院
	GPS による地震前後の東北地方の動きの図	1	〃
	海岸平野のボーリング資料に見いだされた津波堆積物写真	1	産総研地質調査総合センター
	宮城県仙台平野の津波堆積物 (西暦 869 年貞観地震) の分布図	1	〃
	津波堆積物の分布から推定された貞観地震の地震断層モデル図	1	〃

◇トピックス展 「大原幽学-その生涯と功績-

資料系	資料名	点数	借用先 (敬称略)
歴史	重要文化財「大原幽学関係資料」		大原幽学記念館
	幽学先生書翰	1	〃
	教導筋奉申上侯書付 (高松家書)	1	〃
	諸文書張込帳「人相奥義」所収	1	〃
	筥竹	1	〃
	行条突合わせ会席議定	1	〃
	三幅対	3	〃
	慎其独	1	〃
	夫孝徳之本	1	〃
	懐人女心得	1	〃
	神文之事	1	〃

歴史	初テ六人連奥州行日記、其外御日記	1	〃
	しなの道の記、玉の緒のかそいろ、園の初祭、景物集	1	〃
	口まめ草	1	〃
	旅行要心記	1	〃
	在府日記	5	〃
	道友先祖株差引控	1	〃
	為取替一札	1	〃
	御免先祖株大帳	1	〃
	連中誓約之事	1	〃
	配割録	1	〃
	改心楼材木寄進控	1	〃
	道中笠	1	〃
	印章	5	〃
	葉研	1	〃
	葉草切	1	〃
	眼鏡	3	〃
	虫眼鏡	1	〃
	手拭	1	〃
	年中仕業割日記板木	1	〃
	生涯守り之一札	1	〃
	大原（保爾画）	1	〃
	概説ビデオ	1	〃
	旧宅模型（ジオラマ）	1	〃
	徴味幽玄考	1	〃
	議論集	1	〃
	元服突合記	1	〃
	鏡と櫛	1	〃
	掛硯箱	1	〃
	聞書集	1	〃
	改心楼画（複製・額装）	1	〃
	袴	1	〃
	蓑	1	〃
木刀	1	〃	
宍坐器	1	〃	
紙芝居	1組	〃	
錦絵	1組	〃	

◇生態園トピックス展 「まちのコウモリ」

資料系	資料名	点数	借用先（敬称略）
動物	アブラコウモリ関連写真	22	個人
	コウモリグッズ	10	個人
	バットボックス	1	個人
	アブラコウモリ関連写真	1	個人
	コウモリ関連写真	1	個人
	コウモリ関連写真	1	個人
	コウモリゾートロップ	1	コウモリの会

◆(3)その他借用 1件 835点

資料系	資料名	点数	借用先（敬称略）
歴史資料	古文書・古文書容器	835	個人

大利根分館

◆(1)常設展示資料の借用 8件 146点

	資料名	点数	借用先（敬称略）
古文書	黒田家文書	8	個人
民俗	板碑	2	惣持
	板碑	1	個人
	丸木舟	1	匝瑳市教育委員会
美術	木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺
埋蔵文化財	阿玉台北遺跡出土土器・炭化米・石製浮子・石錘・土器片錘	17	県立房総のむら
	馬場遺跡・東野遺跡・多田遺跡・鶴崎貝塚・取香和田戸遺跡出土遺物	74	勸千葉県教育振興財団
	城山第5号前方後円墳出土人物埴輪・大六天遺跡・織幡ササノ倉遺跡出土土器・プロペラ・河童図	42	香取市教育委員会

◆(2)企画展示資料の借用 77 件 138 点

◇企画展「箕ーその世界ー」

資料系	資料名	点数	借用先(敬称略)
民俗	さまざまな箕(千葉県匝瑳市)	4	木積箕づくり保存会
	箕の使い方写真	3	匝瑳市役所・匝瑳市教育委員会
	「唐箕がけ」(写真)(昭和 11 年頃香取市(北佐原))	1	香取市教育委員会
	「靱摺り」(写真)(昭和 45 年)	1	個人
	「木積の箕づくり」映像記録	1	榊TEM 研究所
	工程写真	32	匝瑳市役所・匝瑳市教育委員会
	材料の採集に関わる道具	5	木積箕づくり保存会
	イタミの製作に関わる道具	5	〃
	仕立てに関わる道具	6	〃
	工程を示す資料	10	〃
歴史	「龍頭寺境内の品評会」写真(昭和 20 年代)	1	〃
	品評会表彰者記念写真(昭和 20 年代)	1	〃
	箕協同組合の会計簿(昭和 24 年)	1	〃
	新組合設立委員会つづり(昭和 29 年)	1	〃
	陳情書(昭和 29 年)	1	〃
	重要無形民俗文化財指定証書(平成 21 年)	1	〃
	唐古・甕遺跡箕出土状況写真(奈良県田原本町)	1	田原本町教育委員会
	坪井遺跡箕出土状況写真(奈良県橿原市)	1	奈良県立橿原考古学研究所
	玉津田中遺跡箕出土状況写真(兵庫県神戸市)	1	兵庫県立考古博物館
	霊仙寺遺跡箕出土状況写真(滋賀県栗東市)	1	栗東市教育委員会
	福富草紙(写真展示)(室町時代末期)	1	兵庫県立歴史博物館
	蚕織耕絵巻 上巻(江戸時代)	1	国立歴史民俗博物館
	成形図説 農事部五・農事部十三(文化元年(1804))	1	〃
狂斎百図「くさつても鯛猫に小判猫のしりへさいづち つめでひろって箕であける」(明治前期)	1	〃	
民俗	アイヌのムイ(写真展示)(北海道)	1	国立民族学博物館
	アイヌのヤラムイ(写真展示)(北海道)	1	〃
	箕(青森県弘前市)	1	武蔵野美術大学
	箕(岩手県水沢市)	1	個人
	箕(岩手県二戸郡一戸町)	1	武蔵野美術大学
	箕(宮城県栗原市)	1	〃
	箕(秋田県秋田市)	1	個人
	箕(山形県尾花沢市)	1	武蔵野美術大学
	箕(福島県南会津郡南会津町)	1	〃
	箕(福島県南相馬市)	1	〃
	箕(新潟県佐渡市)	1	〃
	箕(長野県長野市)	1	〃
	皮箕(長野県飯田市)	1	〃
	藤箕(富山県氷見市)	1	〃
	箕(石川県白山麓)	1	国立歴史民俗博物館
	樹皮の箕(石川県白山麓)	1	〃
	木皮箕(岐阜県)	1	〃
	竹箕(愛知県江南市)	1	武蔵野美術大学
	箕(三重県名張市)	1	〃
	箕(京都府京丹後市)	1	〃
	箕(兵庫県姫路市)	1	〃
	箕(岡山県伊原市)	1	〃
	箕(愛媛県大洲市)	1	国立歴史民俗博物館
	日置箕(鹿児島県日置市)	1	武蔵野美術大学
	パラ箕(鹿児島県日置市)	1	個人
	円箕(鹿児島県大島郡徳之島町)	1	武蔵野美術大学
	ムイゾーキ(沖縄県国頭郡今帰仁村)	1	〃
	チャーキーヤ(台湾(中華民国) 台南地方)	1	〃
	ハチ(ベトナム ラオカイ省スンチュエ村)	1	個人
	ピアルー(ラオス ウドムサイ県ナムコンム村)	1	個人
	ドンファット(ラオス ファーバン県ナラ村)	1	個人
	ピアルー(ラオス ウドムサイ県ケオ村)	1	個人
	アヤ(マレーシア ペラ州イポー)	1	武蔵野美術大学
	アヤ(マレーシア マラッカ州マラッカ)	1	〃
	箕(インドネシア カリマンタン島)	1	個人
	サライ(インド ウッタール・プラデーシュ州パラナシ)	1	武蔵野美術大学
	パースカーブ(インド ウッタール・プラデーシュ州パラナシ)	1	〃
	ふるい(インド)	1	〃

民俗	箕(写真展示)(インドネシア スマトラ島)	1	国立民族学博物館
	箕(写真展示)(大韓民国)	1	〃
	箕(写真展示)(大韓民国)	1	〃
	箕(写真展示)(大韓民国)	1	〃
	箕(写真展示)(インド ハリヤーナー州)	1	〃
	箕(写真展示)(パキスタン)	1	〃
	片口箕の使い方写真(ベトナム ライチョウ省モッポ村)	1	個人
	円形箕の使い方写真(ラオス シェンクアン県ナソツ村)	1	個人
	福箕(兵庫県西宮市(西宮神社))	1	国立歴史民俗博物館
	福箕(大阪府吹田市(伊射奈岐神社))	2	武蔵野美術大学
	能登の箕(石川県輪島市)	1	個人
	奥能登のあえのこと神事写真(石川県鳳珠郡能登町)	1	能登町教育委員会
	イチクワ行事写真(千葉県成田市)	1	成田市立図書館
	ダンゴナラン写真(千葉県東庄町)	1	東庄町公民館
	茶アビ行事写真(千葉県長南町・一宮町)	3	個人

大多喜城分館

◆(1)常設展示・調査研究資料の借用 17件 64点

資料名		点数	借用先(敬称略)
歴史、生活	笈箆筒、鷲図	2	個人
歴史、古文書	紙本着色本多忠勝像ほか	3	個人
歴史、生活	屏風、乱箱ほか	6	個人
歴史	キリシタン禁制ほか	2	個人
歴史	甲冑	1	個人
歴史	甲冑、太刀、袖搦	3	個人
古文書	新田掟書	2	個人
宗教	鱧口	1	個人
歴史	火繩銃、兜	2	個人
古文書、生活	鉄砲改帳、髪飾一式ほか	3	個人
歴史	甲冑	1	個人
歴史、古文書	甲冑、刀剣ほか	19	個人
歴史、古文書、宗教	茶湯器、武田系譜、袈裟ほか	10	個人
歴史	火繩銃ほか	2	個人
古文書	官軍布告、官軍制札	2	個人
生活	鋸鍛冶道具	1	個人
歴史	大多喜水道水路大絵図ほか	4	個人

◆(2)企画展示資料の借用 45件 45点

◇企画展「武と華やぎの装い」

資料系	資料名	点数	借用先(敬称略)
生活	白綸子地滝菊模様絞縫小袖	1	国立歴史民俗博物館
	黄綸子地扁額模様絞縫小袖	1	〃
	鬱金綸子地雪輪竹模様絞小袖	1	〃
	紅綸子地菊模様絞縫小袖	1	〃
	紅綸子地楓模様絞縫小袖	1	〃
	金茶綸子地横笛模様絞描小袖	1	〃
	輪舞遊楽図屏風(4曲1双)	1	〃
	婦女遊楽図屏風(6曲1隻)	1	サントリー美術館
	樹下人物図印籠	1	佐野美術館
	沢瀉蒔絵印籠	1	〃
	南天小鳥蒔絵印籠	1	〃
	七夕飾り蒔絵印籠	1	〃
	象図古墨形印籠	1	〃
	金梨子地葵紋合口拵	1	〃
	朱漆藤蒔絵鞆打刀拵	1	〃
	装束裂一つ提げたばこ入れ	1	たばこと塩の博物館
	金欄葵紋織一つ提げたばこ入れ	1	〃
	鼠羅紗一つ提げたばこ入れ	1	〃
	唐花金更紗一つ提げたばこ入れ	1	〃
	金欄雷紋に唐花織一つ提げたばこ入れ	1	〃
	金唐革一つ提げたばこ入れ	1	〃
	金綴錦竹に雀模様利休形女持ち懐中たばこ入れ	1	〃

生活	赤地織菊花梅花模様縫取り利休形女持ち懐中たばこ入れ	1	〃
	白麻若松模様刺繍利休形女持ち懐中たばこ入れ	1	〃
	寄裂幕模様臥形女持ち懐中たばこ入れ	1	〃
	阿蘭陀木綿杓子形たばこ入れ	1	〃
	黒羅紗地牡丹文刺繍筒迫	1	国立歴史民俗博物館
	紅木綿綴織地蝶牡丹文筒迫	1	〃
	銀雲月兎透彫平打簪	1	〃
	洋銀千鳥透簪	1	〃
	洋銀笹竹透彫平打簪	1	〃
	銀鍍金牡丹透彫平打簪	1	〃
	銀牛彫平丸打簪	1	〃
	骨橋脚屋形船蒔絵櫛	1	〃
	骨雁網干蒔絵前差	1	〃
	骨雁網干蒔絵中差	1	〃
	骨雁網干蒔絵後差	1	〃
	象牙赤染海老透蒔絵櫛	1	〃
	金地螺鈿秋草鹿文蒔絵櫛	1	〃
	鼈甲櫛	1	〃
	鼈甲富士日の出透彫飾付櫛	1	〃
	金地松樹金貝螺鈿蒔絵櫛	1	〃
松金蒔絵櫛	1	〃	
松金蒔絵筭	1	〃	
松金蒔絵簪	1	〃	

分館海の博物館

◆(1)企画展示資料の借用 3件3点

◇ マリンサイエンスギャラリー「水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー」

資料系	資料名	点数	借用先(敬称略)
動物	ミヤコタナゴ生体	10	いすみ市教育委員会
	シャープゲンゴロウモドキ標本	2	千葉県立中央博物館(本館)
	ゲンジボタル標本	2	〃
	ヘイケボタル標本	2	〃
	イセエビ幼生写真	2	東京海洋大学
	コイソカニムシ写真	1	個人
写真	千葉県内航空写真	3	千葉県文書館
	千葉県内航空写真	2	海森人の会
	観察会風景写真	3	いすみ環境と文化のさと、夷隅郡市自然を守る会
	外房の風景写真	44	個人
	カツオキャラクターイラスト	1	カツオのまち・うまい!勝浦実行委員会

1.4 資料の利用

本館 126 件 1,620 点

◆ (1)閲覧

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
歴史	一般	緊急民俗文化財分布調査票	1	市川市
	一般	緊急民俗文化財分布調査票	1	個人
	一般	江戸名所図会、校正職人歌合ほか	25	千葉県文書館
	一般	文化財実態調査 絵馬奉納額カード	1	個人
	一般	房総数学文庫	443	個人

◆ (2)館内撮影

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
地学・動物・歴史	一般	本館展示室展示資料画像 (ナウマンゾウ・クジラ・銚子市常灯寺木造薬師如来坐像 (複製)・松戸市万満寺の木造金剛力士立像 (複製))	4	パナソニック映像株式会社
動物	一般	鳥類剥製	1	我孫子市立鳥の博物館
	一般	昆虫標本 (ガ類)	約 1,000	個人
貴重書	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	6	日本ギボウシ協会
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	5	埼玉県立自然の博物館
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	5	さいたま市
	著作物	二口善雄植物画集	41	(財)大阪府公園協会
	著作物	菌類稀観本類 (挿入図)	12	東京キララ社
	著作物	菌類稀観本類 (図版画像)	20	(株)エンターブレイン
歴史	一般	江戸名所図会ほか	8	千葉県文書館
	一般	上総国久留里古城山絵図	1	君津市立久留里城址資料館
	一般	江戸時代末期の遠国門人帳ほか	2	(株)コア

◆ (3)複製

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
生態・環境	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	2	(財)農村開発企画委員会
貴重書	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	5	公益財団法人東京都公園協会

◆ (4)貸出

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)	
地学	一般	フズリナ化石, 岩石等標本	28	神奈川県立生命の星・地球博物館	
	一般	化石標本, レプリカ	8	和歌山県立自然博物館	
動物	一般	貝類標本	51	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	
	一般	土壌動物拡大模型	6	埼玉県立自然の博物館	
	一般	カギムシ樹脂包埋標本	1	栃木県立博物館	
	一般	昆虫標本	18	印西市立いには野小学校	
	一般	昆虫標本	24	千葉市立みつわ台南小学校	
	一般	昆虫標本	24	千葉県環境研究センター	
	一般	甲殻類剥製	25	埼玉県立川の博物館	
	一般	ウチダザリガニ標本	2	ザリガニシンポジウム実行委員会	
	一般	魚類標本	1	(株)イースト	
	一般	カミツキガメ剥製標本	5	千葉県環境生活部自然保護課	
	一般	哺乳類骨格標本 (ニホンジカ、タヌキ等)	13	千葉市立小仲台中学校	
	一般	哺乳類骨格標本 (ニホンジカ、タヌキ)	22	大網白里町立増穂中学校	
	一般	ノウサギ剥製および骨格標本	2	日本女子大学教授 西村陽平	
	一般	哺乳類骨格標本 (ニホンジカ、タヌキ)	6	市川市立高谷中学校	
	一般	哺乳類骨格標本 (ニホンジカ、タヌキ)	12	浦安市立美浜中学校	
	一般	哺乳類骨格標本 (ニホンジカ、タヌキ等)	17	浦安市立堀江中学校	
	一般	キョン剥製	1	TBS テレビ	
	植物・菌類	一般	維管束植物標本	10	印西市立印旛歴史民族資料館
		一般	維管束植物標本	4	愛知教育大学教授 芹沢俊介
		一般	植物樹脂包埋標本	5	神崎町教育委員会
生態・環境	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	2	(株)高速広域ネット二九六	
	一般	水学習キット	3	千葉県地球温暖化防止推進委員会	
	一般	水学習キット	16	市民団体「かわ・水・みどり」	
	一般	水学習キット「地下水学習キット」	2	八千代市環境保全課	
	一般	水学習キット「地下水学習キット」	1	千葉県環境財団	
貴重書	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	千葉県環境研究センター (株)クオラス	

貴重書	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	2	東京都公園協会 緑と水の市民カレッジ
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	(株) オンブック
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	(株) クオラス
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	4	埼玉県立川の博物館
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	ピエ株式会社
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	(株) レマン
歴史	著作物	British Botany (植物画像)	1	NHK 学園文化センター
	一般	四州真景図「釜原」写真ポジ	1	(株) 美術年鑑社
	一般	印旛郡栄町浅間山古墳測量図ほか	3	栄町教育委員会
	一般	新皇塚古墳出土内行花文鏡写真ほか	1	(株) 思文閣出版
	一般	大網白里四天木稻生神社 稲作彫刻のポジ・プリント	2	千葉県立房総のむら
一般	成田香取息栖細見絵図ほか	9	千葉県立房総のむら	

◆ (5) 研究用貸出

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
地学	一般	PV 脊椎動物化石	1	個人 (神奈川県博)
	一般	PS 軟体動物化石	2	個人 (長生高校)
	一般	PS 軟体動物化石	2	個人 (科博)
植物・菌類	一般	BS 維管束植物	301	中国科学院北京植物研究所
	一般	BB 蘚苔類	38	個人 (科博)
	一般	BB 蘚苔類	26	個人 (広島大学)
	一般	FA 子囊菌類	12	個人 (中国科学院昆明植物研究所)
	一般	FA 子囊菌類	1	個人 (Charles Univ., Czech Rep.)
	一般	FB 担子菌類	1	個人 (USA)
	一般	FB 担子菌類	4	個人 (鳥取大学)
	一般	FB 担子菌類	3	個人 (中国科学院昆明植物研究所)
	一般	FB 担子菌類	7	個人 (北大)
	一般	FB 担子菌類	1	個人 (Univ. of Alberta, USA)
	一般	FB 担子菌類	2	個人 (鳥取大学)
動物	一般	FB 担子菌類	8	個人 (Ghent Univ., Belgium)
	一般	FL 地衣類	11	個人
	一般	ZC 甲殻類	1	個人
	一般	ZC 甲殻類	6	個人
	一般	ZC 甲殻類	2	個人
	一般	ZC 甲殻類	3	個人 (NUS)
	一般	ZC 甲殻類	1	個人 (大阪水試)
	一般	ZM 軟体動物門貝類	5	個人
	一般	ZI 節足動物門昆虫類	77	個人
	一般	ZI 節足動物門昆虫類	2	個人 (Hungarian Natural History Museum)
	一般	ZI 節足動物門昆虫類	15	個人 (北大)
	一般	ZF 脊索動物門魚類 (円口類を含む)	3	個人
	一般	ZF 脊索動物門魚類 (円口類を含む)	11	個人
	一般	ZF 脊索動物門魚類 (円口類を含む)	1	個人
	一般	ZZ 脊索動物門哺乳類	40	個人 (東大博)

◆ (6) デジタル情報複製

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
地学	著作物	航空写真画像	1	(株) ドリム社
	著作物	空中写真	1	個人
	著作物	特別展展示解説書イラスト画像	3	(株) C.A.L.
	著作物	トウキョウウホタテ画像	1	学校図書株式会社
	著作物	銚子地域地学資料画像	19	千葉科学大学危機管理学部准教授 安藤生大
	著作物	市宿層クジラ発掘画像	1	(株) 新興出版社啓林館
	著作物	木更津市小櫃川河口三角洲画像	1	(有) ハユマ
	著作物	ナウマンゾウ復元骨格画像	1	(株) ベネッセコーポレーション
動物	一般	昆虫標本写真	2	千葉県環境生活部自然保護課
動物ほか	著作物	画像データ (ヒメハルゼミ等昆虫、観察会風景、展示室ほか)	18	(株) 新学社
植物・菌類	著作物	植物標本画像	5	千葉県教育庁教育振興部指導課
生態・環境	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	2	(株) 高速広域ネット二九六
	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	2	個人

生態・環境	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	1	(株)日企
	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	5	千葉県生活環境部水質保全課
	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	1	千葉県総合企画部報道広報課
	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	5	TBS放送センター
	著作物	故・林辰雄氏撮影写真	3	(株)コア
貴重書	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	(財)都市緑化技術開発機構
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	NIB長崎国際テレビ
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	3	NHKエンタープライズ
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	(株)平凡社
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	(株)NHKアート
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	6	さいたま市
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	3	(株)レマン
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	公益財団法人東京都公園協会
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	NHK出版
	著作物	植物, 園芸文化史関係の文献, 絵画	1	(株)レマン
歴史	一般	日本博覧図 海水浴場加納屋支店海気館	1	(株)有朋社
	一般	日本博覧図 北辰病院飛田良吉	1	個人
	一般	日本博覧図 呉服太物唐物製塩松島重右衛門	1	(株)ネクサス
	一般	日本博覧図 田中玄蕃、醤油醸造家浜口儀兵衛店	2	(株)コア
	一般	荒海川表遺跡17号遺構写真ほか	5	(株)コア

◆ (7)デジタルミュージアム転載

資料系	資料名	点数	利用者名(敬称略)
動物	著作物 ハクビシン画像	1	府中市
貴重書	著作物 カーチス植物学雑誌(図)	6	(株)パイインターナショナル

②資料登録データの提供(本館) 122,240点

資料系	分野	GBIF提供件数	千葉県GIS提供件数
動物資料	哺乳類		685
	魚類	11,079	9,043
	昆虫	15,500	43,048
	甲殻類	5,000	390
	カブトガニ・ウミグモ・多足類		570
	クモ類		236
	軟体動物		7,450
	小計	31,579	61,422
植物・菌類資料	維管束植物	2,000	87,045
	蘚苔類	2,000	10,395
	藻類		3,378
	地衣類		6,204
	担子菌類	2,000	9,044
	微小菌類		172
	変形菌類		2
	小計	6,000	116,240

※ GBIF=国立科学博物館サイエンスミュージアムネットおよび地球規模生物多様性情報機構

③図書の利用(本館) 1,319冊

職員による館内貸出	1,213冊
来館者による書庫図書の閲覧件数	21件 106冊

大和根分館

◆(1)館内撮影

区分	資料名	点数	利用者名 (敬称略)
歴史	一般 神崎神社文書	3	個人
古文書	一般 下小野区有文書	5 箱	房総史料調査会
歴史	一般 石枕	2	個人
古文書	一般 山口家文書	6	個人
歴史	一般 箱膳	1	個人

◆(2)貸出

区分	資料名	点数	利用者名 (敬称略)
歴史	一般 ネガ (笈を背負ってわが村へ)	1	神奈川県立歴史博物館
	一般 航路灯	3	千葉県立関宿城博物館
	一般 ネガ (水郷写真資料 No.105)	1	(株) ジェイプロジェクト
	一般 湯舟	1	茨城県立歴史館
	一般 土摺臼	1	神栖市歴史民俗資料館
	一般 石枕	2	芝山町教育委員会
	一般 土摺臼	1	稲敷市歴史民俗資料館

◆(3)デジタル情報の複製

区分	資料名	点数	利用者名 (敬称略)
歴史	一般 水郷の風景 写真	10	NHK 千葉放送局
	一般 水郷の風景 写真	6	(株) テレビ東京
	一般 利根川高瀬舟 写真	3	(株) ラムゼズ
	一般 飯岡助五郎 写真	1	(株) 山川出版
	一般 水郷の風景 写真	11	(株) 郷土出版

大多喜城分館 66 件 126 点

◆ (1)館内撮影

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
歴史	一般	旧森家弓術関係資料	38	個人
古文書	一般	旧森家弓術関係文書	16	個人
歴史	一般	大多喜水道水路大絵図	1	大多喜町役場 水道室

◆ (2)貸出

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
歴史	一般	短刀	1	千葉県立現代産業科学館
歴史	一般	火器砲術絵巻	1	千葉県立関宿城博物館
歴史	一般	火縄銃カットモデル	1	〃
歴史	一般	火縄銃のカラクリ模型	3	〃
歴史	一般	火縄銃各部の名称図	1	〃
生活	一般	万祝	1	千葉経済大学
歴史	一般	等身大甲冑 (大人用)	2	ローゼンハイム市ガーデンショー日本文化紹介事業実行委員会
歴史	一般	模造刀	1	〃
歴史	一般	等身大甲冑 (大人用)	1	千葉県総合企画部国際室
歴史	一般	等身大甲冑 (子供用)	1	〃
歴史	一般	等身大甲冑 (大人用)	2	(株) 千葉パルコ店
歴史	一般	等身大甲冑 (子供用)	1	〃
歴史	一般	模造刀	3	〃
古文書	一般	大曾根和夫家蔵「房総軍記」	1	いすみ市郷土資料館
歴史	一般	大曾根和夫家蔵 紺糸威桶側胴具足 (筋兜付)	1	〃
古文書	一般	大多喜町蔵 千光寺谷入口付近絵図	1	〃
古文書	一般	中村啓之家蔵「総房軍記・全」	1	〃
古文書	一般	中村啓之家蔵「房総物語」	1	〃
古文書	一般	中村啓之家蔵「房総治乱記」	1	〃
古文書	一般	中村啓之家蔵「万騎城記念碑建設費豫算帳」	1	〃
古文書	一般	中村啓之家蔵「土岐・旧臣連名 2冊」	1	〃
古文書	一般	中村啓之家蔵「寄付金台帳 (萬騎城記念碑建立之旨趣)」	1	〃
古文書	一般	中村啓之家蔵「上総国夷隅郡伊南庄中瀧郷御縄打水帳」	1	〃
歴史	一般	大曾根和夫家蔵「達磨図」	1	〃
歴史	一般	小高友秀家蔵「呉道子図」	1	〃
歴史	一般	「布袋図」三幅対 (館蔵)	3	〃
考古	一般	いすみ市作田地先出土須恵器	1	〃
歴史	一般	鉄製灯籠	1	〃
歴史	一般	四季豊年図	1	千葉県立房総のむら指定管理者 財団法人千葉県教育振興財団 房総のむら
歴史	一般	いすみ市作田地先出土須恵器	1	いすみ市郷土資料館
歴史	一般	鉄製灯籠	1	〃

◆ (3)デジタル情報の複製

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
歴史	一般	紺糸威二枚胴具足 写真	1	(有) リゲル社
歴史	一般	茶金糸威縫延胴具足 写真	1	〃
歴史	一般	采配脇立付筋兜 写真	1	〃
歴史	一般	鉄六十二間筋兜 写真	1	〃
歴史	一般	鉄地さざえ形兜 写真	1	〃
歴史	一般	兎形かわり兜 写真	1	〃
歴史	一般	雑賀鉢兜 写真	1	〃
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) ベストセラーズ
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) 小学館
歴史	一般	本多忠勝画像	1	スタジオ AK
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) 十象舎
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) 世界文化社
歴史	一般	遠山景元画像	1	(株) アーテファクトリー
その他	一般	大多喜城外観写真	1	(株) グレイル
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) 学研パブリッシング 第二出版部
歴史	一般	兎形かわり兜 写真	1	(株) マオスタイル
歴史	一般	日根野形兜	1	〃
歴史	一般	六十二間筋	1	〃

歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) スリーシーズン
歴史	一般	本多忠勝画像	1	千葉県環境生活部県民活動文化課
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) アーテファクトリー
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) ベストセラーズ
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(有) リゲル社
歴史	一般	遠山景元画像	1	東京都教育庁指導部高等学校指導課
歴史	一般	大多喜城地絵図	1	大多喜町教育委員会
歴史	一般	本多忠勝画像	1	京都新聞編集局
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) アップルウェイ
歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株) ベストセラーズ
その他	一般	大多喜城分館外観写真	1	キープ株式会社
その他	著作物	DVD「ドン・ロドリゴの来た道」	1	獅子・ひよっとこ会
歴史	著作物	刀(石井昭房作)	1	館山市教育委員会
歴史	著作物	大多喜城大絵図額	1	大多喜町

分館海の博物館 20 件 131 点

◆ (1) 研究用貸出

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
動物 ZC	一般	エビヤドリムシ付きサラサエビ	1	明治大学
	一般	<i>Pseudopaguristes</i> sp. nov.	3	琉球大学
	一般	<i>Microprosthema</i> sp. nov.	3	名古屋港水族館
動物 ZF	一般	<i>Apogon unicolor</i> 他	2	鹿児島大学
	一般	<i>Luciogobius</i> sp.	8	静岡高校
	一般	ヤマトトグメギス他	15	鹿児島大学
	一般	オトメウシノシタ	3	鹿児島大学
動物 ZG	一般	<i>Coscinaraca</i>	11	国立環境研究所
	一般	<i>Podabacia motuporensis</i> 他	5	国立環境研究所
動物 ZV	一般	千葉県産ホヤ類	51	東邦大学
	一般	千葉県産ホヤ類	1	東邦大学
動物 ZW	一般	<i>Glycera pacifica</i>	2	鹿児島大学

◆ (2) デジタル情報の複製

資料系		資料名	点数	利用者名 (敬称略)
植物	一般	アサクサノリの写真	2	日企
	一般	アサクサノリの画像	13	東京海洋大学
	一般	ヒトエグサ他の写真	3	東京海洋大学
	一般	アサクサノリ他の写真	4	農山漁村文化協会
	一般	エリモアマノリの写真	2	えりも町郷土資料館
	一般	アサクサノリの写真	1	読売新聞
動物	一般	カツオの写真	1	テレビ朝日

1.5 資料の保存・管理

1.6.1 IPM（総合的有害生物防除）・燻蒸の実施

【本館】

実施	内容
環境調査	生物生息調査（トラップ調査） ・ 4回実施 ・ 粘着トラップ 176 個設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。 ・ 調査区域：収蔵庫・展示室・1階（講堂・研修室・学習情報センター等） ・ 資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、発生源を特定し排除した。
	温湿度測定 ・ 自記温湿度計（設置場所：収蔵庫・歴史展示室）
清掃	収蔵庫の定期清掃 各収蔵庫 2回実施
	収蔵庫環境外気取り入れダクト清掃
燻蒸・殺虫・殺菌	燻蒸釜の運転（殺虫・殺菌） 9回実施。 ・ 使用薬剤：酸化エチレン（商品名：エキヒューム S）
	冷凍庫による殺虫 2回実施
	乾燥機の高温処理による殺虫 常時運転
施設・設備の改善	収蔵庫前室外壁防カビ塗装

【分館海の博物館】

実施	内容
収蔵庫の燻蒸	ア. 使用薬剤： アルブ（酸化プロピレン+アルゴン混合ガス）
	イ. 燻蒸期間： 2010年10月17日（日）～22日（金）
	ウ. 結果： 供試虫及び供試菌の100%死滅をもって、乾燥収蔵庫内の殺虫・殺卵・殺カビが良好に行われたことが確認できた
燻蒸装置の運転	ア. 方法： 乾燥収蔵庫を密閉し、間熱気化器により薬剤を60g/m ³ 投入して48時間燻蒸を行った。燻蒸後は、活性炭吸着装置によるガス回収作業後、軸流扇に風管接続して館外に強制排気した。
	イ. 回数： 1回

1.6.2 図書資料の館内修理（本館）

配架場所	冊数
図書室	10
閲覧コーナー	6
体験学習室	14
合計	30

2. 調査研究

実施概要

2.1 研究課題

2.1.1 館企画の研究課題 116 件

	種別	件数
本館・大利根分館・大多喜城分館	重点研究	5
	地域研究	56
	普遍研究	45
分館海の博物館	房総半島の海洋生物相とその特徴	3
	専門研究	7
	合計	116

2.1.2 助成を受けた研究課題 9 件

種別	件数
文部科学省科学研究費補助金(研究代表者)による研究	6
文部科学省科学研究費補助金(研究分担者)による研究	2
その他助成金による研究	1
合計	9

2.1.3 他機関との共同研究課題 14 件

2.2 研究交流

2.2.1 他機関での客員研究員 1 名 3 件

2.2.2 海外調査・出張 5 名

2.2.3 海外研究員の来訪 7 名

2.3 館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入

種類	人数	内訳
館友	2	継続 2
共同研究員	28	継続 11、新規 17
市民研究員	38	継続 29、新規 9
研究生	4	
合計	72	

2.4 研究成果の公表

2.4.1 自然誌シンポジウムの開催 1 回

2.4.2 研究紹介展示 8 件

2.4.3 研究報告の発行 7 誌

2.4.4 中央博セミナーの開催 5 件 6 名

2.4.5 研究員の執筆活動・口頭発表 52 名 698 件

活動	人数	件数	備考
学術論文・学術書への執筆	34	156	学術論文 31 人 110 件、学術書 11 人 46 件
報告書への執筆	20	64	
普及書への執筆	45	223	
ウェブサイトの執筆	18	139	
口頭発表	33	116	

2.5 職員の学会貢献(委員・幹事) 10 名 16 件

実施詳細

2.1 研究課題

2.1.1 館企画の研究課題（研究成果は、資料編「研究成果一覧」参照）

本館・大利根分館・大多喜城分館

◆(1)重点研究課題 5件

1	<p>地域の音環境の記録および音声資料の共有を促進する地理情報ネットワークシステムの構築</p> <p>【代表者】大庭照代 【分担者】小林田鶴子（名古屋女子大学）・西村昌子（ブンテック・四日市音の出る地図コンテスト）・日本サウンドスケープ協会ワーキンググループ 音環境調査会（耳をたよりにプロジェクト） 【内容】自然の音の体験は、地域の自然や環境に対する理解を深め、文化や歴史も関わって自然と人間のかかわりを広く問うことにつながることを期待される。平成 18-20 年度重点課題研究「子どもの自然・文化体験に果たす博物館の役割」の一端として、音環境調査会（耳をたよりにプロジェクト）を専門家・市民により組織し、生態園・千葉市・長生郡長柄町・香取市において地域の音環境を実際に記録し、世代を越えた音の共有と未来のビジョンなどを議論するための音環境の表現方法を検討してきた。その成果は、平成 21 年度に「地域の音環境録音誌作成のためのマニュアル CD（仮称）」にまとめ、今後の博物館と連携した市民参加型音環境調査の普及に役立てていくことが期待される。 【成果】Web ブラウザで地図を閲覧し音を聞くことができる「地域の音が出る地図ネットワーク」の本システムがほぼ完成し、外部サーバーにより公開前の閲覧データ整備を行った。東日本大震災により、市民参加によるシステムの検証などを行う機会やシンポジウム開催を逸した。しかし、併設の 360 度パナラマ画像は提示できる状況になっており、さらに改善して最終年度に十分活動を繋げる。</p>	平成 21 年度～
2	<p>海岸域における多様性の変化を探る―遺跡出土遺体と現生との比較から―</p> <p>【代表者】黒住耐二 【分担者】加藤久佳（副代表）、樋泉岳二（早稲田大学兼任講師）、西野雅人（千葉県教育振興財団） 【内容】房総半島を中心とした地域における海岸域（海岸部の森林から、海浜部・飛沫帯・潮間帯～約水深 10m 程度まで）の動物の多様性変化を、縄文時代貝塚を中心とした遺跡から出土した種と現在生息している（あるいは明治期以降確認されていた）種を比較することによって明らかにすることを目的としている。 【成果】千葉県では印西市の馬場遺跡第 5 地点の大型土坑の貝類遺体を検討し、食用後のヤマトシジミを廃棄しながら、食用とは考えられないサビシラトリを意図的に割って播くような、これまで知られていなかった縄文時代の新たな精神世界を報告した。また、これまでの成果を、千葉県レッドデータブックとして報告した。琉球列島における本研究の成果を、分担執筆として、『先史・原始時代の琉球列島～ヒトと景観～』にまとめた。宮崎県で正確な生息の確認されたオオシラナミに関して、読売新聞への返答が掲載された。</p>	平成 21 年度～
3	<p>千葉県内における維管束植物の分布変遷</p> <p>【代表者】齋木健一 【分担者】天野 誠（副代表）、御巫由紀、友田暁子、大場達之（館友） 【内容】(1)千葉県内、特にいすみ市、大多喜町の維管束植物の分布調査、標本採集、文献調査を行い、千葉県内における在来植物と帰化植物の分布変遷を明らかにする。これにより現在起きている環境問題等の諸問題に対処するための基礎データが得られる。 (2)主に中学生を対象とした野草観察教材「野草カード」を作成、配布し、授業で使用していただく。授業等での使用状況を調査し、改良を加える。 【成果】(1)標本 11671 点、分布情報 13905 点を得ることが出来た。調査ボランティアが発見した絶滅危惧植物スズカケソウは国のレッドデータブックで絶滅危惧 IA 類に選定され、徳島県でのみ生息が確認されていた希少種で、千葉県レッドデータブック追録で最重要保護生物に追加指定された。（数字は 21 年度からの累積） (2)野草カード 59 セットを配布。理科教育学会山梨大会で発表。千葉市教育研究会理科部会で研修実施。</p>	平成 18 年度～

4	生態園の生態系変遷	平成 21 年度～
	<p>【代表者】原 正利</p> <p>【分担者】落合啓二(副代表)、大野啓一、由良 浩、林紀男、倉西良一</p> <p>【内容】これまで未発表な調査資料を整理解析するとともに、不十分であった分野の調査を補足して、開園後 20 年を経た生態園の生態系変遷を記録にとどめ、さらに将来のモニタリング調査の基礎となる空間情報基盤を準備することを目的とする。</p> <p>【成果】生態園内の植物相に関連し、海岸植生区でワセオバナを発見されたので記録し、標本を作成した。舟田池については、舟田池の水位を変動させることにより、水生植物を食害するアメリカザリガニの生息密度を低減化する試みを継続した。また、標識再放流法によるアメリカザリガニ生息密度調査、および池岸の水生植物に関する質的・量的調査を実施し、池水位変動化の効果を検証した。生態園を含む地域の景観構造の変遷については、衛星写真および航空写真を使用して GIS で解析が出来るよう準備を進めた。</p>	
5	千葉県(夷隅川流域)における出羽三山信仰について	平成 22 年度～
	<p>【代表者】尾崎煙雄</p> <p>【分担者】島立理子、渋谷さゆり、清藤一順、地引尚幸、小林裕美</p> <p>【内容】千葉県内の各地には、出羽三山信仰の講が広く分布している。その講は、例えば梵天の構造などから見てわかるように県内でも地域ごとにそれぞれの特徴を持っている。夷隅川流域の調査プロジェクトの一つとして、流域各地区の出羽三山の講社の調査を実施しその特徴をまとめる。</p> <p>【成果】夷隅川流域の出羽三山の講社が制作している梵天の調査をおこない、他地域の梵天との比較をおこなった。また、夷隅地域にかつてあった羽黒山伏の山伏寺についても調査をおこなった。その成果は、平成 23 年度企画展「出羽三山と信仰」で公開の予定である。</p>	

◆(2)地域研究課題 56 件

種別	概要	件数
①地球誌系	房総の大地から探る地球の歴史／房総半島南部の大地の動きをさぐる 房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性	10
②生命誌系 1	房総の分類学的多様性の特徴とその保全	17
③生命誌系 2	房総の生態学的多様性の特徴とその保全	11
④人類誌系	房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究	13
⑤博物館誌系	博物館とその社会的役割に関する研究	5

①地域研究課題：地球誌系

	研究タイトル	研究者名
1	房総半島の地層の堆積環境の復元	岡崎浩子
2	房総半島嶺岡帯の地質構造の解明	高橋直樹
3	房総半島の脊椎動物化石の分布調査	伊左治鎮司
4	房総の十脚甲殻類化石相	加藤久佳
5	房総周辺の花粉・環境誌	奥田昌明(分担：館外研究者 2 名程度)
6	房総丘陵におけるタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究	大木淳一
7	房総丘陵における河川の発達と河道の変遷に関する研究	小田島高之(分担：島立理子)
8	植物珪酸体化石による古環境復元	江口誠一
9	白亜系銚子層群の動物化石相と生層序に関する調査研究	浅井秀彦
10	南房総周辺に分布する化石サンゴの分類と種の生態環境の解明	新 和宏

②地域研究課題：生命誌系 1

	研究タイトル	研究者名
1	房総のハチ類誌	宮野伸也
2	房総の魚類誌	宮 正樹
3	房総の昆虫誌	直海俊一郎
4	房総の貝類誌	黒住耐二
5	房総の土壤動物誌	萩野康則
6	房総の甲殻類誌	駒井智幸
7	房総の菌類誌	吹春俊光
8	房総の地衣類誌	原田 浩
9	房総の蘚苔類誌	古木達郎
10	千葉県の甲虫相に関する研究	斉藤明子
11	房総丘陵の両生爬虫類相	大木淳一(分担：尾崎煙雄、小田島高之)

12	房総丘陵の昆虫・クモ類相	尾崎煙雄（分担：大木淳一）
13	房総丘陵の維管束植物相	尾崎煙雄
14	千葉県鳥類相に関する研究	桑原和之
15	房総のイシサンゴ類誌	立川浩之
16	房総半島周辺の刺胞動物相の解明	柳 研介
17	房総の維管束植物誌	天野 誠

③地域研究課題：生命誌系 2

	研究タイトル	研究者名
1	生態園の生態系変遷に関する野鳥調査	大庭照代（分担：野鳥調査員（友の会）6名）
2	房総半島におけるニホンジカの保護管理のための研究	浅田正彦
3	房総のヒメコマツの保全生態学的研究	尾崎煙雄
4	生態園の生態系変遷に関する総合研究	原 正利（分担：落合啓二、大野啓一、由良 浩、林 紀男、倉西良一）
5	照葉樹林の植生地理	原 正利
6	千葉県における哺乳類各種の生息状況と生態	落合啓二
7	房総に自生する植物のフェノロジー	大野啓一
8	海岸植物の保護増殖	由良 浩
9	千葉県における原生生物等の生息状況	林 紀男（分担：外部研究者および市民 若干名）
10	千葉県の水辺環境と水生昆虫類の分布特性	倉西良一
11	房総に生息する生物の動画記録に関する研究	山口 剛

④地域研究課題：人類誌系

	研究タイトル	研究者名
1	房総半島後期旧石器時代の研究	田村 隆（分担：外部研究者 若干名）
2	近世江戸湾沿岸地域の総合的研究	筑紫敏夫（分担：外部研究者 若干名）
3	房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究	島立理子
4	下総台地における近世以降の薪炭林育成に関する歴史地理学的研究	白井 豊
5	東京湾美術史の構築	高橋 覚
6	近世後期房総地方における「組合村」に関わる研究	安齋信人
7	遺跡出土馬骨の形態学的研究	田邊由美子
8	房総における民俗変化の諸相	渋谷さおり
9	房総における生業の複合的なありかたについて	小林裕美
10	近世利根川下流域における江戸文人の遊歴	内田龍哉
11	房総における民間信仰の研究	地引尚幸
12	近世房総の漢籍と民衆教化について	石渡克彦
13	印旛沼周辺の考古学研究	一場郁夫

⑤地域研究課題：博物館誌系

	研究タイトル	研究者名
1	中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究	斉藤明子（分担：筑紫敏夫、御巫由紀、駒井智幸、友田暁子）
2	中央博物館の学習支援体制の構築と実践	新 和宏
3	「おばあちゃんの畑」をテーマとした地域・学校との連携による博物館活動	島立理子
4	中央博物館の学習支援体制の構築と実践	新 和宏
	中央博物館と学校との連携による博物館学習を推進するための体制整備	一場郁夫

◆(3)普遍研究課題 45件

種別	概要	件数
⑥地球誌系	地質学的多様性に関する基礎研究	9
⑦生命誌系 1	分類学的多様性に関する基礎的研究	13
⑧生命誌系 2	生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究	11
⑨人類誌系	景観史という新領域の創出	8
⑩博物館誌系	博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究	4

⑥普遍研究課題：地質誌系

	研究タイトル	研究者名
1	実験水路を用いた洪水堆積物の再現	岡崎浩子（分担：館外研究者）
2	東北日本弧新第三紀火山活動の特質	高橋直樹

3	白亜紀手取層群の動物化石包含層の解析	伊左治鎮司
4	東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷	黒住耐二
5	地質時代温暖期におけるアジアの古植生復元	齋木健一
6	日本産十脚甲殻類化石の古地理と古生態	加藤久佳
7	東アジア周辺の花粉・環境誌	奥田昌明 (分担: 館外研究者 2 名)
8	河川地形の動態と生物分布に関する環境地質学的研究	大木淳一
9	地形や地質の生物分布に与える影響について	小田島高之

⑦ 普遍研究課題: 生命誌系 1

	研究タイトル	研究者名
1	ミトコンドリアゲノム分析に基づく魚類の系統進化	宮 正樹
2	生物の種のあり方と認識	直海俊一郎
3	日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究	萩野康則
4	十脚甲殻類の分類	駒井智幸
5	特殊生態の菌類誌	吹春俊光
6	地衣類の多様性に関する研究	原田 浩
7	アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究	古木達郎
8	アジア高山帯における植物分類学的研究	天野 誠
9	カミキリムシ科甲虫の分類	斉藤明子
10	バラ属植物の花色素分析	御巫由紀
11	植物珪酸体の形態分類	江口誠一
13	イソギンチャク類の分類学的研究	柳 研介

⑧ 普遍研究課題: 生命誌系 2

	研究タイトル	研究者名
1	社会性ハチ類の生態・行動・進化に関する研究	宮野伸也
2	生物音声自動認識および環境モニタリングに関わる生物の音声信号と音環境構造の研究	大庭照代 (分担: 共同研究員 9 名)
3	照葉樹林の生態学的研究	尾崎煙雄
4	ブナ林の動態と生物地理	原 正利
5	ニホンカモシカの生態学的研究	落合啓二
6	芽ばえに関する記載的研究	大野啓一
7	ススキ、オギ、アシの比較生態	由良 浩
8	水辺植生の再生による水環境保全技術の開発	林 紀男
9	外来種『フロリダマミズヨコエビ』の分布拡大とその要因	倉西良一 (分担: 外部研究者 若干名)
10	アリ類の行動・生態学的研究	山口 剛
11	シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究	桑原和之

⑨ 普遍研究課題: 人類誌系

	研究タイトル	研究者名
1	旧石器時代景観史の研究	田村隆
2	近現代における裁縫教育についての研究	島立理子
3	関東平野における明治 10 年代の土地利用に関する研究	白井 豊
4	近世図像資料の研究	高橋 覚
5	漁撈文化の研究	安齋信人
6	房総における動物の利用について	田邊由美子
7	房総に生きる人	渋谷さゆり

⑩ 普遍研究課題: 博物館誌系

	研究タイトル	研究者名
1	持続可能な社会のための教育と博物館	林 浩二
2	21 世紀型博物館の評価制度の課題と提言～そして博物館の変革に向けて～	新 和宏
3	博物館の資料及び地域文化財保護のためのリスクマネジメントシステムの構築	新 和宏
4	地域博物館の連携による地域史像の形成	内田龍哉

分館海の博物館

◆(1)房総半島の海洋生物相とその特徴 3件

研究概要	
1	房総半島沿岸の魚類相 【代表】川瀬裕司 【内容】房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。 【成果】県内調査では、千葉県の陸水域からはおよそ30年ぶりとなるオオウナギが発見され、標本計測後、展示室で臨時に一般公開した。また、県外調査では静岡県清水で深海性魚類の採集を行い、30個体の魚類標本のほか、シギウナギの生態映像撮影に成功した。
	房総半島の海産無脊椎動物相 【代表】奥野淳児・村田明久 【内容】房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う 【成果】勝浦市鶴原地先の鶴原島で採集された2個体を含み、新種コモレビアカモエビを記載した。鶴原理想郷に生息する海浜性等脚類について論文にまとめた。県内の潮下帯に生息する十脚甲殻類の画像収集を進めた。
	房総半島沿岸の海藻相 【代表】菊地則雄 【内容】房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。 【成果】勝浦市沿岸を中心に海藻・海産種子植物相を調査し、海藻標本101点を登録するとともに、新たに1種の勝浦新産種を確認した。また、2009年9月までに収集・登録した標本を基に、勝浦市沿岸及び館山市坂田・波左間沿岸の海産植物相について論文にまとめた。

◆(2)専門研究 7件

	研究タイトル	研究者名
1	小中学生を対象とした効果的な野外観察	中村裕明
2	房総半島における自然災害史の研究	本吉正宏
3	魚類の繁殖生態	川瀬裕司
4	日本産共生性コエビ類の分類学的研究	奥野淳児
5	原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究	菊地則雄
6	蔓脚類の生態	村田明久
7	海を主題とした近代日本洋画史の調査研究	大久保守

※詳細は、巻末資料を参照ください。

2.1.2 助成を受けた研究

◆(1)文部科学省科学研究費補助金(研究代表者)による研究 6件

研究種目	研究者名	研究課題(研究課題番号)	助成金額	期間	
基盤研究(B)	宮 正樹	ミトゲノム超行列による巨大クレードの包括的な進化史 解明:方法論の確立と実際(22370035)	6,600,000	H22-	3年
基盤研究(C)	熊代浩子 (岡崎浩子)	電磁波反射法を用いた水路実験3次元モニタリングとそ の河川堆積相への適用(19540486)	500,000	H19-	4年
	大木 淳一	校内学習型地学教育プログラムの開発と実践 (21500858)	600,000	H21-	5年
	古木 達郎	苔類ツクヌスキゴケ科の多様性と初期個体発生に基づく種 分化(21570104)	800,000	H21-	4年
	島立 理子	「おばあちゃんの畑」をテーマにした地域・学校との連携 による博物館活動(21601010)	600,000	H21-	3年
	川瀬裕司	地球温暖化が沿岸性魚類の繁殖に及ぼす影響ーデータの 集積と予測モデルの確立(10270620)	1,300,000	H22-	3年

◆(2)文部科学省科学研究費補助金(研究分担者)による研究 2件

研究種目	分担者名	研究代表者/研究課題(研究課題番号)	助成額
基盤研究(B)	原 正利	神崎護(京都大学)/ 熱帯雲霧林の林冠内植物の多様性と動態:気候変動モニタリングに向けたサイ ト構築(20405008) H20-22	300,000
	原 正利	大久保達弘(宇都宮大学農学部)/ 攪乱環境下の東南アジア熱帯山地林におけるブナ科樹種多様性変動の解明 (22405023) H22-24	800,000

◆(3)その他助成金による研究 1件

氏名	研究課題	助成名	研究代表者 (所属)	財源 (出資団体)	期間	助成額
尾崎煙雄	奄美群島における絶滅危 惧植物の生育地調査と保 全遺伝学的研究	プロ・ナトゥー ラ・ファンド研究 助成	宮本旬子 (鹿児島大学)	プロ・ナトゥー ラ・ファンド	H21-22	352,602

2.1.3 他機関との共同研究 14件

当館分担者	研究課題	共同研究機関	研究代表	期間
新 和宏	科学博物館におけるミュージアムショップの在り方について	全国科学博物館振興財団	高安礼士	H22-23
黒住耐二	琉球列島先史時代後半期における生業と交易にかんする実証的研究	熊本大学文学部	木下尚子	H20-23
黒住耐二	環境変遷史と人類活動に関する学際的研究	明治大学	杉原重夫	H18-22
天野 誠	アジア高山帯における分類学的研究	東京大学総合研究博物館	池田 博	H22
駒井智幸	マリアナトラフ・小笠原諸島海域深海熱水噴出域の深海性甲殻類の分類学的研究	海洋研究開発機構	土田真二	H22
駒井智幸	琉球諸島浅海域～漸深海帯に産する十脚甲殻類の分類学的研究」	広島大学生物生産学部	大塚 攻	H22
原 正利	アジア東岸域の環境圏とそれに依存する経済・社会圏の持続的発展のための研究拠点形成	東京情報大学	新沼勝利	H20-24
林 紀男	埋土種子を用いた沈水植物の再生技術	秋田県立大学	尾崎保夫	H22-24
林 紀男	地域環境再生のための総合的環境修復・循環技術システムの構築	国立環境研究所	徐 開欽	H22-26
林 紀男	マイクロゾムを用いた生態系リスク影響評価システム手法の開発	福島大学	稲森悠平	H21-23
尾崎煙雄・天野 誠 ・御巫由紀	千葉演習林における植物相のセンサス調査	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	山田利博	H21-23
尾崎煙雄・天野 誠 ・御巫由紀	千葉演習林のフロラ調査	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	山田利博	H22-24
尾崎煙雄	奄美群島の希少生物調査	鹿児島大学	宮本旬子	H20-22
島立理子	韓国国立民俗博物館・国立歴史民俗博物館研究交流事業「地域と博物館」	国立歴史民俗博物館	小池淳一	H22-25

2.2 研究交流

◆(1)他機関での客員研究員 3 件

氏名	受託先	名称	期間
林 紀男	独立行政法人国立環境研究所	客員研究員	2010.4.1-2011.3.31
	公立学校法人秋田県立大学	客員研究員	2010.4.1-2011.3.31
	国立大学法人福島大学	客員研究員	2010.4.1-2011.3.31

◆(2)海外調査 5 名

氏名	渡航先	渡航目的	滞在期間	県費・国費・助成金の別
宮 正樹	アメリカ合衆国	「生命の大百科 (Encyclopedia of Life)」(深海魚版) 編集のための専門家としてのワークショップ参加と基調講演 (ハーバード大学比較動物学博物館にて)	2010.5.10~5.15	「生命の大百科 (Encyclopedia of Life)」プロジェクトによる助成
古木達郎	中華民国	学術調査	H22.9.28-H22.10.9	文部科学省科学研究費助成金
駒井智幸	マリアナ連邦グアム	調査船なつしま乗船	H22.7.24, 25	文部科学省科学研究費助成金
原 正利	マレーシア	研究 (基盤研究 (B) 攪乱環境下の東南アジア熱帯山地林におけるブナ科樹種多様性変動の解明)	2010.9.9-9.22	文部科学省科学研究費助成金
江口誠一	タイ北部	熱帯季節林調査	2010.5.20-31	文部科学省科学研究費助成金

◆(3)海外研究員の受入・来訪 6 名

所属	国籍	滞在期間	対応
University of Alaska Fairbanks	USA	2010.6.22-8.19	宮 正樹
Sunchon National University, Korea	韓国	2010.4.7	原田 浩
Raffles Museum of Biodiversity Research, National University of Singapore	Republic of Singapore	2010.11	駒井智幸
Academia Sinica 3 名	台湾	2010.2.17	大庭照代

2.3 館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入

◆(1)館友 (2 名)

博物館の研究活動に貢献した、元職員が調査研究活動を継続することで、館の研究活動の充実を図る。

氏名	研究テーマ	担当
大場達之	千葉県の植物相に関する研究	天野 誠
吉村光敏	地形景観を主題にした鳥瞰図のデータベース化 千葉県の滝の地形学的研究	岡崎浩子

◆(2)共同研究員 (28 名：継続 11 名、新規 17 名)

館外の研究者・専門家が当館職員と共同で、当館の資料・設備等を利用して研究する。

	研究テーマ	担当
継続	1 遺跡出土脊椎動物遺体の解析	黒住耐二
	2 千葉県内遺跡の情報とその整理	
	3 千葉県のフロラに関する研究	
	4 房総半島における大型海産藻類の分類学的研究及び民族植物学的研究	古木達郎
	5 虫夏草の多様性と系統分類に関する研究	
	6 房総産の菌類 (きのこ)・維管束植物の基礎研究	吹春俊光
	7 地衣類の化学分類	
	8 カプトゴケ科地衣類の分類, および地衣類の多様性に関する研究	原田 浩
	9 地衣類の共生藻に関する研究	
	10 Korean Lichen Flora (韓国の地衣類相)	
	11 日本産樹皮着生スミイボゴケ属 <i>Buellia</i> の分類学的研究	
12 江戸湾沿岸地域の歴史的研究		
新規	12 江戸湾沿岸地域の歴史的研究	筑紫敏夫
13 古墳出土土製品の種類とその劣化について	黒住耐二	
14 中央博物館所蔵の微小菌類の標本整理	吹春俊光	
15 リトマスゴケ科地衣類の分類学的研究	原田 浩	
16 富士山森林限界付近の地衣類相		

	17	千葉県における岩上の地衣類相	
	18	地表徘徊性甲虫による都市林の環境評価	大野啓一・山口 剛
	19	都市近郊の林野における植生の変容と保全について	林 浩二
	20-27	生物音声識別装置「ききみずきん」実用化実証研究（8名）	大庭照代
	28	海産無脊椎動物の系統分類学的研究	奥野淳兒

◆ (3)市民研究員（38名：継続29名、新規9名）

平成20年度から導入された、市民のための研究員制度。当館職員の助言により、館内外で調査研究活動を行う。

		研究テーマ	担当
継続	1-13	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（13名）	高橋直樹
	14	万田野層の古脊椎動物化石相の研究	伊左治鎮司
	15-16	房総の蘚苔類（コケ植物）誌（2名）	古木達郎
	17	房総の地衣類誌	原田 浩
	18	黒姫山周辺の地衣	
	19	都市近郊における地衣類の分布	
	20	筑波山周辺の地衣類相	
	21	苗場山の地衣相	
	22	地衣類の内部組織の観察	
	23	房総の植物誌	
	24	佐倉市の地衣類相	
	25	地衣成分の化学分析	
	26	北八ヶ岳の池畔とその周辺の地衣類相	
	27	茨城県北部の地衣類相	
28	地衣類の顕微鏡観察		
新規	29	白井市周辺の地衣類	新 和宏
	30	博物館・美術館展示空間の快適性に関する研究	
	31	博物館の領域とすみわけ～千葉県事例から～	宮 正樹
	32	ミトゲノム分析に基づく魚類の大系統	
	33	三浦半島の海岸生地衣類	原田 浩
	34	21世紀の森と広場（松戸市）における地衣類観察の取り組み	
	35	地衣類の顕微鏡観察と分類学的研究	加藤久佳
	36	房総半島のアンモナイト・貝類の化石調査	
	37	三浦層群ならびに上総層群の底生無脊椎動物化石の分布調査	
	38	1. 銚子層群の軟体動物・甲殻類化石の研究 2. 地学教材としての地域の自然の調査	加藤久佳・浅井秀彦

◆ (4)研究生（4名）

大学と連携し、大学・大学院在籍の学生の研究指導を行う。

氏名	研究テーマ	所属	担当
1	カナダ産 <i>Coprinopsis</i> 属菌（担子菌門，ハラタケ目）の分類と生理特性	千葉大学園芸学研究科大学院	吹春俊光
2	ベトナム産 <i>Phlebopu</i> 属菌（担子菌門，イグチ目）の分類と生態	千葉大学園芸学研究科大学院	吹春俊光
3	ガシヤモク（ <i>Potamogeton dentatus</i> Hagstr.）再生実験における捕食者排除の効果について	東邦大学理学部生物学科	天野 誠
4	オホーツク海の海底堆積物の表層花粉分析	茨城大学大学院理学研究科（修士課程）	奥田昌明

2.4 研究成果の公表

2.4.1 自然誌シンポジウムの開催（本館）

学問の発展に寄与すると共に、県民への還元を図るため、専門的なテーマを掲げて学術シンポジウムを開催している。
 テーマ：宮部金吾生誕 150 周年記念シンポジウム-日本の藻類学は今！-

開催日：2010 年 7 月 17 日

場所：本館講堂

プログラム：

セッション 1 コンブ研究最前線

基調講演 宮部金吾博士の生涯とコンブ研究の足跡（川嶋昭二）

一般講演 ①コンブ類の多様性とその保全（四ツ倉典滋）

②コンブ目類の生理生態学（坂西芳彦）

③宮部先生の贈り物：海藻での産学官連携研究、函館モデルについて（安井肇）

セッション 2 藻類研究の最前線

基調講演 褐藻シオミドロ全ゲノム解析への道のり（川井浩史）

一般講演 ①珪藻学の新たな哲学（鈴木秀和/ 南雲保）

②群体性ボルボックス目の研究から解き明かされるメスとオスの起源（野崎久義）

③ノリ分類研究最前線（菊地則雄/ 宮田昌彦）

④海藻バイオ燃料（能登谷正浩）

⑤藻類の系統保存：微細藻類と絶滅が危惧される藻類（笠井文絵）

2.4.2 研究紹介展示（本館） 8 件

中央博物館研究員による国内および海外での調査研究活動や最新の研究成果のパネル紹介。（場所：本館展示室）

期間	担当	名称	概要
2010 年 6 月 1 日 ～8 月 31 日	岡崎浩子	堆積物を透視する？ 地中レーダーの実験堆積物への応用	地下地質を探索する器材に地中レーダー（GPR）は、地下に電磁波を放射して、その反射から地中にどのようなものがあるかを知ることができる。本研究で小型の実験水路に蛇行河川を再現し、実験堆積物というミニチュア空間に地中レーダーが応用できるかを調べた結果を紹介した。
2010 年 9 月 1 日 ～10 月 31 日	駒井智幸	深海生物調査速報	海洋研究開発機構所属調査船「なつしま」の NT10-13 航海（2010 年 7 月 24 日～8 月 8 日）の調査の概要を報告した。調査地は伊豆—マリアナ島弧海域の海山であった。無人探査機ハイパーダルフインの潜航時に撮影された深海生物画像を中心に紹介した。
	原田 浩	日本産カシゴケ属（リトマスゴケ科地衣類）の分類学的研究	坂田歩美（平成 21 年度市民研究員）+ 原田による共同研究の成果（論文は平成 21 年 12 月に発表）の紹介。これまで日本から 1 種のみ知られ、ほとんど研究されたことがなかった本属を検討し、新種 1 種、日本新産 1 種を含む 3 種を認めた。千葉県からは 3 種とも見つかっている。
2010 年 11 月 1 日 ～12 月 28 日	原田 浩	千葉県から見つかったアオキノリ属地衣類の新種	市原市民の森で採集した標本にもとづき新種発表（本年 7 月に論文発表）したアオキノリ属地衣類の新種、ノミノアオキノリについて紹介した。
	落合啓二	千葉の外来動物キョン	キョンは千葉県に生息するシカ科の外来哺乳類である。その生息状況と生態（食性、繁殖、行動等）について写真を多用してわかりやすく紹介し、調査研究成果の県民還元を努める。同時に、外来生物問題についての啓発、ならびに平成 24 年度に予定されている企画展示「カモシカ・シカ・キョン（仮題）」の広報を兼ねて実施した。
2011 年 1 月 5 日 ～2 月 28 日	加藤久佳	ホルツマーデンとゾルンフォーヘン ドイツ南部の化石の鉱脈	ドイツ南部の中生代ジュラ紀化石の産地として名高い、ホルツマーデンとゾルンフォーヘンの紹介。実物標本も一部展示した。
	林 紀男	ミジンコと水生植物とのかかわり	印旛沼の埋土種子から発芽させた沈水植物 26 種を用いて、水沈水植物が代謝する他感作（アレロパシー）物質がミジンコの生殖・個体群動態に及ぼす影響を解き明かした。その詳細を紹介する。
2011 年 3 月 1 日 ～4 月 30 日	伊左治鎮司	白亜紀前期の陸生および淡水生貝類化石の研究	普遍研究課題「白亜紀手取層群の動物化石包含層の解析」の一環として、伊左治が石川県白山山より委嘱を受けて行っている「桑島化石壁」の発掘調査を紹介する。また、先に発表した貝類化石について、研究結果を解説した。

2.4.3 研究報告の発行

研究成果を国内外に広く公表するため、査読を伴う原著論文、総説、報告、短報などを発行。

Natural History Research. Vol.11 No.1		2010.4.31 発行	編集幹事：駒井智幸
Botany	Hiroshi Yura	Survival and Growth of the Seedlings of <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud. Germinated on Well-drained Upland.	p.1-7
Zoology	Tomoyuki Komai	A Review of the Northwestern Pacific Species of the genus <i>Paguristes</i> (Decapoda: Anomura: Dogenidae). 3: Clarification of the Identity of a Species Heretofore Referred to <i>Paguristes balanophilus</i> Alcock and Descriptions of Two New Species from Japan.	p.9-33
	Shun-Ichiro Naomi	Descriptions of Two New Species of the Genus <i>Stenus</i> Latreille (Coleoptera: Staphylinidae: Steninae) from Chubu District, Central Japan.	p.35-40
	Shun-Ichiro Naomi	A New Species of the Genus <i>Dianous</i> Leach (Coleoptera: Staphylinidae: Steninae) from the Nansei Islands, Japan.	p.41-45
	Fukashi Moriya	Strandings of Sea Turtles on the Pacific Coast of the Boso Peninsula, Central Japan, in 2006-2008.	p.47-52

千葉県立中央博物館自然誌研究報告 第11巻 第1号		2010.5.31 発行	編集幹事：駒井智幸
動物学	大高明史・倉西良一・小林貞	印旛沼と手賀沼の沖合の底生動物相	p.1-9
	深澤悟・宮野伸也	東京都伊豆諸島のハチ目有剣類	p.11-28
	平山廉・伊左治鎮司	千葉県袖ヶ浦市の下総層群清川層（中期更新統）より算出したカメ類化石：続報	p.29-36
	落合啓二・繁田真由美	千葉県にムササビは生息しているか？	p.37-49

千葉県立中央博物館研究報告—人文科学— 第11巻 第2号		2010.7.15 発行	編集幹事：島立理子
論文	田村隆・山岡磨由子・川端結花・青山幸重	房総半島の後期旧石器時代石器群 上	p109-227
	齋木勝	篠崎四郎金石文研究の軌跡	p.229-251

Natural History Research. Vol.11 No.2		2011.2.28 発行	編集幹事：駒井智幸
Zoology	Tomoyuki Komai	A New Species of the Stenopodid Genus <i>Richardina</i> A. Milne-Edwards (Crustacea: ecapoda: Stenopodidea) from Uraga Strait, Central Japan.	p.1-9
	Tomoyuki Komai	Records of Squat Lobsters of the Family Munidopsidae (Crustacea: Decapoda: Anomura: Galatheoidea) from the Sagami Sea and Adjacent Areas, Central Japan, with Descriptions of Two New Species.	p.11-35

千葉県立中央博物館自然誌研究報告 第11巻 第2号		2011.3.31 発行	編集幹事：駒井智幸
植物学	金子久男・金子和子・古木達郎	千葉県船橋市のコケ植物	p.1-13
動物学	落合啓二	千葉県産イタチ(<i>Mustela</i> 属)の外部計測値に基づく同定	p.15-18
	矢竹一穂・秋田毅・古川淳	千葉県におけるニホンリス(<i>Sciurus lis</i>)の生息状況の変遷	p.19-30
環境科学	奥田昌明・吉野秀夫・楡井久・佐久間豊	千葉市中央区都川城（旧池田郷）における過去4千年間の花粉組成と古環境	p.31-45
シンポジウムの記録		千葉県立中央博物館第22回自然誌シンポジウムの記録：宮部金吾生誕150周年記念—日本の藻類学は今	p.47-65

千葉県立中央博物館研究報告—人文科学— 第12巻 第1号		2011.2.28 発行	編集幹事：駒井智幸
調査報告	大木淳一・島立理子	九十九里町真亀の葬送儀礼	p.1-25

千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号 9 「房総半島の海洋生物誌一分館海の博物館の研究成果に基づいて」		2011.3.31 発行	編集幹事：駒井智幸
	菊地則雄・奥野淳兒・川瀬裕司	房総半島の海洋生物誌（1999～2010 年）の概要	p.1-9
植物学	菊地則雄	千葉県勝浦市沿岸の海産植物相	p.11-23
	菊地則雄	千葉県館山市坂田・波佐間周辺の海産植物相	p.25-36
動物学	立川浩之	千葉県勝浦市で採集された有藻性イシサンゴ類（刺胞動物門：花虫綱）	p.37-43
	西 栄 二郎・Elena K. Kupriyanova	房総半島沿岸に産する環形動物多毛類相と千葉県立博物館に保管されているタイプ標本リスト（英文）	p.45-60
	立川浩之	千葉県勝浦市吉尾周辺の潮間帯で採集された海産軟体動物	p.61-88
	奥野淳兒	千葉県勝浦市鶴原理想郷の陸棲等脚類（甲殻亜門：フクロエビ上目：等脚目）	p.89-95
	岡西政典・立川浩之・藤田敏彦	千葉県勝浦沖で採集された日本新記録のトゲツメモヅル（新称）（棘皮動物門：クモヒトデ綱：ツルクモヒトデ目：テヅルモヅル科）	p.97-102
	立川浩之・藍澤正宏	千葉県初記録のオオメコビトザメ <i>Aqualiolus laticaudus</i> （脊索動物門：軟骨魚綱：ヨロイザメ科）	p.103-106
	川瀬裕司・奥野淳兒	房総半島西岸から記録されたダウリアチョウザメ <i>Huso dauricus</i> とカラチョウザメ <i>Acipenser sinensis</i> （硬骨魚綱：チョウザメ目）	p.107-112
	布留川毅・長屋ゆみ子	千葉県勝浦市鶴原理想郷周辺の鳥類	p.113-118
環境科学	菊地則雄・宮田昌彦・(財)千葉県勝浦海中公園センター	1982～2009 年における千葉県勝浦市吉尾の気温・海水温の変化	p.119-121
博物館学	川瀬裕司	企画展示「大収蔵資料展」の広報効果と展示評価	p.123-132

2.4.4 中央博セミナーの開催（本館） 5 件 6 名

研究事業活性化のため、新任の研究紹介、最近の研究動向を発表し、研究員間の情報交換を行う。

開催日	発表テーマ	発表者
2010.11.25	伊能忠敬旧宅について－国宝資料と発掘調査成果等から－	藤崎芳樹
2010.12.2	中国元代の学校と先生	石渡克彦
2011.1.13	サンゴとはどんな動物か？／勝浦で見つかったサンゴに虫こぶを作る甲殻類	立川浩之
2011.3.17	博学連携における博物館のあり方－博物館学習の推進－	一場郁夫
2011.3.25	東京湾のヨコエビ類	東邦大学理学部生命圏環境科学科 4 年
	都市近郊里山におけるイノシシの耕作放棄水田利用状況	東邦大学理学部生命圏環境科学科 4 年

2.4.5 研究員の執筆活動・口頭発表 52 名 698 件

活動	人数	件数	備考
学術論文・学術書への執筆	34	156	学術論文 31 人 110 件、学術書 11 人 46 件
報告書への執筆	20	64	
普及書への執筆	45	223	
ウェブサイトの執筆	18	139	
口頭発表	33	116	

※ 詳細は、巻末資料を参照ください。

2.5 職員の学会貢献（委員・幹事） 10 名 16 件

※ 詳細は、巻末資料を参照ください。

3. 展示

実施概要

3.1 常設展示

【本館】

- 3.1.1 展示更新 4 展示室 4 件 7 回
- 3.1.2 映像機器の変更 3 展示室 4 件
- 3.1.3 展示資料の清掃・保守・点検 4 展示室
- 3.1.4 音声ガイドの新設 2 展示室 10 ヶ所
- 3.1.5 音声ガイドの利用者数 804 人 (10 台稼働)

【房総の山のフィールド・ミュージアム】

- 3.1.6 自然観察路「山みち展示」の設置

3.2 企画展示

		開催回数	入場者数	入場料
本館	企画展	1	36,546	変更
	季節展示	4	54,038	
	トピックス展	7	*	
	生態園トピックス展	4	43,699	
	小計	16	134,283	
大利根分館	企画展	1	5,734	変更
	収蔵資料展等	3	4,978	
	小計	4	10,712	
大多喜城分館	企画展	1	13,820	変更
	収蔵資料展等	2	30,031	
	小計	3	43,851	
分館海の博物館	収蔵資料展等	3	32,947	
	小計	3	32,947	
合計		26	229,392	

*トピックス展は、開催期間が企画展・季節展示等と重なるため、本集計に入場者数を省略する。

3.3 出前展示

	件数	開催日数	延べ入場者数
本館	1	1	160
大利根分館	22	132	10,389
合計	23	133	10,549

実施詳細

3.1 常設展示

【本館】

3.1.1 展示更新

展示室名	展示コーナー	更新内容
地学展示室	上総丘陵の化石	交換： 撤収：君津市市産オニフジツボ化石 4 点とヒラツメガニ化石 5 点。 新規：君津市市産キタクシノハクモヒトデ <i>Ophiura sarsii sarsii</i> の化石 4 点、現生キタクシノハクモヒトデ標本 8 点、キャプション 4 点、写真パネル 1 点
	安房丘陵の地質	新規：コンボリュート層理剥ぎ取り 1 点（千倉層群細互層（南房総市畑））
小動物展示室	第 6 水槽	交換： 撤収：水生昆虫（ゲンゴロウ）（平成 22 年 5 月 8 日死亡） 新規：クサガメ（イシガメ科）（八街市小谷流で 2010 年 3 月採集）
歴史展示室	奈良・平安時代	新規：村落の中の寺院（解説等パネル 1 点、瓦塔 2 点、瓦鉢 1 点）
	近現代	撤収：萬朝報、終戦直後の紙幣・硬貨 新規：東京湾海堡関連資料 6 点、防空関係資料 2 点、配給手帳等 11 点 交換：パネル 5 点
自然と人のか かわり展示室	都市化による環境変化 とその対応	新規：市民が調べた地域の自然 星野市蔵さんが撮影した千葉市のトンボ関連パネル（写真パネル 4 点、解説パネル 2 点） 新規：生物多様性の保全関連パネル（解説・写真パネル 5 点）
	屋敷での生活	新規：身近な自然の利用-箕づくりのわざ（匝瑳市・木積）-（木積の箕 1 点、仕立て途中の箕 1 点、仕立て台 1 点、箕の材料 4 点、箕を仕立てる道具 13 点、写真パネル 2 点）

3.1.2 音声ガイドの新設 3 展示室

展示室名	設置箇所	所用時間	サービス開始
房総の生物展示室	15	約 30 分	前年度より実施
生物の分類展示室	5	約 13 分	平成 23 年 3 月 15 日
海洋展示室	3	約 10 分	平成 23 年 3 月 15 日
自然と人間のかかわり展示室	7	約 20 分	平成 23 年 3 月 15 日

※音声ガイドの利用は、4.3 教育普及を参照

3.1.3 音声ガイド利用者数 511 人（台数 10 台）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
39	56	47	45	119	31	44	26	19	26	30	29	511

3.2 企画展示

【本館】

◆(1)企画展・季節の展示（本館企画展示室等にて開催）

名称	概要	
企画展「海藻、35億年の旅人-それは、生命をつたえるものがたり-」	2010年7月3日(土)～9月5日(日) (65日間)	入場者数：19,519人
	<p>概要：35億年の歴史を経て多様な環境に適応し進化した、藻類について、その進化・生活史、藻場の生きもののくらし、食材としての海藻および海藻文化を紹介した。合わせて、生誕150周年を記念して、海藻研究の祖宮部金吾を紹介した。</p> <p>展示品：海藻・化石等標本約200点、乾物65点、書籍10点、図・写真、宮部金吾関連資料22点（肖像画、フィールドノート、書簡、書籍等）、映像資料4点。計451点</p> <p>行事：記念講演会「藻類30億年の自然史」、自然誌シンポジウム「宮部金吾生誕150周年記念-日本の藻類学は今！-」、植物観察会「潮だまりの海藻 一家族で学ぶ海の自然誌-」、体験イベント「海藻で押し葉づくり」「ところてんを作って食べよう」、海藻クイズ「君は海藻を知っているか!」、ミュージアムトーク</p> <p>解説書：B5, 40p</p> <p>会場：第1企画展示室、第2企画展示室、2階ホール、廊下</p> <p>担当：宮田昌彦（古木達郎・原田 浩・吹春俊光・天野 誠・加藤久佳・黒住耐二・駒井智幸・友の会ボランティア）</p> <p>助成金：財団法人日本海事科学振興財団「海と船の博物館ネットワーク」1,240,000円</p>	
春の展示「雲南の地衣類」	2010年3月13日(土)～5月9日(日) (34日間、4/1から)	入場者数：8,852人
	<p>概要：中国南西部に位置する雲南省は、ヒマラヤ山脈の東側に位置し、6000mを超え氷河を抱く高山があるかと思えば、象の住む亜熱帯まで多様な自然環境があり、東アジアで最も生物相が多様な場所であると言われている。そこで1994年から6度にわたり当館職員が地衣類の調査を行った。そのとき収集された標本と、撮影された写真によって、雲南の地衣類と自然、人々の暮らしを紹介した。</p> <p>展示品：中国雲南省産地衣類標本、雲南における地衣類・自然・人々の暮らしに関する撮影写真、計483点。</p> <p>行事：講演会、ミュージアムトーク</p> <p>会場：第1企画展示室</p> <p>担当：原田 浩</p>	
秋の展示「きらびやかな世界の昆虫たち-多様な形と色彩-」	2010年10月2日(土)～11月28日(日) (52日間)	入場者数：11,022人
	<p>概要：きらびやかなはねをもつ熱帯の蝶、大型の角や牙をもつカブトムシやクワガタムシなど、様々な昆虫の標本や写真を通して、ヒトの想像を超える昆虫たちの形や色彩の「妙」を紹介した。</p> <p>展示品：世界のクワガタムシ（標本箱44箱）、カブトムシ・コガネムシ等の甲虫（標本箱14箱）、蛾（標本箱14箱）、タテハチョウ（標本箱12箱）、モルフォチョウ・アゲハチョウ他の蝶（標本箱44箱）、トンボ・セミ・バッタ他の昆虫（標本箱28箱）、トリバネチョウ類（標本箱27箱）</p> <p>行事：ミュージアムトーク</p> <p>会場：第1企画展示室</p> <p>担当：直海俊一郎</p>	
出土遺物巡回展 「房総発掘ものがたり 北から西から海路から一 房総三万年の交流」	2011年1月22日(土)～2月27日(日) (32日間)	入場者数：5,161人
	<p>概要：県内の発掘調査によって内容が明らかになった遺跡のなかから、注目される遺跡や遺物を選びめぐり、旧石器時代から近世にわたる各時代の地域間交流を具体的にご紹介した。</p> <p>展示品：展示資料256点。石器接合資料(原山遺跡)、縄文土器(大松遺跡)、弥生土器(六崎大崎台遺跡)、鯨面埴輪(鹿島台3号墳)、墨書土器「庄」(思井堀ノ内遺跡)、備前磁器(佐倉城跡)、二才椀(尾上木見津遺跡)、石枕・立花(舟形手黒遺跡)、石枕(台方宮代遺跡)など253点。中央博物館のみの展示：経筒2点及び青白磁合子1組。</p> <p>行事：千葉県遺跡調査研究発表会、勾玉づくり、ミュージアムトーク</p> <p>解説書：千葉県教育振興財団発行（A4, 12p）</p> <p>会場：第1企画展示室</p> <p>担当：清藤一順</p> <p>主催：千葉県教育振興財団・千葉県立房総のむら・木更津市郷土博物館 金のすず・館山市立博物館・八千代市立郷土博物館・千葉県立関宿城博物館・千葉県立中央博物館</p>	
春の展示「千葉県野鳥図鑑-水鳥編-」	2011年3月19日(土)～6月5日(日) (11日間、3/31まで)	入場者数：13,128人 (3/31まで)
	<p>概要：千葉県でみられる水鳥の標本や写真などを展示し、特徴や生活環境を紹介した。</p> <p>展示品：鳥類剥製・骨格標本147点、バード カービング9点、箕輪義隆氏イラスト 37点、高島齋二氏野鳥生態写真約40点など。</p> <p>行事：関連講座「景観を探る1～3」</p> <p>会場：第1企画展示室</p> <p>担当：桑原和之</p>	

※ 関連行事の詳細は、4教育普及の4.1章を参照のこと。

◆(2)トピックス展等 (本館展示通路等にて開催)

授業に役立つ県立博物館プロジェクト	2010年3月24日(水)～4月18日(日) (16日間、4/1～) 概要：千葉県で初めて発見された新鉱物「千葉石」について紹介した。 展示品：千葉石標本、千葉石結晶構造模型など 68 点 担当：高橋直樹	入場者数：3,719 人
相模湾の海底をさぐる－JAMSTEC KO-OHO-O 航海報告－	2010年3月24日(水)～5月16日(日) (40日間、4/1～) 概要：平成 23 年 3 月 11 日に発生した表記の地震の特徴や地球科学的な背景について紹介した 展示品：地震解説パネル、水ガラスなど 6 点 担当：高橋直樹	入場者数：7,939 人
市民が調べた地域の自然－嶋本習介君が調べた千葉県美浜区人工海浜の昆虫－	2010年4月21日(水)～5月30日(日) (35日間) 概要：千葉県立稲毛高校附属中学 2 年生、嶋本習介君の研究結果を実物標本とともに展示した。 展示品：千葉県美浜区人工海浜で採集された昆虫類の実物標本。作品展で展示した時のポスター。学生科学賞を受賞した研究報告書実物。報道記事。 会場：2 階通路 担当：倉西良一	入場者数：5,215 人
大原幽学－その生涯と功績－	2010年12月11日(土)～2011年1月16日(日) (33日間) 概要：江戸時代後期、下総国香取郡長部（現千葉県旭市）を拠点に農民の教化と農村改革運動を推進した、幽学の生涯と功績を重要文化財の諸資料に基づき紹介した。 展示品：重要文化財 42 点、ほか 16 点。幽学の書翰・旅日記。人相奥義、筵竹、微味幽玄考、夫孝徳之本、改心楼画等、掛け軸・文書・冊子。自害時の短刀(パネル展示)、衣、道中笠、手拭い、眼鏡、虫眼鏡、印章、薬草切り、薬研などの幽学の遺品など。 行事：展示解説会、講演会、ミュージアムトーク 解説書：展示解説・出品リスト (A4, 4p) 会場：第 2 企画展示室 担当：渋谷さゆり	入場者数：2,883 人
今年のはうさぎ年－卯年－	2011年1月5日(水)～1月30日(日) (23日間) 概要：平成 23 年の干支「うさぎ」にちなんだ、哺乳類・貝類・植物・菌類の標本やはく製などの館蔵品を展示した。 展示品：ニホンノウサギ、アマミノクロウサギ等のウサギ科剥製標本等 5 点、ウミウサギ、ウサギノアシカワボタン等の貝類標本 7 種、ウサギノオ、ウサギギク (維管束植物標本等)、ウサギノミミカタケ (大型菌類標本等)、小金原御鹿狩絵図 (パネル展示)、写真・パネル 会場：2 階ホール 担当：落合啓二、黒住耐二、天野 誠、吹春俊光、歴史学研究科	入場者数：6,681 人
新鉱物発見！名前は『千葉石』！	2011年2月16日(水)～6月12日(日) (32日間) 概要：千葉県で初めて発見された新鉱物「千葉石」について紹介した。 展示品：千葉石標本、千葉石結晶構造模型など 68 点 会場：2 階ホール 担当：高橋直樹	入場者数：17,827 人
平成 23 年東北地方太平洋沖地震	2011年3月19日(土)～6月19日(日) (11日間、3/31 まで) 概要：平成 23 年 3 月 11 日に発生した表記の地震の特徴や地球科学的な背景について紹介した。 展示品：地震解説パネル、水ガラスなど 6 点 会場：2 階ホール 担当：高橋直樹	入場者数：15,551 人 (3/31 まで)

◆(3)生態園トピックス展 (生態園オリエンテーションハウスにて開催)

生態園の植物・四季の見どころ	2010年3月16日(火)～5月16日(日) (40日間) 概要：本館・分類展示室の「生態園紹介コーナー」にて 2003 年より 5 年間に渡り紹介した、生態園内の四季おりおりの植物写真を拡大印刷して展示した。 展示品：植物写真 76 枚 (春の花、初夏の新葉、秋の果実、冬の樹皮)。植物写真の撮影場所を一覧した生態園地図。 解説書：パンフレット (A3, 1 枚) 担当：奥田昌明	入場者数：14,324 人
はっぱのいろいろ	2010年7月13日(火)～9月5日(日) (55日間) 概要：植物の葉の形や機能について、小学生以下の子どもが親しみむきっかけとなるよう、わかりやすく紹介した。 展示品：文章パネル 4、図・写真パネル 20、葉のシルエットクイズパネル 5、葉脈透過写真パネル 10、葉の実物 10、葉脈観察 EL シート 1、葉で作った細工もの 5 行事：植物学講座「植物形態学入門 II 葉」 担当：原 正利	入場者数：6,929 人
まちのコウモリ	2010年9月7日(火)～10月31日(日) (51日間) 概要：街なかをひらひら飛ぶアブラコウモリを中心に、コウモリの不思議な形と暮らしぶりをわかりやすく紹介した。 展示品：コウモリ標本 6 点、写真 26 点、解説パネル 18 点、コウモリ糞内容物、バットディテクター、コウモリ鳴き声サウンドカード、コウモリ巣箱、コウモリゾートロープなど 行事：生態園観察会「コウモリの声聞いてみよう」 担当：落合啓二	入場者数：10,513 人

第7回生態園ギャラリー	2011年3月19日(土)～5月29日(日) (11日間、3/31まで)	入場者数：2,310人 (3/31まで)
	<p>概要：生態園内で撮影された写真の第7回の公募展。募集期間中の東北地方太平洋沖地震で博物館本館・生態園とも一時休館・休園し、第2回撮影会が中止となるなどアクシデントに見舞われた。応募21点のうち、来園者による投票により、優秀作品8点(521～249票獲得)が選ばれた。募集：3～4月、投票：4月20日～5月29日、投票数：4,867票(1人3票換算で投票者約1,620人) 展示品：来園者が生態園内で撮影した写真とその説明文、21点。</p> <p>担当：林 浩二</p>	

【大利根分館】

名称	概要	
企画展 「箕一その世界」	2010年5月29日(土)～6月30日(水) (33日間)	入場者数：6,331人
	<p>概要：水郷を訪れた文人の足跡と水郷を描いた作品を展示し、併せて水郷観光の歴史を紹介した。展示品：芭蕉「かし満紀行」、一茶「寛政三年掃郷日誌(複製)」、井口二峰「潮来図誌」など 解説書：A4, 8p 担当：内田龍哉(森田利仁)</p>	
収蔵品展 「むかしの道具」	2010年4月1日(木)～5月9日(水) (34日間)	入場者数：522人
	<p>概要：アモルファスチョウ・ヘラクレスオオカブトなど世界に生息する美しい昆虫の標本を展示した。展示品：本館所蔵の昆虫標本約2000点 担当：森田利仁(内田龍哉)</p>	
収蔵品展 「むかしの道具」	2010年7月17日(土)～2010年9月30日(木) (65日間)	入場者数：1,264人
	<p>概要：小学3・4年生の社会科学習に対応した水郷の古い生活用具を展示した。展示：水郷地域の農家に伝わる生活用具(大利根分館所蔵) 担当：内田龍哉(森田利仁)</p>	

【大多喜城分館】

名称	概要	
企画展「武と華やぎの装い」	2010年10月28日～12月5日 34日間	入場者数：11,729人
	<p>概要：江戸時代武家の装いと華やかな女性の装いを中心に、華やかな男女の服装や装身具の美を紹介した。展示品：小袖6領、「婦女遊楽図屏風」、櫛、簪、袋物、甲冑、変わり兜 行事：音楽会「ピアノ三重奏による日本の調べ」、講演会「江戸モードの革命」「江戸時代衣服着装講演」 解説書：A4, 22p 担当：高橋 覚(地引尚幸、三森俊彦) 助成：平成22年度芸術文化振興基金助成金事業(独立行政法人 日本芸術文化振興会基金部地域文化助成課) 120万円</p>	
収蔵資料展「合戦と武器・武具」	2010年7月23日～10月24日 83日間	入場者数：19,609人
	<p>概要：合戦を描いた絵巻や屏風から、当時の武器・武具の種類や使い方を紹介した。展示品：後三年合戦絵詞、火器砲術絵巻、刀、薙刀、甲冑、火縄銃、采配など 担当：地引尚幸(高橋 覚、三森俊彦)</p>	

【分館海の博物館】

名称	概要	
マリンサイエンスギャラリー 「海の生きものの共生ーパートナーシップの多様性ー」	2010年2月20日(土)～5月9日(日)35日間(4.1～)	入場者数：9,300人(4.1～)
	概要：海の中で繰り広げられる、様々な共生関係を紹介し、小さな生物が生き抜いていくための知恵の一端を紹介した。 展示品：ハマクマノミとイソギンチャク(水槽)、アカウミガメとカメフジツボ(剥製)、ハクセンアカホシカクレエビとスナイソギンチャク(レプリカ)、オニヒトデとヒトデヤドリエビ(液浸標本)、ムチカラマツとキミシグレカクレエビ(液浸標本)など。 行事：講座「共生エビの世界」 解説書：(A4, 14p) 担当：奥野淳兒(分館海の博物館職員)	
収蔵資料展 「サメとっておきの7つのトリビアー」	2010年7月17日(土)～9月26日(日)67日間	入場者数：29,560人
	概要：海の博物館で収蔵している様々なサメの標本や写真資料を紹介した。 展示品：ミツクリザメ 担当：川瀬裕司(分館海の博物館職員)	
海の写真展「写真が語る明治から平成の勝浦」	2010年11月6日(土)～2011年1月30日(日)70日間	入場者数：8,319人
	概要：明治から平成の勝浦市の様子を写真で紹介した。 展示品：勝浦市の生活、漁業、自然等に関する写真パネル約160点。 担当：中村裕明(分館海の博物館職員)	
マリンサイエンスギャラリー 「水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー」	2011年2月26日(土)～6月5日(日)24日間	入場者数：2,344人(～3.31)
	概要：外房の海や川に生息する生きものを紹介した。 展示品：ミヤコタナゴ生体、カツオ剥製、解説パネル 解説書：(A4, 12p) 担当：菊地則雄(分館海の博物館職員) 助成：「海と船の企画展」支援事業 483,630円	

3.3 出前展示

【本館】

期間	会場	出展先	主な展示資料	入場者数	担当
2010.9.13	エコメッセ 2009in ちば	幕張メッセ国際展示場	エコメッセで、展示1ブース分の野鳥と環境の展示をした。	6,000	桑原和之・落合啓二

【大利根分館】

「古い道具とむかしのくらし」

小学3・4年社会科の同名単元に対応し、水郷農家の民具約70点を展示した。(担当：内田龍哉)

期間	開催日数	会場	入場者数
2010年9月8日～9月27日	20	千葉大学教育学部附属小学校	725
2010年9月13日～9月17日	5	旭市立古城小学校	132
2010年9月27日～9月30日	4	匝瑳市立野田小学校	260
2010年9月29日～10月15日	17	市川市立妙典小学校	855
2010年9月30日～10月8日	9	匝瑳市立匝瑳小学校	72
2010年10月15日～10月20日	6	柏市立藤心小学校	455
2010年10月18日～10月19日	2	八街市立交進小学校	431
2010年12月1日～12月15日	15	旭市立中央小学校	718
合計	132		10,389

4. 教育普及

実施概要

4.1 講座・観察会等の年間行事の実施

実施機関	行事の種類	件数	参加者数
本館	講座・観察会	26	1,176
	体験イベント	18	825
	ミュージアム・トーク	125	1,924
	企画展開連行事	39	2,018
	生態園行事	36	2,249
	館外での観察会・見学会	20	588
	小計	164	7,306
房総の山のフィールド・ミュージアム	観察会	14	538
	教室博物館	58	1,004
	おばあちゃんの畑プロジェクト	9	443
	小計	81	1,985
大利根分館	講座・イベント	7	134
	企画展開連行事	4	543
	水塚プロジェクト	4	27
	小計	15	704
大多喜城分館	講座	7	134
	企画展開連行事	3	186
	体験教室	7	117
	小計	17	437
分館海の博物館	講座・観察会（事前申込）	22	217
	講座・観察会（申込不要）	13	548
	体験イベント	23	211
	小計	58	976
合計		335	11,408

4.2 展示観覧プログラムの実施（本館）

	実施日数	利用者数	実施備考
中央博調査隊		819	開館日
森の調査隊	139	2,444	土日祝・夏休期間
合計		3,263	

4.3 学習キットの貸出・提供

	キット数	件数	利用者数	備考
本館	2	10	1,623	貸出型
	1	60	※	※キット提供により利用者数不明
大利根分館	1	7	1,171	貸出型
大多喜城分館				
分館海の博物館	1	43	2,150	貸出型
合計	5	120	4,944	

4.3.2 学習キット製作 3種（本館・大利根分館・分館海の博物館）

	キット名
本館	生命と大地の歴史を体感する化石キット
大利根分館	命を守る施設「水塚」模型キット
分館海の博物館	海藻おしばりキット

4.4 団体・機関の学習支援

	支援内容	件数	人数
本館	中央博調査隊・森の調査隊（対象：学校・子ども）	67	5,189
	学校団体支援（館内学習・出前授業）	49	2,100
	一般団体支援（館内学習・講師派遣等）	161	12,945
	小計	277	20,234
大利根分館	学校団体支援（館内学習・出前授業）	35	1,635
	一般団体支援（館内学習）	4	240
	小計	39	1,875
大多喜城分館	学校団体支援（館内学習・出前授業）	17	543
	一般団体支援（館内学習・講師派遣等）	48	2,427
	小計	65	2,970
分館海の博物館	学校団体支援（館内学習・出前授業）	25	1,500
	一般団体支援（館内学習・講師派遣等）	9	356
	小計	34	1,856
合計		415	26,935

4.5 友の会活動支援（本館）

	件数	参加人数
友の会行事の講師	9	272
会員対象展示解説	12	130
サークル支援	9	95
自主活動支援	45	426
合計	75	923

4.6 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修

		件数	延べ日数	人数
職場体験・職場訪問	本館	26	48	72
	大利根分館			
	大多喜城分館	2	2	13
	分館海の博物館	4	8	12
	小計	32	58	97
インターンシップ	本館	4	17	8
	大利根分館			
	大多喜城分館			
	分館海の博物館			
	小計	4	17	8
博物館実習	本館	1	9	28
	大利根分館			
	大多喜城分館			
	分館海の博物館			
	小計	1	9	28
教員研修	本館	27	28	2672
	大利根分館	1	1	17
	大多喜城分館			
	分館海の博物館	9	9	123
	小計	37	38	2,812
合計		74	122	2,945

4.7 大学非常勤講師 16 件

4.8 専門分野における助言・相談

- ◆学習情報センターにおける質問対応 197 件（本館）
- ◆図書の利用 209 件（本館）
- ◆行政機関・法人の委員受託 38 名 106 件

4.9 ボランティアの受入

	登録者数	活動人数	延べ活動日数
本館	184	131	1,755
分館海の博物館	15	15	157
合計	199	146	1,912

実施詳細

4.1 講座・観察会等の年間行事の実施

本館企画

◆ (1)講座・講演会 参加者 1,626 人 (51 行事)

	開催日	行事名		対象	定員	参加	講師
地学講座	2010.08.07	化石の模型を作ろう 1	事	小～	20	32	加藤
	2010.08.14	恐竜時代の生き物の化石を探そう	事	小～	15	31	伊左治
	2010.08.15	化石の模型を作ろう 2	事	小～	20	16	加藤
	2010.12.18	地形を観るための技能講座 1	事	高～	15	30	岡崎
	2011.01.15	地形を観るための技能講座 2	事	高～	15	29	岡崎
	2011.02.06	地形を観るための技能講座(追加)	事	高～	15	8	岡崎
	2011.02.19	地形を観るための技能講座 3	事	高～	15	17	岡崎
	2011.03.06	岩石薄片をつくろう	事	小3～	20	21	高橋直
	2011.03.19	地形を観るための技能講座 4	事	高～	15	荒天中止	岡崎
動物学講座	2010.05.23	ミツバチと蜂蜜	事	小3～	20	20	宮野
	2010.07.25	昆虫標本の作り方	事	小3～	20	16	斉藤
	2010.11.03	深海の生きものをさわってみよう - 1 東京海底谷の魚文化の日特別企画	事	小～	20	36	宮
	2010.11.07	土壌動物入門 - 生きた土の中の生きものを見る -	事	中～	20	5	萩野
	2010.12.11	深海の生きものをさわってみよう - 2 東京海底谷の無脊椎動物	事	小～	20	23	駒井
植物学講座	2010.04.24	植物形態学入門 I 花	事	高～	20	17	原
	2010.04.25	地衣類の分類 (上級編) 第 1 回	事	中～	10	16	原田
	2010.05.16	地衣類の分類 (上級編) 第 2 回 ※国際博物館の日特別企画	事	中～	10	12	原田
	2010.06.12	きのこの顕微鏡観察入門	事	中～	10	10	吹春
	2010.06.20	地衣類の分類 (上級編) 第 3 回	事	中～	10	5	原田
	2010.07.24	植物形態学入門 II 葉	事	高～	20	15	原
	2010.09.26	地衣類の分類 (上級編) 第 4 回	事	中～	10	13	原田
	2010.10.24	地衣類の分類 (上級編) 第 5 回	事	中～	10	12	原田
	2010.11.14	実とタネの不思議	事	中～	20	17	大野
	2010.11.27	バラの歴史 ～チャイナ・ローズとは～	事	中～	20	29	御巫
	2010.11.28	地衣類の分類 (上級編) 第 6 回	事	中～	10	8	原田
	2010.12.04	コケ植物の見分け方	事	小～	15	12	古木
	2010.12.19	地衣類の分類 (上級編) 第 7 回	事	中～	10	10	原田
	2010.12.23	DNA から見た種子植物の系統	事	中～	25	34	天野
	2011.01.23	地衣類の分類 (上級編) 第 8 回	事	中～	10	9	原田
2011.02.27	地衣類の分類 (上級編) 第 9 回	事	中～	10	13	原田	
	2011.03.26	地衣類の分類 (上級編) 第 10 回	事	中～	10	震災中止	原田
歴史学講座	2010.05.30	房総の江戸時代	事	高～	20	12	安齋
	2010.06.13	石器の観察と分類	事	高～	20	13	田村
	2010.06.27	縄文文化入門	事	高～	20	18	清藤
	2010.09.19	会津藩の江戸湾防備と房総・相模―防備「開始」200 周年にあたって―	当	大人	100	112	筑紫
	2010.10.03	古文書講座 1「近世時代の利根川下流域」	当	大人	100	75	内田
	2010.10.17	古文書講座 2「近世時代の利根川下流域」	当	大人	100	69	内田
	2010.10.31	古文書講座 3 旅日記を読む「江戸時代の名主と歩く上方の旅・上」	当	大人	100	82	筑紫
	2010.11.21	古文書講座 4 旅日記を読む「江戸時代の名主と歩く上方の旅・下」	当	大人	100	84	筑紫
	2010.12.05	古文書講座 5「江戸時代後期の房総を読む」	当	大人	100	80	安齋
考古学講座	2011.02.13	房総の原始・古代(上)	事	高～	20	19	田村
	2011.02.20	房総の原始・古代(下)	事	高～	20	17	清藤
環境科学講座	2011.02.26	花粉を見る・調べる 1	事	中～	5	4	奥田
	2011.03.05	花粉を見る・調べる 2	事	中～	5	5	奥田
環境教育講座	2010.06.20	環境教育ワークショップ「持続可能な社会のための教育」	事	高～	20	1	林浩
	2010.10.16	石仏入門講座	当	中～	200	88	白井
	2010.11.03	徹底解説 自然と人間のかかわり展示室 ※文化の日特別企画	当	中～	15	7	白井
自然誌シンポジウム	2010.07.17	宮部金吾生誕 150 周年記念シンポジウム-日本の藻類学は今!-	当	中～	200	41	古木
協同企画講座	2010.05.22	かずさ DNA 研究所公開講座 第 1 回	事	高～	150	111	一場
	2010.06.05	かずさ DNA 研究所公開講座 第 2 回	事	高～	150	96	安齋

	2010.10.30	千葉学講座 第1回：房総きのこ今・昔匠瑤市木積の藤簍づくり	当	全	200	24	吹春 小林
	2010.11.27	千葉学講座 第2回：藤田喬平のガラスの世界(金田雅成)・江戸・明治期の名所案内と名所土産(渡邊修一)	当	全	200	32	外部講師
	2010.12.18	ラン植物と共生するきのこ	当	全	200	120	吹春

事：事前申込型行事、当：当日参加型行事

対象/小～：小学生以上、小3～：小学校3年生以上、中～：中学生以上、高～：高校生以上、全：年齢制限全

◆(2)体験イベント・バックヤードツアー 参加者 825 人 (18 行事)

	開催日	行事名	対象	定員	参加	担当	
連休 特別企画	2010.05.01	ミュージアム・トーク・本物の化石にさわってみよう	当	全	なし	27	伊左治
	2010.05.02	バックヤードツアー・収蔵庫探検	当	小～	20	32	駒井
	2010.05.03	バックヤードツアー・貝類標本	当	全	20	10	黒住
	2010.05.03	バックヤードツアー・貝類標本	当	全	20	8	黒住
	2010.05.04	石を割ってみよう	当	小～	なし	79	高橋直
県民の日 特別企画	2010.05.05	手形・足形色紙(しきし)作り	当	全	25	18	渋谷・田邊
	2010.06.15	海の男の晴れ姿 万祝(マイワイ)を着てみよう!	当	全	40	31	安齋
	2010.06.15	バックヤードツアー・貝類標本	当	全	20	16	黒住
	2010.06.15	バックヤードツアー・昆虫標本	当	小3～	20	32	斉藤
	2010.06.15	景観を探る	当	中～	15	4	桑原
夏休み 関連行事	2010.07.24	夏休み自由研究相談会	当	小～	なし	24	立川
	2010.08.21	夏休み自由研究相談会	当	小～	なし	86	立川
文化の日 特別企画	2010.11.03	砂で遊ぼう	当	小3～	15	120	岡崎
	2010.11.03	本物の土器をさわってみよう	当	全	なし	230	田村・渋谷・清藤・小林
	2010.11.03	バックヤードツアー・植物標本の作製	当	小～	20	25	御巫
子ども 体験教室	2010.11.03	ドングリで遊ぼう	当	小～	100	53	原田
	2011.02.13	昆虫を顕微鏡で覗いてみよう	事	小～	15	6	直海

事：事前申込型行事、当：当日参加型行事

対象/小～：小学生以上、小3～：小学校3年生以上、中～：中学生以上、高～：高校生以上、全：年齢制限全

◆(3)ミュージアム・トーク 参加者 1,924 人 (125 日実施)

研究員による展示室、生態園、収蔵庫におけるテーマ解説。

毎土日祝(11:00～14:30)実施。対象：小学生以上、定員10名。

開催日	解説場所		解説テーマ	参加	解説
2010.4.1	展示室	企画	雲南の地衣類	8	原田 浩
2010.4.3	展示室	生物	春植物の暮らし	12	大野啓一
2010.4.4	収蔵庫	第5収蔵庫	収蔵庫探検	12	加藤久佳
2010.4.8	展示室	企画	雲南の地衣類	14	原田 浩
2010.4.9	展示室	企画	雲南の地衣類	2	原田 浩
2010.4.10	展示室	生物	房総の森の樹木	10	原 正利
2010.4.11	収蔵庫	液浸収蔵庫	収蔵庫探検	16	駒井智幸
2010.4.14	展示室	企画	雲南の地衣類	14	原田 浩
2010.4.17	展示室	生物	春植物の暮らし	4	大野啓一
2010.4.18	展示室	生物	コケ植物の暮らし	9	古木達郎
2010.4.24	展示室	生物	春の谷津	11	天野 誠
2010.4.25	展示室	第2企画	相模湾の海底をさぐる	15	高橋直樹
2010.4.29	ホール	2階ホール	本物の化石をさわる	55	伊左治慎治
2010.5.1	ホール	2階ホール	本物の化石にさわってみよう	62	伊左治慎治
2010.5.2	生態園	生態園	舟田池のプランクトン	24	林 紀男
2010.5.3	その他	喫茶あおば	はちみちのひみつ	5	宮野伸也
2010.5.4	生態園	生態園	舟田池のプランクトン	39	林 紀男
2010.5.5	展示室	企画	雲南の地衣類	30	原田 浩
2010.5.8	展示室	生物・分類	植物標本の色はなぜ褪せるか?	7	御巫 由紀
2010.5.9	展示室	企画	雲南の地衣類	27	原田 浩
2010.5.15	展示室	地学	アンモナイトのは全	10	浅井秀彦
2010.5.16	展示室	歴史	縄文人の暮らし	30	一場郁夫
2010.5.22	生態園	生態園	生態園の秘密 1	11	奥田昌明
2010.5.23	展示室	生物・分類	千葉の野生生物	16	落合啓二
2010.5.29	生態園	生態園	生態園の秘密 3	6	奥田昌明
2010.5.30	展示室	地学・生物	幻のカエル・タゴガエル	9	大木淳一

2010.6.5	生態園	生態園	カイツブリ大好き	17	大庭照代
2010.6.6	展示室	地学ほか	房総の貝類	26	黒住耐二
2010.6.12	展示室	分類ほか	6月は環境月間です	6	林 浩二
2010.6.13	展示室	歴史	中世房総の海上交通と港	9	筑紫敏夫
2010.6.15	生態園	生態園	カイツブリ大好き	28	大庭照代
2010.6.19	展示室	分類	身近なアリ	9	山口 剛
2010.6.20	展示室	歴史	幕末の房総	10	筑紫敏夫
2010.6.26	展示室	地学	富士山の噴火と房総	7	岡崎浩子
2010.6.27	展示室	生物	コケ植物の生態	6	古木達郎
2010.7.3	ホール	2階ホール	幻のカエル・タゴガエル	34	大木淳一
2010.7.4	展示室	企画	海藻 35 億年の旅	41	宮田昌彦
2010.7.10	展示室	分類	身近なアリ	7	山口 剛
2010.7.11	展示室	歴史	近世房総の幕開け	18	筑紫敏夫
2010.7.17	展示室	歴史	大陸からの贈り物	10	石渡克彦
2010.7.18	生態園	生態園	カイツブリ大好き	8	大庭照代
2010.7.19	展示室	企画	海藻 35 億年の旅	20	宮田昌彦
2010.7.24	展示室	分類	房総のクジラ漁	11	安齋信人
2010.7.25	ホール	2階ホール	幻のカエル・タゴガエル	30	大木淳一
2010.7.31	展示室	地学	展示室の衛星画像	3	小田島高之
2010.8.1	展示室	企画	海藻 35 億年の旅	29	宮田昌彦
2010.8.7	その他	喫茶あおば	雄とめす 一性の起源-	6	宮野伸也
2010.8.8	展示室	地学	ナウマンゾウの話	19	伊左治鎮司
2010.8.14	展示室	かかわり	水辺の野鳥たち	10	桑原和之
2010.8.15	展示室	企画	海藻 35 億年の旅	22	天野 誠
2010.8.21	展示室	歴史	大陸からの贈り物	10	石渡克彦
2010.8.22	展示室	海洋	ビーチロックって石?	32	新和宏
2010.8.28	展示室	植物	植物標本はなぜ色が褪せるか	0	御巫由紀
2010.8.29	展示室	企画	海藻 35 億年の旅	18	宮田昌彦
2010.9.4	展示室	海洋	房総の磯の生物	5	立川浩之
2010.9.5	その他	喫茶あおば	雄と雌一性の起源	1	宮野伸也
2010.9.11	展示室	分類	身近なアリ	4	山口 剛
2010.9.12	展示室	分類	土の中の生き物	2	萩野康則
2010.9.18	展示室	歴史	江戸時代の漁業	9	安齋信人
2010.9.19	展示室	歴史	大陸からの贈り物	7	石渡克彦
2010.9.20	生態園	生態園	水生植物の保全	3	林 紀男
2010.9.20	展示室	かかわり	展示室でのご探検	3	吹春俊光
2010.9.23	展示室	生物	ちばの野生動物	17	落合啓二
2010.9.25	展示室	分類	化石は太古の語りべ	8	新 和宏
2010.9.26	展示室	分類	房総の貝類について	21	黒住耐二
2010.10.2	展示室	歴史	展示室内の仏像について	11	渋谷さゆり
2010.10.3	展示室	生物・分類	ちばの野生動物	4	落合啓二
2010.10.9	展示室	生物・分類	房総半島の磯の生きもの	9	立川浩之
2010.10.10	展示室	歴史	縄文人のくらし	15	一場郁夫
2010.10.11	展示室	生物・分類	房総半島の磯の生きもの	18	立川浩之
2010.10.16	展示室	生物	家の中の昆虫	12	斎藤明子
2010.10.17	展示室	生物	清澄山の生物	8	天野 誠
2010.10.23	展示室	企画	様々な形や色の昆虫たち	30	直海俊一郎
2010.10.24	展示室	地学	展示室の衛星画像	8	小田島高之
2010.10.30	展示室	生物・分類	土の中の生き物	1	萩野康則
2010.10.31	展示室	かかわり	むらの景観	4	白井 豊
2010.11.3	展示室	かかわり	展示室でのご探検	8	吹春俊光
2010.11.3	展示室	地学	ノジュールは化石のタイムカプセル	28	加藤久佳
2010.11.6	展示室	企画	様々な形や色の昆虫たちを見てみよう	35	直海俊一郎
2010.11.7	展示室	歴史	明治初年の房総	7	安齋信人
2010.11.13	収蔵庫	第2・液浸収蔵庫	収蔵庫探検	19	宮 正樹
2010.11.14	収蔵庫	第2・液浸収蔵庫	収蔵庫探検	27	宮 正樹
2010.11.20	展示室	企画	様々な形や色の昆虫たちを見てみよう	50	直海俊一郎
2010.11.21	展示室	生物・分類	土の中の生きもの	8	萩野康則
2010.11.23	収蔵庫	第3収蔵庫	展示室でのご探検	21	吹春俊光
2010.11.27	展示室	地学	千葉県の鉱物	4	高橋直樹
2010.11.28	展示室	生物	谷津の秋の実り	12	天野 誠
2010.12.4	展示室	生物	房総の森の樹木について	3	原 正利

2010.12.5	展示室	かかわり	12月は地球温暖化防止月間です	3	林 浩二
2010.12.11	展示室	企画	指定文化財展展示解説	54	渋谷さゆり
2010.12.12	展示室	かかわり	雑木林のいとなみ	2	大野啓一
2010.12.18	展示室	地学	地層の模様をみよう	18	岡崎浩子
2010.12.19	展示室	企画	指定文化財展展示解説	17	渋谷さゆり
2010.12.23	展示室	生物	街なかのコケ植物	6	古木達郎
2010.12.25	展示室	企画	指定文化財展展示解説	8	渋谷さゆり
2010.12.26	展示室	企画	指定文化財展展示解説	20	渋谷さゆり
2011.1.8	ホール	2階ホールほか	干支にちなむ貝	10	黒住耐二
2011.1.9	展示室	地学・海洋	化石サンゴの語ること	15	新 和宏
2011.1.10	収蔵庫	液浸収蔵庫	収蔵庫探検	17	駒井智幸
2011.1.15	展示室	地学	地層の模様をみよう	13	岡崎浩子
2011.1.16	展示室	地学	アンモナイトのは全	11	浅井秀彦
2011.1.22	展示室	企画	巡回展解説	20	清藤一順
2011.1.23	展示室	企画	巡回展解説	23	田村 隆
2011.1.29	展示室	企画	巡回展解説	3	藤崎芳樹
2011.1.30	展示室	生物	家の中の昆虫	30	斉藤明子
2011.2.5	展示室	企画	房総発掘ものがたり	13	清藤一順
2011.2.6	展示室	企画	房総発掘ものがたり	11	田村 隆
2011.2.11	収蔵庫	第5収蔵庫	収蔵庫探検	20	加藤久佳
2011.2.12	展示室	生物	家の中の昆虫	10	斉藤明子
2011.2.12	展示室	企画	房総発掘ものがたり	9	清藤一順
2011.2.13	展示室	企画	房総発掘ものがたり	16	清藤一順
2011.2.19	展示室	企画	房総発掘ものがたり	10	田村 隆
2011.2.20	展示室	企画	房総発掘ものがたり	16	清藤一順
2011.2.26	展示室	企画	房総発掘ものがたり	10	田村 隆
2011.2.27	展示室	地学	アンモナイトのは全	10	浅井秀彦
2011.3.5	展示室	生物・分類	植物標本の色はなぜ褪せるか？	16	御巫由紀
2011.3.6	展示室	小動物	小動物展示室の秘密	44	倉西良一
2011.3.13	展示室	地学ほか	展示室の衛星画像	2	小田島高之
2011.3.26	展示室	かかわり	東京湾の景観の変貌	22	白井 豊
2011.3.27	展示室	小動物	小動物展示室の秘密	48	倉西良一
2011.3.19	展示室	企画	春の展示解説	19	桑原和之
2011.3.20	展示室	企画	春の展示解説	19	桑原和之
2011.3.21	展示室	企画	春の展示解説	16	桑原和之
2011.3.23	展示室	企画	春の展示解説	8	桑原和之
2011.3.25	展示室	企画	春の展示解説	9	桑原和之

◆ (4)企画展関連行事 参加者 2,018 人 (39 行事)

◇ 春の展示「雲南の地衣類」

開催日	行事名		対象	定員	参加	講師
2010.04.29	講演会「雲南の植生・地衣類」	当	全	200	64	原田 浩
2010.05.05	講演会「雲南の地衣類」	当	全	200	39	原田 浩

◇ 企画展「海藻, 35 億年の旅人-それは, 生命をつたえるものがたり-」

開催日	行事名		対象	定員	参加	講師
2010.7.24-25	潮だまりの海藻	事	小～	10	11	宮田昌彦
2010.07.02	企画展内覧会		招待		52	古木達郎
2010.07.04	海藻で押し葉づくり	事	小～	20	16	宮田昌彦
2010.07.19	海藻で押し葉づくり	事	小～	20	16	宮田昌彦
2010.07.31	とくてんを作って食べよう	事	小+親	10	26	古木達郎
2010.08.01	海藻で押し葉づくり	事	小～	20	17	宮田昌彦
2010.08.08	企画展記念講演会「藻類 30 億年の自然史」	当	中～	200	94	古木達郎
2010.08.15	海藻で押し葉づくり	事	小～	20	20	宮田昌彦
2010.08.29	海藻で押し葉づくり	事	小～	20	43	宮田昌彦
2010.07.03	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	50	35	古木達郎
2010.07.04	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	35	古木達郎
2010.07.10	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	29	古木達郎
2010.07.11	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	49	古木達郎
2010.07.17	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	24	古木達郎
2010.07.18	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	55	吹春俊光
2010.07.19	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	95	吹春俊光
2010.07.24	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	32	古木達郎
2010.07.25	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	72	原田 浩
2010.07.31	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	36	天野 誠
2010.08.01	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	54	古木達郎
2010.08.07	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	39	古木達郎
2010.08.08	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	70	古木達郎
2010.08.14	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	82	吹春俊光
2010.08.15	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	71	天野 誠
2010.08.21	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	55	古木達郎
2010.08.22	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	72	古木達郎
2010.08.28	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	100	52	天野 誠
2010.08.29	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	事	小～	20	79	吹春俊光
2010.09.04	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	50	30	古木達郎
2010.09.05	海藻クイズ「君は海藻を知っているか」	当	小～	50	108	古木達郎

◇ 秋の展示「きらびやかな世界の昆虫たち-多様な形と色彩-」

開催日	行事名		対象	定員	参加	講師
2010.10.02	秋の展示開会式		招待		15	直海俊一郎

◇ 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり 北から西から海路から-房総三万年の交流-」

開催日	行事名		対象	定員	参加	講師
2011.02.11	匂玉づくり	当	全	20	7	田村 隆
2011.02.27	千葉県遺跡調査研究発表会	当	小～	200	362	清藤一順

◇ 春の展示「千葉県野鳥図鑑-水鳥編-」

開催日	行事名		対象	定員	参加	講師
2011.03.20	景観を探る 1「東京湾の景観を探る」	当	中～	50	4	桑原和之
2011.03.21	景観を探る 2「千葉県野鳥図鑑-水鳥編-」	当	中～	50	3	桑原和之
2011.03.26	カモに色つけ	当	小～	50	20	桑原和之
2011.03.26	景観を探る 3「ヘラシギが生活する湿地」	当	中～	50	35	桑原和之

◆(5)生態園行事(観察会・イベント) 参加者 2,249 人 (36 行事)

生態園	開催日	行事名		対象	定員	参加	講師
生態園観察会	2010.04.25	鳥のさえずり-1 夜明けのコーラス	事	小～	30	23	大庭照代
	2010.04.25	鳥のさえずり-2 早朝のさえずり	事	小～	30	15	大庭照代
	2010.04.25	鳥のさえずり-3 とりの声をキャッチしよう	事	小～	30	9	大庭照代
	2010.04.29	とりの声キャッチ名人：初夏に歌う小鳥たち	当	小3～	なし	25	大庭照代
	2010.05.01	とりの声キャッチ名人：初夏に歌う小鳥たち	当	小3～	なし	28	大庭照代
	2010.05.08	とりの声キャッチ名人：初夏に歌う小鳥たち	当	小3～	なし	27	大庭照代
	2010.05.15	とりの声キャッチ名人：初夏に歌う小鳥たち	当	小3～	なし	44	大庭照代
	2010.05.22	アリの観察しよう	当	全	なし	13	山口剛
	2010.08.01	早起き鳥-1 夏の夜明けは気持ちいい	事	小～	30	19	大庭照代
	2010.08.01	早起き鳥-2 カイツブリは朝から大忙し	事	小～	30	11	大庭照代
	2010.08.12	夏の植物	当	中～	30	10	大野啓一
	2010.08.22	夜に鳴く虫	事	小～	10	10	大庭照代
	2010.09.11	コウモリの声を聞いてみよう	事	小～	15	18	落合啓二
	2010.09.25	コウモリの声を聞いてみよう	事	小～	15	15	落合啓二
	2010.10.11	水生植物再生の取り組み紹介	当	全	なし	13	林紀男
	2010.10.30	とりの声キャッチ名人：秋は鳥に鳴く虫がいい	当	小3～	なし	0	大庭照代
	2010.11.03	とりの声キャッチ名人：秋は鳴く虫に鳥がいい	当	小3～	なし	35	大庭照代
	2010.11.03	体験！身近な植物の不思議	当	全	なし	260	原・大野・由良・林浩
	2010.11.06	とりの声キャッチ名人：秋は鳴く虫に鳥がいい	当	小3～	なし	24	大庭照代
	2010.11.11	秋の植物	当	中～	30	12	大野啓一
	2010.11.13	とりの声キャッチ名人：秋は鳴く虫に鳥がいい	当	小3～	なし	14	大庭照代
	2011.03.12	とりの声キャッチ名人 春を告げる鳥たち	当	小3～	なし	震災中止	大庭照代
	2011.03.13	とりの声キャッチ名人 春を告げる鳥たち	当	小3～	なし	震災中止	大庭照代
2011.03.26	とりの声キャッチ名人 春を告げる鳥たち	当	小3～	なし	震災中止	大庭照代	
2011.03.27	とりの声キャッチ名人 春を告げる鳥たち	当	小3～	なし	震災中止	大庭照代	
生態園ギャラリー	2010.05.09	あなたの発見おしえてください(春)	当	小～	なし	19	林浩二
	2010.05.16	あなたの発見おしえてください(春)	当	小～	なし	9	林浩二
	2010.05.29	あなたの発見おしえてください(春)	当	小～	なし	14	林浩二
	2010.10.02	あなたの発見おしえてください(秋)	当	小～	なし	4	林浩二
	2010.10.09	あなたの発見おしえてください(秋)	当	小～	なし	4	林浩二
	2010.10.16	あなたの発見おしえてください(秋)	当	小～	なし	5	林浩二
	2011.03.05	第7回生態園ギャラリー撮影会1	当	小～	なし	5	林浩二
	2011.03.19	第7回生態園ギャラリー撮影会2	当	小～	なし	震災中止	林浩二
連休特別企画	2010.05.02	体験！身近な植物の不思議	当	全	なし	200	原・大野・由良・林浩
	2010.05.03	池のプランクトンをのぞこう	当	全	なし	39	林紀男
	2010.05.03	体験！身近な植物の不思議	当	全	なし	280	原・大野・由良・林浩
	2010.05.04	大集合！生態園のケモノたち	当	全	なし	408	落合・山口
	2010.05.05	大集合！生態園のケモノたち	当	全	なし	534	落合・山口
国際博物館の日 特別企画	2010.05.13	春の植物	当	中～	30	13	原正利
県民の日 特別企画	2010.06.15	あなたの発見おしえてください(夏)	当	小～	なし	57	林浩二
	2010.11.03	舟田池の水辺を歩こう	当	全	なし	33	林紀男

◆ (6)館外での観察会・見学会 参加者 588 人 (20 行事)

	開催日	行事名		対象	定員	参加	場所	講師
地学野外観察会	2010.10.30-31	県外岩石観察会 4「大谷石のふるさとをたずねる」	事	小～	20	18	宇都宮市	高橋直
	2010.07.25	鋸山(千畑層)の化石	事	小～	25	55	鋸南町	伊左治
	2010.08.08	海岸で石ころをひろおう	事	小～	30	20	鴨川市	高橋直
	2010.09.26	栃木県葛生地方の地質と化石	事	小～	25	28	栃木県葛生地方	加藤
	2010.10.30-31	県外岩石観察会 4「大谷石のふるさとをたずねる」	事	小～	20	18	宇都宮市	高橋直
	2011.03.21	銚子の化石と地質	事	中～	20	震災中止	銚子市	岡崎
動物観察会	2010.06.05	海岸で貝を探そう	事	小3～	20	14	千葉市	黒住
	2010.08.08	夏の昆虫を探してみよう	事	小～	15	15	市原市	直海
	2010.09.04	地びき網でとれる砂浜の生きもの	事	小～	80	83	九十九里町	駒井
植物観察会	2010.04.29	春の植物観察会	事	小～	30	37	いすみ市	天野
	2010.10.03	アカマツ林のきのこ	事	小～	20	25	栄町(房総のむら)	吹春
	2010.11.03	秋の植物観察会	事	小～	30	30	いすみ市	天野
	2010.11.20	山地のコケ植物	事	小～	15	8	君津市	古木
環境科学講座	2010.05.16	東京湾三番瀬の生きもの	事	小～	40	49	船橋市	林紀
国際博物館の日特別企画	2010.05.16	地質の日 -勝浦周辺の地質-	事	中～	20	15	勝浦市・大多喜町	岡崎・高橋直・伊左治
夏休み関連行事	2010.07.29	印旛沼水生植物再生の現場を歩く	事	中～	20	22	成田市(印旛沼)	林紀
共催：里山観察会	2010.07.03	里山の甲虫	事	小3～	20	16	栄町 房総のむら	斉藤
	2010.09.25	里山のきのこ	事	小～	30	20		吹春
	2010.11.13	晩秋の植物観察	事	小～	20	13		由良
共催：歴博くらしの植物苑観察会	2010.09.25	江戸時代のバラ	当	全	0	43	佐倉市	御巫
	2010.10.23	佐倉城址の秋の植物	当	全	0	59	歴博	原

房総の山のフィールド・ミュージアム企画

◆(1)観察会 参加者 538 人 (14 行事)

	開催日	行事名		対象	定員	参加	場所	講師
山の学校	2010.04.17	山の学校 73 晩春の山の生きもの	当	全	40	荒天 中止	君津市	大木
	2010.05.15	山の学校 74 初夏の里の生きもの	当	全	40	28	君津市	尾崎
	2010.06.19	山の学校 75 川の生きもの 1	当	全	40	荒天 中止	君津市	尾崎
	2010.07.17	山の学校 76 川の生きもの 2	当	全	40	206	君津市	尾崎
	2010.08.21	山の学校 77 川の生きもの 3	当	全	40	137	君津市	尾崎
	2010.09.18	山の学校 78 初秋の里の生きもの	当	全	40	39	君津市	江口
	2010.10.16	山の学校 79 秋の山の生きもの	当	全	40	18	清和県民 の森	尾崎
	2010.11.20	山の学校 80 晩秋の里の生きもの	当	全	40	14	君津市	尾崎
	2010.12.18	山の学校 81 冬の山の生きもの	当	全	40	13	君津市	尾崎
	2011.01.15	山の学校 82 冬の里の生きもの	当	全	40	16	君津市	尾崎
2011.02.19	山の学校 83 早春の山の生きもの	当	全	40	8	君津市	加藤	
2011.03.19	山の学校 84 春の里の生きもの	当	全	40	震災 中止	君津市	島立	
房総の山 の観察会	2010.05.16	小櫃川をのぼる 5	事	中～	20	13	木更津市	江口
	2010.7.18-19	夏の山の昆虫	事	小+親	20	14	君津市	尾崎
	2010.09.05	小櫃川をのぼる 6	事	中～	20	8	君津市	江口
	2010.12.05	小櫃川をのぼる 7	事	中～	20	10	君津市	江口
	2011.02.20	小櫃川をのぼる 8	事	中～	20	14	君津市	江口
	2011.03.12	トウキョウウサンショウウオ観察会	事	小3～	20	震災 中止	木更津市	

◆(2)教室博物館 総入場者数 1,004 人 (58 日間)

小学校の教室に博物館を開き、地域住民の協力により資料収集・調査活動を実施。(入場無料)

月	君津市立三島小学校		君津市立坂畑小学校	
	開館日数	利用者数	開館日数	利用者数
4 月	5	45	2	59
5 月	5	114	1	7
6 月	4	83	1	10
6 月	0	0	0	0
8 月	4	4	1	1
9 月	5	132	0	0
10 月	5	170	1	20
11 月	4	67	1	4
12 月	4	65	1	16
1 月	4	50	1	10
2 月	3	42	2	67
3 月	4	38	0	0
小計	47	810	11	194

三島小学校 毎週金曜日、11:00～16:30

◆(3)おばあちゃんの畑プロジェクト 参加者数 443 人 (9 行事)

房総丘陵において、博物館と地元グループが協同して「在来の農作業」をテーマにした活動を実施。

開催日	行事名	参加者数
2010.04.11	4 月の畑の作業日	15
2010.04.25	苗代づくり	8
2010.04.30	苗代づり (種まき)	6
2010.05.02-03	「GW 手作り体験館」での種子の頒布など (久留里での展示)	250
2010.05.09	5 月の畑作業の日	12
2010.06.13	6 月の作業日 (田植えとサナブリ)	47
2010.07.11	7 月の畑の作業日	13
2010.08.08	夏の収穫祭	60
2010.09.12	9 月の作業日 (稲刈り)	32

大和根分館企画

◆(1)講座・イベント 参加者 134 人 (7 行事)

夏休み子ども教室

行事名	申込	参加対象	定員	開催日	参加者数
ザリガニ釣り	当日申込	小学生以上	各 200	2010.7.18	18
				2010.7.25	24
				2010.8.1	21
				2010.8.8	27
				2010.8.15	16
竹のおもちゃ作り	事前申込	小学生以上	各 40	2010.7.24	14
				2010.8.21	14

◆(2)企画展関連行事 参加者 543 人 (4 行事)

企画展「箕ーその世界ー」

開催日	行事名	申込	参加対象	定員	参加者数
2010.5.29	解説会	当日	一般	なし	6
2010.6.6	解説会	当日	一般	なし	12
2010.6.19	解説会	当日	一般	なし	28
2010.6.13	匝瑳市木積の箕藤箕づくり実演	当日	一般	なし	497

◆(3)川のフィールドミュージアム 水塚プロジェクト「水塚調査隊」 参加者 27 人 (4 日間)

香取市十六島地区において、学芸員と参加者が協同で水塚の分布・計測・聴き取り調査を実施。

小学生以上、定員 120 名

行事名	開催日	参加者
水塚調査隊	2010.9.26	7
	2010.10.31	7
	2010.11.28	7
	2010.12.19	6

大多喜城分館企画

◆(1)講座 参加者 134 人 (7 行事)

(対象一般・事前申込、定員 40 名)

	開催日	行事名	参加者	講師
博物館セミナー 「大多喜城を学ぶ」	2010.7.8	大多喜城のきのこ観察	11	吹春俊光
	2010.8.26	里見氏と大多喜城	21	岡田晃司 (外部講師)
	2010.11.18	江戸を支えた大多喜の山	16	尾崎晃 (外部講師)
	2011.3.5	大多喜城発掘調査の成果	35	寺門義範(外部講師) 小高春雄(外部講師)
博物館セミナー 「古文書講座」	2010.12.2	家中役替帳	19	高橋覚
	2011.1.13	塩田家文書	15	安齋信人
	2011.2.3	百姓身持教訓	17	渡辺善司 (外部講師)

◆(2)企画展関連行事 参加者 186 人 (3 行事)

企画展「武と華やぎの装い」(対象一般・事前申込、定員 40 名)

開催日	行事名	参加者	講師
2010.10.30	演奏会 ピアノ三重奏による日本の調べー心の歌・ふるさとの調べー	110	演奏：ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉・ 大多喜町合唱団
2010.11.14	講演会「江戸モードの革命ー17世紀の小袖意匠の変遷ー」	25	
2010.11.27	企画展衣服着装講演会	51	

◆(3)体験教室「甲冑の試着」 参加者 117 人、7 回実施

(対象小中学生・一般、当日申込)

開催日	定員	参加者数
2010.4.25	20	21
2010.5.5	20	21
2010.6.15	20	12
2010.10.3	20	21
2010.11.3	20	21
2010.12.18	20	9
2011.2.11	20	12

分館海の博物館企画

◆ (1)事前申込の講座・観察会 参加者 217 人 (22 行事)

	開催日	行事名	対象	定員	参加者	場所	講師
講座	2010.4.24	共生エビの世界	一般	各 20	6	館内	奥野
	2010.5.4	共生エビの世界	一般		8	館内	奥野
	2010.4.29	ウミウシを観察しよう	小～	20	20	館内	立川
	2010.6.27	海と昔の勝浦の生活 (昔の漁業と観光)	一般	20	15	館内	中村
	2010.8.21	海を見つめる画家たち-館山・布良と青木繁-	一般	20	20	館内	大久保
	2010.6.6	環境学習講座	一般		9	館内	菊地
	2010.6.13	環境学習講座	一般		9	館内	菊地
	2010.6.20	環境学習講座	一般		9	館内	菊地
	2010.7.3	環境学習講座	一般		8	館内	菊地
	2010.7.4	環境学習講座	一般		8	館内	菊地
	2010.7.22	環境学習講座	一般		8	茂原市	菊地
	2010.8.28	環境学習講座	一般		6	館内	菊地
2010.8.29	環境学習講座	一般		6	館内	菊地	
観察会 ※	2010.4.29	ウミウシを観察しよう	小～	20	20	博物館前の磯	立川
	2010.5.1	親子で磯の生きものを探そう 1	小+保	20	23	博物館前の磯	川瀬
	2010.4.25	春の鶴原理想郷で植物を観察しよう	一般	15	10	鶴原理想郷	菊地
	2010.5.29	親子で磯の生きものを探そう 2	小+保	20	17	博物館前の磯	村田
	2010.5.16	海辺にエビ・カニを訪れる会	小～	20	8	博物館前の磯	奥野
	2010.10.17	秋の鶴原理想郷で植物を観察しよう	一般	15	5	鶴原理想郷	奥野
	2010.5.23	鶴原理想郷をめぐる美術・文学・歴史の探訪	一般	20	2	鶴原理想郷	大久保
	2010.10.10	鶴原理想郷とその周辺の歴史と文化を探訪しよう	小～	25	0	鶴原理想郷	中村
2011.3.21	海藻を観察しよう	中～	20	震災中止	博物館前の磯	菊地	

※海のフィールドミュージアム事業

◆ (2)当日参加の観察会・イベント 参加者 548 人 (13 行事) (3才以上)

行事名	場所	定員	開催日	参加	講師
フィールドトリップ 磯・いそ探検隊 (海のフィールドミュージアム事業)	鶴原理想郷	各 15	2010.4.3	16	菊地
			2010.5.2	35	中村
			2010.6.15	18	菊地
			2010.7.25	22	奥野
			2010.8.8	45	奥野
タッチプール	館内飼育室	各 40	2010.5.5	48	村田
			2010.8.9	47	村田
			2010.8.11	56	川瀬
			2010.8.13	64	村田
			2010.8.14	67	川瀬
博物館探検隊	館内バックヤード	各 15	2010.8.15	73	奥野
			2010.5.3	37	菊地
			2010.11.3	20	中村

◆(3)工作・体験イベント 参加者 211 人、23 行事

◇みんなで工作 (3才以上、定員15、館内)

行事名	開催日	参加
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	2010.8.16	16
エコデコイ「こがもちゃん」の色塗り	2010.7.19	12
	2010.8.7	16
コーラルプリントをしよう	2010.8.1	25

◇海の体験コーナーイベント (一般、定員6、館内)

行事名	開催日	参加
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	2010.5.8	6
	2010.9.25	9
	2010.12.18	14
	2011.2.19	10
コーラルプリントをしよう	2010.4.17	8
	2010.9.11	10
	2010.11.20	3
	2011.2.5	6
	2010.4.4	11
微小貝を探そう	2010.6.19	7
	2010.11.6	1
海藻おしばを作ろう	2011.1.22	6
	2011.3.26	3
	2011.5.22	7
	2011.12.4	2
シラスを調べよう	2011.3.5	4
	2010.6.5	7
	2011.1.8	9

4.2 展示観覧プログラムの実施 (本館)

◆(1)本館展示の観覧プログラム 参加者 819 人

ワークシート「中央博調査隊」「おきにいり新聞」「博物館めぐりえ」「おえかきっこ」による観覧。対象：子ども・個人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	37	87	54	118	143	97	44	87	33	51	57	11	819

◆(2)生態園：森の調査隊 参加者 2,444 人、139 日実施

ワークシートによる観覧。対象：子ども・個人。土日祝および夏休み期間中の平日開園日に実施。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	9	13	8	17	26	10	11	10	9	9	9	8	139
人数	278	331	183	135	328	115	159	326	139	137	180	133	2,444

4.3 学習キットの貸出・提供

本館

◆(1)標本・学習キットの貸出 (10 件 1,623 人)

キット名	貸出期間	貸出先	利用者数	対象
哺乳類標本	2010.06.27	大網白里町立増穂中学校	121	中学生
	2010.07.02	千葉市立小仲台中学校	27	中学生
	2010.07.02	日本女子大学	150	大学生
	2010.09.05	市川市立高谷中学校	130	中学生
	2010.10.08	浦安市立美浜中学校	144	中学生
水学習キット	2010.07.16	船橋東部公民館	40	
	2010.07.27	鎌ヶ谷市	46	
	2010.08.24	八千代市環境保全課環境政策室	17	子ども
	2010.08.29	千葉県環境生活部環境制作室/ (財) 千葉県環境財団	18	指導者
	2010.09.05	千葉県環境研究センター	930	一般

◆(2)野草カードの提供 (60 件)

提供先	幼稚園	小学校	中学校	高校	特殊支援学校	大学	その他	合計
県内	0	21	20	0	2	2	0	45
県外	1	3	8	1	0	0	2	15
合計	1	24	28	1	2	2	2	60

大利根分館 (7 件、1,171 人)

キット名	貸出期間	貸出先	利用者数
古い道具とむかしのくらし	2010.6.1~7.1	東庄町立石出小学校	131
	2010.6.13~9.19	匝瑳市立豊栄小学校	278
	2010.10.1~10.16	旭市立干潟小学校	322
	2010.11.5~2011.2.7	東庄町立石出小学校	134
	2010.11.20~12.1	香取市立湖東小学校	58
	2011.1.21~2.5	香取市立北佐原小学校	147
	2011.1.25~2.5	香取市立新島小学校	101
	合計		1,171

分館海の博物館 (43 件 2,150 人)

キット名	貸出日	貸出先	利用者数
磯観察キット	2010.5.2	親子で磯の生きものを探そう 1	23
	2010.5.3	磯・いそ探検隊	18
	2010.5.3	磯・いそ探検隊	17
	2010.5.17	海辺にエビ・カニを訪れる会	8
	2010.5.18	小金井市立前原小学校	118
	2010.5.20	小金井市立東小学校	89
	2010.5.22	勝浦市立清海小学校	10
	2010.5.29	星美学園小学校	133
	2010.5.30	国立科学博物館ボランティア「ふ～し～の会」	9
	2010.5.30	親子で磯の生きものを探そう 2	17
	2010.5.30	勝浦市立興津小学校	93
	2010.5.31	生命のにぎわい調査団現地研修会	49
	2010.6.4	小金井市立第四小学校	114
	2010.6.11	勝浦市立清海小学校	10
	2010.6.12	いすみ市立長者小学校	31
	2010.6.13	勝浦市教育委員会「磯の生き物探訪」	36
	2010.6.16	磯・いそ探検隊	18
	2010.6.25	勝浦市立総野小学校	29
	2010.6.26	千葉県高等学校理科部会	8
	2010.6.27	長生高等学校理数科	5
	2010.6.30	大多喜町立西畑小学校	29
	2010.7.2	学芸大学付属小金井小学校	167
	2010.7.15	茂原市立緑ヶ丘小学校	40
	2010.7.16	香取市立小見川小学校	41
	2010.7.25	千葉県夏休みサイエンススクール	41
	2010.7.26	磯・いそ探検隊	22
	2010.7.26	磯・いそ探検隊 (臨時)	22
	2010.7.28	千葉県立岬高等学校	15
	2010.7.29	市原市津公民館	38
	2010.7.29	勝浦市立清海小学校	10
	2010.8.9	磯・いそ探検隊	20
	2010.8.9	磯・いそ探検隊 (臨時)	25
	2010.8.10	埼玉県立熊谷西高等学校	36
	2010.8.11	千葉県総合教育センター	27
	2010.8.12	千葉県立長生高等学校	6
	2010.8.13	勝浦市教育委員会	28
	2010.8.26	いすみ市教員研修会	5
	2010.9.29	勝浦市立清海小学校	10
	2010.5.15	板橋区立天津わかしお学校 ※出前	39
	2010.5.16	豊島区立竹岡健康学園 ※出前	24
	2010.5.29	御宿町立御宿小学校 ※出前	274
	2010.6.5	勝浦市立豊浜小学校 ※出前	96
	2010.8.17～8.28	総合教育センターにて展示	300

4.3.2 学習キットの製作

千葉県立博物館合同企画事業「授業に役立つ県立博物館プロジェクト」において学習キットを製作した。

	キット名	点数
本館	生命と大地の歴史を体感する化石キット	基本セット 6、発展セット 1
大根分館	命を守る施設「水塚」模型キット	1
分館海の博物館	海藻おしばりキット	個々で使用する道具 20 組、共同で使用する道具 2 組

4.4 団体・機関への学習支援

※ 詳細は、巻末資料を参照ください。

本館

◆(1)中央博調査隊・森の調査隊 67 団体 5,189 人

学校等子ども団体対象のワークシート等を用いた、観覧プログラム。

プログラム	実施場所	学校	件数	参加者数
中央博調査隊	本館展示室	幼稚園・保育所	1	27
		小学校	8	549
		特別支援学校	1	23
		子ども団体	0	0
		その他	2	36
		小計	12	635
森の調査隊	生態園	幼稚園・保育所	8	228
		小学校	39	4,053
		中学校	1	52
		特別支援学校	1	22
		子ども団体	6	199
		その他	0	0
		小計	55	4,554
合計			67	5,189

◆(2)学校団体支援 49 件 2,100 人

◇館内学習（見学プログラム、講座・観察会、展示・収蔵庫の解説）・出前授業

学校	館内学習			出前事業（館外実施）			合計		
	校数	件数	参加者数	校数	件数	参加者数	校数	件数	参加者数
小学校	1	2	40	5	5	604	7	644	
中学校	3	2	299	1	1	23	3	322	
高校	5	7	157	6	8	181	15	338	
特別支援学校	2	4	44	3	3	55	7	99	
大学	9	14	259	8	5	438	19	697	
合計		27	797		22	1,301		49	2,100

※ 非常勤講師による授業を含む。

◆(3)一般団体支援 160 件 12,875 人

支援内容		団体数	件数	参加者数
館内実施	講座・観察会・解説	12	15	591
	外部主催行事の講師	22	28	1,067
	学会・研究会の開催	9	17	646
	小計	35	60	2,304
館外実施（講師派遣）	県内	59	76	4,632
	県外	22	24	5,939
	小計	81	101	10,671
合計		113	160	12,875

大和分館

◆(1)学校団体支援 34件 1,635人

支援内容	学校	校数	件数	参加者数
展示解説	幼稚園	1	1	48
	小学校	29	33	1,587
合計		30	34	1,635

◆(2)一般団体支援 4件 240人

支援内容	団体数	件数	参加者数
展示解説	4	4	240

大多喜城分館

◆(1)学校団体支援 17件 543人

館内実施（見学・解説・甲冑試着体験・調べ学習）・出前授業

支援内容	学校	校数	件数	人数
館内実施	小学校	6	7	190
	中学校	4	6	121
	高校	1	1	53
	専門学校	1	1	74
	小計	12	15	438
出前授業	小学校	2	2	175
	小計	2	2	105
合計		14	17	543

◆(2)一般団体支援 37件 1,092人

歴史教室（見学・解説・甲冑試着体験）・講師派遣

支援内容	団体数	件数	人数	
歴史教室（館内実施）	大多喜城概要説明	29	37	1,218
	企画展解説	5	5	247
	大多喜城見学・甲冑試着	3	3	481
	小計	37	45	1,946
講師派遣（館外実施）	県内	3	3	481
	小計	3	3	481
合計		40	48	2,427

分館海の博物館

◆(1)学校団体支援 25件 1,500人

野外実習授業（実施場所：館前の磯・依頼先海岸における観察）

学校	校数	件数	参加者数
小学校	17	21	1,407
中学校			
高校	3	4	93
大学			
特別支援学校			
合計	20	25	1,500

※ 海のフィールドミュージアム事業

◆(2)一般団体支援 12件 541人

団体フィールド・トリップ（実施場所：館前の磯・依頼先海岸における観察）

団体種別	団体数	件数	参加者数
博物館・公民館・市民大学	3	3	114
自治体・教育委員会	4	5	160
NPO			
その他	1	1	82
合計	8	9	356

4.5 友の会活動支援

◆(1)友の会企画行事講師 9回 272人

開催日	行事名	人数	講師	場所	場所
2010.04.25	総会(見学会)	80	浅井秀彦	本館	講堂
2010.5.16-17	スマレの女王「サクラスマレ」に出会う旅	33	天野 誠	県外	山梨県(野辺山・清里)
2010.06.13	丹沢の化石と地層の観察会	23	加藤久佳	県外	神奈川県山北町皆瀬川
2010.07.16	第2回自然観察会:雲上の観察会~富士山お中道のシャクナゲのトンネルを歩こう~	40	中村俊彦	県外	山梨県(富士山五合目)
2010.07.17	青葉の森の虫さがし	16	宮野伸也	県内	青葉の森公園
2010.10.17	房総・化石と地層の観察会	49	伊左治鎮司・加藤久佳	県内	君津市市宿(鎌滝建材第二工場)
2010.11.28	五日市の化石と地層の観察会	25	加藤久佳	県外	東京都あきる野市五日市町
2010.5.22-23	来年度の野外観察会の下見	4	尾崎煙雄	県外	長野市(戸隠森林植物園、奥裾花自然園)
2010.10.08	来年度の野外観察会の下見	2	天野 誠	県内	市原市大久保周辺

◆(2)会員対象展示解説 12回 130人

開催日	行事名	人数	解説	解説場所
2010.4.14	春の展示「雲南の地衣類」の解説	14	原田 浩	企画展示室
2010.05.12	生態園トビックス展「生態園の植物・四季のみどころ」解説会	8	奥田昌明	生態園オリエンテーションハウス
2010.06.09	第2収蔵庫見学(貝類)	12	黒住耐二	第2収蔵庫
2010.07.14	企画展「海藻、35億年の旅人」解説	28	宮田昌彦	企画展示室
2010.8.11	房総の歴史展示室の解説	8	田村 隆	房総の歴史展示室
2010.9.8	生態園トビックス展「まちのコウモリ」の解説	9	落合啓二	生態園オリエンテーションハウス
2010.10.13	秋の展示「きらびやかな世界の昆虫たち」の解説	9	直海俊一郎	企画展示室
2010.11.10	図書室見学「図書室の業務について」	6	友田暁子	図書室
2010.12.8	自然と人間のかかわり展示室	6	林 浩二	自然と人間のかかわり展示室
2011.1.12	第5収蔵庫(岩石・鉱物)の案内	11	高橋直樹	第5収蔵庫
2011.2.9	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」の解説	10	清藤一順	企画展示室
2011.3.9	小動物展示室の解説	9	倉西良一	小動物展示室

◆(3)コケサークル観察会講師 9回 95人

開催日	行事名	人数	講師	場所	場所
2010.04.22	コケサークル研修会(第26回)	13	古木達郎	県内	千葉市泉自然公園
2010.07.05	コケサークル研修会(第28回)	13	古木達郎	県外	山梨県富士山
2010.08.27	コケサークル研修会(第29回)	10	原田 浩	県外	山梨県富士山
2010.9.4-5	コケサークル研修会(第30回)	8	原田 浩	県外	栃木県日光市奥鬼怒
2010.10.17	コケサークル研修会(第31回)	12	古木達郎	県内	佐倉市(佐倉城址公園)
2010.12.15	コケサークル研修会(第32回)	6	原田 浩	県内	勝浦市(長福寺)
2011.01.19	コケサークル研修会(第33回)	5	原田 浩	県内	鴨川市(清澄山)
2011.02.12	コケサークル研修会(回次なし)	13	原田 浩	本館	研修室
2011.02.17	コケサークル研修会(第34回)	15	古木達郎	本館	研修室

◆(4)ヒスイの会(岩石勉強会) 45回 426人

開催日	行事名	人数	講師	場所	場所
2010.4.2-2011.3.25	岩石勉強会(44回)	414	高橋直樹	館内	研修室・地学標本制作室
2010.04.22	荒川河床礫採集会	12	高橋直樹	埼玉県寄居町	埼玉県寄居町

4.6 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修

【本館】

実施内容	対象	校数	件数	日数	人数	備考
職場体験	中学生	25	26	48	72	研究部各科で各校1～2日間の受入
インターンシップ	高大生	7	4	17	8	生態園業務、標本整理、図書整理
博物館実習	大学生	22	1	9	28	期間：2010年8月18日～26日
教員研修	教員	10	27	28	2,672	
合計		64	58	102	2,780	

◇博物館実習カリキュラム

	実習内容
1日目	開講式（館長） 講義「中央博物館のあゆみ」（宮野伸一） 館内見学
2日目	講義「研究活動」（岡崎浩子） 班別実習（各科対応）
3日目	講義「資料の収集、管理について」（斉藤明子） 班別実習（各科対応）
4日目	講義「常設展・企画展示について」（田村 隆） 班別実習（各科対応）
5日目	講義「フィールド・ミュージアムの活動」（尾崎煙雄） 班別実習（各科対応）
6日目	自宅研修
7日目	展示学習プログラム「展示室実習ワークシート作成」（教育普及課職員・体験交流員）
8日目	講義「生態園の活動」（大庭照代） 展示学習プログラム「展示室実習ワークシート作成」（教育普及課職員・体験交流員）
9日目	講義「博物館の現状」（新 和宏） 学校連携プログラム「野草カード」実習（天野 誠） 閉講式（館長）・交流会

【大利根分館】

実施内容	対象	団体数	件数	日数	人数	備考
教員研修	教員	1	1	1	17	
合計		1	1	1	17	

【大多喜城分館】

実施内容	対象	校数	件数	日数	人数	備考
ゆめ・仕事びったり体験	小学生	1	1	1	2	
職場体験	中学生	1	1	1	11	
合計		2	2	2	13	

【分館海の博物館】

実施内容	対象	校数	件数	日数	人数	備考
職場体験	小中学生	3	4	8	12	
教員研修	教員	6	9	9	123	博物館職員研修 1 件を含む
合計		9	13	17	135	

※ 詳細は、巻末資料を参照ください。

4.7 大学非常勤講師 16 件

職員名	受託先	講義名	受託期間
中村俊彦	千葉大学理学研究科	景相保全生態学	2010.4.1-2011.3.31
宮野伸也	放送大学		2010.10.1-2011.3.31
高橋直樹	千葉工業大学	一般教養科目「地球科学」	2010.4.1-2011.3.31
伊左治鎮司	千葉大学理学部	博物館実習 A	2010.4.12-2011.9.30
宮 正樹	千葉大学大学院理学研究科	客員准教授	2010.4.1-2011.3.31
吹春俊光	京都大学総合人間学部	生物学実習	2010.4.1-2011.3.31
斉藤明子	千葉大学教育学部	生物学実験	2009.5.1-2011.3.26
御巫由紀	千葉大学		2010.4.1-2011.3.31
原 正利	千葉大学大学院理学研究科	客員准教授	2010.4.1-2011.3.31
原 正利	国立歴史民俗博物館	客員教授	2010.4.1-2011.3.31
尾崎煙雄	千葉大学理学部	生態学野外実験	2010.8.30-2010.9.2
加藤久佳	日本女子大学	博物館実習	2010.4.1-2011.3.31
江口誠一	千葉大学理学部	博物館実習	2010.4.1-2011.3.31
林 紀男	東邦大学理学部		2010.4.1-2011.3.31
大野啓一	千葉大学大学院園芸学研究科	緑地科学特別講義 2	2010.4.14-2011.3.25
落合啓二	千葉大学教育学部	「環境と生態」	2010.4.1-2010.9.30

4.8 専門分野における助言・相談対応

◆(1)学習情報センターにおける質問対応（本館） 197 件

標本同定	写真同定	その他	合計
102	24	71	197

◇②回答過程で提示した資料

図書	標本資料	展示資料
123	22	9

◆(2)図書の利用（本館） 109 件

利用	件数	冊数・枚数
書庫の図書の閲覧	21	106 冊
コピー	88	1,068 枚

◇②図書の開架冊数

閲覧コーナー 2,015 冊／体験学習室 1,148 冊／合計 3,163 冊

◆(3)委員受託（教育・文化財保護・自然保護等） 38 名 106 件

◇内訳（受託先別）

受託先	国	千葉県	県内	県外	その他	合計
本館	19	24	30	7	16	96
大利根分館			2	1		3
大多喜城分館			2			2
分館海の博物館		1	2		1	1
合計	19	25	36	9	17	106

◇内訳（分野別）

分野	博物館	教育	文化財保護	自然保護	学術	合計
本館	14	3	5	58	16	96
大利根分館	1				2	2
大多喜城分館			1		1	1
分館海の博物館	1		1	3		4
合計	16	3	7	61	19	106

※ 詳細は、巻末資料を参照ください。

4.9 ボランティアの受入

本館

◆(1)登録・活動状況

平成 22 年度登録者	194 人
延べ活動日数	1,788 人日

◆(2)活動内訳

名称	登録者数	活動者数	延べ活動日数	内容
展示室ボランティア	45	27	607	常設展示室で展示解説、体験学習室での学習をサポート
生態園パートナー	23	15	122	生態園来園者の自然観察をサポート（森の調査隊・自然観察パートナー・野鳥・生態園企画）
資料整理ボランティア	40	39	536	博物館資料の整理・保存をサポート（活動分野：岩石・化石・昆虫・貝・哺乳類・維管束植物・菌類・地衣類）
講座・観察会・イベントボランティア	36	35	193	当館行事（講座・観察会・イベント）をサポート（活動分野：地学）
調査・研究ボランティア	38	38	279	重点調査（いすみ・大多喜植物調査ボランティア、地学）
房総の山の観察会サポーター	10	6	20	房総の山のフィールド・ミュージアムでの観察会をサポート
「おばあちゃんの畑」プロジェクト活動支援パートナー	2	2	31	「おばあちゃんの畑」プロジェクトの活動サポート
合計	194	162	1,788	

◆(3)展示室別活動状況

展示室	人数	延べ活動日数
体験学習室・案内所	8	184
地学展示室	5	95
生物展示室	3	62
分類・海洋展示室	2	6
歴史展示室	7	224
人と自然のかかわり展示室	2	36

分館海の博物館

◆(1)登録・活動状況

平成 22 年度登録者	13 人
延べ活動日数	112 人日

◆(2)活動内訳

名称	活動人数	人日	内容
講座・観察会・イベントボランティア	5	44	当館で実施する講座・観察会・イベントをサポート
調査研究ボランティア	3	33	調査・研究に用いる器材の整理をサポート
資料整理ボランティア	5	35	博物館資料の保存・管理をサポート

5. 情報発信

実施概要

5.1 出版・印刷

発行点数

解説書・研究報告・会報	行事事案内	企画展解説書	ポスター・ちらし	解説シート	合計
23	6	4	18	13	64

5.2 デジタルミュージアムの公開

5.2.1 新規公開 3本（本館）

5.2.2 番組総数 31本

5.3 Webによる発信

5.3.1 Webアクセス件数

	平成22年度	(平成21年度)	(平成20年度)
本館	107,619	118,862	135,998
大利根分館	17,456	21,949	22,072
大多喜城分館	31,630	38,070	32,658
分館海の博物館	72,101	70,477	68,025
合計	228,806	249,358	258,753

5.3.2 Web更新

更新回数	新規作成ページ数	更新ページ
278回	1,773ページ	703ページ

5.3.3メルマガ配信数（毎月配信）

発行	(平成23年3月末現在)
本館・大利根分館・大多喜城分館	1,412
山FM*	882
分館海の博物館	941
合計	3,235

*房総の山のフィールド・ミュージアム

5.4 マスコミを通じての発信（メディアへの発信）

5.4.1 マスコミへの行事情報の発信 181件

5.4.2 職員の取材対応 169件

	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ
本館	62	65
大利根分館	7	2
大多喜城分館	4	4
分館海の博物館	16	9
合計	89	80

5.4.3 メディア掲載 315件

	情報誌	新聞・雑誌	新聞連載
本館		74	47
大利根分館		6	0
大多喜城分館		5	0
分館海の博物館		10	33
合計	140	95	80

実施詳細

5.1 出版・印刷

5.1.1 刊行物（年報・会報・研究報告・資料解説）

発行	名称	サイズ	頁	部数
共通	Natural History Research. Vol.11 No.1	B5	52	850
	Natural History Research. Vol.11 No.2	B5	36	850
	千葉県立中央博物館自然誌研究報告 第11巻 第1号	B5	49	850
	千葉県立中央博物館自然誌研究報告 第11巻 第2号	B5	65	850
	千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号9「房総半島の海洋生物誌一分館海の博物館の研究成果に基づいて」	B5	132	850
	千葉県立中央博物館研究報告ー人文科学ー 第11巻 第2号	B5	143	850
	千葉県立中央博物館研究報告ー人文科学ー 第12巻 第1号	B5	26	850
	中央博物館だより No.68	A4	12	1,500
本館	いすみ大多喜植物調査通信 9号～17号（8回発行）	A4	4	各 50
生態園	生態園観察ノート No.17「ミジンコ」	B5	36	3,000
山 FM*	ニュースレター「しいむじな」29号～32号	A4	4	各 5,000
大利根分館	たかっぱ通信 第3号	A4	4	5,000
分館海の博物館	海の生きもの観察ノート10「磯の貝を観察しよう」	A5	35	5,000

*房総の山のフィールド・ミュージアム

5.1.2 行事案内

発行	名称	サイズ	頁	部数
本館	平成 23 年度行事案内	A4	6	25,000
山 FM	平成 23 年度のご案内	A4	2	6,000
分館海の博物館	平成 22 年度行事案内	A6 切	8	8,000
共通	平成 22 年度千葉学講座 ちらし	A4	2	5,000

5.1.3 利用案内

発行	名称	サイズ	頁	部数
大利根分館	来館者用パンフレット	三折	6	10,000
大多喜城分館	常設展英文パンフレット「Otaki Castle Museum」	B5	4	4,000
分館海の博物館	海の博物館・海中公園・海の資料館共通スタンプ帳	A6	8	100,000

5.1.4 企画展示関連（広報・解説書）

発行	名称	種別	サイズ	頁	部数
本館	企画展「海藻, 35 億年の旅人」	解説書	B5	40	1,000
		ポスター	B2	1	300
		ポスター	A2	1	1,000
		ちらし	A4	2	70,000
		シール	A6	1	
	秋の展示「きらびやかな世界の昆虫たち」	ポスター	A2	1	500
		ちらし	A4	2	20,000
	トピックス展「大原幽学」	ちらし	A4	2	5,000
	春の展示「千葉県野鳥図鑑-水鳥編-」	ポスター	A2	2	750
ちらし		A4	2	50,000	
大利根分館	企画展「箕-その世界-」	解説書	A4	12	5,000
		ポスター	B2	1	350
		ちらし	A4	2	15,000
大多喜城分館	企画展「武と華やぎの装い」	解説書	A4	22	500
		ポスター	B2	1	500
		ちらし	A4	2	20,000
	収蔵資料展「合戦と武器・武具」	ちらし	A4	2	50,000
	写真展「大多喜城の四季」	ポスター	A2	1	50
		ちらし	A4	2	3,000
分館海の博物館	マリンサイエンスギャラリー 「水辺の生きものあれこれ」	展示解説書	A4	12	5,000
		ポスター	A2	1	1,050
		ちらし	A4	2	18,000
		ワークシート 2 点	A4	1	各 1,000
		解説シート 10 点	A4	1	各 1,000
	収蔵資料展「サマーとっておきの7つのトリビア」	ちらし	A4	2	18,000

5.2 デジタルミュージアムの公開

5.2.1 新規公開 3 件

	公開日	タイトル	作成
本館	2010.7.18	野草・雑草検索 図鑑	斎木健一
	2010.11.9	音の標本箱	大庭照代
	2011.3.30	耳をたよりに	大庭照代

5.2.2 番組数 31 本 (平成 22 年度末)

	本数	番組名
本館	22	<ul style="list-style-type: none"> ・耳たよりにプロジェクト ・音の標本箱 ・野草・雑草検索図鑑 ・房総の山のケモノ ・花の植物画集-カーチス植物学雑誌より- ・館蔵浮世絵・屏風画紹介 ・房総の植物誌づくりと中央博物館 ・千葉県の毒きのこ ・下総台地と周辺の貝化石 ・空からみた千葉県(1987・88 年) ・千葉県の滝-所在と成因 ・故・林辰雄氏撮影写真集-昭和 30 年代の東京湾岸- ・生態園植物歳時記 ・房総の山のフィールド・ミュージアム ・哺乳類の疑問解決 ・カラス大調査 ・カエル教室 ・浮世絵に見る江戸時代の園芸 ・房総のハチ 世界ハチ ・百年前の千葉県「日本博覧図」 ・環境教育と千葉県 ・旅する地球の水
大利根分館	2	<ul style="list-style-type: none"> ・水郷の原風景 ・むかしの道具
大多喜城分館	3	<ul style="list-style-type: none"> ・甲冑展 ・武具のデザイン ・火縄銃
分館海の博物館	4	<ul style="list-style-type: none"> ・磯の生き物図鑑 ・館山の海底 ・イッカク-長い牙を持つクジラ- ・勝浦深訪

5.3 Web による発信・メルマガ発行

5.3.1 Web アクセス件数

	平成 22 年度	(平成 21 年度)	(平成 20 年度)
本館	107,619	118,862	135,998
大利根分館	17,456	21,949	22,072
大多喜城分館	31,630	38,070	32,658
分館海の博物館	72,101	70,477	68,025
合計	228,806	249,358	258,753

◇Web アクセス件数 (月別)

年間	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
本館	8,902	9,459	9,431	11,160	12,608	7,467	9,246	8,800	6,547	7,474	8,767	7,758
大利根	1,531	2,000	2,380	1,542	1,755	1,346	1,248	1,205	866	1,208	1,193	1,182
大多喜城	3,439	2,966	2,292	2,553	3,126	2,227	2,738	2,952	2,219	2,290	2,366	2,462
海の博物館	5,593	8,741	7,005	7,340	10,494	7,395	3,380	4,641	4,026	4,404	4,996	4,086

5.3.2 Web 更新回数

	更新回数	新規作成ページ数	更新ページ
本館	232	1742	700
大利根分館	7	3	3
大多喜城分館	10	0	
分館海の博物館	29	28	
合計	278	1773	703

5.3.3 メルマガ配信

◆(1)メルマガ配信数（平成23年3月末現在）

行事情報ほか、研究員による連載記事を掲載。

発行	名称	巻次	配信回数	配信数
本館・大利根・大多喜城	ちば中央博メール	45～56号	12回、臨時号、毎月10日配信	1,412
房総の山のFM	しいむじなメール	73～84号	全12回、毎月10日配信	882
分館海の博物館	海からのたより	61～73号	全12回、毎月配信	941
合計				3,235

◆(2)「ちば中央博メール」連載『中央博の窓』記事一覧

回次	記事名	著者	掲載巻次
1	地学展示室から・・・	無記名	46
2	ハチは雄と雌を産み分ける!!	宮野伸也	47
3	“寒天”がいかにして生まれたのか？	宮田昌彦	48
4	はっばの秘密	原 正利	48
5	秋の季節展の展示物から	直海俊一郎	49
6	コウモリの餌とりの秘技	落合啓二	49
7	一口で525回分	宮野伸也	50
8	生態園のクマゼミ	倉西良一	50
9	江戸時代初期の小袖（こそで）を展示	高橋 覚	51
10	展示室内の展示替えについて	藤崎芳樹	51
11	大原幽学	渋谷さゆり	52
12	出土遺物巡回展 房総発掘ものがたり	清藤一順	53
13	自然や環境を記録する「音の資料」	大庭照代	53
14	春の季節展の展示物から	桑原和之	54
15	「サンゴ」「珊瑚」から連想するもの・・・	新 和宏	55

5.4 マスコミを通じての発信

5.4.1 行事情報の発信 181 件

5.4.2 職員の取材対応 169 件

◆(1)新聞・雑誌 (89 件)

【本館】

取材日	取材機関	取材内容
2010.04.13	房総日々新聞	館山で採集された二枚貝について
2010.04.15	朝日新聞	10 月開催の生物多様性条約締結国会議 (COP10) について
2010.04.17	東京新聞	春の展示「雲南の地衣類」の紹介
2010.04.19	朝日新聞	中央博物館と生物多様性センターの機能と役割、及び館蔵コレクションについて
2010.04.25	毎日新聞	生態園観察会「鳥のさえずり」について
2010.05.11	柏市民新聞	マシジミの分布状況について
2010.05.11	雑誌「ママさんぼ」	ヤドカリのはさみについて
2010.05.12	日本経済新聞	「ききみみずきん」と iPhone アプリについて
2010.05.13	千葉日報	キンラン (ラン科) について
2010.05.19	毎日新聞 (福岡)	種子島のカタツムリについて
2010.05.22	㈱釣りビジョン	魚類の研究と釣りについて
2010.06.04	読売新聞	都川のアユについて
2010.06.10	誠文堂新光社 子供の科学編集部	「毒をもつ生き物」の制作にあたっての問い合わせ
2010.06.11	地域新聞	夏休み自由研究相談会について
2010.06.11	赤旗	峯岸典雄生物音声録音コレクションについて
2010.06.13	朝日新聞	「おばあちゃんの畑」プロジェクトについて
2010.06.14	読売新聞	谷津干潟で発見されたゾウ骨について
2010.06.15	朝日新聞	Natural History Research について
2010.06.28	読売新聞千葉支局	スクミリンゴガイについて
2010.06.29	読売新聞社	カイツブリの繁殖について
2010.07.01	(社) 国際フレッドショップ 協会	機関誌『The Communicator』「私と国際交流」掲載記事の取材
2010.07.02	千葉日報	企画展「海藻、35 億年の旅人」について
2010.07.08	JTB パブリッシング るるぶ「千葉・市原」	養老川流域の地層について
2010.07.14	シティライフ	スクミリンゴガイについて
2010.08.08	月刊「ぐるっと千葉」	「おばあちゃんの畑」プロジェクト「夏の収穫祭」について
2010.08.08	朝日新聞	「おばあちゃんの畑」プロジェクト「夏の収穫祭」について
2010.08.08	㈱麹町企画	地学野外観察会「海岸で石ころをひろおう」について
2010.08.19	アーク・コミュニケーションズ	秋の展示「きらびやかな世界の昆虫たち」について
2010.08.27	朝日新聞社	学会発表の「ウナギ目の新科を発見」について
2010.08.27	産経新聞社	学会発表の「ウナギ目の新科を発見」について
2010.08.27	朝日新聞社	学会発表の「ウナギ目の新科を発見」について
2010.09.08	朝日新聞	宮崎県で確認されたシャコガイについて (宮崎のオオシラナミに関して)
2010.09.16	毎日小学生新聞	秋の展示「きらびやかな世界の昆虫たち」について
2010.09.27	「ピクチャー日本版」編集部	「生態系ときのこ」「博物館ときのこ」「博物館学芸員の仕事」について
2010.09.28	読売新聞	魚類学会年会で発表したムカシウナギについて
2010.10.05	船橋よみうり	ドラゴンフルーツについて
2010.10.06	千葉日報社	秋の展示「きらびやかな世界の昆虫たち」について
2010.10.07	朝日新聞千葉総局	県内で発生した巨大キノコについて
2010.11.16	船橋よみうり	生態園 音の標本箱について
2010.11.26	朝日新聞社	海藻について
2010.12.02	琉球新報	新種マンザガマヒメヤドカリについて
2010.12.21	朝日新聞社	沖縄で発見されたテッポウエビ科の新種について
2011.01.11	読売新聞	アサクサノリについて
2011.01.12	朝日新聞	バタフライフィッシュの停滞進化について
2011.01.19	毎日新聞	白亜紀前期の陸生有肺類巻貝の新種について
2011.01.19	東京新聞	白亜紀前期の陸生有肺類巻貝の新種について
2011.01.19	北国新聞	白亜紀前期の陸生有肺類巻貝の新種について
2011.01.19	共同通信	白亜紀前期の陸生有肺類巻貝の新種について
2011.01.19	朝日新聞	白亜紀前期の陸生有肺類巻貝の新種について
2011.01.28	千葉日報編集局	出土遺物巡回展について
2011.02.14	共同通信	「千葉石」について
2011.02.15	読売新聞千葉支局	トピックス展「新鉱物発見!名前は『千葉石』!」について
2011.02.15	毎日新聞つくば支局	「千葉石」について
2011.02.21	毎日新聞社	「千葉石」について
2011.02.25	産経新聞社千葉総局	「千葉石」について
2011.03.10	少年写真新聞社	スクミリンゴガイについて
2011.03.10	講談社	オオムガイとサザエについて
2011.03.10	千葉日報社	屏風ヶ浦の地質とボーリングサンプル採取の意義について
2011.03.11	読売新聞	地震被害について

2011.03.19	千葉日報	春の展示「千葉県野鳥図鑑-水鳥編-」について
2011.03.27	少年写真新聞社	スクミリンゴガイについて
2011.03.29	サンケイリビング新聞社	千葉石について

【大利根分館】

取材日	取材機関	取材内容
2010.05.28	毎日新聞	企画展「箕-その世界-」について
2010.05.31	千葉日報	企画展「箕-その世界-」について
2010.06.02	日本経済新聞	企画展「箕-その世界-」について
2010.06.05	茨城新聞	企画展「箕-その世界-」について
2010.06.13	毎日新聞	企画展「箕-その世界-」及び関連行事「藤箕作り実演」について
2010.10.14	朝日新聞	川のフィードミュージアムについて

【大多喜城分館】

取材日	取材機関	取材内容
2010.04.21	雑誌「自遊人」編集部	大多喜城分館の外観及び展示室の撮影
2010.06.02	オフィススクマ	大多喜城分館の外観撮影
2010.11.13	月刊ぐるっと千葉	兎形変兜について

【分館海の博物館】

取材日	取材機関	取材内容
2010.06.23	朝日新聞社	勝浦漁港で水揚げされたピンクのカツオについて
2010.06.25	読売新聞社	勝浦漁港で水揚げされたピンクのカツオについて
2010.07.13	株式会社 誠文堂新光社「子供の科学」編集部	磯観察について
2010.07.16	千葉日報	収蔵資料展「サメ」について
2010.09.02	読売新聞	浦安の境川で見つかったウミガメ
2010.10.01	房日新聞	千倉町で採集されたオオウナギについて
2010.12.09	NPO ちば市民活動・市民事業サポートクラブ	常設展示、写真展、飼育室の取材
2010.12.10	千葉日報社	オオウナギのトピックス展について
2010.12.11	朝日新聞社	オオウナギのトピックス展について
2010.12.16	房州日々新聞社	オオウナギのトピックス展について
2011.01.21	朝日新聞	安房博物館から移送されたウミガメについて
2011.02.02	千葉日報	マリサイエンスギャラリー「水辺の生きものあれこれ」について
2011.02.22	熊本日日新聞	「ハーマン号」について
2011.02.25	千葉日報	マリサイエンスギャラリー「水辺の生きものあれこれ」について
2011.02.25	房日新聞	マリサイエンスギャラリー「水辺の生きものあれこれ」について

◆(2)テレビ・ラジオ (80件)

【本館】

取材日	取材機関	取材内容
2010.04.06	TBSテレビ	ミツクリザメならびに東京海底谷（とびだせ科学くん）
2010.04.06	TBSテレビ	東京湾のサキグロタマツメタ（Nスタ）
2010.04.08	TBSテレビ	東京湾におけるアサリを捕食する外来タマガイ類について
2010.04.14	テレビ朝日	ノミウミウシの画像提供について
2010.04.27	フジテレビ	キヌタアゲマキ（二枚貝）について（変な生き物100連発）
2010.05.07	Wiiの間チャンネル	カタツムリの行動について（「トンデモ！さいえんす」）
2010.05.07	ケーブルネットワーク千葉	生態園トピックス展「生態園の植物、四季の見どころ」について
2010.05.08	テレコムスタッフ	水田に生息するミジンコと原生生物の撮影について
2010.05.14	テレコムスタッフ	水田に生息するミジンコと原生生物の撮影について
2010.05.21	テレコムスタッフ	水田に生息するミジンコと原生生物の撮影について
2010.05.27	大阪毎日放送	神戸周辺に生息するムツサンゴについて
2010.06.04	NHK 千葉放送局	生態園のカイツブリについて
2010.06.20	テレコムスタッフ	水田に生息するミジンコや原生生物について
2010.07.02	NHK 千葉放送局	企画展「海藻、35億年の旅人」について
2010.07.08	NHK ラジオ	ききみずさんについて
2010.07.09	共同テレビ	東京湾の生物について
2010.07.27	NHK 総合テレビ	視聴者撮影の「アオバズクの営巣」の映像について
2010.07.29	Bay FM	生態園トピックス展「はっぱのいろいろ」について
2010.08.08	千葉テレビ	企画展「海藻、35億年の旅人」について
2010.08.20	テレビ朝日	食用イソギンチャクについて
2010.08.27	NHK 科学文化部	学会発表の「ウナギ目の新科を発見」について
2010.09.01	NHK	ホンビノスノガイについて（COP10向け外来種）

2010.09.01	テレビ朝日	ボンビノスノガイの和名の由来
2010.09.09	NHK	正倉院の螺鈿に使われている貝について
2010.09.14	NHK 千葉放送局	秋の展示「さらびやかな世界の昆虫たち」について
2010.09.20	千葉テレビ	生態園トビックス展「まちのコウモリ」について
2010.09.30	NHK 千葉放送局	中央博物館の評価事業について
2010.10.03	TBS テレビ	ニガクリダケについて
2010.10.03	フジテレビ	ニガクリダケについて
2010.10.03	NHK 千葉放送局	秋の展示「さらびやかな世界の昆虫たち」について
2010.10.04	TBS テレビ	ニガクリダケについて
2010.10.04	フジテレビ	ニガクリダケについて
2010.10.06	NHK 千葉放送局	秋の展示「さらびやかな世界の昆虫たち」について
2010.10.06	テレビ朝日	ニガクリダケについて
2010.10.06	フジテレビ	ニガクリダケについて
2010.10.07	千葉テレビ	秋の展示「さらびやかな世界の昆虫たち」について
2010.10.14	フジテレビ	毒菌クサウラニベニダケについて
2010.10.18	日本テレビ	チャツボミゴケについて
2010.10.18	フジテレビ	毒菌クサウラニベニダケについて
2010.10.18	NHK 報道局	毒きのご中毒について
2010.10.19	TBS ビジョン	東京湾の里海について
2010.10.19	テレビ朝日	毒きのご中毒について
2010.10.22	NHK 制作局	今シーズンの毒きのごについて
2010.10.25	TBS テレビ	毒きのごドクツルダケについて
2010.10.25	テレビ朝日	カタツムリとナメクジについて (シルシルミシル)
2010.11.02	千葉テレビ	中央博物館の文化の日のイベントについて
2010.11.07	TBS ビジョン	東京湾の里海と三番瀬について
2010.11.18	千葉テレビ	分館海の博物館写真展等について
2010.11.24	TBS テレビ	収蔵資料キョンの剥製の撮影と貸与
2010.12.01	TBS テレビ	「花のない世界」について
2010.12.01	TBS テレビ	キョン剥製貸出
2010.12.15	NHK 千葉放送局	中央博物館の生物音響資料について
2011.01.09	株式会社風来堂	とりの声キャッチ名人について
2011.01.19	あさがおテレビ	白亜紀前期の陸生有肺類巻貝の新種について
2011.01.19	NHK	白亜紀前期の陸生有肺類巻貝の新種について
2011.02.01	イーストエンタテイメント	泳ぐイソギンチャクについて
2011.02.04	ベイ FM	県立中央博物館の活動内容について
2011.02.10	株式会社日企	イソギンチャクについて
2011.02.14	NHK 千葉放送局	「千葉石」について
2011.02.15	NHK 千葉放送局	トビックス展「新鉱物発見!名前は『千葉石』!」について
2011.02.15	株式会社 風来堂	春の展示「千葉県野鳥図鑑-水鳥編-」について
2011.02.16	NHK 報道局映像センター映像取材部	和歌山県南部のオオカワリギンチャク群落について
2011.02.19	千葉テレビ	房総の山のフィールド・ミュージアム「山の学校」について
2011.02.23	ケーブルネットワーク千葉	「千葉石」について
2011.03.02	NHK	浜行川のイシマテについて

【大利根分館】

取材日	取材機関	取材内容
2010.11.15	NHK 千葉放送局	大利根分館の常設展示と活動について

【大多喜城分館】

取材日	取材機関	取材内容
2010.09.17	NHK	博物館外観の撮影について
2010.11.08	ホリプロ映像制作二部	大多喜城外観の撮影について
2011.02.22	国際放映	大多喜城の外観撮影

【分館海の博物館】

取材日	取材機関	取材内容
2010.04.07	株式会社 日企	ノリについて
2010.07.27	NHK 千葉放送局	収蔵資料展「サメ」について
2010.10.05	フジテレビ	千倉町で採集されたオオウナギについて
2010.12.24	NHK エデュケーションナル科学健康部	ヤツデヒトデの腕の再生について
2011.01.21	TBS テレビ情報制作局	ヤドカリ写真の借用
2011.02.27	KBS	海藻、特にノリの研究と産業について
2011.03.03	NHK 千葉放送局	マリンサイエンスギャラリー「水辺の生きものあれこれ」について

5.4.3 メディア掲載 315 件

◆(1)展示・行事情報の掲載 (140 件)

掲載誌	掲載回数
新聞	75
情報誌	10
地域情報誌	15
県広報紙	22
雑誌	7
その他	11

◆(2)新聞・雑誌の記事掲載 (95 件)

【本館】

日付	新聞名	記事名
2010.12.15	千葉日報	天皇・皇后杯を一般公開 ゆめ半島千葉国体7館を巡回展示
2010.04.02	地域新聞：船橋西版 no391	親子で学べるミュージアム
2010.04.05	こあじさし 2010 年 4 月号	小学生が1日新聞記者に变身… 春休み「子ども記者体験」！！ 3月27日
2010.04.09	読売新聞	教育ルネサンス No.1243 全国学力テスト7 博物館と連携 興味広げる 千葉県立中央博物館との連携教材を使った野外授業。ワークシートを手がかりに春を探す(3月5日、大多喜町立老川小学校)
2010.04.15	房日新聞	館山の水田脇に大きさ6センチの貝：「タガイでは」と専門家
2010.04.18	東京新聞 TOKYO Web	中国・雲南の「コケ」紹介 県立中央博物館で「地衣類」展
2010.05.01	自然保護 2010 (5-6)	調べる・伝える 博物館から愛を込めて キノコとヒトの未来を考える
2010.05.13	日本経済新聞	首都圏の野鳥探して：鹿島、県などと生息調査の協議会：鳴き声識別ソフト、一般に販売
2010.05.28	地域新聞：千葉東版 V.504	2010年6月15日(火)は千葉県民の日
2010.05.28	柏市民新聞	県博物館がマシジミの生育検証：亀甲台町の石戸孝行さんから譲り受け
2010.06.01	西日本新聞	謎のバラ 中国由来！？ 千葉の研究者が平戸視察
2010.06.09	読売新聞	ザリガニの化石 中1発見 南相馬 1億5000万年前の地層から＝福島
2010.06.09	赤旗	ひと 峯岸典雄さん 鳥のさえずりを21年録音、減少を告発する (テープは千葉県立中央博物館に収蔵)
2010.06.10	読売新聞	[話の港] 6月10日
2010.06.11	地域新聞	この人 安達正嗣さん モットーは「60過ぎたら自由人！」(岩石・鉱物…コレクション数は5千点以上。そのほとんどを千葉県立中央博物館に寄贈している。…博物館で常設展示されている安達さんのコレクションはアルチニ石。)
2010.06.20	国立国会図書館月報 no.591	本屋にない本 博物館は知のワンダーランド
2010.06.21	朝日新聞	ウミガメ死因9割プラスチックゴミ いすみの森谷さん、房総半島海岸を調査 レジ袋・釣り糸、のみ込み(県立中央博物館発行の英文の研究誌「ナチュラル・ヒストリー・リサーチ」に掲載された)
2010.06.24	千葉日報	研究員が無断で報酬得て執筆 県教委懲戒処分
2010.07.01	科学の本っておもしろい 2003-2009	幻のカエル
2010.07.01	科学の本っておもしろい 2003-2009	たんぼのおぼけタニシ
2010.07.04	千葉日報	多様な海藻標本一堂に 35億年前の化石も 県立中央博物館で
2010.07.16	地域新聞：幕張版	自由研究の強い味方！千葉県立中央博物館
2010.07.17	朝日新聞	おはなしのくにに夏休み特集 様々な命に触れる13冊「たんぼのおぼけタニシ」
2010.07.18	Yahoo ニュース	新種？大型ザリガニ化石 福島の小学生、只野君が発見
2010.07.19	千葉日報	忙人寸語 「海藻 35億年の旅人」
2010.07.23	朝日新聞	アライグマ里山荒らす 希少な在来種、捕食被害 対応遅れいらだち
2010.08.04	ふれあい毎日	君も海藻博士になれるか！ 海藻 35億年の旅人
2010.08.07	シティライフ外房中央版	困った！たんぼのおぼけタニシ 写真絵本を出版・大木淳一さん
2010.08.11	沖縄タイムス	伊江沖 新種カニ発見 シンカイサンゴガニ(個体は現在、千葉県立中央博物館に保管)
2010.08.15	千葉日報	県立美術館・博物館 3分の1は不満足 展示や情報発信に課題
2010.08.20	子どもと読書 9-10月号	作品をよむ たんぼのおぼけタニシ
2010.08.27	地域新聞 千葉北版	キノコの観察会で千葉のキノコに出会う 千葉菌類談話会 第58回観察会
2010.09.21	読売新聞	熱帯の貝 日南沖に 温暖化？生息域北上
2010.09.24	朝日新聞	新種ウナギは「生きた化石」 パラオの海底洞窟で発見 「ムカシウナギ科」北里大など提唱へ
2010.09.25	千葉日報	新種ウナギ、パラオで見つかる 「生きた化石」、県中央博研究員が発表
2010.10.01	私たちの自然 no.560	野鳥と仲良く トウネン[「千葉県野鳥図鑑：水鳥編」の企画準備の手伝い募集]
2010.10.04	ちばコープ おしゃべりひろば	消費者力育成セミナー ちばの自然と生物多様性は世界一！ くらしと食の里山海
2010.10.08	千葉日報	昆虫の美しさ、形に焦点 色鮮やかなチョウなど6000点 中央博物館
2010.10.15	朝日新聞	ボールみたい キノコを発見 大網白里

2010.10.18	千葉日報	忙人寸語 県立中央博物館のデジタルミュージアムによると、県内で採れるキノコは約 500 種もある。
2010.10.19	読売新聞	シイタケと間違えるとは 毒キノコ 勝浦の直売所 県が回収指示 最盛期 注意呼びかけ (県立中央博物館で鑑定したところ)
2010.10.20	毎日新聞	川底に点在する謎めいた穴 神も宿る自然のいたずら 房総を探索するちばみなど研究所
2010.10.24	読売新聞	学びサイエンス 新種ウナギ 2 億年前の姿 パラオで発見「ムカシウナギ科」提唱へ
2010.10.27	埼玉県すいしょう図書：平成 22 年度	小学校 3・4 年生向け たんぼのおぼけタニシ
2010.11.01	THE BIG ISSUE JAPAN 日本版 no.154	陸上の生き物の大繁栄を支えるきのこ。数億年におよぶ森、きのこ、地球の歴史：吹春俊光さんに聞く(特集 秋、不思議のきのこ)
2010.11.18	朝日新聞	らんどまあく@千葉 川回し 田に変えた先人の知恵
2010.11.24	しんぶん赤旗	くらし・家庭 音の標本箱 鳥・虫・両生類の変わり音声公開 千葉・中央博物館
2010.11.27	船橋よみうり	県立中央博物館生態園「音の標本箱」 鳥や虫の声、じっくり集めた
2010.12.03	朝日新聞	特徴は小さな目 新種のヤドカリ 沖縄 海中洞窟
2010.12.12	千葉日報	幕末の農村改革者を回顧 遺品や文書類など 52 点 県立中央博で「大原幽学 その生涯と功績」展
2010.12.24	朝日新聞	紅白のエビ 幻の青花 新種続々
2011.01.14	朝日新聞	科学 そっくりでも DNA は大差 バタフライフィッシュ 2 集団
2011.01.20	読売新聞	3 種の貝類化石は新種 世界最古サナギガイも 石川・白山市
2011.01.20	日本経済新聞	巻き貝化石 新種 3 種 石川・白山で発見 1 種はサナギガイ類世界最古
2011.01.23	コアジサシ 2	千葉県立中央博物館紹介
2011.01.28	朝日新聞	石川県で貝の化石の新種
2011.01.30	千葉日報	出土遺物で探る地域間交流 県立中央博「房総発掘ものがたり」展 石器や土器、埴輪など 300 点
2011.01.31	千葉日報	生物多様性フォーラム 知縁社会の構築を 保護団体、活動報告も
2011.02.16	千葉日報	天然ガス含む新鉱物「千葉石」 アマチュア研究者ら発見
2011.02.16	読売新聞	新鉱物「千葉石」内部に炭化水素 千葉・南房総市で採取
2011.02.16	読売新聞	県内初の新鉱物「千葉石」 化石採集で大発見
2011.02.16	朝日新聞	千葉石 天然ガス含む新鉱物
2011.02.16	日本経済新聞	結晶内にメタン「千葉石」発見
2011.02.20	毎日新聞	結晶にメタンガス含む新鉱物「千葉石」を一般公開
2011.02.25	毎日新聞	検索急上昇「千葉石」 世界で 2 例目の珍石
2011.03.01	私たちの自然	野鳥と仲良く シギたちのくちばし 千葉県野鳥図鑑
2011.03.01	自然保護	千葉県野鳥図鑑
2011.03.05	熊本日日新聞	ツクシイバラ 錦町、あさぎり町 球磨川河川敷に自生 NHK「趣味の園芸」テキスト 美しきバラで紹介
2011.03.11	千葉日報	屏風ヶ浦をボーリング調査：旭市の市民団体 地層の成り立ちや太古の環境を解明
2011.03.23	朝日新聞	シロバナタンポが咲く いすみ、外房線沿いの道端
房総の山のフィールド・ミュージアム		
2010.06.22	朝日新聞	田植え祝う「さなぶり」再現 地域活性化目指す会と協力 先人の知恵学ぶ 君津のおばあちゃん昔の味手作り
2010.09.01	食べもの通信 no.475	千葉県・君津市 おばあちゃんの畑 地域の種を孫世代へつなぐ：博物館と小学校が連携
2010.10.01	GENEFLOW	おばあちゃんと種子
2011.03.01	自然保護 no.520	おばあちゃんの畑で、地域の風土がつくる味と暮らしの知恵を伝える

【大利根分館】

日付	新聞名	記事名
2010.04.18	朝日新聞	博物館閉館の波時事 財政難 戦後初の減少 文化変調
2010.04.21	朝日新聞	文化変調 第 1 部「ハコもの」の行方 1：進む統廃合 収蔵品「持ち腐れ」懸念
2010.05.27	千葉日報	県立中央博物館大利根分館 企画展「箕：その世界」
2010.06.01	千葉日報	県中央博分館が企画展 重文「匠の藤箕」の世界 30 日まで香取、実演会も
2010.06.14	毎日新聞	藤箕づくり実演 県立中央博物館大利根分館
2010.09.05	千葉日報	写真で見る千葉いまむかし 5：軽便鉄道多古線（成田市・八街市・多古町）：線路幅 600 ミリメートルのミニ鉄道

【大多喜城分館】

日付	新聞名	記事名
2010.07.09	千葉日報	大多喜城主 本多忠勝にスポット きょうから千葉パルコ「戦国祭り」開幕
2010.11.19	千葉日報	県立中央博物館大多喜城分館 江戸の男女の装い紹介 小袖や変わり武具など 60 点
2010.12.21	ぐるっと千葉 2011 年 1 月号	めでたく行こう ぐる探 126 今年の干支の兜を見よう
2011.01.24	広報おたき	江戸を支えた大多喜の山 大多喜城で博物館セミナーを開催
2011.03.24	広報おたき	大多喜城と花の写真展作品募集/ 春真っ盛りの大多喜城

【分館海の博物館】

日付	新聞名	記事名
2010.04.02	読売新聞	「共生」わかりやすく：勝浦「海の博物館」企画展 房総でとれた生物など 120 点
2010.04.08	千葉日報	博物館級の資料いっぱい：地元商工事業者ら連携 手作りパンフで勝浦紹介
2010.06.26	千葉日報	謎のピンク色カツオ 勝浦漁港 関係者「初めて見た」 (このカツオは海の博物館が標本として引き取った)
2010.07.21	千葉日報	海のハンターざらり サメの意外な話題提供 勝浦・海の博物館
2010.09.27	千葉日報	両陛下、海の博物館を視察
2010.12.12	朝日新聞	オオウナギの標本、16 日から公開 勝浦の海の博物館 南房総で 30 年ぶり発見
2010.12.17	千葉日報	オオウナギ一般公開 112 センチ、南房総の田んぼで発見 県内で 30 年ぶりの巨体 勝浦・海の博物館
2010.12.18	毎日新聞	長いウナギ全長 112 センチ、勝浦・海の博物館で公開
2011.02.11	地域新聞：千葉北版 no.539	千葉県からのお知らせ 海の博物館 マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれ
2011.02.27	千葉日報	婚姻色のミヤコタナゴも 身近な海と川の生物紹介

◆(3)新聞連載 (80 件)

【本館】

新聞名	連載名	日付	記事名	執筆者
読売新聞	ちば水辺の生命	2010.04.04	137:ウメノキゴケ：老木好む長寿の象徴	原田 浩
		2010.04.11	138:イソカラタチゴケ：岩場に咲く花のよう	原田 浩
		2010.04.18	139:シロイソダイダイゴケ：岩肌覆うオレンジ色	原田 浩
		2010.04.25	140:ヘリプトゴケ：北向きの垂直面好む	原田 浩
		2010.05.02	141:ウシオイボゴケ：潮引いた岩場に姿現す	原田 浩
		2010.05.11	142:クロマツ：花粉飛ばし子孫残す	奥田昌明
		2010.05.16	143:コナラ：微風でも花粉空中に	奥田昌明
		2010.05.23	144:カモガヤ：無駄そぎ落とした花粉	奥田昌明
		2010.05.30	145:谷津田：トキ回帰する日も	中村俊彦
		2010.06.06	146：ヒバカリ：毒なく温和、威嚇に迫力	大木淳一
		2010.06.13	147：オオシロカネグモ：夏の溪流に光る銀色	尾崎輝雄
		2010.06.20	148：イトマキヒトデ：磯で目立つ五角形	立川浩之
		2010.06.27	149：パイ：絶滅寸前から復活	黒住耐二
		2010.07.04	150：海藻 1：酸素放出地球環境変える	宮田昌彦
		2010.07.11	151：海藻 2：藻の林「海のゆりかご」	宮田昌彦
		2010.07.18	152：海藻 3：多様化した分布拡大	宮田昌彦
		2010.07.25	153：海藻 4：日本の藻の文化 食が中核	宮田昌彦
		2010.08.01	154：海藻 5：房総半島 600 種が生育	宮田昌彦
		2010.08.08	155：海藻 6：CO2 増加 海の生態系にも影響	宮田昌彦
		2010.08.22	156：カラスザメ：深海で謎に包まれた生活	川瀬裕司
		2010.08.29	157：コバンザメ：サメの名を持つ硬骨魚	川瀬裕司
		2010.09.05	158：ネコザメ：らせん形の卵を産むサメ	川瀬裕司
		2010.09.12	159：ラブカ：東京湾に住む生きた化石	川瀬裕司
		2010.09.19	160：アブラコウモリ；建物ねぐら都会にも生息	落合啓二
		2010.09.26	161：アライグマ；自然の固有性害す外来種	落合啓二
		2010.10.03	162：ミサキツノトビケラ；形も生態も謎だらけ	倉西良一
		2010.10.10	163：乾草沼；北総の生物多様性を体現	倉西良一
		2010.10.17	164：チバナガエハネカクシ；房総半島東部だけ生息	直海俊一郎
		2010.10.24	165：キヨシミメダカハネカクシ；メダカのような大きな目	直海俊一郎
		2010.10.31	166：ウミベアカバハネカクシ；海藻に集まる小昆虫餌に	直海俊一郎
		2010.11.07	167：ハマヒョウタンゴミムシダシ；繊細な自然の造形	斉藤明子
		2010.11.14	168：生物多様性の諸問題：解決策 社会と重ね考案を	倉西良一
		2010.11.21	169：ウルマーシマトビケラ；水中の粒子を濾過	倉西良一
		2010.11.28	170：コブナグサ；絹織物の黄色染料	江口誠一
		2010.12.05	171：トベラ；光沢美しい朱色の種	大野啓一
		2010.12.12	172：ウバメガシ；海岸の岩場斜面に群生	原 正利
		2010.12.19	173：ハイネズ；砂はほうように伸びる幹	由良 浩
		2011.01.09	174：オオフサモ；指名手配級の増殖力	林 浩二
		2011.01.16	175：イソシママカデ；砂浜に生息ごかいそっくり	萩野康則
		2011.01.23	176：ボウスウアナエビ；身近に潜む未知の生物	駒井智幸
2011.01.30	177：ハマナス；太平洋側の南限に咲く	御巫由紀		
2011.02.06	178：海辺の化石；生物の豊さを示す	加藤久佳		
2011.02.13	179：真水に生きた太古の貝；餌が豊富な楽園だった	伊左治鎮司		
2011.02.20	180：サンゴ；祖先は 6 億年前房総にも	新 和宏		
2011.02.27	181：ミヤコタナゴ；外房にすむ天然記念物	菊地則雄		
2011.03.07	182：チョウチョウオ；黒潮に運ばれる幼魚	川瀬裕司		
2011.03.28	183：ピシヤモンエビ；海底の景色に溶け込む	奥野淳兒		

【分館海の博物館】

新聞名	連載名	日付	記事名	執筆者
千葉日報	海の紳士録	2010.04.05	82：オドリカクレエビ：踊る掃除共生エビ	奥野淳兒
		2010.04.19	83：ケガキ：牡蠣の毛？	村田明久
		2010.05.24	84：アゴハゼ：磯遊びで最初に見つけられる魚	川瀬裕司
		2010.05.31	85：キッコウグサ：南からの新顔？	菊地則雄
		2010.06.14	86：アカシマモエビ：もしかして新種？	奥野淳兒
		2010.07.12	87：イボニシ：磯の肉食巻貝	村田明久
		2010.08.02	88：ミツクリザメ：東京湾深海の「悪魔のサメ」	川瀬裕司
		2010.08.30	89：コトジツノマタ：「かいそう」の原料	菊地則雄
		2010.09.20	90：イタチザメ：人襲うサメ、絶滅の恐れも	川瀬裕司
		2010.10.11	91：サラサエビ：分布の謎	奥野淳兒
		2010.11.11	92：ヒザラガイ：巻貝でも二枚貝でもない貝	村田明久
		2010.11.22	93：カジメ：漁業支える海中林つくる	菊地則雄
		2010.12.06	94：ハクセンアカホシカクレエビ：日本固有のカクレエビ	奥野淳兒
		2010.12.20	95：オオヘビガイ：きちんと巻かない巻貝	村田明久
		2011.01.10	96：シマスズメダイ/シチセンスズメダイ：瓜二つの魚、識別して	川瀬裕司
2011.01.24	97：カイガラアマノリ：特異な生活史を持つノリ	菊地則雄		
2011.02.28	98：コモレビアカモエビ：勝浦で見つかった新種	奥野淳二		
2011.03.15	99：ウミウチワ：「北限の海藻」の一つ	菊地則雄		

新聞名	連載名	日付	記事名	執筆者
千葉日報	海を見つめる画家たち	2010.06.11	1：青木繁 上：名作「海の幸」が誕生	大久保守
		2010.06.25	2：青木繁 中：意欲作は意外な審査結果に	
		2010.07.09	3：青木繁 下：絶筆に託した海への思い	
		2010.07.23	4：中村彝 上：温かい眼差しで布良を描く	
		2010.08.13	5：中村彝 中：恋の思いを断ち、制作に没頭	
		2010.08.13	6：中村彝 下：病床で夢見た南房総の海	
		2010.09.10	7：坂本繁二郎 上 外房御宿で注目策を描く	
		2010.09.24	8：坂本繁二郎 中 華のバリで作品研究に挑む	
		2010.10.08	9：坂本繁二郎 下 画境を深め、月を連作	
		2010.10.22	10：林俊衛 上 作品撤去事件で一躍有名に	
		2010.11.12	11：林俊衛 中：波乱に富んでいたバリ滞在	
		2010.11.26	12：林俊衛 下：再起を期し外房に移り住むが	
		2010.12.10	13：安井曾太郎 上：京都に生まれ、バリで学ぶ	
		2010.12.24	14：安井曾太郎 中：帰国後、試行錯誤の日々が続く	
		2011.01.14	15：安井曾太郎 下：苦闘 15 年、ついにたどり着いた画境	

6. 県立博物館ネットワーク

6.1 県立博物館情報システム

県立館の所蔵資料の登録検索システムである、情報システムの管理運営を行っている。Web サイトにて資料データベースとして、公開している。

◆(1)各館資料情報の登録件数

平成 23 年 3 月末現在

館名	登録件数	画像点数 (内数)
美術館	2,811	575
中央博物館	134,704	1,201
分館海の博物館	5,781	776
大利根分館	2,048	832
大多喜城分館	1,030	135
現代産業科学館	1,045	930
関宿城博物館	5,658	2,011
房総のむら	42,945	3,786
合計	196,022	10,246

◆(2)分野別公開件数 (全県立館)

検索分野	平成 22 年度末
美術館収蔵品	2,531
動物	32,330
植物・菌類	44835
岩石・鉱物	199
化石	209
古文書・古典籍	900
民俗	4538
埋蔵文化財	1293
美術・工芸品	613
産業・科学技術	956
写真・映像	246
合計	88,650

6.2 千葉県美術館・博物館職員等研修会

千葉県教育委員会では博物館職員の資質向上を図るため、県内の博物館等の職員を対象に博物館の運営に関する専門的な情報の提供や技術の習得を目的とした研修会を開催している。当館が実務を担当した。

日 時	2011 年 2 月 9 日 (水) 13 時 30 分～16 時 30 分
会 場	千葉県立中央博物館講堂
講 師	桂 雄三 (文化庁尾文化財部記念物課 主任文化財調査官)「天然記念物ってなに?文化財保護と博物館」 高橋 修 (山梨県立博物館学芸員)「地域文化財振興と博物館」
参加者	59 人

6.3 千葉学講座の開催

年 2 回、県立博物館の職員が交替で講師となり、千葉県に関するテーマで講演を行っている。

会場：千葉県立中央博物館講堂 時間：13 時 30 分～16 時 30 分

2010 年 10 月 30 日 (土)	「房総きのこ今昔」 吹春俊光 (中央博物館) 「匝瑳市木積の藤蓑づくり」 小林裕美 (中央博物館)	24 人
2010 年 11 月 27 日 (土)	「藤田喬平のガラスの世界」 金田雅成 (美術館) 「江戸・明治期の名所案内と名所土産」 渡邊修一 (美術館)	32 人

7 入館者状況

7.1 月別入館者数

本館 (生態園入園者含む)

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	13,853	1,215	15,068
5月	26	15,961	518	16,479
6月	26	11,200	743	11,943
7月	29	11,043	702	11,745
8月	31	13,492	313	13,805
9月	27	10,764	1,430	12,194
10月	29	13,471	1,970	15,441
11月	25	14,558	1,340	15,898
12月	23	6,959	326	7,285
1月	23	7,224	152	7,376
2月	24	10,188	1,040	11,228
3月	22	7,426	682	8,108
合計	311	136,139	10,431	146,570
割合		92.9%	7.1%	
通算	6,618	3,112,510	548,065	3,660,575

生態園

月	開館日数	計
4月	26	9,257
5月	26	9,384
6月	26	6,655
7月	27	4,186
8月	26	4,173
9月	27	4,509
10月	29	6,494
11月	25	7,683
12月	23	3,654
1月	23	4,041
2月	24	5,905
3月	22	4,506
合計	304	70,447
通算	6,597	2,650,893

大利根分館

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	269	0	269
5月	27	474	32	506
6月	30	5,580	669	6,249
7月	27	1,025	0	1,025
8月	26	753	0	753
9月	26	270	2,285	2,555
10月	5	36	1,426	1,462
11月	0	12	505	517
12月	0	31	914	945
1月	0	8	188	196
2月	0	5	28	33
3月	0	2	16	18
合計	167	8,465	6,063	14,528
割合		58.3%	41.7%	
通算				

大多喜城分館

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	10,245	814	11,059
5月	26	10,134	972	11,106
6月	26	4,278	874	5,152
7月	25	3,935	520	4,455
8月	26	6,896	291	7,187
9月	27	5,083	720	5,803
10月	26	5,092	721	5,813
11月	25	7,458	1,793	9,251
12月	21	3,968	415	4,383
1月	25	4,610	480	5,090
2月	24	3,991	550	4,541
3月	22	2,310	314	2,624
合計	299	68,000	8,464	76,464
割合		88.9%	11.1%	
通算				76,465

分館海の博物館

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	3,881	260	4,141
5月	26	6,577	1,694	8,271
6月	26	2,821	1,561	4,382
7月	27	6,455	798	7,253
8月	31	18,289	321	18,610
9月	25	5,105	329	5,434
10月	24	2,931	495	3,426
11月	24	2,526	565	3,091
12月	21	1,720	69	1,789
1月	24	3,824	103	3,927
2月	24	3,637	201	3,838
3月	22	1,540	66	1,606
合計	300	59,306	6,462	65,768
割合		90.2%	9.8%	
通算	6,615	2,710,213	512,505	3,222,718

7.2 団体入館状況

本館

区分		団体数	小計	割合(%)
学生生徒等	大学	11	121	53.8%
	高等学校	6		
	中学校	7		
	小学校	71		
	特別支援学校 (特別支援学級)	6		
	各種学校	2		
	子どもルーム	6		
	子ども会等	12		
学齢前	保育園	22	42	18.7%
	幼稚園	19		
	幼児サークル	1		
一般	身障者施設	13	62	27.6%
	老人介護施設	4		
	一般団体	45		
合計		225	225	

大多喜城分館

区分		団体数	小計	割合(%)
学生生徒等	大学	4	28	11.2%
	高等学校	1		
	中学校	6		
	小学校	11		
	特別支援学校 (特別支援学級)	0		
	各種学校	0		
	子どもルーム	2		
	子ども会等	4		
	学齢前	保育園		
幼稚園		0		
幼児サークル		0		
一般	身障者施設	1	221	88.0%
	老人介護施設	2		
	一般団体	218		
合計		251	251	

大利根分館

区分		団体数	小計	割合(%)
学生生徒等	大学	0	41	68.3%
	高等学校	0		
	中学校	0		
	小学校	41		
	特別支援学校 (特別支援学級)	0		
	各種学校	0		
	子どもルーム	0		
	子ども会等	0		
学齢前	保育園	0	0	0.0%
	幼稚園	0		
	幼児サークル	0		
一般	身障者施設	0	19	31.7%
	老人介護施設	0		
	一般団体	19		
合計		60		

分館海の博物館

区分		団体数	小計	割合(%)			
学生生徒等	大学	2	72	50.0%			
	高等学校	2					
	中学校	6					
	小学校	52					
	特別支援学校 (特別支援学級)	3					
	各種学校	1					
	子どもルーム	0					
	子ども会等	6					
	学齢前	保育園			2	8	5.6%
		幼稚園			6		
幼児サークル		0					
一般	身障者施設	11	24	44.4%			
	老人介護施設	0					
	一般団体	53					
合計		144	54				

※ 詳細は、巻末資料を参照ください。

7.3 団体の地域別割合

本館

地域	学生生徒		学齢前		一般団体		合計	
	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)
千葉市	44	46.3%	29	70.7%	13	28.9%	86	47.5%
葛南	5	5.3%	4	9.8%	6	13.3%	15	8.3%
東葛飾	6	6.3%	0	0.0%	4	8.9%	10	5.5%
北総	14	14.7%	2	4.9%	4	8.9%	20	11.0%
東上総	8	8.4%	3	7.3%	3	6.7%	14	7.7%
南房総	7	7.4%	3	7.3%	9	20.0%	19	10.5%
県外*	11	11.6%	0	0.0%	6	13.3%	17	9.4%
	95		41		45		181	

*関東地方のみ。

大利根分館

地域	学生生徒		学齢前		一般団体		合計	
	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)
千葉市	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%	2	0.8%
葛南	4	14.3%	0	0.0%	1	0.5%	5	2.0%
東葛飾	5	17.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.0%
北総	26	92.9%	0	0.0%	11	5.0%	37	14.7%
東上総	2	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
南房総	2	7.1%	0	0.0%	1	0.5%	3	1.2%
県外	2	7.1%	0	0.0%	4	1.8%	6	2.4%
	41		0	0.0%	19		60	

県外内訳

地域	学生生徒		学齢前		一般団体		合計	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
関東地方	2		0		4		6	
合計								

大多喜城分館

地域	学生生徒		学齢前		一般団体		合計	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
千葉市	1	3.6%	0	0	24	10.9%	25	10.0%
葛南	1	3.6%	0	0	19	8.6%	20	8.0%
東葛飾	0	0.0%	0	0	12	5.4%	12	4.8%
北総	0	0.0%	0	0	8	3.6%	8	3.2%
東上総	20	71.4%	2	1	11	5.0%	33	13.1%
南房総	2	7.1%	0	0	20	9.0%	22	8.8%
県外	4	14.3%	0	0	127	57.5%	131	52.2%
合計	28		2	1	221		251	

県外内訳

地域	学生生徒		学齢前		一般団体		合計	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
関東地方	0	0.0%	0		0	0.0%	0	0.0%
その他県外	1	25.0%	0		0	0.0%	1	0.8%
海外 (アメリカ)	2	50.0%	0		0	0.0%	2	1.5%
合計	3	0.75	0		0		3	

分館海の博物館

地域	学生生徒		学齢前		一般団体		合計	
	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)	団体数	割合(%)
千葉市	4	5.6%	0	0.0%	6	9.4%	10	6.9%
葛南	1	1.4%	2	25.0%	5	7.8%	8	5.6%
東葛飾	0	0.0%	0	0.0%	5	7.8%	5	3.5%
北総	1	1.4%	0	0.0%	3	4.7%	4	2.8%
東上総	31	43.1%	1	12.5%	5	7.8%	37	25.7%
南房総	6	8.3%	3	37.5%	3	4.7%	12	8.3%
他県	0		0		1	1.6%	1	0.7%
合計	29	40.3%	2	25.0%	36	56.3%	67	46.5%

県外内訳

地域	学生		学齢前		学齢前		合計	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
関東地方	28	96.6%	2	1000.0%	17	47.2%	47	70.1%
その他県外	1	3.4%	0	0.0%	18	50.0%	19	28.4%
海外 (アメリカ)	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%	1	1.5%
合計	29	100.0%	2	1000.0%	36	100.0%	67	100.0%

※県内の市町村別詳細は、巻末資料編を参照ください。

8. 予算・決算

8.1 歳入決算額

(千円)

	本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館	計
入場料収入	5,312	371	6,384	6,250	18,317
駐車場収入				10,426	10,426
その他収入	1,242	23	55	7	1,327
計	6,554	394	6,439	16,683	30,070

8.2 歳出決算額

本館

(千円)

	決算額	構成比(%)	内訳	
展示事業費	10,950	6.5%		
普及事業費	32,599	19.4%	展示解説員等	7,627
			博物館情報システム	20,070
			要覧等印刷費	795
			房総の山のフィールドミュージアム	2,338
			その他	1,769
調査研究費	4,095	2.4%	調査研究費	1,174
			重点研究事業	2,015
			シンポジウム	65
			研究報告書印刷	220
			その他	621
資料収集保存費	2,370	1.4%		
維持管理費	109,959	65.4%		
施設整備費	8,070	4.8%		
計	168,043	100.0%		

分館

(千円)

	決算額		
大利根分館	20,100		
大多喜城分館	26,419		
分館海の博物館	83,965		

8.3 外部資金 (予算額)

(円)

事業	種類	金額
調査研究	文部科学省科学研究費補助金 (研究代表)	3,800,000
	文部科学省科学研究費補助金 (研究分担)	1,452,602
展示	財団法人日本海事科学振興財団「海と船の博物館ネットワーク」	1,240,000
	平成 22 年度芸術文化振興基金助成金事業 (独立行政法人 日本芸術文化振興会基金部地域文化助成課)	1,200,000
	「海と船の企画展」支援事業	483,630
合計		8,176,232

9 組織・運営

9.1 博物館協議会

県立美術館・博物館の運営に関し、各委員の専門的立場から広く意見を聴取し、事業に反映させている。(平成18年4月1日設置)教育機関設置条例第21条の2

(1)委員名簿(氏名順)

任期：平成22年4月1日～24年3月31日

氏名(敬称略)	区分	所属・役職
明石 要一	学識経験者(教育学)	千葉大学教授
秋田 敏彰	学識経験者(広報)	株式会社総合ビジョン顧問(元NHK千葉放送局長)
鶴澤登美子	社会教育	元佐倉市教育委員会教育次長
大澤 雅彦	学識経験者(生態学)	財団法人日本自然保護協会理事
大森喜美江	家庭教育	千葉県子ども会育成連合会指導委員会副委員長
岡本 東三	学識経験者(考古学)	千葉大学教授
小野 勝弘	学識経験者(理工学)	現代産業科学館展示・運営協力会会長
片山喜久子	学校教育	千葉市立若松小学校長
川崎 朋子	学識経験者(観光)	大多喜町歴史的景観審議会委員
栗原 裕治	学識経験者(市民協働)	特定非営利活動法人千葉まちづくりサポートセンター副代表
齊藤 泰嘉	学識経験者(美術史)	筑波大学教授
常光 徹	学識経験者(民俗学)	国立歴史民俗博物館副館長
水島 陽子	社会教育	元館山市教育委員会委員長
茂木 瓊子	家庭教育	茂木本家美術館館長
吉野 博	学校教育	千葉県立千葉西高等学校長

(2)協議会の開催

第1回 平成22年8月4日(水)

議題 平成22年度各博物館の地域振興について
各博物館の入館者動向について

第2回 平成22年12月21日(火)

議題 平成22年度の各博物館の地域振興について
各博物館の資料収集・保存活動と利活用について
美術館の耐震改修工事について

第3回 平成23年3月14日(月)

東北地方太平洋沖地震により中止

8.2 館組織

(1)組織図・分掌 ()内は人数

館長 (1)	副館長 (2)	庶務部 (1)	庶務課 (6) *2	庶務・会計・管理
			教育普及課 (8)	教育普及・広報全般、本館来館者対応 体験学習室維持管理
		自然誌・歴史研究部 (2) *1	地学研究科 (3)	本館展示維持管理、専門分野の調査研究・資料収集整理・教育普及・展示企画
			動物学研究科 (4) *3	本館展示維持管理、専門分野の調査研究・資料収集整理・教育普及・展示企画
			植物学研究科 (5) *3	本館展示維持管理、専門分野の調査研究・資料収集整理・教育普及・展示企画
			歴史学研究科 (5)	本館展示維持管理、専門分野の調査研究・資料収集整理・教育普及・展示企画
			(大根分館) (2) *4	大根分館の管理・博物館事業
			(大多喜城分館) (4)	大多喜城分館の管理・博物館事業
		生態・環境研究部 (2) *1	資料管理研究科 (4)	資料および収蔵庫管理統括、専門分野の調査研究・資料収集整理・普及活動・展示企画
			生態学研究科 (4) *3	生態園維持管理、専門分野の調査研究・資料収集整理・普及活動・展示企画
			(房総の山のフィールド・ミュージアム) (4)	房総の山の FM 事業、専門分野の調査研究・資料収集整理・教育普及・展示企画
			環境科学研究科 (5) *3	生態園・小動物展示室維持管理、専門分野の調査研究・資料収集整理・普及活動・展示企画
		分館海の博物館 (1)	環境教育研究科 (3)	かかわり展示室維持管理、専門分野の調査研究・資料収集整理・普及活動・展示企画
			事務 (2)	分館海の博物館の庶務・会計・管理
				専門 (7)

*1) 主席研究員 1 名含む、*2) 設備兼務 1 名含む、*3) 自然保護課生物多様性センター併任 1 名含む、*4) 10 月から 1 名が本館勤務

(2)職員

職員数 80 名 (再任用職員 1 名、併任 4 名、嘱託 6 名、兼務 1 名を含む) うち研究職 67 名

(○環境生活部自然保護課併任、◎自然保護課生物多様性センター併任)

館長 嘉村 茂邦
副館長 藤崎 芳樹 日本考古学
副館長 ○中村 俊彦 植物生態学

庶務部

部長
(兼)庶務課長 小野高栄一
事務取扱

庶務課

主査 吉瀬 英子
主査 高宮 京子
主査 宇野澤正義
主任主事 長谷 久夫
主任事務員 佐藤久美子
(兼)主任技師 吉田 光雄

教育普及課

課長 新 和宏 古生物学
上席研究員 一場 郁夫 博物館活用・
社会科教育
上席研究員 宮 正樹 分子系統学
上席研究員 安齋 信人 日本近世史

上席研究員 小田島高之 地理学・リモートセン
シング
上席研究員 大木 淳一 地質学
上席研究員 浅井 秀彦 古生物学
研究員 石渡 克彦 歴史学
嘱託職員 3 名 体験交流員

自然誌・歴史研究部

部長・主席研究員
(兼)動物学研究 宮野 伸也 社会性昆虫学
科長
主席研究員 筑紫 敏夫 日本近世史

地学研究科

主席研究員・科長 岡崎 浩子 堆積学
上席研究員 高橋 直樹 地質学・岩石学
上席研究員 伊左治鎮司 古生物学

動物学研究科

上席研究員	直海 俊一郎	昆虫分類学
上席研究員	黒住 耐二	貝類学
上席研究員	立川 浩之	海洋生物学
上席研究員	◎柳 研介	動物分類学

植物学研究科

科長	古木 達郎	蘚苔類分類学
上席研究員	吹春 俊光	菌類学
上席研究員	天野 誠	植物細胞分類学
上席研究員	原田 浩	地衣類分類学
上席研究員	◎齋木 健一	古植物学

歴史学研究科

主席研究員・科長	田村 隆	日本考古学
上席研究員	渋谷 さゆり	日本民俗学
上席研究員	清藤 一順	日本考古学
研究員	田邊 由美子	動物考古学

(大根分館)

上席研究員	内田 龍哉	日本近世史
上席研究員	小林 裕美	日本民俗学 10月から本館勤務

(太多喜城分館)

上席研究員	地引 尚幸	日本民俗学
上席研究員	高橋 覚	日本近世史
上席研究員	三森 俊彦	日本考古学
主任用務員	酒井 孝子	

資料管理研究科

科長	斉藤 明子	昆虫分類学
上席研究員	御巫 由紀	植物分類学
上席研究員	駒井 智幸	甲殻類分類学
上席研究員	友田 暁子	図書資料論

生態・環境研究部

部長	原 正利	森林生態学
主席研究員	白井 豊	歴史地理学

生態学研究科

主席研究員・科長	大庭 照代	生物音響学
上席研究員	林 紀男	微生物生態学
上席研究員	◎浅田 正彦	哺乳類学
上席研究員	奥田 昌明	古環境学

(房総の山のフィールド・ミュージアム)

上席研究員	尾崎 煙雄	森林生態学
上席研究員	島立 理子	民俗学・日本近代史
上席研究員	加藤 久佳	古生物学
上席研究員	江口 誠一	古環境学・植生史学

環境科学研究科

科長	大野 啓一	群落生態学
上席研究員	◎由良 浩	植物実験生態学
上席研究員	林 浩二	植物生態学・環境教育
上席研究員	萩野 康則	土壌動物学
上席研究員	山口 剛	昆虫生態学

環境教育研究科

科長	落合 啓二	哺乳類生態学
上席研究員	桑原 和之	鳥類学
上席研究員	倉西 良一	水生昆虫学

分館海の博物館

分館長	宮田 昌彦	藻類分類学
主査	檜葉 一夫	
主任主事	小安 祐一	
上席研究員	中村 裕明	海洋生態学
上席研究員	本吉 正宏	歴史学
上席研究員	川瀬 裕司	魚類生態学
上席研究員	奥野 淳兒	動物分類学 (甲殻類)
上席研究員	菊地 則雄	藻類学
研究員	村田 明久	動物行動学 (蔓脚類)
研究員	大久保 守	近代日本洋画史
嘱託職員	2名	体験学習指導員

9.3 運営推進チーム

横断的な事業は、各館・各課科職員からなるチーム・委員会を組織し、企画運営を行った。

- 企画・広報チーム
- 教育普及チーム
- 展示チーム
- 資料情報チーム
- 調査研究チーム
- 安全管理委員会
- 衛生委員会

10. 千葉県立中央博物館友の会

10.1 会員数 (平成 23 年 3 月 31 日)

	22 年度	(21 年度)
一般会員	403	392
家族会員	97	111
賛助会員	5	9
合計	505	512

10.2 役員

役職	人数
会長	1
副会長	2
事務局長	1
会計監査	2
幹事	12
編集部会長	1
編集部幹事	2
友の会会計シヨップ	1
シヨップ担当	3
友の会事務局	1
顧問	3

10.3 事業

(1) 定期総会および講演会

日時：4 月 25 日 (日)

定期総会：13：00～14：00

講演会：14：10～15：40

場所：中央博物館講堂

講師：宮田昌彦

演題：「海藻、35 億年の旅人-それは、生命をつたえるものがたり-」

参加者数：80 名

(2)観察会・講座・見学会の実施 21回 465名

開催日	行事名	場所	講師	人数
2010.4.24	春の青葉の森	青葉の森公園		13
2010.5.15	青葉の森の虫さがし	青葉の森公園		17
2010.5.16-17	スマイレの女王「サクラスミレ」に出会う旅～野辺山・清里の春～	山梨県（野辺山・清里）	天野 誠	33
2010.5.23	八街・富里方面の歴史	八街市・富里市		24
2010.5.29	佐倉-近世城下町と医学の発達を見る	佐倉市		16
2010.6.8	ミジンコたちの知られざる不思議な暮らし	研修室		16
2010.6.13	丹沢-化石と地層の観察会	神奈川県山北市皆瀬川	加藤久佳	23
2010.7.16	雲の上の観察会～富士山お中道のシャクナゲトンネルを歩こう～	山梨県（富士山五合目）	中村俊彦	40
2010.7.17	青葉の森の虫さがし	青葉の森公園	宮野伸也	16
2010.9.11-12	谷川岳・三国峠の多雪地形	群馬県		11
2010.9.28	幻のサメを終え一秘境東京海底谷	研修室		12
2010.10.3	房総のむらと龍角寺台	房総風土記の丘		32
2010.10.9	秋の青葉の森	青葉の森公園		5
2010.10.17	房総・化石と地層の観察会-市宿	君津市（鎌滝建材第二工場）	伊左治鎮司 加藤久佳	49
2010.11.16	研究発表会	研修室		19
2010.11.21	小糸側流域の滝（三間川の川歩き・秘瀑）	君津市		17
2010.11.28	柏・松戸方面の歴史	柏市・松戸市		23
2010.11.28	五日市町の化石と地層の観察会	東京都あきる野市五日市町	加藤久佳	25
2010.12.1	鉄鉱石から鉄製品へ（JFE スチール東日本製鉄所）	千葉市		36
2011.1.29	水との闘い（その1）利根川の東遷工事	野田市		18
2011.2.27	富津方面の歴史	富津市		20

(3)博物館職員による展示解説（会員向け） 12回 130名

開催日	解説	講師	解説場所	人数
2010.4.14	春の展示「雲南の地衣類」の解説	原田浩	企画展示室	14
2010.05.12	生態園トピックス展「生態園の植物・四季のみどころ」解説会	奥田昌明	生態園オリエンテーションハウス	8
2010.06.09	第2収蔵庫見学（貝類）	黒住耐二	第2収蔵庫	12
2010.07.14	企画展「海藻、35億年の旅人」解説	宮田昌彦	企画展示室	28
2010.8.11	房総の歴史展示室の解説	田村 隆	房総の歴史展示室	8
2010.9.8	生態園トピックス展「まちのコウモリ」の解説	落合啓二	生態園オリエンテーションハウス	9
2010.10.13	秋の展示「きらびやかな世界の昆虫たち」の解説	直海俊一郎	企画展示室	9
2010.11.10	図書室見学「図書室の業務について」	友田暁子	図書室	6
2010.12.8	自然と人間のかかわり展示室	林 浩二	自然と人間のかかわり展示室	6
2011.1.12	第5収蔵庫（岩石・鉱物）の案内	高橋直樹	第5収蔵庫	11
2011.2.9	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」の解説	清藤一順	企画展示室	10
2011.3.9	小動物展示室の解説	倉西良一	小動物展示室	9

(4)サークル活動 159名

① 歴史サークル 6回 64名

開催日	行事名	場所	人数
2010.5.16	中世吉良氏の足跡を訪ねる	東京都世田谷区	14
2010.9.19	古文書を読んで歴史を学ぶ①	研修室	13
2010.10.17	徳川家の至宝を訪ねる	名古屋市	8
2010.10.31	古文書を読んで歴史を学ぶ②	研修室	15
2010.11.28	古文書を読んで歴史を学ぶ③	研修室	6
2011.2.20	古文書を読んで歴史を学ぶ④	研修室	8

② コケサークル 10 回 95 名

開催日	行事名	講師	場所	人数
2010.04.22	第 26 回：蘇苔類観察会	古木達郎	千葉市泉自然公園	13
2010.06.14	第 27 回：地衣類観察会	原田浩	銚子市	荒天中止
2010.07.05	第 28 回：蘇苔類観察会	古木達郎	山梨県富士山	13
2010.08.27	第 29 回：地衣類観察会	原田浩	山梨県富士山	10
2010.9.4-9.5	第 30 回：地衣類観察会	原田浩	栃木県日光市奥鬼怒	8
2010.10.17	第 31 回：蘇苔類観察会	古木達郎	佐倉市(佐倉城址公園)	12
2010.12.15	第 32 回：地衣類観察会	原田浩	勝浦市(長福寺)	6
2011.01.19	第 33 回：地衣類観察会	原田浩	鴨川市(清澄山)	5
2011.2.12	第 回：地衣類顕微鏡観察会	原田浩	研修室	13
2011.02.17	第 34 回：蘇苔類顕微鏡観察会	古木達郎	研修室	15

(5)博物館・友の会連携行事 23 回 638 名

開催日	行事名	講師	場所	人数
2010.4.25	鳥のさえずり 1 夜明けのコーラス	大庭照代	生態園	23
2010.4.25	鳥のさえずり 2 早朝のさえずり	大庭照代		15
2010.4.25	鳥のさえずり 3 鳥の声をキャッチしよう	大庭照代		9
2010.5.5	手形・足形色紙づくり		研修室	18
2010.5.16	地質の日-勝浦周辺の地質-	岡崎浩子	勝浦市海の博物館周辺	15
2010.6.15	勾玉づくり		研修室	24
2010.7.4	海藻で押し葉づくり	宮田昌彦	研修室	16
2010.7.24-25	潮だまりの海藻-家族で学ぶ海の自然誌	宮田昌彦	勝浦市・鴨川市	11
2010.7.25	鋸山(千畑層)の化石	伊左治鎮司	鋸南町	55
2010.8.1	早起き鳥 1 夏の夜明けは気持ちいい	大庭照代	生態園	30
2010.8.1	早起き鳥 2 カイツブリは朝から大忙し	大庭照代	生態園	
2010.8.7	化石の模型をつくろう-1	加藤久佳	研修室	32
2010.8.8	海岸で石ころをひろおう	高橋直樹	鴨川市八岡海岸	20
2010.8.14	恐竜時代に生きものの化石を探そう	伊左治鎮司	研修室	31
2010.8.15	海藻で押し葉づくり	宮田昌彦	研修室	20
2010.8.15	化石の模型をつくろう-2 (着色編)	加藤久佳	研修室	16
2010.8.22	夜に鳴く虫	大庭照代	生態園	10
2010.8.29	海藻で押し葉づくり	宮田昌彦	研修室	43
2010.9.4	地引き網でとれる砂浜の生き物		九十九里浜	83
2010.9.26	栃木県葛生地方の地質と化石	加藤久佳	栃木県佐野市	28
2010.10.30-31	大谷石のふるさとをたずねる	高橋直樹	栃木県宇都宮市	19
2010.11.3	砂で遊ぼう	岡崎浩子	2 階ホール	120
2011.3.21	銚子の化石と地質	浅井秀彦	銚子市君ヶ浜	中止

(6)本館企画展示のボランティア

企画展「海藻、35 億年の旅人」

海藻クイズ(全 21 回、土日祝実施) 各日 2~7 名、延べ 79 名

押し葉づくり(全 5 回) 各回 1~4 名、延べ 11 名

(7)友の会ニュースの発行 (年 3 回)

69 号(2010 年 4 月 1 日発行)

70 号(2010 年 8 月 1 日発行)

71 号(2010 年 12 月 1 日発行)

(8)ミュージアムショップの運営

営業時間 平日 10:30~16:30

土日祝 9:00~16:30

月曜日 休業

<資料編>

2.1 研究課題成果一覧

本館・大利根分館・大多喜城分館

(2) 地域研究課題

①地域研究課題：地球誌系

	研究タイトル	研究者名	研究内容	H22 研究成果
1	房総半島の地層の堆積環境の復元	岡崎浩子	房総半島はそのほとんどが新生代の地層からできており、この時代の日本の模式地層として位置づけられている。したがってその地層の形成時の堆積環境を復元することは、房総半島の成り立ちおよび日本列島の成り立ちを解明する上で大変重要である。この堆積環境の復元を堆積相解析を用いて地域ごとに行う。	館山市に分布する沖の島遺跡（沖積層）の形成過程を明らかにした。国際誌 Quaternary International に成果を発表した。
2	房総半島嶺岡帯の地質構造の解明	高橋直樹	嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特長の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。	嶺岡帯内から新鉱物「千葉石」を発見し、国際誌 Nature Communications に報告した（共同研究）。また、嶺岡帯の延長である三浦半島葉山帯中の蛇紋岩の性質を検討し、学会で報告した。岩石標本約 50 点を採集した。
3	房総半島の脊椎動物化石の分布調査	伊左治領司	房総半島に分布する上総層群と下総層群から産出する脊椎動物化石は多種多様であり、化石密集層から産出する例も知られている。脊椎動物化石を多く含む地層について、産出化石と堆積環境について調査する。	上総層群市宿層より産出より産出した魚類の顎化石について、ヒラメ類の上顎骨と同定した。さらに、同地層より採集したクジラの下顎化石について、友の会会員と共同研究を行ない、ナガスクジラ類の下顎骨と同定した。
4	房総の十脚甲殻類化石相	加藤久佳	中生代白亜紀前期～完新世に及ぶ、千葉県産の十脚甲殻類化石の分類、記載を行う。この中には、未記載種をはじめとして、学問上重要な意義を持つもの、房総の古環境復元に寄与と思われるもの、一般に対してアピール度が高いと思われる化石（保存の良いカニ化石など）などが含まれる。	銚子の白亜系から十脚類化石の追加サンプルの収集・処理を進めるとともに、最上部中新統千畑層、更新統市宿層、完新統沼層などからの追加資料を得た。
5	房総周辺の花粉・環境誌	奥田昌明 館外研究者	房総とその周辺で以下のような花粉調査を実施する。(1) 上総・下総層群相当層に対し花粉分析をおこない日本列島中軸部の過去 100 万年の環境変動を解明する。(2) 房総とその周辺で表層花粉資料の収集整備に努める。(3) 千葉県周辺の歴史時代の古環境を復元する。	中央区道場南のボーリングコアを花粉分析することにより、千葉市の古墳時代以降の環境変化を明らかにした。この結果は千葉中央博自然誌研究報告(2011)に掲載された。
6	房総丘陵におけるタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究	大木淳一	タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する	主として養老溪谷沿いに生息するタゴガエルの越冬場所と産卵場所を調査し、繁殖状況を確認した。この成果は MT や八街市図書館主催の講座で県民に公開した。
7	房総丘陵における河川の発達と河道の変遷に関する研究	小田島高之 (島立理子)	房総丘陵における河川の発達と河道の変遷を解明し、河川環境と人との関わりについて考察する。	特に小櫃川の河道の変遷について、空中写真や古地図を用いて判読を行った。
8	植物珪酸体化石による古環境復元	江口誠一	千葉県内の地域における古植生を植物珪酸体化石によって空間的に復元する。その基礎研究を進めると共に、他の研究資料を含めた総合的な古環境復元を目指す。	
9	白亜系銚子層群の動物化石相と生層序に関する調査研究	浅井秀彦	白亜系銚子層群の動物化石相と生層序について、頭足類化石を中心として調査、研究を行う。銚子層群からは古くからアンモナイトなどの大型動物化石の産出が報告されているが、当博物館には銚子層群の動物化石資料が少ない。銚子層群についての博物館資料の充実・補完を図る。	銚子層群産化石資料約 60 点（うち頭足類化石資料約 10 点）を収集し、一部資料についてクリーニング及び同定を行った。
10	南房総周辺に分布する化石サンゴの分類と種の生態環境の解明	新 和宏	沼層産出の化石サンゴを分類し、礁形成時の古環境復元とその検証を行うとともに、現生サンゴの分布、礁形成にともなう環境との比較を行う。	現地調査として関連資料のサンプリング及びクリーニングを行うと共に、沼サンゴ指定地の現状確認等を行った。成果報告等に関しては、袖ヶ浦市教委主催の科学論文作成指導時に「沼サンゴの化石産状とその意義等」について講演した他、MT において解説を行った。

②地域研究課題：生命誌系 1(房総の分類学的多様性の特徴とその保全)

	研究タイトル	研究者名	研究内容	H22 研究成果
1	房総のハチ類誌	宮野伸也	ハチ類について生息する種を調査することにより、房総のハチ類の戸籍簿を作成する。	清澄山系などでハチ類を中心に採集を行い、50 種約 300 個体を採集し、標本を作成した。また、ハチ類やハチに寄生するネジレバネに関する学術論文 4 編を発表した。
2	房総の魚類誌	宮 正樹	房総の生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにする	房総半島を含む日本ならびに世界のフナ属の系統を明らかにし、その成果を BMC Evolutionary Biology 誌に発表した。
3	房総の昆虫誌	直海俊一郎	房総、特に南房総には固有の昆虫が多く生息しているが、地域によってどのような種類が生息・分布しているか、を甲虫を中心に調査・収集する。	日本昆虫分類学会誌にて、1 新種 <i>Eupiestes iriomotensis</i> ワタナベミナミヒラタハネカクシを記載した。
4	房総の貝類誌	黒住耐二	房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する	房総半島東岸で分布調査を貝類の行い、千葉県新記録となるツブリボラ・ホソカゴメベッコウバイ等を確認した。印旛沼周辺の沖積層から得られたボーリングコア中の貝化石群について報告した。千葉県生涯学習センターの「ちばカレッジ」講師によって、一般県民に広く知ってもらうよう努力した。
5	房総の土壤動物誌	萩野康則	房総に生息する多種多様の土壤動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。	篠原圭三郎氏の多足類関連文献の一部約 200 点について、疑義のあった情報を補完しデータ入力をした。
6	房総の甲殻類誌	駒井智幸	房総半島に出現する軟甲甲殻類相の解明を行う。端脚目などは特に研究が遅れており、外来種の存在の評価も困難な状況にあるので、現状の改善を図りたい	東京湾に生息するヨコエビ類の分類学的研究を東邦大学の学生と行い、約 20 種を同定した。また、この研究の過程で得られた標本を当館の資料として受け入れた。房総半島沖合の深海調査で採集された資料からエビジャコ科(1 種)、オトヒメエビ科(1 種)、コシオリエビ科(2 種)の新種を発見し、査読付きジャーナルに公表した(Crustaceana, Natural History Research)
7	房総の菌類誌	吹春俊光	房総半島における大型菌類に関する研究。方法は 1) 地域ごとの大型菌類のフロラ調査、2) 森林タイプ別の大型菌類のフェノロジー調査の 2 本立でおこなう。大型菌類のフロラ調査は、これまで房総半島の自然の特徴を代表する地域(千葉市、市原市など)で進めてきた。これからは未解明の重点地域をもうけて継続する。現在は君津市を中心に調査を継続中である。また必要に応じて特殊な環境に発生する菌類(糞生菌など)の調査もあわせておこなう。大型菌類のフェノロジー調査は、現在千葉市内で 1 6 年間、イヌシデ・コナラ林の調査をおこなっており	今年度は新たに 573 点の標本と 323 点の目撃記録を追加し、房総産大型菌類のデータを収集・整備した。採集された県内・国内の未報告種や未記載種については、標本化をおこない、継続して検討中である。
8	房総の地衣類誌	原田 浩	千葉県内の地衣類相を明らかにするために、既に収集した標本資料の分類学的検討をおこなう。また、必要に応じ、主として千葉県南部(あるいは銚子地域)において補足調査を行う。22 年度は、千葉県新産種等について報告する。	市原市産の標本に基づき新種ノミノアオキノリを記載し、南房総市よりシラチャウメノキゴケを千葉県新産種として報告した。また共同研究員、市民研究員等と共同研究を行い、リトマスゴケ科、ウメノキゴケ科、レブラゴケ類等について研究した。
9	房総の蘚苔類誌	古木達郎	千葉県内に生育するコケ植物について、分類学的な再検討を行い、併せて分布と生態を記述する。重点地域は特にこれまで調査研究があまり行われていなかった下総台地とする。	前年に続き、船橋市の蘚苔類を市民研究員と協働で調査し、ミヤコノケビラゴケなど 3 種の県新産を含む 43 科 92 属 135 種を確認した。
10	千葉県の甲虫相に関する研究	斉藤明子	本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、昆虫の内、カミキリムシ科を中心とする甲虫類の調査を行う。カミキリムシ科甲虫は幼虫が生木あるいは枯れ木を餌とす	県内各地で甲虫類の調査採集を行い、300 点の標本を収集した。千葉市から絶滅危惧種アサカミキリの生息を確認、大多喜町から千葉県初記録のモンハナノミについてに報告したほ

			る食材性の昆虫であり、森林環境を指標する生物群のひとつといえる。カミキリムシ相を調べることで、その地域の森林の状況を推測するための資料ともなる。	か、千葉県初記録の移入種のカメムシについても「房総の昆虫」に報告した。
11	房総丘陵の両生爬虫類相	大木淳一 (尾崎煙雄、小田島高之)	千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1 kmメッシュ単位の分布図を作成する。	養老川中流域においてタゴガエルの産卵場所を重点的に調査した。その結果、市原市古敷谷で産卵場所を新たに発見したことで、タゴガエル分布域の北限を更新することができた。
12	房総丘陵の昆虫・クモ類相	尾崎煙雄 (大木淳一)	「房総三角帯」に属し特有の昆虫およびクモ類が生息する房総丘陵の昆虫・クモ類相を解明し、標本および生態写真のデータベースを作成する。	昆虫標本約500点、クモ標本約30点を収集し、生態写真約100点を撮影した。
13	房総丘陵の維管束植物相	尾崎煙雄	千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明し、1 kmメッシュ単位の分布図を作成する。	東京大学千葉演習林管内(清澄山系)の調査を実施し、約40メッシュの維管束植物を記録した。
14	千葉県の鳥類相に関する研究	桑原和之	千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する。期間は4-6年間を予定している。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。	千葉県を中心とした文献を閲覧し、千葉県全域の鳥類相が約400種であることを確認した。また、海岸部の鳥類相の状況などを把握するため現地調査を行った。
15	房総のイシサンゴ類誌	立川浩之	房総半島沿岸は有藻性イシサンゴ類の太平洋岸における分布北限域として知られるが、実際に分布する種については十分に解明されていない。また、これまで房総半島周辺の無藻性イシサンゴ類に関するまとまった報告はない。本研究では、標本収集および分類学的研究に基づき、房総のイシサンゴ相を明らかにする。	房総半島周辺を含む南日本海域のツツミサンゴ科の分類学的検討を行い、一新種と一日本初記録種を報告した。また、勝浦沖から分布北限となるニホンアワサンゴとキクメイシモドキを報告した
16	房総半島周辺の刺胞動物相の解明	柳 研介	房総半島周辺海域の刺胞動物相の解明は進んでおらず、基礎データの蓄積のみならず、生物多様性研究を中心とした広い分野の研究での活用が期待されることから、本研究課題では、文献調査、標本収集・調査を進め、リストを作成するとともに、その生物誌について研究する。	房総半島を含む日本におけるイソギンチャク類について、特に他の生物との関係性を重点に検討し、この成果を学術誌2編、学会発表2件、普及書1編にまとめ公表した。
17	房総の維管束植物誌	天野 誠	千葉県鴨川市周辺の維管束植物相を調査し、合わせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。	東大演習林のスタッフと共同で、2010年度10回の1泊2日調査をほぼ毎月行い、42メッシュすべてを調査した。大まかな演習林内の分布がわかるようになった。記録種数は、822分類群であり、千葉県全体の種数2786分類群の約30%にあたる。標本は309点採集し、収蔵庫に納めた。

③地域研究課題：生命誌系2（房総の生態学的多様性の特徴とその保全）

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	生態園の生態系変遷に関する野鳥調査	大庭照代 (野鳥調査員 (友の会))	野鳥のカウント調査(開館以来継続)から生態園における野鳥の生息状況を記録し、生物多様性をはかる基礎資料とする。	平成22年度(2010年4月-2011年3月)、生態園一周ルートを歩く早朝野鳥調査(7:45-8:45)を全73回、野鳥観察舎から見える範囲で行う日中調査(8:45-16:15)を土日祝日に実施し、データ入力を2009年1月から2010年12月まで完了させた。2009年が64種9224羽、2010年は62種9067羽となり、2008年62種8353羽と比べ個体数は増傾向であった。
2	房総半島におけるニホンジカの保護管理のための研究	浅田正彦	房総半島において旧来から生息している孤立したニホンジカ個体群のために、個体数や栄養状態のモニタリングを行う	個体数推定やモニタリングを行い、千葉県生物多様性センター研究報告で公表した。

3	房総のヒメコマツの保全生態学的研究	尾崎煙雄	近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、群落生態学、分子生態学、造林学などの手法を用い、その保全に向けた研究を行う。	生育状況モニタリング、結実量モニタリング、樹幹注入試験、移植予備実験等を行い、県自然保護課と協力しつつ保全事業を実施した。
4	生態園の生態系変遷に関する総合研究	原 正利 (落合啓二、大野 啓、由良 浩、林 紀男、倉西良一)	生態園の生態系の変遷について、長期的な視野で記録に残し、今後の生態系管理に役立てていくことを目的とする。当面は、既存のデータや資料の所在確認や整理を行いつつ、日常的な記録システムのありかたや、市民との連携方法、総合的な調査の時期や方法について検討を進める。研究体制は仮のものであり、今後、関連分野の職員や館外研究者とも相談しつつ、実効的な研究体制に移行していきたい。	今年度は、重点研究課題(生態園の生態系変遷)として、QuickBirad 衛星画像や航空写真を購入し、生態園を含む周辺環境の過去からの変遷についての解析を進めた。また、生態園内の植物相データの整理を進めた。さらに、生態園の舟田池の水質や生物管理についての研究を進めるとともに、これらの成果を印旛沼や手賀沼など他の湖沼にも応用する取り組みを進めた。以上の成果は、原著論文 1 報、学術報告書 4 報、教育普及書 2 報などの印刷物として公表し、学会や学習支援に関わる講演会等でも公表した。
5	照葉樹林の植生地理	原 正利	千葉県森林生態系の基盤をなす照葉樹林について、様々な空間スケールで植生地理学的研究を行う。1) 東アジアスケールでは、熱帯山地林と照葉樹林の比較研究を進める。2) 日本列島スケールでは、分布北限付近に位置する東日本各地の照葉樹林の特性を、西日本との比較も行いつつ明らかにする。3) 千葉県スケールでは、照葉樹林の大部分は社叢林として残されていることから、その分布や地域特性を、人との関わりも含めて明らかにしていく。	今年度、1) については、研究分担者となっている科学研究費基礎研究 B「攪乱環境下の東南アジア熱帯山地林におけるブナ科樹種多様性変動の解明」によってマレーシアサラワク州の熱帯山地林を調査した。2) については調査を行わず、3) については印西市に断片的に残存する照葉樹林について現地調査を行った。研究成果は熱帯生態学会および日本生態学会で発表した。
6	千葉県における哺乳類各種の生息状況と生態	落合啓二	千葉県に生息する哺乳類各種について、分布・生態等の調査研究を進める。特に、房総のニホンジカと外来種キョンの食性の重複・競合についてデータ分析・論文作成を進める。	千葉県におけるムササビの生息の可否について、および千葉県のイタチ類の同定結果について、それぞれ千葉県立中央博物館自然誌研究報告に投稿・掲載された(Vol. 11(1):37-49、Vol. 11(2):15-18)。千葉県の希少哺乳類 18 種について、千葉県レッドデータブック動物編(改訂版)に執筆・発行された。平成 21 年に Mammal study 誌に掲載された千葉県におけるタヌキ・アライグマ・ハクビシンの食性重複に関する論文(英文)が日本哺乳類学会論文賞を受賞した。
7	房総に自生する植物のフェノロジー	大野啓一	房総に分布する在来植物種について、開葉・落葉の時期や期間などの季節的な生長様式を、網羅的に調査する。既に草本種約 200 種、木本種約 100 種についてデータを得ているが、さらに資料の蓄積を図る。木本種については、市民と連携した調査もすすめる。	生態園、千葉市緑区、君津市高宕山などで、月 1~2 回、標識個体の定期的な観察を続け、計 40 種の草本植物についてその季節的な生長過程のデータを得た。
8	海岸植物の保護増殖	由良 浩	千葉県をはじめとして海岸植物、特に砂浜と塩性湿地の植物は全国的に激減している。千葉県に生育する海岸植物を対象に海岸植物の生態を明らかにし、最適な保護策を考察する。	これまでの成果を、第 58 回日本生態学会(札幌)にて発表した。
9	千葉県における原生生物等の生息状況	林 紀男	千葉県内の池沼、ダム湖、水田など陸水域に生息する原生生物等の浮遊・付着生物の分布状況を網羅的に踏査し、県内生物相に関する同分類群の基礎的知見を集積する。	教育普及書 2 報、学会発表 2 件にて成果を公表した。
10	千葉県の水辺環境と水生昆虫類の分布特性	倉西良一 (外部研究者・市民 若干名)	千葉県内の河川や湖沼においてその水生昆虫相を明らかにし、その特徴となる水生昆虫の調査を行う。特に、房総半島に分布する絶滅危惧種『ミサキツノトビケラ』などの水生昆虫について保全生物学的研究を行う。	早春に印旛沼、手賀沼の沖合の底生動物の調査を行い多くの知見を得た。これは、千葉県立中央博物館自然誌研究報告に投稿し、11(1):1-9 に掲載された。この過程で千葉県内の水辺から絶滅している種がいたことが判明し、千葉県レッドデータブックに反映させた。水生昆虫の分布データを房総の昆虫等に 3 報投稿した。
11	房総に生息する生物の動画記録に関する研究	山口 剛	主に昆虫を対象とし、その生態・行動をビデオ映像として記録し、整理、活用する方法などを研究する。	昨年度に行った先行研究の検討結果より、当面は DV テープにより映像を収集し、テープごとに撮影記録原簿を作成することにした。今年度は、主に山のフィールドミュージアムが活動している三島小学校周辺や清和県民の森などで約 1 年間にわたり撮影した DV テープについての撮影記録原簿の作成を開始した。

④地域研究課題：人類誌系（房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究）

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	房総半島後期旧石器時代の研究	田村 隆 (外部研究者 若干名)	房総半島後期旧石器時代を総合的に研究する。	昨年度から房総半島内の後期旧石器時代遺跡の使用石材産地の悉皆調査を実施 研究報告 11-2 (7月刊行) に成果を公表した
2	近世江戸湾沿岸地域の総合的研究	筑紫敏夫 (外部研究者 若干名)	江戸時代の東京湾とその沿岸地域を対象に、漁業(貝漁を含む)・交通・沿岸防備を柱にして、その実態の解明を行う。分析にあたっては、古文書を中心とするが、石造物や現地での聞き取り調査も積極的にやりたい。	「房総の郷土史」38号、「利根川文化研究」34号に漁業についての資料紹介を発表した。江戸湾の交通については木更津市金田公民館、沿岸防備については本館講堂・富津市富津公民館・千葉県郷土史研究連絡協議会で、それぞれ講座・講演を行った。
3	房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究	島立理子	房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたを調査する。	君津市清和地区を中心に古老から薪炭林と堆肥との関係について聞き取り調査をおこなった。
4	下総台地における近世以降の薪炭林育成に関する歴史地理学的研究	白井 豊	下総台地において、近世以降に幕府直轄の馬牧とその周辺で展開した薪炭林育成について、空間的広がりパターン、経過を探求しその意義を明らかにする。	テーマに関連する研究文献を収集し、従来の自分自身が行った研究成果との関連において、読み進みとりまとめた。22年度は、全国的な都市の燃料と森林に関する文献、江戸内湾の近世以来の製塩のための薪炭林に関する文献を対象とした。
5	東京湾美術史の構築	高橋 寛	東京湾沿岸をモチーフとした美術作品を通史的に集成し、作家作品の個別研究を蓄積し、データベース化する。	江戸時代房総を訪れた渡辺華山の四州真景を分析し、その房総来訪の真意を検討した。未刊。
6	近世後期房総地方における「組合村」に関わる研究	安齋信人	江戸時代後期、特に文化文政期に関東一円に展開した関東取締出役及び「組合村」制の実態について、房総地方の事例を中心に、地方史料に基づき検討する。	千葉県文書館で収集された資料(地方文書)のうち、「組合村」制定時の日記及び御用留の画像について230冊以上収集し、担当する歴史学講座及び古文書講座で活用した。
7	遺跡出土馬骨の形態学的研究	田邊由美子	遺跡出土の馬歯骨について集成し、形態学的な分析を行う。	
8	房総における民俗変化の諸相	渋谷さおり	高度経済成長期を境に消滅した民衆事象とそれらが平成になって再生した背景と要因を房総を事例に考察する。	大原幽学由来の旭市長部をフィールドに、幽学の開拓集落がどのような変貌を遂げて現在に至っているのかを調査中。変貌の要因と幕末の開拓村落について特殊性を考察中である。未刊。
9	房総における生業の複合的なありかたについて	小林裕美	農間余業としての職人仕事や行商がどのように行われてきたのか、事例研究を行う。	匝瑳市木積の箕づくりについて、これまで房総のむらなどが行ってきた調査を基礎として現状調査を進め、成果を大利根分館の企画展示および、本館かわり展示室の常設展示にあらわした。
10	近世利根川下流域における江戸文人の遊歴	内田龍哉	江戸時代後期、江戸文人が利根川下流を遊歴した。その事例や作品を情報化し、併せて、常総地域における受容層の動向について分析する。	平成23年度大利根分館企画展「水郷を旅する人々」において展示成果を公表した。
11	房総における民間信仰の研究	地引尚幸	上総地方を中心に民間信仰の特徴とその変容について調査・研究をする。	『房総の出羽三山信仰』(千葉県伝統文化復興事業実行委員会)に「木更津市中島の出羽三山信仰」を掲載
12	近世房総の漢籍と民衆教化について	石渡克彦	私塾や藩校といった教育施設における漢籍テキストや思想系譜から、房総における儒学教養の展開と民衆教化の実態を他地方との比較のなかで検討する。	儒学教養の展開と民衆教化に関する文献調査を行うとともに、漢籍テキストの収集を行い、現存の諸版本との比較分析を継続して行っている。
13	印旛沼周辺の考古学研究	一場郁夫	印旛沼周辺の考古遺跡及び博物館等の考古資料を調査し、印旛沼水系における遺跡との関係を研究する。	考古遺跡における石器及び赤碧玉(通称:赤玉)の散布状況についての調査

⑤地域研究課題：博物館誌系（博物館とその社会的役割に関する研究）

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究	斉藤明子 (筑紫敏夫、御巫由紀、友田暁子、駒井智幸)	博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するため、総合的有害生物管理(IPM)を行う必要がある。これまで温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、異常を素早く見つけて対処しているが、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。	IPMの一貫として4回の生物生息調査を実施した(4/27-5/11, 7/21-8.4, 10/27-11/10, 2/17-3/4)。これらの調査結果で有害生物の発生あるいは侵入が見られた場合には、その源を明らかにすると共に、発生源となっていた資料の燻蒸などを行った。今後適切な総合的有害生物管理を行うためのデータとして蓄積した。
2	中央博物館の学習支援体制の構築	新 和宏	博物館における学習支援に関する課題を洗い出した上で、博物館の資料及び人材を活用した学習	JMMA(Japan Museum Management Academy)において研究発表を行うと共に、会報誌へ関連

	案と実践		支援体制を構築し、実践、検証を行う。	の論文を掲載した。同学会において、研究会等にパネラーとして出席した。関連調査として、国内の博物館、大学等数十カ所において調査を行った。全国館長会議のパネルディスカッションにおいてパネラーとして出席した。さらに、22 年度に共同執筆した『博物館教育論』(ぎょうせい)が 23 年度 8 月頃に刊行予定である。
3	「おばあちゃんの畑」をテーマとした地域・学校との連携による博物館活動	島立理子	「おばあちゃんの畑」をテーマに博物館と地域との連携による活動を実践し、日本におけるエコミュージアムの可能性を探る。	地域の NPO、小学校と連携して「おばあちゃんの畑」を耕作し、伝統的な農法などの記録、伝承作業および、普及活動をおこなった。
4	中央博物館の学習支援体制の構築と実践	新 和宏	博物館における学習支援に関する課題を洗い出した上で、博物館の資料及び人材を活用した学習支援体制を構築し、実践、検証を行う。	
5	中央博物館と学校との連携による博物館学習を推進するための体制整備	一場郁夫	国立歴史民俗博物館等の他の博物館の教育利用状況の調査を通して、博物館と学校との連携(博学連携)のあり方について研究する。中央博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習を推進するための体制を整備する。	①山梨県及び神奈川県内の博物館教育の現状調査②博物館学習を推進するための体制整備(システムづくり・Web 上での活用方法掲載)

(3) 普遍研究課題 41 件

⑥ 普遍研究課題：地質誌系(地質学的多様性に関する基礎研究)

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	実験水路を用いた洪水堆積物の再現	岡崎浩子 (館外研究者)	関東平野の台地をつくる更新統(約 40~10 万年前の地層)には、河川堆積物が全球的な海水準変動により周期的に挟まれる。この河川堆積物の中の洪水堆積物を実験水路で再現実験をおこない、高周波電磁波反射法を用いて実験堆積物の解析と地層条件の検証をおこなう。これによって地球環境変動による中長期的な河川動態変化を明らかにする。	水路実験の結果を日本地質学会ほか 3 件で発表した。
2	東北日本弧新第三紀火山活動の特質	高橋直樹	東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的關係を中心に調査を進める。	栃木県宇都宮地域の新第三紀の地質及び岩石を調査し、東北地方日本海側との類似性が明らかとなった。資料約 70 点を採集した。
3	白亜紀手取層群の動物化石包含層の解析	伊左治鎮司	白亜系の手取層群にある陸生動物化石を多産する河川成堆積物について、その堆積環境ごとの化石構成と含有量との対応を調査し、陸域生態系復元のための解析を行う。	石川県白山市の桑島化石壁(手取層群桑島層)より、5 種の有肺類巻貝化石を記載した(日本古生物学会誌)。そのうち、3 種(Zaptychius kuwajimaensis, Aplexa kasekikabe, Tetoripupa costata)は新種である。Tetoripupa costata は、世界最古のサナギガイ類であり、白亜紀前期の陸生有肺類の多様化を物語る資料である。
4	東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷	黒住耐二	現生/考古学遺跡/化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする	沖縄県や鹿児島県の先史時代を中心とした遺跡の貝類を検討し、当時の貝類相と人間による利用を検討した。その結果、例えば沖縄の勝連グスクでは 12 世紀前後の穀類農耕の開始に伴って林が伐採された可能性を示し、種子島の縄文時代晩期の一陣長崎鼻遺跡では、ニシキウズ科の巻貝とダシとしてのムラサキインコの集中的な採集や遺跡がウミガメ類解体場である可能性等を報告した。先史遺跡の貝類に関して、一般の方々に理解して頂くために、東京都三宅島や鹿児島県垂水市で、講演会講師として、これまでの成果を紹介した。
5	地質時代温暖期におけるアジアの古植生復元	齋木健一	中生代ジュラ紀-白亜紀の地球温暖期におけるアジアの古植生を化石記録から復元する。	
6	日本産十脚甲殻化石の古地理と古生態	加藤久佳	本研究では、主として東北日本産十脚甲殻化石の古地理と古生態について、化石記録から検討する。特に、古第三紀のテチス要素から北太平洋東西両岸要素への入れ替わり、新第三紀中新世の、熱帯・亜熱帯海洋気候の影響と、その後の寒冷化	福島県南相馬市の上部ジュラ系相馬中村層群から産出した十脚類化石について、記載・報告した。これらはヨーロッパテチスの十脚類フォーナとの類似が指摘される。

			に伴う冷温帯フォナーナの形成に焦点を当て、古地理学的な検討と。共産する底生動物化石から得られる情報もふくめた古生態学的なアプローチからの検討を行う。	
7	東アジア周辺の花粉・環境誌	奥田昌明 (館外研究者)	日本列島を中心とした東アジアにおいて、堆積物試料の花分析と表層花粉整備をおこなうことにより、おもに万年スケールの古気候復元の高精度化をはかる。また日本列島における表層花粉群のインベントリーを作成する。	千葉県を含む太平洋岸の表層花粉試料を収集整備した。成果は、H19-22 文部科学省 科学研究費・若手研究 (A) 成果報告書にまとめ、出版した (研究代表者・奥田)
8	河川地形の動態と生物分布に関する環境地質学的研究	大木淳一	水辺に生息する鳥類、両生類、昆虫類などの生息環境や繁殖場所が規制される要因を環境地質学的に解明する	新たに発見したタゴガエルの産卵場所の地質学的記載を行った。この成果は当館 MT や八街市図書館主催の講演会で県民に公表した。
9	地形や地質の生物分布に与える影響について	小田島高之	地形・地質が生物分布に与える影響について地理情報システムを用いて解析する。	県内の植生図及び標高データ (10m メッシュ) について、GIS データベースの整備を行った。

⑦ 普遍研究課題：生命誌系 1 (分類学的多様性に関する基礎的研究)

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	ミトコンドリアゲノム分析に基づく魚類の系統進化	宮 正樹	ミトコンドリアゲノム全長配列に基づき、魚類の系統進化史を解明する	ギンザメ類、ニシン目、コイ科、オステオゴロツサム目などの系統を解明し、計 8 編の論文を国際誌に発表した。バタフライフィッシュの停滞進化を扱った論文は朝日新聞の科学欄に取り上げられた。
2	生物の種のあり方と認識	直海俊一郎	より良い自然理解を得るための生物の種のあり方と認識を深く探求すると共に、ハネカクシ科甲虫の種などの記載を通して、種の実際を知る。	統合的種概念についてレビューを行い、その結果を日本植物分類学会誌に発表した。
3	日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究	萩野康則	日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約 30 種であるが、潜在的には 100 種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。	北海道礼文島・利尻島産ほかのエダヒゲムシ類約 200 個体をプレパラート化した。
4	十脚甲殻類の分類	駒井智幸	全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基礎整備に貢献する	国内外に收藏される標本資料、あるいは新たに蓄積された資料の検討を行い、21 編の英文原著論文を国内外の査読付きジャーナル (Species Diversity, Journal of Natural History, Journal of Marine Biological Association of U.K., Journal of Crustacean Biology, Zootaxa など) に発表した。36 新種 (1 新属を含む) を公表し、13 既知種について新産地記録 (1 件は移入)
5	特殊生態の菌類誌	吹春俊光	特殊な環境に発生する大型菌類に関する研究。草食動物の糞の上に発生する大型菌類 (糞生菌) や、動物関連物質が土壌表面で分解した跡に発生する大型菌類 (アンモニア菌) を調査する。開館以来、日本列島各地、台湾、などの土壌から関連する様々な菌を分離し研究を進めてきた。現在も科研費の分担者等として、ニュージーランド、ハワイ等の土壌から、該当する菌の分離・研究をすすめている。大型菌類をとおして、房総半島の自然を、日本各地や世界各地の自然と比較・俯瞰する成果を得ることができる。	調査中のアンモニア菌について、ニュージーランドから採集した菌が新種と判明し記載した (Fukiharu, T. et al 2011)。カナダから採集した菌が新種と判明し、共同研究者 (博物館の研究生、千葉大学) とともに記載した (Raut, JK et al 2011)。
6	地衣類の多様性に関する研究	原田 浩	主として日本および周辺地域を対象として、アナイボゴケ科を中心とする地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究をおこなう。共同研究員および館外研究者と協力する。22年度は、(1) 日本地衣類誌の編纂、(2) 沖縄ヤンバルの地衣類相、(3) 東アジア産被果地衣類の分類学的研究、等。	日本産淡水生地衣類およびリトマスゴケ科の分類について従来の報告を取りまとめ、コナアナツブゴケとチヂレアカハラムカデゴケを日本新産として報告、マリアナ諸島のカシゴケ属の分類学的検討を行い、ピロードハナゴケの国内の分布について報告した。
7	アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究	古木達郎	千葉県と関係が深いアジア・太平洋地域に生育するコケ植物の多様性を探り、系統分類学的な研究を推進する。	県内や東北地方、台湾でタイ類の調査を行い約 400 点の標本を採集し、分類学的な検討を進め、ノグチサキジロゴケなどの台湾新産となる種を確認した。
8	アジア高山帯における植物分類学的研究	天野 誠	アジアの高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一律ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、ヒマラヤ山	平成 21 年度、ネパールの最西部、Bajhang District で、採集した標本を、東京大学総合研究博物館の標本を参考にして、同定した。

			脈を中心とする地域の植物相の調査は欠かせない。本研究は、アジアの高山帯で多様に分化した分類群（特にゴマノハグサ科）を生物地理学的、細胞分類学的観点も含めて、研究するものである。	
9	カミキリムシ科 甲虫の分類	齊藤明子	アジア産を中心とするカミキリムシ類についての分類学的な研究を行う。	これまでに収集したインドネシア産、特にスラウェシ島のカミキリムシ類の内、フトカミキリ亜科 Tmesisternini 族について地史と絡めて分類学的な検討を行った。その結果、未記載種が多く含まれることが判ったので、研究を継続中である。
10	バラ属植物の花色 色素分析	御巫由紀	バラ花卉に含まれるフラボノイド成分の組成を分析し、属内分類群とのかかわりを解明する。特にペラルゴニジン配糖体に注目し、野生種における分布調査とともに、19世紀以来の品種改良に伴うペラルゴニジン合成能力の拡大と花色の関係を検討する。	チャイナローズのサンプルを収集し、花色色素を分析した結果を植物学講座（11/27 実施）の話題の1つとして活用した。
11	植物珪酸体の形態 分類	江口誠一	イネ科・カヤツリグサ科のほか珪酸分を多く含む樹木の植物珪酸体形態を分類する。それらを古植生復原に利用できるよう基礎研究を行なう。	
12	イソギンチャク 類の分類学的研究	柳 研介	イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA 解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行っている	キンチャクガニ類の保持しているイソギンチャクについて、ミトコンドリア DNA を用いた分類学的解析を行う共に、成長に伴う形態変化について検討した。この成果について、学会発表等 2 件、普及書 1 編にて報告した。
13	日本産イシサン ゴ類の分類・生物 地理に関する研究	立川浩之	日本産のイシサンゴ類はこれまでに約 500 種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。	日本におけるイシサンゴ類の分類の現状と問題点を分析し、その結果を日本サンゴ礁学会誌に発表した。

⑧ 普遍研究課題：生命誌系 2（生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究）

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	社会性ハチ類の 生態・行動・進化 に関する研究	宮野伸也	社会性ハチ類、特にアシナガバチ類の生態や行動の特徴を明らかにし、社会性進化のなぞの解明を目指す。	カースト分化における餌量と女王バチの影響を調べるため、フタモンアシナガバチ幼虫の人工飼育実験を進めた。試行錯誤の結果、幼虫の資料として乾燥酵母が適していることを明らかにした。ハチに関する論文 1 編を発表した。
2	生物音声自動認識 および環境モニタ リングに関わる生物 の音声信号と音環境 構造の研究	大庭照代 (館外研究者 8 名)	生物音声識別装置「ききみみずきん」により収集した音声データをもとに、生物音声辞書改良に必要な条件を探る。生態園などで実施した識別活動から得られたデータを解析し、本装置の学習や環境モニタリング活動における効果について分析を行う。また、iPhone アプリの導入により、新たな辞書の作成など、環境モニタリングに必要な重要な鳥類種を中心に研究を進める。	生物音声識別支援装置「ききみみずきん」(平成 15 年度導入・16-17 年度辞書改善) はハードウェアの寿命により、教育など社会で活用できるものとしてその活路を開くため、iPhone のアプリ化が行われた。生態園において試行を行い、2011 年 2 月にリリースされた。園内でのテストでは好成績をあげたので、平成 23 年度からは生態園観察会などでも導入を行う。
3	照葉樹林の生態 学的研究	尾崎煙雄	照葉樹林を構成する植物について生態学的、生物地理学的視点から研究を行い、その成り立ちを解明する。	房総半島と琉球列島（奄美大島、徳之島）において地形・地質との関連に着目して調査を行った。
4	ブナ林の動態と 生物地理	原 正利	東日本に本来は広く分布し、この地域の自然生態系の基盤をなしていたブナ林について、特に、1) 再生・維持動態、および 2) 生物地理（生態地理および系統地理）について研究を進める。1) については、これまでにやってきた研究を継続し、ブナ林の再生・維持動態を長期モニタリングデータに基づいて明らかにする。2) については、東日本各地の残存林の分布や植生学的特徴、DNA 解析によるブナの系統地理学について研究を進める。	広島県および岡山県において低海拔地に分布するブナの小集団から、DNA 分析用の葉を採取した。自然史学会連合の講演会において、これまでの研究成果を「生物の分布情報はなぜ重要か」と題して講演した。
5	ニホンカモシカの 生態学的研究	落合啓二	野生動物と生息環境の関係を明らかにすることは、動物生態学の基本的な課題としても、また野生動物の保全を進めるうえでも重要である。この課題に関して、ニホンカモシカの環境収容力の解析、並びにメスの個体別の繁殖成功率となわぼりの質に関する研究を進める。	ニホンカモシカの生息環境と繁殖成功率・行動圏サイズ・生息密度の相互関係について、Mammal study 誌に投稿・掲載された（英文、Vol. 35:265-276）。

6	芽ばえに関する記載的研究	大野啓一	木本・草本の芽ばえ（当年生実生）を、生態写真、スキャナー画像、標本、形態記載により、網羅的に記録し資料化する。採種、播種、育苗などについては市民と連携しておこなう。これらの資料をもとに、自然観察や自然の再生、管理に役立つ図鑑の編纂をめざす。	採種・播種・育苗等によって得た91種類（栽培種6種を含む）の芽ばえの標本を作成し、写真等で形態を記録した。このうちの39種は市民が播種・育苗した芽ばえの提供を受けたものである。
7	ススキ、オギ、アシの比較生態	由良 浩	アシ、ススキ、オギの生育域は、湿性、乾性、半湿性とはっきりと分かれている。3種とも種子は広く散布されているにもかかわらず、なぜそれほど生育域がはっきりと分かれているのかは未解明の点が多い。本研究ではなぜ湿性の植物が乾性的な環境に生育できないのかをさぐることに特に重点をおいて進める。	オギをハイドロアース法で栽培する実験を行った。
8	水辺植生の再生による水環境保全技術の開発	林 紀男	埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みに関し、散布体からの株入手方法、増殖株の現場植え戻し工法、移植株の食害防止策など、植生再生に向けた基礎的知見を集積する。	原著論文（査読あり）1報、学術報告書（査読なし）4報、学会発表15件にて成果を公表した。
9	外来種『フロリダマミズヨコエビ』の分布拡大とその要因	倉西良一 （館外研究者若干名）	1980年代に千葉県にその侵入が認められ、その後全国に分散した外来種『フロリダマミズヨコエビ』についてその繁殖生態や環境耐久性、各地に分散した個体の遺伝子から分散の要因を解明する。	共同研究者らと現地調査、室内実験を行い Zoological Science 誌に投稿、27巻522-527に掲載された。全国各地の個体の遺伝子解析をすすめ、共同研究者とともに Limnology 誌へ投稿した。
10	アリ類の行動・生態学的研究	山口 剛	アリ類は社会性昆虫であり複数の個体が協力して採餌や営巣活動などを行っている。しかし、その生態は種によって異なっており未知な部分が多い。この研究では、特に人の身近に生息しているアリ類を対象に、種ごとの行動・生態的特性について研究する。	昨年度、クロヤマアリを落下以外に脱出手段のない閉鎖空間に投入すると、閉鎖空間から外に出た部分から飛降りて脱出することを発見、発表した。今年度は、本種が脱出可能な場所がわかる理由として考えられた仮説を検証する実験を行った。その結果、本種は先端のような場所で飛降りたがる傾向があること。また、空間認知能力にもすぐれていることが示唆された。この結果は、山形大学で行なわれた日本昆虫学会第70回大会において「アリの飛降りによる脱出行動」というタイトルで口頭発表した。
11	シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究	桑原和之	チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。	チドリ目の越冬期の生態の調査を行なった。湿地のシギ・チドリ類の個体数の変動に関する記録を現地調査で収集した。

⑨ 普遍研究課題：人類誌系（景観史という新領域の創出）

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	旧石器時代景観史の研究	田村隆	旧石器時代三万年の景観史の構築	
2	近現代における裁縫教育についての研究	島立理子	近現代において、衣類を調整する技術がどのような場で、どのように伝承あるいは教授されてきたかを明らかにし、近代以降の裁縫教育の持つ意味を明らかにする。	九十九里町に残されている絵馬「裁縫教室図」の調査をおこない、明治はじめの裁縫塾のあり方について、検討した。
3	関東平野における明治10年代の土地利用に関する研究	白井 豊	迅速測図を基礎的資料として、関東平野全域の土地利用を約2kmメッシュのオーダーで把握する。明治10年代の土地利用の意義を知る目的から近世の都市・信仰的中心地や交通の状況なども可能な限り把握する。その際には近世の道標を初めとする石造文化財や古文書を資料とする場合もある。	迅速測図を基礎的資料とする土地利用の把握の作業を進めた。すでに千葉県の北部・中部、茨城県西南部を終えているが、この作業を千葉県南部に進めた。本年度は、現館山市までの土地利用の着色作業が進んだ。
4	近世図像資料の研究	高橋 寛	絵図、絵画、古写真などを活用し、文献資料だけではわかりづらい近世の情景を視覚にうったえる形で再現する。	企画展「武と華やぎの装い」に寛文小袖を初めとする染織製品を展示し、その意匠と時代背景を紹介した。
5	漁撈文化の研究	安齋信人	人類の生業の一つである漁撈及び漁撈文化について、房総地方を事例として、文献史学からのアプローチにより明らかにする。	県内の捕鯨業にかかわる県内資料調査（館山市・南房総市ほか）を行い、その内容を博物館事業及び23年度福岡市立博物館で実施されるクジラ展の調査協力を行った。
6	房総における動物の利用について	田邊由美子	過去の人々の動物利用について、遺跡から出土する動物遺存体を用いて考える。	
7	房総に生きる人	渋谷さゆり	個人の生活誌を追うことによって生活背景と周囲の関連を考察し、時代と人と地域の重層性を追う。	トピックス展「大原幽学—その生涯と功績—」を開催、幽学という個人と功績を紹介し、幕末、農村に与えた幽学の影響を紹介した。

8	民俗文化の伝播と伝承について	小林裕美	民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察する。	房総の出羽三山信仰のありかたについて、各地の共通点と差異について事例収集を行った。
---	----------------	------	---	---

⑩ 普遍研究課題：博物館誌系（博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究）

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	持続可能な社会のための教育と博物館	林 浩二	国際的にまた国内でも関心を集めている「持続可能な社会のための教育」に、博物館として何ができるか、具体的な活動から探る。	博物館行事として「持続可能な社会のための教育」を実施、文化庁委嘱「博物館の教育機能に関する調査研究」に研究協力者として参画した。
2	21 世紀型博物館の評価制度の課題と提言～そして博物館の変革に向けて～	新 和宏	21 世紀に入り、世情の変化と比例するように博物館及びそれを取り巻く環境に大きな転機が訪れている。併せて、ニーズも多様化の傾向を呈している。そのような中、博物館及び我々学芸員は変革することが期待されている。そこで、今まで聖域とされてきた文化・学術の分野に多大な影響を及ぼそうとしている様々な課題を洗い出した上で、博物館の管理運営、博物館機能、展示技法、普及事業、連携事業、そして、危機管理等に關して、提言する。	日本科学協会の笹川科学研究助成として研究を行った論文が 21 年度に協会奨励賞となり、それに伴う発表、各行政等への指導アドバイスを多数行った。また、県立美術館・博物館評価事業のプロジェクトリーダーとして評価事業全般の各種調整、各館指導等を行った。平成 22 年度～24 年度にかけて科学研究費研究として「時系列データによる日本の博物館の動態分析」の研究を進めている。
3	博物館の資料及び地域文化財保護のためのリスクマネジメントシステムの構築	新 和宏	博物館は、その設置主体や館種に例外なく、地域の自然遺産、文化遺産を収蔵するとともに、フィールドにおいてもその利活用を図る使命を有している。しかし、これらの遺産は、地震や台風等の自然災害の影響を直接受けることが多い。そこで、予期せぬ自然災害が生じた際、これらの遺産を早急に、かつ、安全に保護するための文化財救済ネットワークシステムを構築し、併せて、博物館職員の資質向上のための研修を行うとともに、地域ボランティア等の育成、指導のカリキュラムを確立する。	21 年度文部科学省助成金事業として研究を行い、千葉県文化財救済ネットを構築した事業において、東北大学、神戸大学、千葉歴史学会等の報告書に論文掲載を行った。また、東北大学において行われた資料ネット関連のシンポジウムにパネラーとして出席し、現地視察、各種指導を行った。
4	地域博物館の連携による地域史像の形成	内田龍哉	地域博物館の連携による、歴史的枠組みによるフィールドミュージアムの構築、文化遺産の再発見と地域史像の形成について、提言する。	

分館海の博物館

①房総半島の海洋生物相とその特徴

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	房総半島沿岸の魚類相	川瀬裕司	房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。	県内調査では、千葉県の陸水域からはおよそ30年ぶりとなるオオウナギが発見され、標本計測後、展示室で臨時に一般公開した。また、県外調査では静岡県清水で深海性魚類の採集を行い、30個体の魚類標本のほか、シギウナギの生態映像撮影に成功した。
2	房総半島の海産無脊椎動物相	奥野淳兒・村田明久	房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。	勝浦市鶴原地先の鶴原島で採集された2個体を含み、新種コモレピアカモエビを記載した。鶴原理想郷に生息する海浜性等脚類について論文にまとめた。県内の潮下帯に生息する十脚甲殻類の画像収集を進めた。
3	房総半島沿岸の海藻相	菊地則雄	房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。	勝浦市沿岸を中心に海藻・海産種子植物相を調査し、海藻標本101点を登録するとともに、新たに1種の勝浦新産種を確認した。また、2009年9月までに収集・登録した標本を基に、勝浦市沿岸及び館山市坂田・波左間沿岸の海産植物相について論文にまとめた。

②専門研究

	研究タイトル	研究者名	研究内容	研究成果
1	小中学生を対象とした効果的な野外観察	中村裕明	小中学生を対象とした効果的な野外観察方法について明らかにする。	海の博物館で実施する団体フィールドトリップ等の野外事業を約20件担当し、潮間帯で見られる多様な生物を、生徒の興味を引き出せるような解説と指導を実践した。
2	房総半島における自然災害史の研究	本吉正宏	自然災害のうちの地震津波に焦点を当て、県内を取りあげた古文書等史料を調査し、津波の規模や被害状況を明らかにする。	元禄地震津波関係資料を、勝浦市内行川地区及び勝浦地区で計10余点確認し、釈文を行って被害状況の把握を行った。
3	魚類の繁殖生態	川瀬裕司	沿岸性海産魚類の繁殖生態（なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など）について、フィールド観察を主体にして明らかにする。	地球温暖化に伴う海水温の上昇が魚類の繁殖に及ぼす影響を評価するために、指標種を設定して鹿児島県から千葉県沿岸で繁殖状況をモニタリングするとともに、繁殖記録を集約するためのデータベースを構築した。
4	日本産共生性コエビ類の分類学的研究	奥野淳兒	日本に分布する共生性コエビ類の分類学的研究を行い、新種の記載や新記録種の報告を進めていく。	沖縄で採集された標本に基づき、テヅルモヅルエビを日本新記録として報告すると同時に新属テヅルモヅルエビ属を創設した。八丈島産の標本に基づき、ウミシダと共生するツノメヤドリエビ属の1新種を記載した。
5	原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究	菊地則雄	日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。	千葉県内数カ所でアマノリ属藻類を採集し、糸状体培養株を作出するとともに、形態観察を行った。また、アマノリ属の新種についての論文1編とエリスロペルティス目藻類の分類の再検討についての論文2編を公表した。
6	蔓脚類の生態	村田明久	蔓脚類を中心に、岩礁海岸生物群集の長期的な動態を調査する。	定点でのモニタリングを実施し、基礎的なデータ収集および解析を行った。
7	海を主題とした近代日本洋画史の調査研究	大久保守	明治後期以降に房総半島を訪れ、制作した洋画家たちの足跡を研究する。	地方紙『千葉日報』に「海を見つめる画家たち」のタイトルで15編を連載し、房総の海を訪れた洋画家たちについて述べた。

2.4 各職員の執筆活動・口頭発表一覧(所属科順)

嘉村茂邦

報告書	嘉村茂邦. 2011. 基調講演 千葉県立中央博物館が考える新たなネットワーク構想について. 第 18 回全国科学博物館協議会研究発表大会:資料, pp.9-16. 全国科学博物館協議会.
普及書	嘉村茂邦. 2011. 中央博物館の今後に向けて. 中央博物館だより, (68):2.
口頭	博物館経営の実際. 2010.1.26. 国立教育政策研究所. 社会教育主事講習会. 社会教育実践研究センター, 東京都.

藤崎芳樹

ウェブ	藤崎芳樹. 2010. 中央博の窓-10 展示室内の展示替えについて. ちば中央博メール, (2010 年 11 月号第 51 号).
-----	---

中村俊彦

学術書	中村俊彦. 2011. 東京湾と人のかかわりの歴史. 東京湾海洋環境研究委員会, 東京湾:人と自然のかかわりの再生, pp.215-229. 恒星社厚生閣, 東京.
報告書	中村俊彦. 2011. 里山里海と生態系の文化サービス. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4): 178-182. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	中村俊彦・青木慎哉. 2011. 里山里海の子どもの自然体験と学校ビオトープ. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4): 183-190. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	中村俊彦・北澤哲弥. 2011. 概要:ちばの里山里海サブグローバル評価—生物多様性ゆたかな持続可能な社会に向けて—. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):3-6. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	中村俊彦・北澤哲弥. 2011. 「国連ミレニアム生態系評価(MA)」と「日本の里山・里海評価(JSSA)」に基づく「ちばの里山里海サブグローバル評価」. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):8-14. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	中村俊彦・北澤哲弥. 2011. 里山里海と都市の生態系. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):35-41. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	中村俊彦・小島由美. 2011. 明治時代の里山里海の「村」の構造と生産. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):22-34. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	中村俊彦・北澤哲弥・小倉久子・吉田正彦. 2011. 持続可能な社会に向けた将来シナリオ. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):236-249. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	北澤哲弥・中村俊彦. 2011. 生物多様性と生態系サービス. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):15-20. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	北澤哲弥・中村俊彦. 2011. 里山里海を変化させる要因:外部依存と人工技術依存. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):216-231. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	北澤哲弥・中村俊彦. 2011. 千葉県の環境収容人口の試算. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):232-234. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	吉田正彦・山口和子・石崎晶子・小倉久子・中村俊彦. 2011. 里沼における人の営みの変遷と生態系サービス. 千葉県生物多様性センター研究報告, (4):124-151. 千葉県生物多様性センター, 千葉市.
	普及書
中村俊彦. 2010. 里山海からの通信 41:里山の味「ツクシ」と外国産マグロ. ふれあい毎日, (112):2.	
中村俊彦. 2010. 里山海からの通信 42:やさしさを育む教育「ビオトープ」. ふれあい毎日, (113):3.	
中村俊彦. 2010. ちば水辺の生命 145 トキ帰郷する日も. 読売新聞千葉版, (2010 年 5 月 30 日).	
中村俊彦. 2010. 里山海からの通信 43:「都市の縮退」と里山海のルネッサンス. ふれあい毎日, (114):3.	
中村俊彦. 2010. あらためて生物多様性とは! 環境パートナーシップだより, (74):6-7.	
中村俊彦. 2010. 里山海からの通信 44:田字草(デンジソウ). ふれあい毎日, (115):6.	
中村俊彦. 2010. 里山海からの通信 45:アメリカザリガニ. ふれあい毎日, (116):4.	
中村俊彦. 2010. 里山海からの通信 46:「これ以上, 自然を減らさない国」宣言. ふれあい毎日, (118):3.	
中村俊彦. 2010. 里山海からの通信 47:「里山・里海ルネッサンス」が世界に発信. ふれあい毎日, (119):3.	
中村俊彦. 2010. 里山海からの通信 48:干潟のすごさ, 三番瀬のすごさ. ふれあい毎日, (120):3.	
中村俊彦. 2011. 伝統的な谷津田はヒトと生き物の里. 自然復元協会編, 写真で見る自然環境再生, pp.36-41. オーム社, 東京.	
中村俊彦. 2011. 里山海からの通信 49:水源の森を壊す人, 買う人. ふれあい毎日, (122):2.	
中村俊彦. 2011. 里山海からの通信 50:房総ちばの生物多様性「伝えなければならないことがある・再び」. ふれあい毎日, (113):4.	
中村俊彦. 2011. 東京湾海洋環境研究委員会の一員として「東京湾:人と自然のかかわりの再生」の出版に参加して. 東京湾学会誌, 3(3):83-84.	
中村俊彦. 2011. 里山里海と私たちにとっての生物多様性. 私たちの自然, (564):2-4.	
中村俊彦. 2011. 生物多様性の宝庫を守る. 成東・東金食虫群落を守る会, 「成東・東金食虫植物群落」ガイド, 山武市教育委員会. 山武市.	

新 和宏

報告書	新 和宏. 2010. 千葉県文化財救済ネットワーク構築推進事業の設立経緯と事業計画. 日本ミュージアム・マネージメント学会会報, 15(3)No.58: 10.
普及書	新 和宏. 2010. 千葉県立中央博物館～県民の知の拠点を創造～. 羽衣会, 羽衣だより, (74): 27-28. 新和宏. 2011. ちば水辺の生命 180 サンゴ 祖先は6億年前房総にも. 読売新聞千葉版, (2011年2月20日).
ウェブ	新和宏. 2011. 中央博の窓-15 「サンゴ」「珊瑚」から連想するもの・・・. ちば中央博メール, (2011年3月号第55号).
口頭	新 和宏. 2010.6. 千葉県文化財救済ネットワーク構築推進事業の設立経緯と事業計画. JMMA. 国立科学博物館, 東京都上野. 新 和宏. 2010.6. シンポジウム「地域作りのための博物館の役割」. 全国館長会議. 文部科学省, 東京都千代田区.

宮 正樹

論文	Hirayama, M., T. Mukai, M. Miya, Y. Murata, Y. Sekiya, T. Yamashita, M. Nishida, S. Watabe, S. Oda and H. Mitani. 2010.6. Intraspecific variation in the mitochondrial genome among local populations of Medaka <i>Oryzias latipes</i> . <i>Gene</i> , 457(1/2): 13-24. Inoue, J.G., M. Miya, M.J. Miller, T. Sado, R. Hanel, K. Hatooka, J. Aoyama, Y. Minegishi, M. Nishida and K. Tsukamoto. 2010.6. Deep-ocean origin of the freshwater eels. <i>Biology Letters</i> , 6(3): 363-366. Lavoué S., M. Miya and M. Nishida. 2010.7. Mitochondrial phylogenomics of anchovies (family Engraulidae) and recurrent origins of pronounced miniaturization in the order Clupeiformes. <i>Molecular Phylogenetics and Evolution</i> , 56(1): 480-485. Kawaguchi, M., J. Hiroi, M. Miya, M. Nishida, I. Iuchi and S. Yasumasu. 2010.8. Phylogeny-dependent intron-loss evolution of hatching enzyme genes in Teleostei. <i>BMC Evolutionary Biology</i> , (10): 260. Sato, T.P., Y. Sato, N. Masuyama, M. Miya and M. Nishida. 2010.8. Transfer RNA gene arrangement and codon usage in vertebrate mitochondrial genomes: a new insight into gene order conservation. <i>BMC Genomics</i> , (11): 479. Yang, L., R.L. Mayden, T. Sado, S. He, K. Saitoh and M. Miya. 2010.8. Molecular phylogeny of the fishes traditionally referred to Cyprinini sensu stricto (Teleostei: Cypriniformes). <i>Zoologica Scripta</i> , 39(6): 527-550. Yamanoue, Y., M. Miya, H. Doi, K. Mabuchi, H. Sakai, M. Nishida. 2011. Multiple invasions into freshwater by pufferfishes (Teleostei: Tetraodontidae): a mitogenomic perspective. 2011.2. Multiple invasions into freshwater by pufferfishes (Teleostei: Tetraodontidae): a mitogenomic perspective. <i>PLoS ONE</i> , (6): e17410. Saitoh, K., T. Sado, M.H. Doosey, H.L. Bart, Jr., Jun G. Inoue, R.L. Mayden, M. Nishida and M. Miya. 2011.3. Evidence from mitochondrial genomics supports the lower Mesozoic of South Asia as the time and place of basal divergence of cypriniform fishes (Actinopterygii: Ostariophysii). <i>Zoological Journal of the Linnean Society</i> , 161(3): 633-662. Tang, K.L., K.W. Conway, M.K. Agnew, W.-J. Chen, M.V. Hirt, T. Sado, L.M. Schneider, J. Freyhof, E. Swartz, C. Vidthayanon, H.L. Bart, M. Miya, K. Saitoh, A.M. Simons, R.M. Wood and R.L. Mayden. 2010.1. Systematics of the subfamily Danioninae (Teleostei: Cypriniformes: Cyprinidae). <i>Molecular Phylogenetics and Evolution</i> , 57(1): 189-214. Inoue, J.G., M. Miya, K. Lam, B.-H. Tay, J.A. Danks, J. Bell, T.I. Walker and B. Venkatesh. 2010.11. Evolutionary origin and phylogeny of the modern holocephalans (Chondrichthyes: Chimaeriformes): a mitogenomic perspective. <i>Molecular Biology and Evolution</i> , 27(11): 2576-2586.
普及書	宮 正樹. 2011. ペーパーレスで築く効率的な研究環境その1. 日本進化学会ニュース, 12(1): 16-19. 宮 正樹. 2011. 最尤樹推定ソフト RAxML の紹介. 日本進化学会ニュース, 12(1): 20-27.
口頭	Miya, M.. 2010.5. Evolution of the deep-sea fishes: A mitogenomic perspective. DNA Barcoding of Marine Biodiversity (MarBOL). Museum of Comparative Zoology, Harvard University, Cambridge, MA, USA. Miya, M., T.W. Pietsch, J.W. Orr, T.P. Sato, H.-C. Ho, R. Arnold, A.M. Shedlock, M. Shimazaki, M. Yabe, M. Nishida. 2010.7. Evolutionary history of anglerfishes (Teleostei: Lophiiformes): A mitogenomic perspective. Joint Meeting of Ichthyologists and Herpetologists. Rhode Island Convention Center, Providence, RI, USA. Tang K.L., Agnew, M.K., Chen W.-J., Hirt M.V., Raley, Sado T., Schneider L.M., Yang L., Bart H.L., He, S., Liu H., M.E., Miya M., Saitoh K., Simons A.M., Wood R.M. and Mayden R.L.. 2010.7. Phylogenetic relationships of the cyprinid subfamily Gobioninae (Teleostei: Cypriniformes). Joint Meeting of Ichthyologists and Herpetologists. Rhode Island Convention Center, Providence, RI, USA. Johnson G.D., Ida H., Sakaue J., Sado T., Asahida T. and Miya M. . 2010.7. An extraordinary primitive eel from shallow waters of Palau — new family, living fossil?. Joint Meeting of Ichthyologists and Herpetologists. Rhode Island Convention Center, Providence, RI, USA. 宮 正樹・井田 齊・G. David Johnson・坂上治郎・佐土哲也・朝日田卓. 2010.9. ウナギ目の新科を発見：バラオの海底洞窟に生息する「生きた化石」. 2010年度日本魚類学会年会. 三重県文化会館, 三重県津市. 佐土哲也・斉藤憲治・西田 睦・宮 正樹. 2010.9. ミトコンドリアゲノム全長配列に基づくタニノボリ科タニノボリ亜科の分子系統解析. 2010年度日本魚類学会年会. 三重県文化会館, 三重県津市. 佐藤崇・宮 正樹・佐土哲也・P.R. Møller, J.W. Orr・西田 睦. 2010.9. クサウオ科魚類の系統進化的研究:ミトコンドリアゲノム全長配列からのアプローチ. 2010年度日本魚類学会年会. 三重県文化会館, 三重県津市.

小田島高之

口頭	桑原和之・箕輪義隆・小田島高之・白井豊. 2009.6. 利根川下流域のシギ・チドリ類 (調査から重要湿地を考える). ミュージアムパーク茨城県自然博物館第 48 回企画展記念イベント「田んぼに集まる旅鳥シンポジウム」. ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 坂東市.
----	--

大木淳一

論文	大木淳一・島立理子. 2011. 九十九里町真亀の葬送儀礼. 千葉県立中央博物館研究報告 人文科学, 12(1): 1-25.
学術書	大木淳一. 2010. 山形県酒田市東方青沢地域の地質学的研究. 周藤賢治, 29年の記録(周藤賢治教授退官記念集), pp. 66-67. 新高速印刷株式会社, 新潟市. 大木淳一. 2010. 卒業研究の調査地域の露頭写真と岩石の顕微鏡写真～東北日本編・青沢～. 周藤賢治, 29年の記録(周藤賢治教授退官記念集), pp. 177-180. 新高速印刷株式会社, 新潟市.

普及書	大木淳一. 2010. 卒論の思い出～露頭に迷う 修論の思い出～岩石に迷う D 論の思い出～分析に迷う. 周藤賢治, 29 年の記録(周藤賢治教授退官記念集), pp.265-266. 新高速印刷株式会社, 新潟市.
	大木淳一. 2010. 番外編『周藤賢治 IT 列伝』. 周藤賢治, 29 年の記録(周藤賢治教授退官記念集), pp.267-269. 新高速印刷株式会社, 新潟市.
	大木淳一. 2010. ちば水辺の生命 146 ヒバカリ～毒なく温和、威嚇に迫力. 読売新聞千葉版, (2010 年 6 月 6 日): 30 面.
	大木淳一. 2010. 光る泥だんごをつくって土を知ろう!. 日本自然保護協会, 自然保護, (516): 36-37.
ウェブ	大木淳一. 2010/10/05. シロマダラだ!. 山 FM ウェブサイト.

宮野伸也

論文	Miyano, S, S. Makino, & S. Yamane. 2010.7. <i>Polistes formosanus</i> Sonan Produces Males Concurrently with Females in the First Brood on Yoron Island, Southern Japan.. <i>Sociobiology</i> , (56): 91-107.
	深澤 悟・宮野伸也. 2010.5. 東京都伊豆諸島のハチ目有剣類. 自然誌研究報告, (11): 11-28.
	深澤 悟・井坂友一・宮野伸也. 2010.9. スズバチネジレバネの新分布地. 中国昆虫, (24): 69-70.
普及書	宮野伸也. 2011.3. レッドデータブッカー動物編の改訂にあたって. 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック 動物編: 2011 年改訂版, p.3.
	宮野伸也・伊藤文子. 2010.12. ニホンミツバチの巣に侵入したクロメンガタスズメ. 房総の昆虫, (44): 36-37.
	野口裕司・宮野伸也. 2010.12. オオスズメバチ女王の単独飼育. 房総の昆虫, (44): 64-65.
ウェブ	宮野伸也. 2010. 中央博の窓-2 ハチは雄と雌を産み分ける!! ちば中央博メール, (2010 年 7 月号第 47 号).
	宮野伸也. 2010. 中央博の窓-7 一口で 525 回分. ちば中央博メール, (2010 年 10 月号第 50 号).

筑紫敏夫

論文	筑紫敏夫. 2011. 江戸時代から明治時代にかけての「房州石」の生産について—一文献史料の実証的分析—. 西上総文化会編集・発行, 西上総文化会報, (71): 7-14.
学術書	筑紫敏夫. 2010. 秋山鉄太郎. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 8. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 浅野長祚(ながよし). 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 16-17. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 朝比奈昌広. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 17-18. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 石野則常. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 57-58. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 井上鉄之助. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 91. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 江連堯則(えづれたかのり). 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 113. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 榎本道章. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 114. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 遠藤胤城. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 114-115. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 大久保忠寛. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 130. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 織田重信. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 180. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 川勝広運(ひろかず). 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 220. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 河津祐邦. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 225. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 河津祐賢. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 225. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 窪田鎮章. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 259. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 甲賀源吾. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 273. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 小永井小舟. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 283. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 斎藤大之進. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 296. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 柴田剛中(たけなか). 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 328-329. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 白石忠大夫. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 344-345. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 新見正路. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 349. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 新見正興. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 348. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 杉浦梅潭. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 356. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 竹内保徳. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 397. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 竹中重固(しげかた). 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 400. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 田付直愛. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 407. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 塚原昌義. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 423. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 永井尚志(なおゆき). 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 472-473. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 星野金吾. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 587-588. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 松浦武四郎. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, pp. 618-619. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 松村忠四郎. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 643. 東京堂出版, 東京.

	筑紫敏夫. 2010. 間宮林蔵. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 653. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 森山多吉郎. 竹内誠・深井雅海他編, 徳川幕臣人名辞典, p. 701. 東京堂出版, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 新刊紹介 大谷貞夫著「江戸幕府の直営牧」. 千葉歴史学会, 千葉史学, (56): 129-132.
	筑紫敏夫. 2010. 上総久留里藩江戸屋敷の妖怪騒動. 新人物往来社, 江戸諸藩 妖怪奇譚 手控え帖, pp. 89-95. 新人物往来社, 東京.
	筑紫敏夫. 2010. 明治十二年「水産調」を調べて. 千葉県郷土史研究連絡協議会編集・発行, 房総の郷土史, (38): 73-78.
	筑紫敏夫. 2011. 明治初期における千葉県の内水面漁業(上). 利根川文化研究会編集・発行, 利根川文化研究, (34): 39-62.

岡崎浩子

論文	Okazaki, H., M. Kobayashi, A. Momohara, S. Eguchi, T. Okamoto, S. Yanagisawa, and J. Kiyonaga. 2011.1. Early Holocene coastal environment inferred from an event deposit at the Okinoshima archeological site, Boso Peninsula, central Japan.. <i>Quaternary International</i> , 230(1-2): 87-94.
報告書	岡崎浩子. . 電磁波反射法を用いた水路実験 3次元モニタリングとその河川堆積相への適用. 平成19年度～平成22年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書, 41pp.
普及書	岡崎浩子・高橋直樹・伊左治鎮司・吉村光敏. 2011. 平成22年度地学資料集房総ジオツアー「上総丘陵の地質・地形をめぐる」. DVD版. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
口頭	岡崎浩子・郭 栄珠・中里裕臣. 2010.5. 小型平面水路でみる蛇行河川の形態変化. 日本地球惑星科学連合大会. 幕張メッセ, 千葉市.
	岡崎浩子・江口誠一. 2010.8. 博物館から地域の自然をみよう. 日本第四紀学会. 学芸大学, 東京都.
	岡崎浩子・中里裕臣・郭 栄珠・平塚賢二郎. 2010.9. GPR(地中レーダー)による実験堆積物3次元解析. 日本地質学会第117年学術大会. 富山大学, 富山市.

高橋直樹

論文	Momma, K., T. Ikeda, K. Nishikubo, N. Takahashi, C. Honma, M. Takada, Y. Furukawa, T. Nagase and Y. Kudoh. 2011.2. New silica clathrate minerals that are isostructural with natural gas hydrates.. <i>Nature Communications</i> , 2:196 doi:10.1038/ncomms1196
報告書	高橋直樹. 2010. 嶺岡帯オフィオライト岩類の起源一斑れい岩類を中心に-. 房総地学会ニュース, (79): 18-20.
普及書	高橋直樹. 2011. 新鉱物「千葉石」の発見. 日本地質学会 News, 14(3): 17-18.
	高橋直樹. 2011. 新鉱物「千葉石」が誕生するまで. 中央博物館だより, (68): 5.
	岡崎浩子・高橋直樹・伊左治鎮司・吉村光敏. 2011. 平成22年度地学資料集房総ジオツアー「上総丘陵の地質・地形をめぐる」. DVD版. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
口頭	高橋直樹・荒井章司. 2010.9. 三浦半島葉山帯中の蛇紋岩類の再検討. 日本地質学会第117年学術大会. 富山大学, 富山市.

伊左治鎮司

論文	Isaji, S. 2010.12. Terrestrial and freshwater pulmonate gastropods from the Early Cretaceous Kuwajima Formation, Tetori Group, Japan.. <i>Paleontological Research</i> , 14(4): 233-243.
学術書	伊左治鎮司. 2010. 貝殻穿孔生物. 日本古生物学会, 古生物学辞典 第2版, p. 61. 朝倉書店.
	伊左治鎮司. 2010. 手取層群. 日本古生物学会, 古生物学辞典 第2版, p. 368. 朝倉書店.
	伊左治鎮司. 2010. 卵殻. 日本古生物学会, 古生物学辞典 第2版, p. 509. 朝倉書店.
普及書	岡崎浩子・高橋直樹・伊左治鎮司・吉村光敏. 2011. 平成22年度地学資料集房総ジオツアー「上総丘陵の地質・地形をめぐる」. DVD版. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	伊左治鎮司. 2011. ちば水辺の生命 179: 真水に生きた太古の貝: 餌が豊富な楽園だった. 読売新聞千葉版, (2011年2月13日): 34面.
口頭	伊左治鎮司. 2010.6. 手取層群桑島層(前期白亜紀)の陸生および淡水生巻貝類化石. 日本古生物学会2010年年会. 筑波大学, つくば市.

直海俊一郎

論文	Naomi, S.-I. 2011.8. On the integrated frameworks of species concepts: Mayden's hierarchy of species concepts and de Queiroz's unified concept of species. <i>Journal of Zoological Systematics and Evolutionary Research</i> , 49(3): 177-184.
	Naomi, S.-I. 2011.3. A new species of the genus <i>Stenus</i> Latreille, 1797 (Coleoptera, Staphylinidae, Steninae) from Mie Pref., central Japa. <i>Japanese Journal of Systematic Entomology</i> , 17(1): 47-50.
	Naomi, S.-I. 2011.3. Discovery of the genus <i>Eupiestus</i> Kraatz, 1859 (Coleoptera, Staphylinidae, Piestinae) from Japan, with description of a new species from Iriomote Is., Nansei Islands. <i>Japanese Journal of Systematic Entomology</i> , 17(1): 59-64.
	Naomi, S.-I. 2011.3. Two New Synonyms of Staphylinidae (Coleoptera) from Japan. <i>Japanese Journal of Systematic Entomology</i> , 17(1): 65-66.
報告書	直海俊一郎・倉西良一. 2010. ミヤマクワガタ雌雄モザイク型の採集例. 甲虫ニュース, (170): 22.
普及書	直海俊一郎. 2010. ちば水辺の生命 164 チバナガエハネカクシ: 房総半島東部だけ生息. 読売新聞千葉版, (2010年10月17日).
	直海俊一郎. 2010. ちば水辺の生命 165 キヨシミメダカハネカクシ: メダカのような大きな目. 読売新聞千葉版, (2010年10月24日).
	直海俊一郎. 2010. ちば水辺の生命 166 ウミベアカバハネカクシ: 海藻に集まる小昆虫餌に. 読売新聞千葉版, (2010年10月31日).
ウェブ	直海俊一郎. 2010. 中央博の窓-5 秋の季節展の展示物から. ちば中央博メール, (2010年9月号第49号).

黒住耐二

論文	杉原重夫・黒住耐二・堀越正行. 2011. 印旛沼地域における古環境解明のための基礎調査. 環境史と人類, (5): 31-66.
学術書	黒住耐二. 2011. 琉球先史時代人とサンゴ礁資源: 貝類を中心として. 高宮広土・伊藤慎二, 先史・原始時代の琉球列島〜ヒトと景観〜, 考古学リーダー1, pp. 87-107. 六一書房, 東京.
報告書	黒住耐二. 2010. 東アジアのサンゴ礁域における貝類利用の伝播・収斂・多様化. 財団法人高梨学術奨励基金, 高梨学術奨励基金年報(平成 21 年度), pp. 167-174.
	黒住耐二. 2010. 貝類. 早稲田大学経塚古墳発掘調査団(田中新史), 武射 経塚古墳 摂関編 報告, p. 177.
	黒住耐二. 2011. 一陣長崎鼻遺跡出土の貝類遺体. 石堂和博・松原信之, 一陣長崎鼻遺跡, 南種子町文化財調査報告書, (17): 61-73.
	黒住耐二. 2011. 新原貝塚から得られた貝類遺体. 山里昌次, 新原貝塚・知名グスク, 南城市文化財調査報告書, (10): 83-99.
	黒住耐二. 2011. 馬場遺跡(第 5 地点)の土坑内土壌から得られた貝類遺体. 喜多裕明, 道古古墳群(第 2 次) / 馬場遺跡第 5 地点(第 1 次・第 2 次), (財) 印旛都市文化財センター発掘調査報告書, (295): 60-72.
	黒住耐二. 2011. ナガラ東原貝塚出土の貝類遺体(2010 年度). 松崎友理, ナガラ東原貝塚 7. 考古学研究室報告, (46): 38-41.
	黒住耐二. 2011. 伊礼原 E 遺跡から得られた貝類遺体. 東門研二・島袋晴美, 伊礼原 E 遺跡, 北谷町文化財調査報告書,
	黒住耐二. 2011. 貝類. 千葉県レッドデータブック改定委員会, 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック 動物編: 2011 年改訂版, pp. 415-490.
	黒住耐二. 2011. 貝類. 東京都環境局自然保護部, 東京都の保護上重要な野生生物種(鳥しよ部)〜東京都レッドリスト〜, pp. 90-95.
	黒住耐二・赤嶺信哉. 2011. 勝連城跡の土壌サンプルから抽出された微小貝類. 宮城伸一・仲村毅, 勝連城跡一四の曲輪北区発掘調査報告書一, うるま市文化財調査報告書, (14): 217-222.
	黒住耐二・一澤 圭・川上 靖. 2011. 鳥取県立博物館に寄贈された石坂元貝類コレクション一非海産腹足類一. 鳥取県立博物館研究報告, (48): 93-119.
	赤嶺信哉・黒住耐二. 2011. 勝連半島における遺跡出土貝類遺存体の状況. 宮城伸一・仲村毅, 勝連城跡一四の曲輪北区発掘調査報告書一, うるま市文化財調査報告書, (14): 201-215.
普及書	黒住耐二. 2010. ちば水辺の生命 149 バイー絶滅寸前から復活. 読売新聞千葉版, (2010 年 6 月 27 日): 34 面.
	黒住耐二. 2010. 貝類遺体から見た終原貝塚の特徴. 垂水市教育委員会・明治大学学術フロンティア推進事業「環境史と人類」共済講演会・終原貝塚講演会〜終原貝塚を科学する〜要旨集, pp. 3-5. 垂水市教育委員会, 鹿児島.
	黒住耐二. 2010. 貝類遺体から見たココマ遺跡の特徴. 三宅島郷土資料館平成 22 年度秋季特別展「2000 年前の三宅島一発掘調査からみえた島の生活一」記念講演会講, 2pp. 三宅島郷土資料館, 東京.
	黒住耐二. 2011. 貝から見える『ちば』. 財団法人千葉市教育振興財団生涯学習センター, 平成 22 年度ちばカレッジ記録集『ちばの大地と自然』, pp. 77-81. 財団法人千葉市教育振興財団生涯学習センター, 千葉.
	黒住耐二. 2011. 干支にちなむ貝一卵一. 1p. 千葉県立中央博物館, 千葉.
	鹿谷麻夕・鹿谷法一・細川太郎・大野正人・安倍真理子(吉田正人・仲岡雅裕・河内直子・黒住耐二・中井達郎(監修)). 2010. 辺野古緊急合同調査レポート(速報)〜生物多様性豊かな辺野古の海〜. (財) 日本自然保護協会, 21pp. (財) 日本自然保護協会, 東京.
口頭	黒住耐二. 2010.5. 貝類からみた琉球列島の環境変遷. 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「環太平洋の環境文明史」第 2 回国際研究者全体集会. 国際日本文化研究センター, 京都市.
	黒住耐二. 2010.5. 完新世における貝類相の変遷一貝類研究者は何を見ているか. 第 19 回四国貝類談話会. 琴弾荘, 香川県観音寺市.
	黒住耐二. 2010.6. 沖縄諸島における貝類からみた農耕. 平成 22 年度第 1 回琉球環境文化史研究会. 沖縄県立博物館・美術館, 沖縄県那覇市.
	樋泉岳二・植月学・黒住耐二・江口誠一・津村宏臣. 2010.6. オマーン・ラス・ジブス貝塚の古環境復元. 日本文化財科学会第 27 回大会. 関西大学, 大阪府吹田市.
	杉本和江・川本幸三・黒住耐二・伊藤信久・小沢洋. 2010.6. 千葉県富津市苦情塚古墳出土遺物の再検討一科学的調査を踏まえて. 日本文化財科学会第 27 回大会. 関西大学, 大阪府吹田市.
	Toizumi, T., M. Uetsuki, H. Tsumura, T. Kurozumi and S. Eguchi. 2010.8. Shell midden formation and palaeoenvironment at Ras Jibsh Shell Midden, Oman. 11th International Conference of Archaeozoology International Conference. Museum National d' Histoire Naturelle, Paris.
	黒住耐二. 2010.11. 貝類遺体から見た終原貝塚の特徴. 垂水市教育委員会終原・明治大学学術フロンティア推進事業「環境史と人類」共済講演会・終原貝塚講演会〜終原貝塚を科学する〜. 垂水市文化会館, 鹿児島県垂水市.
	Takamiya, H., M. Hudson, T. Kurozumi and T. Shinzato. 2010.12. The archaeology of prehistoric resource exploitation in the Okinawa Islands. Association for Environmental Archaeology. 国際日本文化研究センター, 京都市.

立川浩之

論文	H. Tachikawa. 2011. Review of the Japanese species of Alatotrochus and Sphenotrochus (Cnidaria: Anthozoa: Scleractinia: Turbinoliidae), with description of a new species. Memoirs of the National Museum of Nature and Science, (47): 39-50.
	立川浩之. 2011. 千葉県勝浦市で採集された有藻性イシサンゴ類(刺胞動物門: 花虫綱). 千葉県中央博自然誌研究報告特別号, (9): 37-43.
	立川浩之. 2011. 千葉県勝浦市市尾周辺の潮間体で採集された海産軟体動物. 千葉県中央博自然誌研究報告特別号, (9): 61-88.
	立川浩之・藍澤正宏. 2011. 千葉県初記録のオオメコビトザメ <i>Squaliolus laticaudus</i> (脊索動物門: 軟骨魚綱: ヨロイザメ科). 千葉県中央博自然誌研究報告特別号, (9): 103-106.

	深見浩伸・立川浩之・鈴木豪・永田俊輔・杉原薫. 2010. 日本における造礁性イシサンゴ類の同定の現状とその分類学的問題点. 日本サンゴ礁学会誌, (12): 17-31.
	岡西政典・立川浩之・藤田敏彦. 2011. 千葉県勝浦市沖で採集された日本初記録のトゲツメモヅル(新称)(棘皮動物門:クモヒトデ綱:ツルクモヒトデ目:テヅルモヅル科). 千葉県中央博自然誌研究報告特別号, (9): 97-102.
普及書	立川浩之. 2011. 海の生きもの観察ノート10 磯の貝を観察しよう. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
	立川浩之. 2010. ちば水辺の生命148 イトマキヒトデ:磯で目立つ五角形. 読売新聞千葉版, (2010年6月20日).
口頭	立川浩之. 2010.6. コマサンゴ <i>Trochocyathus japonicus</i> およびその関連種に関する再検討(刺胞動物門:花虫綱:イシサンゴ目). 日本動物分類学会第46回大会. 国立科学博物館分館, 東京都新宿区.
	立川浩之・M. J. Grygier. 2010.12. 千葉県勝浦市沖で採集されたピワガライン <i>Madrepora oculata</i> に寄生する囊胞下綱甲殻類 <i>Petrarca madreporae</i> . 日本サンゴ礁学会第13回大会. つくばカピオ, 茨城県つくば市.

柳研介

論文	Reimer, J.D., Md M. R. Shah, F. Sinniger., K. Yanagi and S. Suda. 2010.4. Preliminary analyses of cultured Symbiodinium isolated from sand in the oceanic Ogasawara Islands, Japan.. <i>Marine Biodiversity</i> , (40): 237-247.
	Ohtsuka, S., U. Kondo., Y. Sakai., T. Shimazu., M. Shimomura, T. Komai., K. Yanagi, T. Fujita, J. Nishikawa, H. Miyake, B.A.V. Maran, K. Go, K. Nagaguchi., S. Yamaguchi, C. Dechsakulwatana, K. Srinui., S.P. Mulyadi, N.M. Sutomo and F. Md Yusoff. 2010.12. In-situ observations of symbionts on medusae occurring in Japan, Thailand, Indonesia and Malaysia.. <i>Bulletin of the Hiroshima University Museum</i> , (2): 9-18.
報告書	柳研介・浅田正彦・北澤哲弥. 2011.3. 千葉県における野生生物の現状(ちばの里山里海サブグローバル評価最終報告書). 千葉県生物多様性センター研究報告, (4): 53-69.
普及書	柳研介. 2010.8. 人間活動が里海の生物多様性に与える影響. 平成22年度ちばの里山里海サブグローバル評価シンポジウム資料集, p. 22.
	柳研介. 2010.9. 生きものつながり雑学コーナー「イシワケイソギンチャク」. 私たちの自然, (559): 10.
	柳研介・岩尾研二. 2010.9. キンチャクガニ類が保持するイソギンチャクの分類学的研究. うみうし通信, (68): 6-9.
	柳研介. 2011.3. 平成22年度マリンサイエンスギャラリー展示解説シート「シャープゲンゴロウモドキ」. 1p.
	柳研介. 2011.3. ヒメコマツ観察会-絶滅が危惧されるヒメコマツの保護活動を知る-. 生物多様性ちばニュースレター, (22): 4.
	柳研介. 2011.3. 千葉県生物多様性ハンドブック2「外来生物がやってきた」(分担執筆). 千葉県生物多様性センター編.
口頭	柳 研介・岩尾研二. 2010.5. カニハサミイソギンチャクの分類学的再検討. 日本動物分類学会第46回大会. 国立科学博物館分館, 新宿区.
	柳研介. 2010.1. 潮間帯イソギンチャクの捕食者についての1考察. 第6回刺胞動物等談話会. 琉球大学, 沖縄県中頭郡西原町.
	柳 研介・近藤裕介・大塚攻. 2010.1. 潮間帯イソギンチャク類3種への吸虫類メタセルカリアの寄生について. 2010年度ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 東京大学大気海洋研究所, 柏市.
	柳研介. 2010.1. 千葉県の絶滅危惧種, シャープゲンゴロウモドキおよびヒメコマツの回復計画について. 第13回自然系調査研究機関連絡会議. ウィルあいち, 名古屋市.
	Reimer, J.D., M. Hirose, K. Yanagi. and F. Sinniger. 2010.12. Diversity of zoanths and their Symbiodinium in the Ogasawara Islands.. 日本サンゴ礁学会第13回大会. つくばカピオ, つくば市.

古木達郎

論文	Masuzaki, H., M. Shimamura, T. Furuki, H. Tsubota, T. Yamaguchi, H. Mohamed bdul Majid & H. Deguchi. 2010. Systematic position of the enigmatic liverwort <i>Mizutania</i> (Mizutaniaceae, Marchantiophyta) inferred from molecular phylogenetic analyses.. <i>Taxon</i> , (59): 448-458.
	金子久男・金子和子・古木達郎. 2011. 千葉県船橋市のコケ植物. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 11(2): 1-13.
普及書	石川統ほか共著. 2010. (コケ植物苔類に関する用語). 石川統ほか(編), 生物学大辞典, 東京化学同人, 東京.
	古木達郎・齋木健一. 2011. 県民と共につくる「千葉県の植物・菌類の戸籍簿」. 中央博物館だより, (69): 6.

吹春俊光

論文	Fukiharu, T., N. L. Bougher, P. K. Buchanan, A. Suzuki, C. Tanaka, N. Sagara. 2011. <i>Coprinopsis austrophlyctidospora</i> sp. nov., an ammonia fungus from Southern Hemisphere plantations and natural forests. <i>Mycoscience</i> , (52): 137-142.
	J.K.Raut, A.Suzuki, T. Fukiharu, K.Shimizu, S.Kawamoto and C.Tanaka. 2011. <i>Coprinopsis neophlyctidospora</i> sp. nov., a new ammonia fungus from boreal forests in Canada. <i>Mycotaxon</i> , (115): 227-238.
学術書	吹春俊光. 2010.12. 12章5節 担子菌門. (財)発酵研究所(監), 大嶋泰治・荒井基夫・駒形和男・杉山純多・中瀬崇・本田武司・宮道慎二(編), IFO微生物概論, pp.331-343. 培風館, 東京.
普及書	吹春俊光・大作晃一. 2010.9. おいしいきのこ毒きのこ. 主婦の友社, 東京.
	吹春俊光. 2010.6. 小学館の図鑑 neo pocket 植物. pp.152-161. 小学館, 東京.
	吹春俊光. 2010.7. 描かれたベニテングタケの博物学. 飯沢耕太郎(監・執), <i>Magical Mysterious Mushroom Tour</i> , pp. 82-95. 東京キララ社, 東京.
	吹春俊光. 2010. サカゲツボカビ類, 子囊菌類, 担子菌類, 冬虫夏草, ホコリタケ類, 腹菌類. 石川統ほか(編), 生物学大辞典, pp.499,570,834,924,1113-1114,1203. 東京化学同人, 東京.
口頭	吹春俊光・清水公徳・稲富聡. 2010.5. 長野県鬼無里で見つかった <i>Coprinellus</i> 属の未知1種. 日本菌学会第54回大会. 玉川大学, 町田市.
	T. Fukiharu, K. Shimizu, C. Tanaka, P.K. Buchanan. 2010.8. Two New <i>Coprinopsis</i> Ammonia Fungi from Japan and New Zealand. 国際菌学会 第9回大会. Edinburgh International Conference Centre, 英国エジンバラ.
	J.K. Raut, A. Suzuki, T. Fukiharu, K. Shimizu, C. Tanaka, S. Takeshige. 2010.8. A new <i>Coprinopsis</i> species, an inky cap mushroom from urea amended boreal forest in Canada. 国際菌学会 第9回大会. Edinburgh International Conference Centre, 英国エジンバラ.

	P. N. Duc Hoang, H. Takahashi, T. Fukiharu, K. Shimizu, L. Ba Dungl, A. Suzuki. 2010_8. A new genus <i>Neophlebopus</i> (Boletinellaceae, Boletales) with gasteroid hymenophore. 国際菌学会 第 9 回大会. Edinburgh International Conference Centre, 英国 エジンバラ.
	中井善太・松本淳・吹春俊光. 2010_9. アスバラガス畑に発生した変形菌類ネズミスホコリ. 日本きのこ学会 14 回大会. 東京大学農学部, 文京区弥生.
	谷亀高広・吹春俊光・岩瀬剛二. 2010_11. 独立栄養性ラン科植物サイハイランの菌根共生. 菌根研究会 2010 年度大会. 千葉大学園芸学部, 松戸市.

天野 誠

論文	Ikeda, H., S. Noshiro, Amano, C. A. Pendry, M. Amano, G. D. Bhatta, A. P. Battarai B. Dell, T. Tanaka, Y. Wang and N. Yamamoto . 2010.9. Plant collecting in Doti and Bajhang disitricts in far western Nepal in 2009. . Newsletter of Himalayan Botany, (43): 1-10.
	天野 誠. 2011.3. 標本と文献でみる館山市の植物研究の歴史. 千葉県植物誌資料編集同人, 千葉県植物誌資料, (特集 6): 86-88. 千葉県植物誌資料編集同人, 千葉市.
	天野 誠・斎木健一・御巫由紀・大場達之. 2011.3. 館山市植物目録. 千葉県植物誌資料編集同人, 千葉県植物誌資料, (特集 6): 93-121. 千葉県植物誌資料編集同人, 千葉市.
	天野 誠・斎木健一・御巫由紀・大場達之. 2011.3. 館山市植物標本目録. 千葉県植物誌資料編集同人, 千葉県植物誌資料, (特集 6): 123-218. 千葉県植物誌資料編集同人, 千葉市.
報告書	千葉県外来種対策(植物)検討委員会. 2010. 千葉県の外来種(植物)の現状等に関する報告書. 千葉県自然保護課, pp. 1-120. 千葉県自然保護課.
	天野 誠. 2010. 笠井貞夫氏の水草コレクションの意義について 75-111 印旛沼広域環境研究会. 印旛沼広域環境研究会, 印旛沼の水草変遷 笠井貞夫先生を偲んで, pp. 75-111. うらべ書房, 木更津市.
普及書	天野 誠. 2010. いろいろなタネツケバナ. いすみ大多喜植物調査通信, (9): 1-2. 千葉県立中央博物館.
	天野 誠. 2010. 5月は「うつき」の季節です. いすみ大多喜植物調査通信, (10): 1-2, 4. 千葉県立中央博物館.
	天野 誠. 2010. スコットランド植物紀行. いすみ大多喜植物調査通信, (11): 1-4. 千葉県立中央博物館.
	天野 誠. 2010. 夏はヤマブキがおもしろい. いすみ大多喜植物調査通信, (13): 1-4. 千葉県立中央博物館.
	天野 誠. 2010. 秋はカヤツリグサの季節. いすみ大多喜植物調査通信, (15): 1-3. 千葉県立中央博物館.
	天野 誠. 2010. 取り残しはありませんか?. いすみ大多喜植物調査通信, (16): 1. 千葉県立中央博物館.
	天野 誠. 2011. イチゴツナギの仲間を紹介します. いすみ大多喜植物調査通信, (17): 1-2. 千葉県立中央博物館.
	天野 誠. 2010. 野辺山・清里自然観察会で見られた植物. 千葉県立中央博物館友の会, 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (70): 4-5. 千葉県立中央博物館友の会.
口頭	斎木健一・天野誠・林延哉. 2010.8. 野草の名前調べはなぜ難しいか: 原因と対策 -教員を対象とした野外調査で明らかになったこと. 第 60 回日本理科教育学会全国大会. 山梨大学, 甲府市.

原田 浩

論文	Harada H. 2010. <i>Leptogium chibaense</i> (lichenized Ascomycota, Collemataceae), a new small cyanolichen from central Japan.. Lichenology, 9(1): 19-22.
	Esslinger T.L. & Harada H. 2010. <i>Phaeophyscia laciniata</i> Essl. new to Japan.. Lichenology, 9(1): 27-29.
	Sakata A. & Harada H. 2010. Contributions to the lichen flora of the Mariana Islands, Micronesia (4). Genus <i>Cresponaea</i> (Roccellaceae).. Lichenology, 9(1): 23-26.
	原田浩. 2011. 日本新産の瘤状地衣, コアナツブゴケ <i>Coccotrema pocillarium</i> .. Lichenology, 9(2): 39-43.
	原田浩. 2011. 日本産淡水生地衣類. Lichenology, 9(2): 59-62.
	山本好和・高橋奏恵・原田浩・白庭雄介・小林寿宣・川又明德・吉村庸. 2010. 分布資料(23). シラチャウメノキゴケ <i>Canoparmelia aptata</i> とタナカウメノキゴケ <i>C. texana</i> . Lichenology, 9(1): 31-36.
	原田浩・山本好和. 2011. 分布資料(25). ピロードハナゴケ <i>Cladonia parasitica</i> .. Lichenology, 9(2): 55-58.
	坂田歩美・原田浩. 2011. 日本産リトマスゴケ科地衣類の分類. Lichenology, 9(2): 67-69.
	木下靖浩・原田浩. 2011. レブラゴケ属地衣 <i>Lepraria curessicola</i> について.. Lichenology, 9(2): 71.
	坂田歩美・原田浩. 2011. 日本産メダイゴケ属 (<i>Schismatomma</i>) の分類学的検討. Lichenology, 9(2): 71.
	高橋奏恵・原田浩. 2011. 日本産狭義ウメノキゴケ属 (<i>Parmotrema</i>) の分類. Lichenology, 9(2): 72.
	木下薫・高橋邦夫・原田浩・小山清隆. 2011. 地衣多糖類の抗腫瘍活性と NMR による構造解析. Lichenology, 9(2): 72.
学術書	原田浩(分担執筆). 2010. 生物学辞典.
普及書	原田 浩・木下 靖浩・坂田 歩美. 2010. 第 32 回青空地衣教室(千葉県市原市柿木台市民の森)で観察された地衣類. 日本地衣学会ニュースレター, (101): 372.
	原田浩. 2010. 雲南の地衣を食う虫 -シラホシコヤガ?- . 日本地衣学会ニュースレター, (103): 382.
	原田 浩・木下 靖浩・坂田 歩美. 2010. 第 33 回青空地衣教室(神奈川県箱根町元箱根 箱根九頭龍の森)で観察された地衣類. 日本地衣学会ニュースレター, (104): 385-386.
	石川統ほか共著. 2010. (地衣類に関する用語). 石川統ほか(編), 生物学大辞典, 東京化学同人, 東京.
	原田浩. 2010. ちば水辺の生命 137 ウメノキゴケ: 老木好む長寿の象徴. 読売新聞千葉版, (2010 年 4 月 4 日).
	原田浩. 2010. ちば水辺の生命 138 イソカラタチゴケ: 岩場に咲く花のよう. 読売新聞千葉版, (2010 年 4 月 11 日).
	原田浩. 2010. ちば水辺の生命 139 シロイソダイダイゴケ: 岩肌覆うオレンジ色. 読売新聞千葉版, (2010 年 4 月 18 日).
	原田浩. 2010. ちば水辺の生命 140 ヘリブトゴケ: 北向きの垂直面好む. 読売新聞千葉版, (2010 年 4 月 25 日).
	原田浩. 2010. ちば水辺の生命 141 ウシオイボゴケ: 潮引いた岩場に姿現す. 読売新聞千葉版, (2010 年 5 月 2 日).
口頭	坂田歩美・原田浩. 2010.7.. 日本産リトマスゴケ科地衣類の分類. 日本地衣学会第 9 回大会, ミニンボジウム「東アジア産瘤状地衣の分類研究における進展」. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	木下靖浩・原田浩. 2010.7.. レブラゴケ属地衣 <i>Lepraria cupressicola</i> について. 日本地衣学会第 9 回大会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	坂田歩美・原田浩. 2010.7.. 日本産メダイゴケ属 (<i>Schismatomma</i>) の分類学的検討. 日本地衣学会第 9 回大会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

	高橋奏恵・原田浩. 2010.7.. 日本産狭義ウメノキゴケ属 (Parmotrema) の分類. 日本地衣学会第9回大会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	原田浩. 2010.7.. 日本産淡水生地衣類. 日本地衣学会第9回大会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	高橋奏恵・原田浩. 2010.7.. 日本産狭義ウメノキゴケ属と近縁属. 第2回地衣分類ワークショップ (日本地衣学会). 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	原田浩. 2010.8.. 雲南の地衣類. ヒコビア会60周年記念シンポジウム. 広島大学, 東広島市.

齋木健一

普及書	齋木健一. 2010. 特定外来生物 ナルトサワギク. 生物多様性ちばニュースレター, (19): 3.
	齋木健一. 2010. ナルトサワギク. 千葉県生物多様性ハンドブック2 外来生物がやってきた, pp. 26-27.
	小林快次・齋木健一. 2010. パレオントグラフィ 最後の恐竜時代 中生代白亜紀. ニュートン, 30(5): 118-119.
	富田幸光・齋木健一. 2010. パレオントグラフィ 哺乳類の繁栄がはじまった 新生代古第三紀. ニュートン, 30(5): 118-119.
	富田幸光・齋木健一. 2010. パレオントグラフィ 哺乳類が多様化がすすむ 新生代新第三紀. ニュートン, 30(6): 116-117.
	富田幸光・齋木健一. 2010. パレオントグラフィ 多くの大型哺乳類が姿を消した時代 新生代新第四紀. ニュートン, 30(7): 120-121.
	古木達郎・齋木健一. 2011. 県民と共につくる「千葉県の植物・菌類の戸籍簿」. 中央博物館だより, (69): 6.
口頭	齋木健一・天野誠・林延哉. 2010.8. 野草の名前調べはなぜ難しいか: 原因と対策 -教員を対象とした野外調査で明らかになったこと. 第60回日本理科教育学会全国大会. 山梨大学, 甲府市.

渋谷さゆり

ウェブ	渋谷さゆり. 2010. 中央博の窓-11 大原幽学. ちば中央博メール, (2010年12月号第52号).
-----	--

清藤一順

ウェブ	清藤一順. 2011. 中央博の窓-12 出土遺物巡回展 房総発掘ものがたり. ちば中央博メール, (2011年1月号第53号).
-----	---

小林裕美

普及書	小林裕美. 2010. 豪華絢爛な山車の曳き廻し. 齋木勝 西山太郎 監修, 図説香取・海匝の歴史, pp. 136-137. 株式会社郷土出版社, 長野県松本市.
	小林裕美. 2010. 「天保水滸伝」ゆかりの奉納相撲. 齋木勝 西山太郎 監修, 図説香取・海匝の歴史, pp. 140-141. 株式会社郷土出版社, 長野県松本市.
	小林裕美. 2010. おせんさんが伝えた技. 齋木勝 西山太郎 監修, 図説香取・海匝の歴史, pp. 186-187. 株式会社郷土出版社, 長野県松本市.
	小林裕美. 2010. 荒々しく足を踏み鳴らす神様たち. 齋木勝 西山太郎 監修, 図説香取・海匝の歴史, pp. 206-207. 株式会社郷土出版社, 長野県松本市.
	小林裕美. 2010. 沿道に繰り広げられる時代絵巻. 齋木勝 西山太郎 監修, 図説香取・海匝の歴史, pp. 208-209. 株式会社郷土出版社, 長野県松本市.
	小林裕美. 2010. 舞台にかける情熱を次世代に. 齋木勝 西山太郎 監修, 図説香取・海匝の歴史, pp. 210-211. 株式会社郷土出版社, 長野県松本市.

地引尚幸

報告書	「房総の出羽三山信仰」映像記録作成委員会編. 2011. 木更津市中島の出羽三山信仰. 「房総の出羽三山信仰」映像記録作成委員会編, 映像記録 房総の出羽三山信仰 解説書,
-----	--

高橋 寛

普及書	共著. 2011. . 大多喜町, 探訪 ふるさとの歴史-房総の小江戸「大多喜」をたずねて-, NHK 大河ドラマ「本多忠勝」誘致実行委員会.千葉県大多喜町.
ウェブ	高橋寛. 2010. 中央博の窓-9 江戸時代初期の小袖 (こそで) を展示. ちば中央博メール, (2010年11月号第51号).

斉藤明子

論文	河名利幸・安田清作・鎌田由美子・斉藤明子・尾崎煙雄・盛口 満・平井良明・小林洋生. 2010. 千葉県におけるクロマダラソテツシジミの初発生確認後の分布拡大と越冬の可能性. 関東東山病害虫研究会報, (57): 101-103.
普及書	斉藤明子. 2010. ちば水辺の生命 167 ハマヒョウタンゴミムシダマシ. 読売新聞千葉版, (2010年11月7日).
	斉藤明子. 2011. 標本を守る. 中央博物館だより, (68): 6.
	斉藤明子. 2010. 千葉県初記録のモンハナノミと千葉県から記録の少ない甲虫3種. 房総の昆虫, (45): 29-30.
	斉藤明子・倉西良一・西泰弘. 2010. 千葉市で絶滅危惧種アサカミキリの生息を確認. 房総の昆虫, (45): 28.
	斉藤明子・上山雅規・小川洋. 2010. 千葉県初記録のマツヘリカメムシ. 房総の昆虫, (45): 30-31.
口頭	中尾健一郎・斉藤明子. 2011.1. 蛾の標本画像 Web 構築, 千葉中央博物館「春田コレクション」. 日本蛾類学会 2011 年度研究発表会. 大阪弥生会館, 大阪市.

御巫由紀

学術書	岩瀬徹・御巫由紀・村田威夫・谷城勝弘. 2010.10. 改訂新版千葉県植物ハンドブック.
普及書	御巫由紀. 2011. 世界の図譜 (20) ロサ・トメントーサ. NHK 学園機関誌「美術」, (2011年冬号): 60.
	御巫由紀. 2011. ヘリテージローズ, 未来に残したいバラ. 英国王立園芸協会日本支部会報, (2011年4月号): 4-9.
	御巫由紀. 2010-2011. 美しきヘリテージローズの世界 (連載4月号~3月号). 趣味の園芸, (2010年4月号~2011年3月号): 7-8.

	御巫由紀. 2011. ちば水辺の生命 177 ハマナス: 太平洋側の南限に咲く. 読売新聞千葉版, (2011 年 1 月 30 日).
--	---

駒井智幸

論文	Komai, T. 2010.4. A review of the northwestern Pacific species of the genus Paguristes (Decapoda: Anomura: Diogenidae). III. Clarification of the identity of a species heretofore referred to Paguristes balanophilus Alcock and descriptions of two new species from Japan. <i>Natural History Research</i> , 11(1): 9-33.
	Komai, T. 2010.6. New species and new records of the hermit crab genus Pagurixus Melin, 1939 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Indo-West Pacific. <i>Journal of Natural History</i> , (44): 1269-1432.
	Komai, T. 2010.12. A new deep-water species of Metacrangon (Decapoda: Caridea: Crangonidae) from Japan. <i>Crustaceana Monographs</i> , (14): 369-377.
	Komai, T. 2010.12. A new species of the deep-sea shrimp genus Glyphocrangon A. Milne-Edwards (Crustacea: Decapoda: Caridea: Glyphocrangonidae) from the southeastern Atlantic off southern Africa. <i>African Natural History</i> , (6): 83-90.
	Komai, T. 2011.2. A new species of the squat lobster genus Munida (Decapoda: Anomura: Munididae) from the North Pacific off Japan. <i>Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Supplement</i> , (5): 101-108.
	Komai, T. 2011.2. A new species of the stenopodid genus Richardina A. Milne-Edwards (Crustacea: Decapoda: Stenopodidea) from Uruga Strait, central Japan. <i>Natural History Research</i> 11(2): 1-9. <i>Natural History Research</i> , 11(2): 1-9.
	Komai, T. 2011.2. Records of squat lobsters of the Munidopsidae (Crustacea: Decapoda: Anomura: Galatheoidea) from the Sagami Sea and adjacent areas, central Japan, with descriptions of two new species. <i>Natural History Research</i> , 11(2): 11-35.
	Komai, T. and A. Anker. 2010.6. Two new species of the laomediid genus Naushonia Kingsley, 1897 (Crustacea: Decapoda: Gebiidea) from the Indo-West Pacific. <i>Zootaxa</i> , (2504): 31-46.
	Komai, T. and S. T. Ahyong. 2011.1. The crangonid shrimp genus Metacrangon (Crustacea: Decapoda: Caridea) from New Zealand, with descriptions of four new species. <i>Journal of Natural History</i> , 45(1): 77-111.
	Komai, T. and T.-Y. Chan. 2010.12. Two new pandalid shrimps and the discovery of the second specimen of the rare hippolytid shrimp <i>Leontocaris bulga</i> Taylor & Poore, 1998 (Crustacea: Decapoda: Caridea) from the Mozambique MAINBAZA cruise. <i>Zoosystema</i> , 32(4): 625-641.
	Komai, T., T. Higashiji and P. Castro. 2010.08. A new genus and new species of deep-water trapeziid crab (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Trapeziioidea) from the Ryukyu Islands, Japan. <i>Zootaxa</i> , (2555): 62-68.
	Komai, T. and J. N. Kim. 2010.4. A new species of the crangonid shrimp genus <i>Philocheras</i> (Crustacea: Decapoda: Caridea) from shallow coral reefs in the Western Pacific, with supplementary note on <i>P. breviflagella</i> . <i>Species Diversity</i> , 15(1): 11-24.
	Komai, T., M. Kitajima, S. Nemoto and Y. Miyake. 2010.12. New record of <i>Paragiopagurus ventilatus</i> (Crustacea: Decapoda: Anomura: Parapaguridae) from hydrothermal vents on the Nikko Seamount, Mariana Trough, the first hermit crab using tube of tubeworm for housing. <i>Marine Biodiversity Records</i> , 3(4): 1-8.
	Komai, T., S. Nemoto and S. Tsuchida. 2010.6. <i>Periclimenes cannaphilus</i> , new species, the second palaemonid shrimp (Crustacea: Decapoda: Caridea) associated with siboglinid tube worm inhabiting hydrothermal vents. <i>Journal of the Marine Biological Association of United Kingdom</i> , 90(4): 799-808.
	Komai, T. and J. Taylor. 2010.12. Three new species of the crangonid genus <i>Metacrangon</i> Zarenkov (Crustacea: Decapoda: Caridea) from Australia. <i>Memoirs of Museum Victoria</i> , (67): 45-59.
	Komai, T. and Y. Yamada. 2010.5. A new species of the rare caridean genus <i>Bresilia</i> Calman (Crustacea: Decapoda: Bresiliidae) from the Ryukyu Islands, Japan, representing a family new to the North Pacific marine fauna. <i>Zootaxa</i> , (2450): 41-52.
	Komai, T. and Y. Yamada. 2011.2. A new species of the caridean genus <i>Bresilia</i> Calman (Decapoda: Bresiliidae) discovered from a shallow-water submarine cave in Okinawa Islands, Japan. <i>Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Supplement</i> , (5): 71-82.
	Komai, T., Y. Yamada and N. Shirakawa. 2010.11. A new hermit crab species of the genus <i>Catapaguroides</i> A. Milne-Edwards & Bouvier (Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Ryukyu Islands, Japan, and additional record of <i>C. foresti</i> McLaughlin. <i>Zootaxa</i> , (2690): 32-42.
	Anker, A. and T. Komai. 2010.1. Description of a new species of <i>Athanas</i> Leach, 1814 (Crustacea: Decapoda: Alpheidae) from Madagascar and Japan. <i>Zootaxa</i> , (2680): 45-54.
	Chang, S.-C., T. Komai and T.-Y. Chan. 2010.12. First record of the hippolytid shrimp genus <i>Lebbeus</i> White, 1847 (Decapoda: Caridea) from Taiwan, with the descriptions of three new species. <i>Journal of Crustacean Biology</i> , 30(4): 727-744.
	McLaughlin, P. A., T. Komai, R. Lemaitre & D. L. Rahayu. 2010.1. Annotated checklist of anomuran decapod crustaceans of the world (exclusive of the Kiwaoidea and families Chirostylidae and Galatheidae of the Galatheoidea) Part I. Lithoidea, Lomisoidea and Paguroidea. <i>Raffles Bulletin of Zoology, Supplement</i> , (23): 5-107.
	Taylor, J. and T. Komai. 2011.3. First record of the introduced sand shrimp species <i>Crangon uritai</i> (Decapoda: Caridea: Crangonidae) from Newport, Port Phillip Bay, Victoria, Australia. <i>Marine Biodiversity Records</i> , (4): 1-6.
普及書	駒井智幸. 2011. ちば水辺の生命 176 ボウスウアナエビ: 身近に潜む未知の生物. 読売新聞千葉版, (2011 年 1 月 23 日).
口頭	駒井智幸・土田真二・大澤正幸・三宅裕志・雨宮健太郎・中村光一. 2010.11. マリアナ島弧日光海山非熱水域における大型甲殻類の多様性. 日本甲殻学会第 48 回大会. 琉球大学, 西原町.
	土田真二・駒井智幸・三宅裕志・雨宮健太郎・中村光一・中川太郎・牧田寛子. 2010.11. マリアナ島弧熱水域における甲殻類の多様性. 日本甲殻学会第 48 回大会. 琉球大学, 西原町.
	藤田喜久・大澤正幸・奥野淳児・駒井智幸・成瀬貴. 2010.11. 沖縄島大浦湾における十脚甲殻類の種多様性研究: 調査の概要と意義. 日本甲殻学会第 48 回大会. 琉球大学, 西原町.
	大澤正幸・駒井智幸・成瀬貴. 2010.11. 大浦湾の採集された特筆すべき十脚甲殻類 1: 特に砂泥中に生息する種. 日本甲殻学会第 48 回大会. 琉球大学, 西原町.

友田暁子

口頭	ミュージアム・ライブラリーの会. 2010.11. ポスターセッション「Libraries in Museums」. 第 12 回図書館総合展/学術情報オープンサミット 2010. パシフィコ横浜, 横浜市.
----	--

原 正利

普及書	原正利. 2010. ちば水辺の生命 172 ウバメガシ: 海岸の岩場斜面に群生. 読売新聞千葉版, (2010年12月12日).
ウェブ	原正利. 2010. 中央博の窓-4 はっぱの秘密. ちば中央博メール, (2010年8月号第48号).
口頭	原正利・大久保達弘・Rantai Jawa・Paul Chai P. K.. 2010.6. マレーシア・サラワク州グヌムルドゥにおけるブナ科植物の分布について(予報). 日本熱帯生態学会第20回大会. 広島大学, 広島市.
	原正利. 2011.2. ヒマラヤ山脚部の雲霧林の植生地理. ワークショップ「雲霧林と林冠部を探る: 林冠部研究の包括化を目指して」. 京都大学稲盛会館, 京都市.
	原正利・神崎護・水野貴司・野口英之・K. Sri-Ngernyuanng・S. Teejuntuk・C. Sungpalee・大久保達弘・山倉拓夫・P. Sahunulu・P. Dhanmanonda. 2011.3. 東南アジアの熱帯山地におけるブナ科の垂直分布パターンの比較. 日本生態学会第58回大会. 札幌コンベンションセンター, 札幌市.
	原正利. 2011.3. 北タイ・雲南の山地林の特性-植生地理学的視点から-. 日本生態学会第58回大会. 札幌コンベンションセンター, 札幌市.

白井 豊

報告書	桑原和之・阿久津義広・阿久津裕二・篠田清・足達幹雄・高木純一・白井 豊. 2010. 千葉県産木質プラスチック素材を使った環境教育. 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト木質プラスチック部会, 平成21年度木質プラスチック部会(中間)報告書, pp. 69-72. 千葉県, 千葉市.
	桑原和之・阿久津義広・阿久津裕二・足達幹雄・高木純一・白井 豊. 2011. 千葉県産木質プラスチック素材を使った環境教育(平成19-22年度). 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト木質プラスチック部会, 木質プラスチック部会成果報告書, pp. 120-126. 千葉県, 千葉市.

大庭照代

普及書	大庭照代. 2010. LEARN ABOUT OWLS フクロウ豆知識 もっと知りたい!フクロウのこと. 佐多沙彩花, LEGEND OF THE GUARDIANS THE OWLS OF GA'HOOLE 「ガフールの伝説」, pp. 15-16. 松竹株式会社事業部, 東京都中央区築地.
	大庭照代. 2010. 聞いた鳥・見た鳥 2010年4月25日. 2pp. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	大庭照代. 2010. 生態園の鳥チェックリスト補足. 2pp. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
ウェブ	大庭照代. 2011. 中央博の窓-13 自然や環境を記録する「音の資料」. ちば中央博メール, (2011年1月号第53号).
口頭	大庭照代. 2009.10.. 生物音声識別装置「ききみみずきん」に支援された野鳥調査 - 耳をたよりにプロジェクト -. 2010年度日本鳥学会大会. 東邦大学習志野キャンパス, 習志野市.
	Oba, Teruyo. 2010.12.. The impact of automated bioacoustic identification upon museum sound collection: potentials in education and records of sound environment. 2010 International Conference on Pan Pacific Bio-Aoustics Network. 国立自然科学博物館国際会議場, 台湾(台中).

林 紀男

論文	Nakata, K., N. Hayashi, M. Ozaki, A. Ohtaka and J. Miwa. 2010.11. First record of the North American invasive crayfish <i>Pacifastacus leniusculus</i> from the Kanto region, Tone River basin, central Japan: a range expansion to a warm water area. <i>Plankton and Benthos Research</i> , 5 (4): 165-168.
報告書	林 紀男・齋藤大輔. 2010. 印旛沼(千葉県)の埋土種子からオニバス発芽. 千葉生物誌, 60(2): 32-35.
	和泉洋太・林紀男. 2010. 桑納川におけるリュウノヒゲモ保全. 水草研究会誌, (94): 35-40.
	林紀男・稲森隆平. 2010. コイによるアメリカザリガニ捕食が沈水植物群落に及ぼす影響. 水草研究会誌, (94): 28-34.
	林紀男・尾崎保夫. 2011. ヨシ原に創出した実験池の水生動物相. 秋田自然史研究, (59): 1-4.
普及書	林紀男・鏡味麻衣子・古瀬浩史. 2011. ミジンコ. 千葉県立中央博物館 生態園観察ノート, 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	林紀男. 2011. 変幻自在な湖沼の生きもの ミジンコ. 生物多様性ちばニュースレター, (22): 1-2.
口頭	Saito Y, M. Tomita, N. Hayashi and K. Hara. 2010.5. Effects of irrigation network on the invasion process of alligator weed in the drainage basin of Lake Teganuma, Japan. <i>Urban Biodiversity in the Ecological Network (URBIO)</i> . 名城大学, 名古屋市.
	Kazuyoshi NAKATA, Norio HAYASHI, Masumi OZAKI, Akifumi OHTAKA and Junji MIWA. 2010.6. First record of the North American invasive crayfish <i>Pacifastacus leniusculus</i> from the Kanto region, Tone River basin, central Japan: a range expansion to a warm water area. 7th International Crustacean Congress (ICC7). The Institute of Oceanology, Chinese Academy of Sciences, 青島市, 中国.
	齋藤康宏・富田瑞樹・林 紀男・原慶太郎. 2010.8. 灌漑用水路を介した特定外来生物ナガエツルノゲイトウの10年間の分布拡大. 植生学会第15回大会. 北海道立道民活動センター, 札幌市.
	中田和義・林 紀男・尾崎真澄・大高明史・三輪準二. 2010.1. 特定外来生物ウチダザリガニの関東での初記録: 高水温域への分布拡大. 日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会. 東京大学柏キャンパス, 柏市.
	賀数邦彦・熊田純・稲森隆平・林 紀男・稲森悠平. 2010.11. 微生物生態系マイクロゾムに及ぼすLASのP/R比による影響解析. 日本水処理生物学会. 筑波大学, つくば市.
	神蔵雄生・類家 翔・西村 浩・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平. 2010.11. 有毒藍藻類 <i>Microcystis</i> 属産生 <i>Microcystin</i> の葉菜植物における吸収・蓄積特性の評価. 日本水処理生物学会. 筑波大学, つくば市.
	類家 翔・神蔵雄生・西村 浩・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平. 2010.11. 有毒藍藻類 <i>Microcystis</i> 属産生 <i>Microcystin</i> の根菜作物における蓄積特性解析. 日本水処理生物学会. 筑波大学, つくば市.
	石田慶一・呂 志江・稲森隆平・林 紀男・西村 浩・稲森悠平. 2010.11. 生態工学技法としての沈水植物浄化における植物種の違いと水生動物共存効果解析. 日本水処理生物学会. 筑波大学, つくば市.
	田中仁志・見島伊織・池田和弘・柿本貴志・須藤隆一・袋 昭太・中野和典・林 紀男・稲森悠平. 2010.11. 沈水植物管理のための実験水槽を用いた刈り取り方法の検討. 日本水処理生物学会. 筑波大学, つくば市.
	林 紀男・高松宏行・稲森悠平. 2010.11. いさはや新池流域における沈水植物群落の分布と定着特性. 日本水処理生物学会. 筑波大学, つくば市.

	館田千春・吉川進太郎・岡野邦宏・森田弘彦・林 紀男・尾崎保夫. 2010.11. 八郎湖流域における埋土種子の分布調査とその発芽・再生試験. 日本水処理生物学会. 筑波大学, つくば市.
	林 紀男. 2011.2. 印旛沼流域における水生植物再生事業. 千葉県生物学会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	田中仁志・柿本貴志・池田和弘・見島伊織・須藤隆一・島多義彦・武田文彦・中野和典・林 紀男・稲森悠平. 2011.3. 隔離水界を用いた植生浮島による水質浄化実験における長期水質調査結果. 第 45 回日本水環境学会年会. 北海道大学, 札幌市.
	賀数邦彦・村上和仁・林 紀男・稲森悠平. 2011.3. 水圏モデル生態系マイクロコズムを用いた界面活性剤の影響評価手法の開発. 第 45 回日本水環境学会年会. 北海道大学, 札幌市.
	石田慶一・稲森隆平・稲森悠平・林 紀男. 2011.3. 生態工学技法としての沈水植物浄化における植物種の違いと水生動物共存効果解析. 第 45 回日本水環境学会年会. 北海道大学, 札幌市.

奥田昌明

論文	奥田昌明・中川 毅・竹村恵二. 2010. 花粉による琵琶湖など長期スケールの湖沼堆積物からの古気候復元の現状と課題. 第四紀研究, 49(3): 133-146.
	奥田昌明・吉野秀夫・楡井 久・佐久間 豊. 2011. 千葉市中心部都川流域(旧池田郷)における過去 4 千年間の花粉組成と古環境. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 11(2): 31-45.
学術書	奥田昌明. 2010. 上総層群. 日本古生物学会, 古生物学事典 第 2 版, p. 77. 朝倉書店.
報告書	中川 毅・奥田昌明・米延仁志・三好教夫・竹村恵二. 2010. (口絵)琵琶湖の堆積物を用いたモンスーン変動の復元—ミランコビッチ=クズバハ仮説の矛盾と克服—. 第四紀研究, 48(3): p.ii.
普及書	奥田昌明. 2010. 生態園の植物 四季の見どころ(色刷パンフレット). 千葉県立中央博物館, 千葉市.
普及書	奥田昌明. 2010. ちば水辺の生命 142 クロマツ —花粉飛ばし子孫残す. 読売新聞千葉版, (2010 年 5 月 11 日): 24 面.
	奥田昌明. 2010. ちば水辺の生命 143 コナラ —微風でも花粉空中に. 読売新聞千葉版, (2010 年 5 月 16 日): 26 面.
	奥田昌明. 2010. ちば水辺の生命 144 カモガヤ —無駄そぎ落とした花粉. 読売新聞千葉版, (2010 年 5 月 23 日): 26 面.
	奥田昌明. 2011. 生態園の花粉. 中央博物館だより, (68): 7.
口頭	奥田昌明. 2010.10. 花粉分析の意義と役割 —古気候復元から探る地球環境変動—. 日本花粉学会 51 回大会 公開シンポジウム「花粉・カフン・Kafun —深遠なる花粉世界へのいざない—. 中央大学後楽園キャンパス, 東京都文京区.
	奥田昌明. 2011.1. 琵琶湖における過去 15 万年間の花粉組成と古環境変動. 平成 22 年度琵琶湖科研堆積物等分析研究集会. 京都大学理学研究科 1 号館, 京都市左京区.
	菅谷真奈美・奥田昌明・岡田 誠・坂本竜彦. 2011.5. オホーツク海底堆積物における花粉化石群集の平面分布. 日本地球惑星科学連合 2011 大会. 幕張メッセ国際会議場, 千葉市美浜区.

浅田正彦

報告書	柳研介・浅田正彦・北澤哲弥. 2011.3. 千葉県における野生生物の現状(ちばの里山里海サブグローバル評価最終報告書). 千葉県生物多様性センター研究報告, (4): 53-69.
-----	---

尾崎煙雄

論文	尾崎煙雄. 2011.2. 千葉県君津市でスキバホウジャクを確認. 千葉生物誌, 60(2): 56.
	尾崎煙雄. 2011.2. 君津市田代のホンゴウソウとヒナノシヤクジョウ群生地. 千葉生物誌, 60(2): 61-62.
	尾崎煙雄・盛口満. 2011.2. 千葉県初記録のキョウチクトウスズメについて. 千葉生物誌, 60(2): 57-60.
	河名利幸・安田清作・鎌田由美子・斉藤明子・尾崎煙雄・盛口満・平井良明・小林洋生. 2010. 千葉県におけるクロマダラソテツジミの初発生確認後の分布拡大と越冬の可能性. 関東東山病害虫研究会報, (57): 101-103.
普及書	尾崎煙雄. 2010. ブックレビュー「創造 生物多様性を守るためのアピール」. 日経サイエンス, (9): 116.
	尾崎煙雄. 2010. 雨の日の調査. しいむじな, (29): 4.
	尾崎煙雄. 2010. 外来種のこと. しいむじな, (30): 1.
	尾崎煙雄. 2010. 毒キノコ?. しいむじな, (30): 4.
	尾崎煙雄. 2011. 『愛好会通信』200 号によせて. 愛好会通信, (200): 2.
	尾崎煙雄. 2011. 紹介「安房地方におけるクロマダラソテツジミの生息域の拡大とソテツの被害について」: 冬虫夏草 49 号から. 千葉生物誌, 60(1): 57-58.
	尾崎煙雄. 2011. 房総の山の生きもの ～ヤマアカガエル～. 生物多様性ちばニュースレター, (21): 1-2.
	尾崎煙雄. 2011. カワセミ事件. しいむじな, (31): 4.
	尾崎煙雄. 2011. ヤドリギ調査中. しいむじな, (32): 2.
	尾崎煙雄. 2011. 冬のブルーの生きもの. しいむじな, (32): 4.
	尾崎煙雄. 2011. 危険な生きものと上手につきあおう 1 ハチ. 青少年教育事業における安全管理の手引き, p. 13. 君津市公民館青少年教育担当者会議, 君津市.
	尾崎煙雄. 2011. 危険な生きものと上手につきあおう 2 毒ヘビ. 青少年教育事業における安全管理の手引き, p. 25. 君津市公民館青少年教育担当者会議, 君津市.
	尾崎煙雄. 2011. 危険な生きものと上手につきあおう 3 両生類. 青少年教育事業における安全管理の手引き, p. 34. 君津市公民館青少年教育担当者会議, 君津市.
	尾崎煙雄. 2011. 危険な生きものと上手につきあおう 4 ヤマビル. 青少年教育事業における安全管理の手引き, p. 44. 君津市公民館青少年教育担当者会議, 君津市.
	尾崎煙雄. 2010. ちば水辺の生命 147 オオシロカネグモ: 夏の溪流に光る銀色. 読売新聞千葉版, (2010 年 6 月 13 日).
ウェブ	尾崎煙雄. 2010/04/02. ヒメマイマイカブリ. 山 FM ウェブサイト http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/special/yama/ .
	尾崎煙雄. 2010/04/07. ヒメカマキリの卵鞘. 山 FM ウェブサイト.

尾崎煙雄.	2010/04/08.	ジャコウアゲハ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/13.	アセビの霜害 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/13.	ボウソウサワヒシバツタ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/17.	クマガイソウ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/17.	山みちが川に .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/18.	ヒメコマツの植栽試験 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/21.	アケビの花 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/21.	ユズリハの花 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/21.	ヒガンバナの葉3 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/21.	モモプトカミキリモドキ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/26.	ナツグミの花 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/04/26.	ヒメバライチゴ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/05/09.	エサキモンキツノカメムシ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/05/16.	ウラジロの新葉 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/05/19.	ヤナギマツタケ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/05/19.	ヒガンバナの葉4 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/05/21.	ツバキシギゾウムシ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/05/24.	ヒゲナガハナノミ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/06/04.	オオバウマノスズクサ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/06/04.	ニホンヤモリ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/06/10.	アカショウマ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/06/16.	ヤマアカガエルの仔 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/06/18.	オオバウマノスズクサ2 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/06/18.	ウメエダシヤク .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/07/14.	クサアジサイ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/07/14.	ミヤマトベラ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/07/14.	イワガラミ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/07/16.	クロメンガタスズメ幼虫 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/08/07.	ミカドジガバチ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/08/10.	クロメンガタスズメ情報 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/08/11.	ヒメコマツの球果採集 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/08/11.	フユイチゴの花 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/08/23.	オナガグモ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/08/27.	クワコ1 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/01.	クワコ2 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/04.	クロメンガタスズメ情報 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/04.	クワコ3 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/07.	クワコ4 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/10.	ウシカメムシ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/15.	オニグルミ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/17.	ドブガイ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/17.	フタトガリコヤガ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/19.	ナガサキアゲハ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/24.	クロメンガタスズメ情報 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/29.	オニフスベ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/29.	クチバスズメ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/09/30.	ミヤマウズラ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/10/01.	タマゴタケとドクツルタケ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/10/07.	ホタルガ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/10/19.	ブチヒゲカメムシ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/10/19.	ワカバグモの雄 .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/10/19.	アケボノソウ .	山 FM ウェブサイト.
尾崎煙雄.	2010/11/01.	リンゴドクガ .	山 FM ウェブサイト.

	尾崎煙雄. 2010/11/05. ナガサキアゲハの蛹 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/11/10. ミヤマトベラ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/11/10. イズノシマダイモンジソウ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/11/10. フモトスマレ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/11/11. フユザンショウ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/11/12. アケビコノハ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/11/20. カニノツメ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/11/29. ナカキシャチホコ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/02. ナルトサワギク . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/03. コキクガシラコウモリ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/03. アズチグモ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/05. ルリチュウレンジ幼虫 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/17. カワセミ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/17. モズのはやにえ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/17. 麦 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/17. ヒミズ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/22. メタセコイア . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/01/14. プールの生きもの 1 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/01/14. 炭焼き . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/01/14. イノシシ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/01/18. オオキンカメムシ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/01/18. シロハラ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/01/21. プールの生きもの 2 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/01/21. ヤドリギ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/01/28. プールの生きもの 3 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/02/04. オビカレハの卵 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/02/04. プールの生きもの 4 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/02/16. ヤドリギとヒレンジャク . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/02/17. ナナホシテントウ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/02/18. プールの生きもの 5 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/02/18. オオスズメバチ越冬女王 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/03/03. 枯れたヒメコマツ . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/03/04. オビカレハの幼虫 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/03/11. ヤドリギ開花宣言 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/03/18. オビカレハの幼虫 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/03/25. オビカレハの幼虫 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2011/03/29. ハクモクレン満開 . 山 FM ウェブサイト.
	尾崎煙雄. 2010/12/10. ナガサキアゲハの蛹. しいむじなメール, 81 号ニュース.
	尾崎煙雄. 2011/02/10. 冬はヤドリギの季節. しいむじなメール, 83 号ニュース.
口頭	前田芳之・宮本旬子・竹ノ内文哉・城田香純・尾崎煙雄・盛口満. 2010.9. 奄美群島のヘツカリンドウの分布と遺伝的変異. 日本植物学会第 74 回大会. 中部大学, 春日井市.
	遠藤良太・尾崎煙雄・池田裕行・藤平量郎・山田利博・久本洋子・鈴木祐紀・米道学. 2010.1. 垂直分布下限のヒメコマツの取り組み. 第 62 回日本森林学会関東支部大会. 栃木県青年会館, 宇都宮市.

島立理子

論文	大木淳一・島立理子. 2011. 九十九里町真亀の葬送儀礼. 千葉県立中央博物館研究報告 人文科学, 12(1): 1-25.
普及書	島立 理子. 2010. カボチャがいっぱい. しいむじな, (29): 1.
	島立 理子. 2010. お祭りの楽しみ. しいむじな, (30): 4.
	島立 理子. 2011. 卯年は味噌をつくれな. しいむじな, (31): 4.
	島立 理子. 2011. おばあちゃんの畑から「親子教室と一緒に活動」. しいむじな, (31): 2-3.
	島立 理子. 2011. 炭窯でパン焼き. しいむじな, (32): 4.
	島立 理子. 2010. 清和の雨乞い. 館報せいわ, (336): 4.
ウェブ	島立理子. 2010/04/08. ドテッコ . 山 FM ウェブサイト http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/special/yama/ .
	島立理子. 2010/04/10. 種子交換会. しいむじなメール, 73 号ニュース.
	島立理子. 2010/08/10. 菜種油絞り. しいむじなメール, 77 号ニュース.

加藤久佳

論文	Kato, H., T. Takahashi and M. Taira. 2010. Late Jurassic decapod crustaceans from northeast Japan. <i>Palaeontology</i> , 53(4): 761-770.
報告書	加藤久佳. 2011.3. 第4章第8節 一陣長崎鼻遺跡出土の十脚甲殻類遺体. . 鹿児島県南種子町教育委員会, 南種子町埋蔵文化財発掘調査報告書, (17): 96-98.
普及書	加藤久佳. 2011. 陸上でさぐる謎多き深海生物. <i>しいむじな</i> , (32): 1. 加藤久佳. 2011.2. 館のない博物館から(30). 不幸な生物たちの化石. . 館報せいわ, (338): 4. 加藤久佳. 2011. ちば水辺の生命 178 海辺の化石: 生物の豊さ示す. 読売新聞千葉版, (2011年2月6日).
ウェブ	加藤久佳. 2010/04/18. 石の中の小さなリボン模様 . 山 FM ウェブサイト http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/special/yama/ . 加藤久佳. 2010/06/25. 甌穴 (おうけつ: ポットホール) . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2010/06/25. 山の上で見る海の生物の巣穴 . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2010/07/02. オオグソクムシ? . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2010/07/09. 七里川のサンゴ化石 . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2010/08/18. クリオネのなかま . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2010/08/18. ヤマカガシ . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2010/10/03. ヒラツメガニ . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2010/10/08. シカの臼歯 . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2011/01/07. ゾウの臼歯? . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2011/01/21. 岸壁のつらら . 山 FM ウェブサイト. 加藤久佳. 2010/05/10. 怪しき珪化木. <i>しいむじな</i> メール, 74号ニュース. 加藤久佳. 2010/11/10. 恵まれた学校. <i>しいむじな</i> メール, 80号ニュース. 加藤久佳. 2011/01/10. 地元産の化石. <i>しいむじな</i> メール, 82号ニュース. 加藤久佳. 2011/03/10. 楽しい研究. <i>しいむじな</i> メール, 84号ニュース.
口頭	Kato, H., T. Takahashi and M. Taira. 2010.6. Additional records of macruran crustaceans from the Upper Jurassic of Somanakamura Group, Japan. 4th Symposium on Mesozoic and Cenozoic Decapod Crustaceans. Jura Museum, Eichstätt, Germany.

江口誠一

論文	Okazaki, H., M.Kobayashi, A. Momohara, S. Eguchi, T. Okamoto, S. Yanagisawa, S. Okubo and J. Kiyonaga. 2011. Early Holocene coastal environment change inferred from deposits at Okinoshima archaeological site, Boso Peninsula, central Japan. . <i>Quaternary International</i> , (230): 87-94.
普及書	江口誠一. 2010. 近所のあれ. <i>しいむじな</i> , (29): 4. 江口誠一. 2010. 町角の火. <i>しいむじな</i> , (30): 4. 江口誠一. 2011. 川野に刻まれた力士たち. <i>しいむじな</i> , (31): 1. 江口誠一. 2011. 伝説の地相撲力士. <i>しいむじな</i> , (31): 4. 江口誠一. 2011. 井戸水に親しむ. <i>しいむじな</i> , (32): 4. 江口誠一. 2010. ちば水辺の生命 170 コブナグサ. 読売新聞千葉版, (2010年11月28日). 江口誠一. 2010. 人気の雑草. 館報せいわ, (337): 4. 江口誠一. 2011. 小櫃川をのぼる観察会. 中央博物館だより, (68): 8.
ウェブ	江口誠一. 2010/06/25. 茶の実 . 山 FM ウェブサイト http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/special/yama/ . 江口誠一. 2010/08/13. スギの松明 . 山 FM ウェブサイト. 江口誠一. 2010/10/29. コブナグサ . 山 FM ウェブサイト. 江口誠一. 2010/05/16. 小櫃川をのぼる 5. 山 FM ウェブサイト. 江口誠一. 2010/09/05. 小櫃川をのぼる 6. 山 FM ウェブサイト. 江口誠一. 2010/12/05. 小櫃川をのぼる 7. 山 FM ウェブサイト. 江口誠一. 2011/02/20. 小櫃川をのぼる 8. 山 FM ウェブサイト. 江口誠一. 2010/06/10. 3段式井戸. <i>しいむじな</i> メール, 75号ニュース. 江口誠一. 2010/07/10. 小糸川の塩田. <i>しいむじな</i> メール, 76号ニュース. 江口誠一. 2010/09/10. それぞれの迎え火. <i>しいむじな</i> メール, 78号ニュース. 江口誠一. 2010/10/10. 伝説の横綱の字. <i>しいむじな</i> メール, 79号ニュース.
口頭	江口誠一・岡田直紀・Somkid Siripatanadilok・Teera Veenin. 2010.6. 東北タイ各地域の熱帯季節林下の植物珪酸体群. 第20回日本熱帯生態学会年次大会. 広島大学, 広島市. 樋泉岳二・植月 学・黒住耐二・江口誠一・津村宏臣. 2010.6. オマーン・ラス・ジブス貝塚の古環境復原. 日本文化財科学会第27回大会. 関西大学, 吹田市. 江口誠一. 2010.8. 千葉市中央区道場南から産出した植物珪酸体化石群. 第2回古関東深海盆ジオパーク ワークショップ・シンポジウム. 千葉市美術館, 千葉市. 岡崎浩子・江口誠一. 2010.8. 博物館から地域の自然をみてみよう. 日本第四紀学会 2010年大会. 東京学芸大学, 小金井市. Toizumi, T., M. Uetsuki, H. Tsumura, T. Kurozumi, S. Eguchi. 2010.8. Shell midden formation and palaeoenvironment at Ras Jibsh Shell Midden, Oman.. 11th ICAZ International Conference, Paris. Museum National d' Histoire Naturelle.. <i>International Conference of Archaeozoology</i> , フランス・パリ. 江口誠一・岡田直紀・Somkid Siripatanadilok・Teera Veenin. 2010.11. 東北タイにおける落葉フタバガキ林下表層部中の植物珪酸体化石群. 第25回日本植生史学会大会. 名古屋大学, 名古屋市.

大野啓一

報告書	植生学会企画委員会(大野啓一). 2010. シカ影響アンケート調査-調査要領と記入ガイド-. 植生情報, (14): 28-36. 植生学会.
普及書	大野啓一. 2011. 書評『地球温暖化と昆虫』. フェノロジー研究, (46): 33-34. フェノロジー研究会. 大野啓一. 2010. ちば水辺の生命 171 トベラ. 読売新聞千葉版, (2010年12月5日): 30面.
口頭	大野啓一. 2010.9. 微地形と気候条件に応じた照葉樹林床のシダ類のリーフサイズ変化. 植生学会第15回大会. 北海道立道民活動センター(かでの), 札幌市.

由良 浩

論文	Yura, H. 2010. Survival and Growth of the Seedlings of <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. Ex Steud. Germinated on Well-drained Upland. <i>Natural History Research</i> , 11(1): 1-7.
普及書	由良 浩. 2010. 海岸植物-海辺でたくましく生きる植物たち-. 千葉県環境生活部自然保護課生物多様性戦略推進室生物多様性センター, 生物多様性ちばニュースレター, (18): 1-2. 由良 浩. 2011. ハリエンジュとクズ. 千葉県環境生活部自然保護課生物多様性戦略推進室生物多様性センター, 千葉県生物多様性ハンドブック 2 外来生物がやってきた, pp. 24-25. 由良 浩. 2010. ちば水辺の生命 173 ハイネズ. 読売新聞千葉版, (2010年12月19日).
口頭	由良 浩. 2011.3. 日本の砂浜海岸における砂丘植生の現状と課題. 日本生態学会第58回全国大会. 札幌コンベンションセンター, 札幌市.

林 浩二

論文	林 浩二. 2011. 千葉県生物学会ホームページの制作・公開. 千葉生物誌, 60(2): 75-77.
学術書	林 浩二. 2010. アジサイ、アブラナ、ウメ、サクラソウ、サルスベリ、ソメイヨシノ、ダイコン、パンケイソウ、ヤマザクラ、ユキノシタ、ラフレシア、リンゴ. 石川統ほか(編), 生物学辞典, pp.15,29,118,501-502,513,788-789,795,1185,1287,1299,1320,1351. 東京化学同人, 東京都文京区. 林 浩二. 2010. ウリ科、ツツジ科、バラ科、ヒース、ヤナギ科. 石川統ほか(編), 生物学辞典, pp.119,876,1043,1071,1286. 東京化学同人, 東京都文京区.
普及書	林浩二. 2011. ちば水辺の生命 174 オオフサモ: 指名手配級の増殖力. 読売新聞千葉版, (2011年1月9日).

萩野康則

報告書	石井清・篠原圭三郎・萩野康則. 2011. 多足類. 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック 動物編:2011年改訂版, pp. 187, 397-414. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉市.
普及書	萩野康則. 2010. クモが出てくる子どもの本情報(4). 2007-10年に出版された絵本2点・雑誌2点の紹介. 談話会通信, (130): 2-7. 東京蜘蛛談話会. 萩野康則. 2010. 秋山亜由子さん「くものすおやぶん ほとけのさばき」単行本化される. 談話会通信, (130): 8-9. 東京蜘蛛談話会. 萩野康則. 2010. ミミズが出てくる本情報(1). アメリカ人が日本語で書いた小説とエッセイ2点の紹介. ミミズ情報通信, (37): 4-7. ミミズ研究談話会. 萩野康則. 2010. 文献紹介. 小さな生きものたちの不思議なくらし. 遊絲, (27): 18-19. 日本蜘蛛学会. 萩野康則. 2010. ダンゴムシが出てくるおとなの本「空飛ぶだんごむし」の紹介. だろのむし通信, (53): 5-6. 日本土壌動物学会. 萩野康則. 2010. クマムシの大衆化と, ついに現れた大人向けクマムシ漫画. だろのむし通信, (53): 6-9. 日本土壌動物学会. 萩野康則. 2010. 土壌動物が出てくる子どもの本情報(5). ダンゴムシ本2点とシテムシ本1点の紹介. だろのむし通信, (53): 9-14. 日本土壌動物学会. 萩野康則. 2011. ちば水辺の生命 175 イソシマジムカデ. 読売新聞千葉版, (2011年1月19日): 34面. 萩野康則. 2011. クモが出てくる子どもの本情報(5). 今のうちに買っておこう! 1970-80年代に出版された絵本4点の紹介. 談話会通信, (131): 4-8. 東京蜘蛛談話会. 萩野康則. 2011. 自然体験プログラム「森の調査隊」学校利用のお誘い-生態園で授業をしてみませんか?- . 中央博物館だより, (68): 9. 千葉県立中央博物館.
口頭	萩野康則. 2010.8. 博物館におけるクモの企画展示の事例報告. 日本蜘蛛学会第42回大会. 東京環境工科専門学校, 東京都渋谷区.

山口 剛

口頭	山口剛. 2010.8. クロヤマアリとクロオオアリの飛降り行動. 第53回日本蟻類研究会大会. 東京農工大学合同研修施設館山荘, 館山市. 山口剛. 2010.9. アリの飛降りによる脱出行動. 日本昆虫学会第70回大会. 山形大学, 鶴岡市.
----	--

落合啓二

論文	Ochiai, K., K. Susaki, T. Mochizuki, Y. Okasaka and Y. Yamada. 2010.12. Relationships among habitat quality, home range size, reproductive performance and population density: comparison of three populations of the Japanese serow (<i>Capricornis crispus</i>).. <i>Mammal Study</i> , 35(4): 265-276. 落合啓二. 2011.3. 千葉県産イタチ (<i>Mustela</i> 属) の外部計測値に基づく同定. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 11(2): 15-18. 落合啓二・繁田真由美. 2010.5. 千葉県にムササビは生息しているか?. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 11(1): 37-49. 高田まゆら・鈴木 牧・落合啓二・浅田正彦・宮下 直. 2010.11. 景観構造を考慮したニホンジカによる水稻被害発生機構の解明とリスクマップの作成. 保全生態学研究, 15(2): 203-210.
報告書	落合啓二. 2011. 哺乳類. 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック 動物編:2011年改訂版, pp. 13-28.

	千葉県環境生活部自然保護課, 千葉市.
普及書	落合啓二. 2010.8. 千葉県の希少種 キツネ. 生物多様性ちばニュースレター, (18): 2. 落合啓二. 2010.9. ちば水辺の生命 160 アブラコウモリ. 読売新聞千葉版, (2010年9月19日): 24面. 落合啓二. 2010.9. ちば水辺の生命 161 アライグマ. 読売新聞千葉版, (2010年9月26日): 32面. 落合啓二. 2010.12. コウモリの親戚はウマ!? 千葉県立中央博物館友の会, 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (71): 8. 千葉県立中央博物館友の会.
ウェブ	落合啓二. 2010. 中央博の窓-6 コウモリの餌とりの秘技. ちば中央博メール, (2010年9月号第49号).
口頭	久保達也・高田まゆら・鈴木 牧・落合啓二・浅田正彦・宮下 直. 2011.3. 千葉県房総半島でのイノシシによる水稻被害の発生機構. 日本生態学会第58回大会. 札幌コンベンションセンター, 札幌市.

桑原和之

学術書	桑原和之. 2011.3. 多摩川河口域の鳥類相の長期的変遷と保護に関する研究. 研究助成・学術研究, 39(286): 963pp. とうきゅう環境財団.
報告書	桑原和之・阿久津義広・阿久津裕二・篠田清・足達幹雄・高木純一・白井 豊. 2010. 千葉県産木質プラスチック素材を使った環境教育. 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト木質プラスチック部会, 平成21年度木質プラスチック部会(中間)報告書, pp. 69-72. 千葉県, 千葉市. 桑原和之・阿久津義広・阿久津裕二・足達幹雄・高木純一・白井 豊. 2011. 千葉県産木質プラスチック素材を使った環境教育(平成19-22年度). 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト木質プラスチック部会, 木質プラスチック部会成果報告書, pp. 120-126. 千葉県, 千葉市. 平田豊治・桑原和之. 2010. 野田山ラインセンサス結果2009年. 日本野鳥の会石川支部, 石川野鳥年鑑2009, pp. 89-90. 日本野鳥の会石川支部, 金沢. 桑原和之・齋藤敏一. 2010. ヨーロッパトウネン <i>Calidris minuta</i> の越冬記録. 我孫子市鳥博報, 17(1): 1から3. 桑原和之・箕輪義隆・方波見守一・白井正夫. 2010. 利根川の鳥類,2003年. 我孫子市鳥博報, 17(2): 1から7. 桑原和之・阿久津義広・阿久津裕二・足達幹雄・高木純一・白井 豊. 2011. 千葉県産木質プラスチック素材を使った環境教育(平成19-22年度). 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト木質プラスチック部会, 木質プラスチック部会成果報告書, pp. 120-126. 千葉県, 千葉市. 桑原和之・箕輪義隆・高木 武・佐藤達夫・三沢博志・安齊友己・戸田光彦・茂田良光・鶴見みや古・百瀬邦和・竹田伸一・青木正志・浅川裕之. 2011. 鳥類. 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック 動物編:2011年改訂版, pp. 29-124. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉市.
普及書	桑原和之. 2010. カイツブリ.生きもののつながり雑学コーナー. 私たちの自然, 51(558): 18. 桑原和之. 2010. ダイゼン.生きもののつながり雑学コーナー. 私たちの自然, 51(559): 18. 桑原和之. 2010. トウネン. 私たちの自然, 51(560): 12-13. 桑原和之. 2010. 三番瀬のミヤコドリ(シギ/チドリの仲間)を見てみよう. 生命のにぎわい調査団生命のにぎわい通信, (14): 1. 桑原和之. 2011. シギたちのくちばし. 私たちの自然, 52(564): 12-13. 桑原和之. 2011. 春の展示「千葉県野鳥図鑑」. 中央博物館だより, (68): 4. 桑原和之. 2011. 千葉県の希少種サンカノゴイ(サギ科) 千葉県レッドデータブック重要保護生物A. 生物多様性ちばニュースレター, (22): 4.
ウェブ	桑原和之. 2011. 中央博の窓-14 春の季節展の展示物から. ちば中央博メール, (2011年2月号第54号). 桑原和之. 2011. 中央博の窓-16 春の季節展の展示物から. ちば中央博メール, (2011年4月号第56号).
口頭	桑原和之・箕輪義隆・小田島高之・白井豊. 2009.6. 利根川下流域のシギ・チドリ類(調査から重要湿地を考える). ミュージアムパーク茨城県自然博物館第48回企画展記念イベント「田んぼに集まる旅鳥シンポジウム」. ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 坂東市. 伊藤誠・桑原和之・白井豊. . 2010.6. 楽しみながら野鳥について学んでいただくための取り組み-エコデコイ-. . ミュージアムパーク茨城県自然博物館第48回企画展記念イベント「田んぼに集まる旅鳥シンポジウム」. ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 坂東市. 早川雅晴・箕輪義隆・桑原和之・清田義昭・田邊以久雄・斎藤久芳・中山登志郎. 2009.9. 千葉市におけるコアジサシ <i>Sterna albifrons</i> 営巣用地の造成と管理. 日本鳥学会2010年度大会. 東邦大学, 船橋. 伊藤誠・桑原和之・白井豊. . 2009.9. バイオマス素材を活用して鳥類を紹介する環境教育. 日本鳥学会2010年度大会. 東邦大学, 船橋. 箕輪義隆・桑原和之. 2009.9. 千葉県および周辺域におけるウミウとカワウの分布. 日本鳥学会2010年度大会. 東邦大学, 船橋. 桑原和之・箕輪義隆・方波見守一・白井正夫. 2009.11. 利根川の鳥類,2003年. 2010年度 モニタリングサイト1000 海城・干潟分野シギ・チドリ類個体数モニタリング調査 モニタリングサイト交流会. 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター, 根室. 桑原和之・箕輪義隆. 2009.11. 千葉県旧小見川町水田のシギ・チドリ類. 2010年度 モニタリングサイト1000 海城・干潟分野シギ・チドリ類個体数モニタリング調査 モニタリングサイト交流会. 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター, 根室.

倉西良一

論文	Tojo,K.Y.Tanaka,R.B.Kuranishi and S.Kanada. 2010.6. Reproductive Biology and Adaptability Potential of the Invasive Alien Freshwater Amphipod <i>Crangonyx floridanus</i> (Crustacea: Amphipoda, Crangonyctidae).. <i>Zoological Science</i> , (27): 522-527. 大高明史・倉西良一・小林貞. 2010.5. 印旛沼と手賀沼の沖合の底生動物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 11(1): 1-9.
報告書	倉西良一. 2010. 河川上流域の水生昆虫の分布と遺伝的多様性に基づく保全生態学的研究. 科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書. 138pp.

	倉西良一. 2010. クロマダラソテツジミの幼虫は有毒か?. 房総の昆虫, (44): 53-54.
	倉西良一. 2010. 絶滅したか? 千葉県の新テイトビケラ. 房総の昆虫, (44): 54.
	倉西良一. 2010. ヒメカマキリとヒナカマキリの卵鞘を同じクスノキから採集. 房総の昆虫, (44): 53.
	倉西良一. 2010. 小さな体サイズのヘイケボタルの採集記録. 房総の昆虫, (44): 50-51.
	倉西良一. 2010. シロフツヤトビケラ属、千葉県に産す. 房総の昆虫, (44): 52-53.
	倉西良一. 2010. マムシの死体で吸汁していたミヤマクワガタのメス. 月刊むし, (474): 42.
	倉西良一. 2010. 水生昆虫の観察地紹介 (その1) - 千葉県横芝光町 乾草沼 -. 水辺の輪, (28): 14-15.
	倉西良一. 2010. 対島の川を巡る -不思議な光景-. 水辺の輪, (28): 16.
	倉西良一. 2011. トビケラ目昆虫. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック 動物編: 2011年改訂版, pp. 339-343.
	倉西良一・金子大輔. 2010. クマゼミの羽化殻を千葉県立中央博物館生態園で採集. 房総の昆虫, (45): 32.
	直海俊一郎・倉西良一. 2010. ミヤマクワガタ雌雄モザイク型の採集例. 甲虫ニュース, (170): 22.
	斉藤明子・倉西良一・西 泰弘. 2010. 千葉市で絶滅危惧種アサカミキリの生息を確認. 房総の昆虫, (45): 28.
普及書	倉西良一. 2010. ちば水辺の生命 162 ミサキツノトビケラ. 読売新聞千葉版, (2010年10月3日).
	倉西良一. 2010. ちば水辺の生命 163 乾草沼. 読売新聞千葉版, (2010年10月10日).
	倉西良一. 2010. ちば水辺の生命 168 生物多様性の諸問題. 読売新聞千葉版, (2010年11月14日).
	倉西良一. 2010. ちば水辺の生命 169 ウルマーシマトビケラ. 読売新聞千葉版, (2010年11月21日).
	倉西良一. 2011. 春は乾草沼(ひぐさぬま)で自然観察. 中央博物館だより, (68): 7.
ウェブ	倉西良一. 2010. 中央博の窓-8 生態園のクマゼミ. ちば中央博メール, (2010年10月号第50号).
口頭	梯公平・倉西良一・鎌田直人. 2010.8. 夜の森を歩いてヒメボタルの棲む環境を考える. ヒメボタル COP10. 名古屋市立科学館, 名古屋市.
	倉西良一. 2010.9. 日本に分布する3種のムラサキトビケラ属. 第57回日本昆虫学会大会. 山形大学, 鶴岡市.
	梯公平・倉西良一・鎌田直人. 2010.9. ヒメボタル幼虫の生態: 移動分散距離の推定、および局所分布と活動性に影響を与える環境要因の解析. 第26回個体群生態学会 横浜. 横浜国立大学, 横浜市.
	倉西良一. 2010.1. 私が関わった水生昆虫の多様性と生物多様性ちば県戦略. 第9回川の自然と文化研究会談話会. あがたの森文化会館, 松本市.
	加藤慎也・東城幸治・倉西良一. 2010.12. ヒゲナガカワトビケラ属昆虫(トビケラ目ヒゲナガカワトビケラ科)の系統進化的研究. 第31回菅平動物学セミナー. 菅平高原実験センター, 上田市.
	東城幸治・加藤慎也・関根一希・倉西良一. 2010.12. 中部山岳域を源頭にもつ千曲川水系、および天竜川水系におけるヒゲナガカワトビケラの個体群構造と遺伝的構造. 地球環境再生プログラム2010年度年次研究報告会. 筑波大学, つくば市.
	倉西良一. 2011.2. ヒゲナガカワトビケラの研究で最近分かったこと. 千葉県昆虫談話会第77回例会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

宮田昌彦

論文	Kikuchi, N., S. Arai, G. Yoshida, J.-A. Shin, J. E. Broom, W. A. Nelson and M. Miyata. 2010. <i>Porphyra mitigata</i> sp. nov. (Bangiales, Rhodophyta) from Japan. <i>Phycologia</i> , 49(4): 345-354.
普及書	菊地則雄・宮田昌彦・(財)千葉県勝浦海中公園センター. 2011. 1982~2009年における 千葉県勝浦市吉尾の気温・海水温の変化. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, (9): 1-9.
	宮田昌彦. 2010. ちば水辺の生命 150 海藻1: 酸素放出地球を変える. 読売新聞千葉版, (2010年7月4日).
	宮田昌彦. 2010. ちば水辺の生命 151 海藻2: 藻の林「海のゆりかご」. 読売新聞千葉版, (2010年7月11日).
	宮田昌彦. 2010. ちば水辺の生命 152 海藻3: 多様化した分布拡大. 読売新聞千葉版, (2010年7月18日).
	宮田昌彦. 2010. ちば水辺の生命 153 海藻4: 日本の藻の文化 食が中核. 読売新聞千葉版, (2010年7月25日).
	宮田昌彦. 2010. ちば水辺の生命 154 海藻5: 房総半島600種が生育. 読売新聞千葉版, (2010年8月1日).
	宮田昌彦. 2010. ちば水辺の生命 155 海藻6: CO2増加 海の生態系にも影響. 読売新聞千葉版, (2010年8月8日).
ウェブ	宮田昌彦. 2010. 中央博の窓-3 “寒天”がいかにかして生まれたのか?. ちば中央博メール, (2010年8月号第48号).
口頭	菊地則雄・宮田昌彦. 2010.7. ノリ分類研究最前線. 第22回千葉県立中央博物館自然誌シンポジウム「宮部金吾生誕150周年記念 日本の藻類学は今!」. 千葉県立中央博物館, 千葉市.

川瀬裕司

論文	川瀬裕司・奥野淳兒. 2011.3. 房総半島西岸から記録されたダウリアチョウザメ <i>Huso dauricus</i> とカラチョウザメ <i>Acipenser sinensis</i> (硬骨魚綱: チョウザメ目). 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, (9): 107-112.
	川瀬裕司. 2011.3. 企画展示「大収蔵資料展」の広報効果と展示評価. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, (9): 123-132.
普及書	川瀬裕司. 2010. サメにはおちんちんが2つ. 千葉県立中央博物館友の会, 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (70): 1. 千葉県立中央博物館友の会.
	川瀬裕司. 2010. 海の紳士録 84 アゴハゼ. 千葉日報県南版, (2010年5月24日).
	川瀬裕司. 2010. 海の紳士録 88 ミツクリザメ. 千葉日報県南版, (2010年8月2日).
	川瀬裕司. 2010. ちば水辺の生命 156 カラスザメ. 読売新聞千葉版, (2010年8月22日).
	川瀬裕司. 2010. ちば水辺の生命 157 コバンザメ. 読売新聞千葉版, (2010年8月29日).
	川瀬裕司. 2010. ちば水辺の生命 158 ネコザメ: らせん形の卵を産むサメ. 読売新聞千葉版, (2010年9月5日).
	川瀬裕司. 2010. ちば水辺の生命 159 ラブカ: 東京湾に住む生きた化石. 読売新聞千葉版, (2010年9月12日).
	川瀬裕司. 2010. 海の紳士録 90 イタチザメ. 千葉日報県南版, (2010年9月20日).
	川瀬裕司. 2011. 海の紳士録 96 シマスズメダイ・シチセンスズメダイ. 千葉日報県南版, (2011年1月10日).
	川瀬裕司. 2011. 平成22年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー 展示解説シート1 海の生きものあれこれ「南の海からやってくるチョウチョウウオ」. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.

	川瀬裕司. 2011. 平成22年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー 展示解説シート2 海の生きものあれこれ「縞模様のあるスズメダイ」. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	川瀬裕司. 2011. ちば水辺の生命 182 チョウウオウオオ. 読売新聞千葉版, (2011年3月6日).
口頭	川瀬裕司・須之部友基. 2011.2.11. 地球温暖化により沿岸性魚類の繁殖はどのように変化するか?. 第22回魚類生態研究会. 長崎県島原共同研修センター, 島原市.
	川瀬裕司・須之部友基. 2011.2.19. 地球温暖化が沿岸性魚類の繁殖に及ぼす影響-繁殖記録のデータベース化により分かること. 第11回東日本魚類生態研究会. 東海大学, 静岡市.

奥野淳児

論文	Okuno, J. and G. C. Fiedler. 2011. <i>Lysmata lipket</i> , a new species of peppermint shrimp (Decapoda, Hippolytidae) from warm temperate and subtropical waters of Japan. Studies on Malacostraca: Lipke Bijdeley Holthuis Memorial Volume. Crustaceana Monographs, (14): 597-610.
	Marin, I. and J. Okuno. 2011. <i>Laomenes holthuisi</i> sp. nov., a new species of carideid pontonine shrimp (Decapoda, Caridea, Palaemonidae) from the Izu Islands, Japan, with some remarks on Japanese species of the genus <i>Laomenes</i> Clark, 1915. Studies on Malacostraca: Lipke Bijdeley Holthuis Memorial Volume. Crustaceana Monographs, (14): 461-472.
	McLaughlin, P. A. and J. Okuno. 2011. A new and distinctive Japanese species of <i>Nematopagurus</i> (Decapoda, Paguridae), and a new record for <i>Nematopagurus alcocki</i> McLaughlin, 1997. Studies on Malacostraca: Lipke Bijdeley Holthuis Memorial Volume. Crustaceana Monographs, (14): 473-482.
	Bruce, A. J. and J. Okuno. 2011. Designation of a new genus <i>Lipkemenes</i> , with supplementary description and range extension of its type species, <i>L. lanipes</i> (Kemp, 1922) (Decapoda, Palaemonidae). Studies on Malacostraca: Lipke Bijdeley Holthuis Memorial Volume. Crustaceana Monographs, (14): 159-171.
	Marin, I., J. Okuno and T.-Y. Chan. 2011. On the "Hippolyte commensalis Kemp, 1925" species complex (Decapoda, Caridea, Hippolytidae), with the designation of a new genus and two new species of the Indo-West Pacific. Zootaxa, (2768): 32-54.
	Saito, T. and J. Okuno. 2011. Two new species of the genus <i>Microprosthemina</i> Stimpson, 1860 (Stenopodidea: Spongicolidae), from the Ryukyu Islands. Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series A (Zoology), Supplement, (5): 83-99.
	奥野淳児. 2011. 千葉県勝浦市鶴原理想郷の陸棲等脚類 (甲殻亜門: フクロエビ上目: 等脚目). 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, (9): 89-95.
	奥野淳児・藍澤正宏. 2010. 奄美大島で採集された日本初記録の <i>Pseudoceros scintillatus</i> Newman and Cannon, 1994 (渦虫綱: 多岐腸目). 沖縄生物学会誌, (48): 91-94.
	奥野淳児・中野誠志. 2010. クシノハクダヒゲエビ (根鰓亜目: クダヒゲエビ科) の駿河湾からの初記録. Cancer, (19): 57-59.
普及書	奥野淳児. 2010. 海の紳士録 82 オドリカクレエビ. 千葉日報県南版, (2010年4月5日).
	奥野淳児. 2010. 海の紳士録 86 アカシマモエビ. 千葉日報県南版, (2010年6月14日).
	奥野淳児. 2010. 海の紳士録 91 サラサエビ. 千葉日報県南版, (2010年10月11日).
	奥野淳児. 2010. 海の紳士録 94 ハクセンアカホシカクレエビ. 千葉日報県南版, (2010年12月6日).
	奥野淳児. 2011. 平成22年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー 展示解説シート5 海の生きものあれこれ「深海の大型カニ」. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	奥野淳児. 2011. 平成22年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー 展示解説シート6 海の生きものあれこれ「ハマダンゴムシ」. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	奥野淳児. 2011. 平成22年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー 展示解説シート10 めぐる自然「テナガエビ」. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	奥野淳児. 2011. 海の紳士録 98 コモレピアカモエビ. 千葉日報県南版, (2011年2月28日).
	奥野淳児. 2011. ちば水辺の生命 183 ビシャモンエビ. 読売新聞千葉版, (2011年03月27日).
口頭	Junji Okuno. 2010.6. Two undescribed species of pontonine shrimps (Decapoda: Caridea: Palaemonidae) from southern Japan. Seventh International Crustacean Congress. Huanghai Hotel, Qingdao.
	奥野淳児・世古 徹・津波古 健・白川直樹・山田祐介・藤田喜久. 2010.11. 沖縄島大浦湾におけるテナガエビ科カクレエビ亜科エビ類の多様性. 日本甲殻類学会第48回大会. 琉球大学, 中頭郡.

菊地則雄

論文	Kikuchi, N., S. Arai, G. Yoshida, J.-A. Shin, J. E. Broom, W. A. Nelson and M. Miyata. 2010. <i>Porphyra mitigata</i> sp. nov. (Bangiales, Rhodophyta) from Japan. Phycologia, 49(4): 345-354.
	Kikuchi, N. and J.-A. Shin. 2011. <i>Porphyrostromium japonicum</i> (Tokida) Kikuchi comb. nov. (Erythropeltiales, Rhodophyta) from Japan. Phycologia, 50(2): 122-131.
	Zuccarello, G. C., N. Kikuchi and J. A. West. 2010. Molecular phylogeny of the crustose Erythropeltiales (Compsopogonophyceae, Rhodophyta): new genera <i>Pseudoerythrocladia</i> and <i>Madagascaria</i> and the evolution of the upright habit. Journal of Phycology, (46): 363-373.
	Abe, M., M. Kobayashi, M. Tamaki, E. Fujiyoshi and N. Kikuchi. 2010. Rapid discrimination of <i>Porphyra tenera</i> Kjellman var. <i>tamatsuenensis</i> Miura by PCR-RFLP. Journal of Applied Phycology, (22): 405-408.
	菊地則雄. 2011. 千葉県勝浦市沿岸の海産植物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, (9): 11-23.
	菊地則雄. 2011. 千葉県館山市坂田・波左間周辺の海産植物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, (9): 25-36.
普及書	菊地則雄. 2010. お正月に食べる海藻は?. 海からのたより (海の博物館メールマガジン), (62)千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	菊地則雄. 2010. 海の紳士録 85 キッコウグサ. 千葉日報県南版, (2010年5月31日).
	菊地則雄. 2010. 日本産紅藻アマノリ属藻類ー特に分類, 生活史, 絶滅危惧種についてー. 海藻資源, (22): 2-21.
	菊地則雄. 2010. 海の紳士録 89 コトジツノマタ. 千葉日報県南版, (2010年8月30日).

	菊地則雄. 2010. 海の紳士録 93 カジメ. 千葉日報県南版, (2010 年 11 月 22 日).
	菊地則雄. 2010. 勝浦の川の生きもの. 海からのたより (海の博物館メールマガジン), (70)千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	菊地則雄. 2011. 海の紳士録 97 カイガラアマノリ. 千葉日報県南版, (2011 年 1 月 24 日).
	菊地則雄. 2011. 平成 22 年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー 展示解説書. 10pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	菊地則雄. 2011. 平成 22 年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー 展示解説シート 7 川の生きものあれこれ「ミヤコタナゴ」. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	菊地則雄. 2011. 平成 22 年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー 展示解説シート 9 川の生きものあれこれ「アサクサノリ」. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	菊地則雄. 2011. 平成 22 年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー ワークシート そとぼうの生きものクイズ. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	菊地則雄. 2011. 平成 22 年度マリンサイエンスギャラリー 水辺の生きものあれこれー外房の豊かな海と川からー ワークシート かんがえてみよう!. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
	菊地則雄. 2011. ちば水辺の生命 181 ミヤコタナゴ. 読売新聞千葉版, (2011 年 2 月 27 日).
	菊地則雄. 2011. 海の紳士録 99 ウミウチワ. 千葉日報県南版, (2011 年 3 月 14 日).
	菊地則雄・奥野淳児・川瀬裕司. 2011. 房総半島の海洋生物誌 (1999~2010 年) の概要. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, (9): 1-9.
	菊地則雄・宮田昌彦・(財)千葉県勝浦海中公園センター. 2011. 1982~2009 年における千葉県勝浦市吉尾の気温・海水温の変化. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, (9): 1-9.
	菊地則雄. 2011. 水産研究のフロントから 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 日本水産学会誌, 77(2): 283.
口頭	玉城泉也・藤田雄二・藤吉栄次・小林正裕・阿部真比古・菊地則雄・須藤祐介. 2010.5. 沖縄県宜野湾市にて採集した紅藻アマノリ属の葉状体の形態的特徴と DNA による種判別について. . 沖縄生物学会第 47 回大会. 名桜大学, 名護市.
	菊地則雄・宮田昌彦. 2010.7. ノリ分類研究最前線. . 第 22 回千葉県立中央博物館自然誌シンポジウム「宮部金吾生誕 150 周年記念 日本の藻類学は今!」. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	阿部真比古・小林正裕・藤吉栄次・玉城泉也・菊地則雄・村瀬昇. 2011.3. 日本産アマノリ属 16 種の分子系統解析. . 日本藻類学会第 35 回大会. 富山大学, 富山市.
	玉城泉也・藤田雄二・藤吉栄次・小林正裕・須藤祐介・菊地則雄. 2011.3. 高水温がマルバアマノリとツクシアマノリの生長に及ぼす影響. . 平成 23 年度日本水産学会春季大会. 東京海洋大学品川キャンパス, 東京都港区.

村田明久

普及書	村田明久. 2010. 海の紳士録 83 ケガキ. 千葉日報県南版, (2010 年 4 月 19 日).
	村田明久. 2010. 海の紳士録 87 イボニシ. 千葉日報県南版, (2010 年 7 月 12 日).
	村田明久. 2010. 海の紳士録 92 ヒザラガイ. 千葉日報県南版, (2010 年 11 月 11 日).
	村田明久. 2010. 海の紳士録 95 オオヘビガイ. 千葉日報県南版, (2010 年 12 月 20 日).

大久保守

普及書	大久保守. 2010-2011. 海を見つめる画家たち 1-15. 千葉日報, (2010 年 6 月 11 日~2011 年 1 月 14 日).
-----	--

2.5 学会委員・幹事一覧 (10名、16件)

氏名	学会名	委員名	期間
中村俊彦	東京湾学会	副会長	
宮野伸也	日本昆虫学会	庶務幹事	2010.4.1-2010.12.31
筑紫敏夫	千葉歴史学会	委員(編集担当)	2010.4.1-2011.3.31
	東京湾学会	理事(総務委員)	2010.4.1-2011.3.31
古木達郎	千葉県生物学会	事務局長	2010.4.1-2011.3.31
吹春俊光	日本きのこ学会	理事	2010.4.1-2011.3.31
	日本菌学会	評議員	2010.4.1-2011.3.31
原田 浩	日本地衣学会	編集委員長	2010.1.1-2011.12.31
	ヒコピア会	編集委員	2009.4.1-2011.3.31
斉藤明子	日本昆虫学会	庶務幹事・評議員	2009.1.1-2010.12.31
	日本甲虫学会	評議員	2010.1.1-2011.12.31
江口誠一	第13回国際花粉学会議・第9回国際古植物学会議	プログラム専門委員	2011.1.1-2011.3.31
	中・下更新統境界国際模式地に関する国際シンポジウム	実行委員	2011.1.1-2011.1.31
林 浩二	水草研究会	幹事	2010.4.1-2012.3.31
	千葉県生物学会	編集委員	2010.4.1-2012.3.31
萩野康則	日本土壌動物学会	編集委員	2010.5.30-2012.5.29

4.4 団体学習支援の実施詳細

本館 (房総の山のフィールド・ミュージアムを含む)

◆(1)中央博調査隊・森の調査隊

	実施日	実施団体	人数
中央博調査隊	2010.10.05	大網白里町立増穂北小学校	54
	2010.10.22	船橋市立行田東小学校	150
	2010.10.27	白井市立池の上小学校	45
	2010.10.29	習志野市立実花小学校	84
	2010.11.07	イオン津田沼チアーズクラブ	20
	2010.11.12	東金市東小学校	116
	2010.11.19	千葉市仁戸名小学校	34
	2010.11.26	千葉市立花園中学校特別支援学級	23
	2010.11.30	千葉市立西小中台小学校	49
	2010.12.08	長柄町立日吉小学校	17
	2010.12.09	国立教育政策研究所社会教育実践センター	16
	2011.03.04	ふたば保育園	27
森の調査隊	2010.04.25	ボーイスカウト千葉 18 団カブ隊	34
	2010.04.30	カベナント・コミュニティ・スクール・インターナショナル	30
	2010.04.30	千葉市立寒川小学校 4 年生	108
	2010.05.13	千葉市立稲毛小学校 4 年生	99
	2010.05.14	千葉市立官崎小学校 3 年生	158
	2010.05.19	船橋市総合教育センター適応指導教室「ひまわり」	21
	2010.06.02	千葉市立緑町小学校	118
	2010.06.04	千葉市立朝日ヶ丘小学校	70
	2010.06.04	千葉市立北貝塚小学校	132
	2010.06.10	千葉市立星久喜小学校	148
	2010.06.11	千葉市立上の台小学校	121
	2010.06.15	光の子児童センター (佐倉市)	48
	2010.06.20	ボーイスカウト千葉 1 団	22
	2010.06.22	長生村立八積小学校	12
	2010.06.30	千葉市立新宿小学校	155
	2010.07.02	千葉市立寒川小学校 4 年生	105
	2010.07.03	船橋市東部第二子ども会	44
	2010.07.06	千葉市立官崎小学校 3 年生	158
	2010.07.09	千葉市立高洲第四小学校 3 年生	38
	2010.07.14	千葉市立星久喜小学校 3 年	150
	2010.09.14	市原市立牧園小学校 5 年生	107
	2010.09.15	千葉市立緑町小学校 4 年生	155
	2010.09.17	千葉市立みつわ台北小学校 4 年生	73
	2010.09.17	千葉市立幸町第二中学校 1・2・3 年生	52
	2010.09.22	光風台三育小学校 2・3 年 (私立、市原市)	21
	2010.09.22	千葉市立星久喜小学校 3 年	160
	2010.09.29	東京都目黒区立中根小学校 4 年生	68
	2010.10.05	大網白里町立増穂北小学校 2 年生	54
	2010.10.26	習志野市立鷺沼小学校 3 年生	123
	2010.10.27	目黒区立不動小学校 4 年生	72
	2010.10.28	習志野市立実花小学校 3 年生	83
	2010.10.28	千葉市立新宿小学校 3 年生	156
	2010.11.02	千葉市立緑町小学校 4 年生	119
	2010.11.02	平山保育所 5 歳児	30
	2010.11.04	千葉市立花園小学校 2 年生	118
	2010.11.05	千葉市立官崎小学校 3 年生	158
	2010.11.06	浦安市美浜公民館	11
	2010.11.12	東金市立東小学校 1 年生	59
	2010.11.12	東金市立東小学校 1 年生	52
	2010.11.16	白旗保育所	40
	2010.11.18	千葉市立稲毛小学校 4 年生	100
2010.11.24	千葉市立寒川小学校 4 年生	106	
2010.11.25	小倉台保育所	31	
2010.11.26	千葉市立花園中学校特別支援学級	22	
2010.11.27	千葉市立みつわ台北小学校わくわくキャンパス	16	
2010.11.30	千葉市立高浜第三小学校 4 年生	33	
2010.12.07	千葉市立緑町小学校 4 年生	116	
2011.01.20	千葉市立新宿小学校 3 年生	154	

2011.02.04	千葉市立寒川小学校 4年生	106
2011.02.08	千葉市立宮崎小学校 3年生	157
2011.02.09	八千代市立村上北保育所	29
2011.02.22	千葉市立上の台小学校 3年生	115
2011.02.23	千葉市幸三保育所	32
2011.03.02	川戸保育所	23
2011.03.02	幕張第二保育所	32

◆(2)①学校団体支援：館内学習

学校	実施日	学校名	内容詳細	人数	場所	担当者
小学	2010.07.09	君津市立蔵玉小学校	夜の昆虫観察会	25	山 FM	尾崎
	2010.12.02	君津市立蔵玉小学校	特別授業「化石の学習」	15	山 FM	加藤
中学	2010.04.28	白百合中学校	講演「雲南の地衣類」	196	本館	原田
	2010.12.14	共栄学園中学校	校外授業(講演「千葉県の食虫植物」・本館・生態園見学)	97	本館	一場・古木
中高	2010.08.17	聖徳学園中学・高等学校	収蔵庫見学	6	本館	斉藤・駒井
高校	2010.05.07	市川高等学校	SSH スーパーサイエンスハイスクール(プランクトン)	20	本館	林紀
	2010.05.11	市川高等学校	SSH スーパーサイエンスハイスクール「市川サイエンス」高博連携企画「土壌動物入門ー土の中の生きものを調べるー」(講義編)	18	本館	萩野
	2010.05.18	市川高等学校	SSH スーパーサイエンスハイスクール「市川サイエンス」高博連携企画「土壌動物入門ー土の中の生きものを調べるー」(実習編)	18	本館	萩野
	2010.07.28	千葉県立船橋高等学校	SSH 野外実習まとめ(地学・海洋展示室解説)	57	本館	高橋直・黒住・立川
	2010.11.21	千葉県立長生高等学校	SSH サイエンスフィールドワーク事前講義	16	本館	加藤久佳
	2010.09.12	千葉県立成東高等学校	SPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト) 講座型学習プロジェクト「生物多様性を理解する」	4	本館	古木・倉西
	2010.11.27	東海大学付属浦安高校	SPP 野外学習事前講義	24	本館	加藤
特別支援学校	2010.06.18	千葉県立四街道特別支援学校	博物館学習「鳥について」	11	生態園	大庭
	2010.10.08	千葉県立千葉盲学校	水生植物の観察	11	生態園	林紀
	2010.11.10	千葉県立千葉盲学校	博物館学習「鳥の鳴き声について」	11	生態園	大庭
	2010.11.12	千葉県立千葉盲学校	生態園での植物学習「とくに実やタネについて」	11	生態園	大野
大学	2010.04.08	東京大学新領域創成科学研究科	自然環境学野外総合実習(博物館見学)	48	本館	大野・斉藤・駒井
	2010.04.29	千葉大学園芸学部	中央博物館の見学・講演「雲南の植生、地衣類」(講義「地域自然史学」)	5	本館	一場・宮・原田・駒井
	2010.05.07	日本大学生物資源科学部	テーマ「昆虫の種多様性」	23	本館	宮野伸也
	2010.05.08	千葉大学文学部	博物館見学学習	26	本館	一場・駒井
	2010.05.16	自由学園最高学部	博物館学習	11	本館	一場・大野
	2010.05.28	日本大学生物資源科学部	森林資源科学実習(テーマ「昆虫の種多様性」)	24	本館	斉藤
	2010.06.12	千葉大学	普遍教育「博物館概論」見学会	21	本館	一場・駒井
	2010.06.26	千葉大学教育学部	集中講義「環境と生態」	13	本館	落合
	2010.11.06	放送大学	展示室解説「千葉の自然」	27	本館	宮野・高橋直・黒住
	2010.11.21	江戸川大学	博物館学芸員養成課程博物館見学会	22	本館	斉藤・一場・石渡
	2010.11.21	江戸川大学	博物館学芸員養成課程博物館見学会	22	本館	一場・斉藤・石渡
	2010.12.24	平成帝京大学	トピックス展 指定文化財展「大原幽学」展示解説	15	本館	渋谷
	2010.10.27	東邦大学	研究指導	1	生態園	林紀
2010.11.08	東邦大学	研究指導	1	本館	林紀	

◆(2)②学校団体支援：出前授業

学校	実施日	学校名	内容詳細	人数	場所	担当者
小学	2010.05.27	勝浦市立興津小学校	磯の生きもの観察	100	県内	川瀬
	2010.06.08	茨城県守谷市立大井沢小学校	第2学年生活科公開授業「生きもの大好き」	142	県外	大木
	2010.07.08	茨城県守谷市立大井沢小学校	生活科授業「生きものと地層の関係についての授業」	142	県外	大木
	2010.10.22	千葉市立小中台小学校	キャリア教育に関する講話	90	県内	御巫

	2010.10.27	木更津市立木更津第 2 小学校	校外学習	130	県内	尾崎
中学	2010.06.07	木更津市立中郷中学校	SPP 鴨川市周辺地学巡検 (地層観察教室)	23	県内	高橋直
高校	2010.08.06	成東高校	乾草沼とトンボ ビオトープを考えるヒント	7	県内	倉西
	2010.12.11	千葉県立長生高校	SSH サイエンスフィールドワーク (地学野外実習) 野外観察会	22	県内	加藤・高橋直
	2010.12.12	千葉県立長生高校	SSH サイエンスフィールドワーク (地学野外実習) 野外観察会	22	県内	高橋直
	2010.05.23	千葉県立木更津高校	SPP 「アサギマダラの生態調査と日光の野生動物」	17	県内	由良
	2010.08.05	千葉県立成東高等学校	SPP 「生物多様性を理解する」	4	県内	古木
	2010.12.04	東海大学付属浦安中・高校	SPP 野外実習 野外観察会「地球の歴史を知ろう(千葉県版)」	35	県内	加藤
	2010.12.08	南房総市立丸山中学校	SPP 授業「丸山川の変遷」	37	県内	高橋直
	2010.12.15	南房総市立丸山中学校	SPP 授業「嶺岡山地の岩石」	37	県内	高橋直
特別 支援 学校	2010.06.10	千葉県立四街道特別支援学校	博物館学習「鳥について」	27	県内	大庭
	2010.09.21	千葉県立仁戸名特別支援学校	博物館学習 (古生物学)	17	県内	伊左治
	2010.11.07	千葉県立千葉盲学校	博物館学習「鳥の鳴き声について」	11	県内	大庭
大学	2010.10.21	東京成徳大学	江戸時代の俳諧 花燭と一茶	57	県内	筑紫
	2010.10.21	東邦大学	研究指導	3	県内	林紀
	2010.11.06	東京情報大学	公開講座「日本の森の起源を探る－照葉樹林の植生地理学－」	65	県内	原
	2011.3.17-20	お茶の水大学	公開臨海実習	震災 中止	県内	駒井
	2010.05.19	千葉大学教育学部	生物学実験 (前期) 全 1 回	27	県内	斉藤
	2010.06.06	千葉大学教育学部	集中講義「環境と生態」 (全 4 回)	16	県内	落合
	2010.06.12	千葉大学教育学部	集中講義「環境と生態」	16	県内	落合
	2010.07.10	千葉大学教育学部	集中講義「環境と生態」	16	県内	落合
	2010.08.30	千葉大学理学部	野外生態学実験	13	県内	尾崎
	2010.09.01	東邦大学	野外実習 (集中)	25	県内	林紀
	2010.09.02	東邦大学	野外実習 (集中)	25	県内	林紀
	2010.09.03	東邦大学	野外実習 (集中)	25	県内	林紀
	2010.09.04	東邦大学	野外実習 (集中)	25	県内	林紀
	2010.09.06	東邦大学	野外実習 (集中)	21	県外	林紀
	2010.09.07	東邦大学	野外実習 (集中)	21	県外	林紀
	2010.09.08	東邦大学	野外実習 (集中)	21	県外	林紀
	2010.09.09	東邦大学	野外実習 (集中)	21	県外	林紀
	2010.10.13	千葉大学教育学部	生物学実験 (後期) 全 1 回	29	県内	斉藤
2010.12.04	千葉大学大学院	緑地科学特別講義 2 (集中)	12	県内	大野	

SPP=サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト、SSH=スーパーサイエンスハイスクール

◆(3)①一般団体支援：館内実施

実施日	連携先	行事名	人数	担当・講師
講座・観察会・解説				
2010.04.04	サポートクラブこだまの会	山みち展示現地説明会	4	尾崎
2010.04.25	青葉の森町内会	総会 (講演会「雲南の地衣類」)	106	一場・原
2010.07.28	千葉県教育庁教育振興部生涯学習課	千葉県科学・先端技術体験スクール (サイエンススクール)	27	立川
2010.07.28	千葉県教育庁教育振興部生涯学習課	千葉県科学・先端技術体験スクール (サイエンススクール)	29	立川
2010.08.16	目黒区教育委員会指導課	宿泊体験学習の下見	20	一場・林浩
2010.08.19	目黒区教育委員会指導課	宿泊体験学習の下見	12	石渡・林浩
2010.10.22	ふなばし市民大学	生態園ギャラリー/展示解説	52	林浩・直海
2010.10.26	千葉県生涯大学校京葉学園	生態園ギャラリー/展示解説	67	林・直海
2010.11.03	千葉県環境生活部バイオマスプロジェクトチーム	千葉県産バイオマスの紹介	7	白井
2010.11.28	千葉県環境生活部自然保護課生物多様性戦略推進室	千葉県ビオトープフォーラム：はっけんレポート	94	林浩ほか 1 名
2010.12.08	(社)日本植物友の会	展示解説(友の会向け)テーマ「自然と人間のかかわり 展示室で地球温暖化」	10	林浩
2011.01.15	木更津市桜井公民館	サタデースクール事業「びっくり生きもの塾」第 5 回、展示室解説	19	黒住
2011.02.05	日本野鳥の会千葉県	鳥類収蔵資料の紹介	11	桑原
2011.03.01	千葉県生涯大学校京葉学園	生態園の全体説明	60	大野
2011.03.25	朝日新聞千葉中央新聞販売	春休み「子ども記者体験」	73	一場

外部主催行事の講師				
2010.04.11	千葉県ネイチャーゲーム協会	研修事業「生き物に学ぶ」・「昆虫の多様性・千葉県の昆虫」	30	斉藤
2010.05.30	千葉県生涯大学校京葉学園	博物館学習（講義「東京海底谷」・生態園解説）	22	宮・大野・一場
2010.06.06	自然と人間を考える会	講座「生物多様性の話」「房総の山のフィールド・ミュージアムについて」	19	尾崎
2010.06.19	千葉県生涯大学校京葉学園	講演「地衣類」/生態園解説と質疑応答	66	大野・原田・一場
2010.07.16	印西市中央公民館	展示解説「印西市周辺の地質について」	30	岡崎・高橋直
2010.07.28	千葉県教育庁教育振興部生涯学習課	千葉県科学・先端技術体験スクール（サイエンススクール）	31	立川
2010.07.29	千葉県県土整備部河川環境課	印旛沼水生植物再生の現場を歩く	14	林紀
2010.08.01	生涯学習応援団ちば	第1回生涯学習応援講座「花火の魅力と科学」（講師：嘉村茂邦）	54	清藤
2010.08.14	千葉市野鳥の会	第69回談話会	4	桑原
2010.08.21	千葉県生物多様性センター・千葉県環境研究センター	ちばの里山里海サブグローバル評価シンポジウム「里海～人と自然がつむぎだす豊饒の海～」：里海とその生態系	50	中村
2010.08.25	千葉県環境生活部自然保護課	学校ビオトープフォーラム	120	林紀
2010.08.26	千葉市教育委員会	理科教育センター植物観察会	45	原・由良
2010.08.29	千葉市野鳥の会	第71回談話会	4	桑原
2010.10.05	千葉県生涯大学校京葉学園	「千葉の哺乳類」講座および「まちのコウモリ展」解説	33	落合
2010.10.13	千葉県生涯大学校京葉学園	生態園の全体説明とトピックス展解説	51	落合・大野
2010.10.22	千葉の自然に親しむ会	教室博物館見学会	36	尾崎
2010.11.07	香取市佐原中央公民館	自然環境講座「サウンドウォーク」	25	大庭
2010.11.20	房総地学会	銚子の白亜紀の地層と化石	16	浅井
2010.11.28	千葉県生物多様性センター	学校ビオトープフォーラム管理講習「生態園での植生管理と水草再生の取り組みについての解説」	34	大野・林紀
2010.12.02	NPO 千葉まちづくりサポートセンター	社会的事業者育成講座	22	新
2010.12.11	千葉市野鳥の会	第73回談話会	2	桑原
2011.01.09	(社)日本植物友の会	生態園見学・植物標本についての研修とバックヤード見学	21	大野・天野・御巫
2011.01.10	千葉市野鳥の会	第74回談話会	8	桑原
2011.02.05	日本野鳥の会千葉県	青葉の森探鳥会	38	桑原
2011.02.05	千葉県衛生研究所	担子菌にかかわる研修会	45	吹春
2011.2.24-25	全国科学博物館協議会	第18回 全国科学博物館協議会研究発表大会	152	嘉村・新
2011.03.01	千葉県文化財保護協会	房総の出羽三山信仰	70	島立
2011.03.26	千葉市野鳥の会	第76回談話会	25	桑原
学会・研究会の開催				
2010.05.16	房総石造文化財研究会	総会・石仏勉強会	17	白井
2010.05.29	房総地学会	2010年度総会・講演会	23	高橋直
2010.06.19	千葉大学	未来の科学者養成講座	10	一場
2010.07.17	湘南地球科学の会	第139回例会（談話会）	5	高橋直
2010.08.07	房総地学会	第59回談話会	22	高橋直
2010.09.27	房総石造文化財研究会	石仏勉強会	17	白井
2010.10.17	千葉県昆虫談話会	千葉県昆虫談話会第75回例会	24	斉藤・倉西
2010.11.14	千葉県生物学会	第63回児童生徒生物研究発表大会	87	斎木・原
2010.11.20	房総地学会	第60回談話会	16	高橋直
2010.11.23	千葉県地学教育研究会	第60回地学研究発表会	39	高橋直
2010.11.28	千葉県生物多様性センター	学校ビオトープフォーラム管理講習	74	
2010.12.11	生涯学習応援団ちば	第2回生涯学習応援講座「大原幽学ーその生涯と功績ー」（講師：猪野映里子氏）	82	清藤
2010.12.19	千葉県地学教育研究会	平成23年度総会・研究発表会・談話会	34	高橋直
2010.12.25	千葉大学	未来の科学者養成講座	15	一場
2011.01.22	千葉県の市民自然愛好団体「千葉菌類談話会」との連携事業	講座：スライド勉強会	54	吹春
2011.02.20	千葉県生物学会	2011年度総会・公開講演会・会員研究発表会	60	古木・原・大野・御巫・林紀・尾崎
2011.02.26	生涯学習応援団ちば	第3回生涯学習応援講座（講師：河原純之氏）	67	清藤

◆(3)②一般団体支援：館外実施（講師派遣）

実施日	団体名	行事名	人数	担当
県内				
2010.04.17	日本地衣学会	青空地衣教室	15	原田 浩
2010.04.18	千年の森をつくる会	ヒメコマツ植栽イベント	45	尾崎煙雄
2010.05.12	安房生物愛好会	ナルトサワギク分布調査	3	尾崎煙雄
2010.05.16	安房生物愛好会	観察会	29	尾崎煙雄
2010.05.29	日本サウンドスケープ協会	2010 年度シンポジウム 西江雅之の世界～ボーダーを超えて～ 音声コミュニケーション	172	大庭照代
2010.06.09	文部科学省・財団法人日本博物館協会	第 17 回全国博物館館長会議	458	新 和宏
2010.06.11	小櫃公民館	おばあちゃんの畑プロジェクト説明（高齢者学級開校式にて）	38	島立理子
2010.06.13	千年の森をつくる会	講座（房総のヒメコマツの現状）	12	尾崎煙雄
2010.06.26	袖ヶ浦市教育委員会	ひらおかジュニアサイエンスセミナー	20	新 和宏
2010.06.26	内浦山県民の森	房総半島のヒメボタル -知られざる夜の森の輝き-	55	倉西良一
2010.06.28	鴨川市文化財保護審議会	クサブグの産卵観察	10	川瀬裕司
2010.07.04	手賀沼水環境保全協議会	鷺野谷水路へ沈水植物植栽	39	林紀男
2010.07.09	NPO 法人千葉ふるさと文化研究会	ふるさと文化大学	150	古木達郎
2010.07.10	君津市立蔵玉小学校	蔵玉フェスタ	60	加藤久佳
2010.07.18	千葉県みどりの協会	講演会「千葉県海の生物について」	25	立川浩之
2010.07.18	(財)千葉市みどりの協会	海の月間記念講演会	20	立川浩之
2010.07.21	八千代市環境保全課	高野川水生生物調査	85	林紀男
2010.07.31	安房生物愛好会	ナルトサワギク分布調査	4	尾崎煙雄
2010.08.01	NPO 法人千葉まちづくりサポートセンター・千葉県立中央博物館	フィールドミュージアム現地ワーク「富津岬」	32	由良 浩
2010.08.01	手賀沼水環境保全協議会	ミニ手賀沼沈水植物植栽	45	林紀男
2010.08.01	袖ヶ浦市教育委員会	ひらおかジュニアサイエンスセミナー	23	新 和宏
2010.08.03	千葉県教育委員会	理科現地研修	32	岡崎浩子
2010.08.07	そごう千葉店	キッズアカデミー「水辺の野鳥のお話：カモの模型に色付けしよう！」	18	桑原和之
2010.08.08	千葉フィールドミュージアム事業(千葉県立中央博物館・NPO 法人千葉まちづくりサポートセンター)	千葉フィールドミュージアム「成東・東金食虫植物群落フィールドミュージアム」	39	古木達郎・天野誠・由良浩
2010.08.08	千葉市野鳥の会	第 55 回観察会	4	桑原和之
2010.08.08	そごう千葉店	夏休みキッズアカデミー「デパートの中と外の音探検」	18	大庭照代
2010.08.15	「池田の池」復元研究会	千葉市中央区道場南チビッコ広場コアの炭素年代	5	奥田昌明
2010.08.21	佐倉野草会	おしば標本同定会	12	大野啓一
2010.08.24	生活協同組合ちばコープ	2010 年度消費者力育成セミナー第 1 回「ちばの自然と生物多様性は世界へ〜くらしと食の里山海へ〜」	70	中村俊彦
2010.08.25	印西市教育委員会	企画展「印旛沼の水草 今と昔 笠井貞夫先生を偲んで」講演会	25	林紀男
2010.08.26	鎌ヶ谷市北中沢児童センター	児童館夏の特別教室(化石の模型を作ろう)	43	加藤久佳
2010.09.10	佐倉市	佐倉市民カレッジ「私が研究活動を通して考えた自然の変化」	103	倉西良一
2010.09.10	NPO 法人千葉ふるさと文化研究会	ふるさと文化大学「千葉のキノコたち」	120	吹春俊光
2010.09.15	千葉市生涯学習センター	ちばカレッジ「ちばの大地と自然」第 7 回：「ちば」の外來哺乳類	30	落合啓二
2010.09.25	木更津市郷土博物館	昆虫観察会「身近にいる虫を観察してみよう」	0	斉藤明子
2010.09.29	千葉市生涯学習センター	ちばカレッジ「千葉の大地と自然」第 8 回。貝から見える『ちば』	29	黒住耐二
2010.09.29	千葉県生涯大学京葉学園	環境問題第 1 回	139	中村俊彦
2010.10.03	NPO 法人宍塚の自然と歴史の会	里山にすむ貝	34	黒住耐二
2010.10.06	千葉県生涯大学京葉学園	環境問題第 2 回	136	中村俊彦
2010.10.09	日本鳥学会	公開シンポジウム「海鳥集団繁殖地の復元」	300	大庭照代
2010.10.13	千葉市生涯学習センター	平成 22 年度ちばカレッジ「ちばの大地と自然」の第 9 回 「野生のきのこ観察会」	40	吹春俊光
2010.10.17	南総昔ばなし大学	お話駅伝「山の神・子授けの神の神・ゴンゲンサマ」	32	島立理子
2010.10.19	夷隅農林振興センター	野生きのこ同定研修会	40	吹春俊光
2010.10.20	市原市市津公民館	市津倶楽部「房総半島の成り立ち③-南房総地域」	30	高橋直樹
2010.10.20	御宿町公民館	自然観察と御宿トレッキング	7	原正利
2010.10.23	安房生物愛好会	ナルトサワギクなくし隊による駆除大作戦	130	尾崎煙雄
2010.10.30	千葉県環境研究センター	22 年度第 8 回公開講座「生物多様性とちばの里山里海」：生物多様性とは	45	中村俊彦
2010.11.13	環境カウンセラー千葉県協議会	秋季研修会講演会：生物多様性、その重要性和私たちのくらし	30	中村俊彦

2010.11.13	木更津市立博物館	地層と化石からたどる西上総の地史	18	加藤久佳
2010.11.18	千葉県森林インストララー会	森に親しむ懇談会 142 回：生物多様性保全についてーCOP10 を終わってー	30	中村俊彦
2010.11.20	御宿町公民館	「自然観察と御宿トレッキング」	10	原 正利
2010.11.28	千葉県立鴨川青年の家	鴨川青年の家主催事業「鴨川ふしぎ発見！ “枕状溶岩”のひみつ」	20	高橋直樹
2010.12.02	千葉県	「第 6 回企業と生物多様性セミナー」「COP10 で決まったこと」	67	斎木健一
2010.12.02	安房生物愛好会	ナルトサワギク調査	5	尾崎煙雄
2010.12.04	四街道市教育委員会社会教育課	四街道市民大学講座：生物多様性は、なぜ必要か～人類が持続可能な社会を目指すには～	70	中村俊彦
2010.12.15	ちば里山センター・千葉県	企業と里山セミナー基調講演：里山と生物多様性	50	中村俊彦
2010.12.19	木更津市郷土博物館	野外観察会「地層と化石からたどる西上総の地史」	23	加藤久佳
2010.12.20	君津市周西公民館	地域再発見教室 君津の出羽三山信仰	20	島立理子
2010.12.21	千葉県生涯大学校卒業生親睦学習会	平成 22 年度学習会「昆虫の世界-驚きの多様性-」	630	斉藤明子
2011.01.16	富津市富津公民館	会津藩の房総沿岸防備（東京湾学講座）	88	筑紫敏夫
2011.01.19	市川市教育委員会	昆虫の世界-ハチー	50	宮野伸也
2011.01.22	南房総市	市民・環境学習会「外来生物が来た！」	57	斎木健一
2011.01.22	袖ヶ浦市郷土博物館	西上総地方の出羽三山信仰を考える（博物館講座）	33	地引尚幸
2011.01.23	かとり市民ネットワーク・香取市環境安全課	かとり市民環境ネットワーク「生物多様性保全についての公開学習会：生物多様性と里山・里川を伝える	50	中村俊彦
2011.01.28	君津市周西公民館	地域再発見教室 君津の出羽三山信仰	25	島立理子
2011.01.29	木更津市郷土博物館	金のすず地域講座「木更津風土記」 木更津の出羽三山信仰	18	島立理子
2011.01.30	環境省関東地方環境事務所	市民がまもる生物多様性フォーラム：里山里海の生物多様性保全と新たなコモンズ	70	中村俊彦
2010.02.05	(財) 千葉県栄養士会	千葉県栄養改善学会文化講演会：生物多様性と食	100	中村俊彦
2011.02.11	財団法人千葉県勝浦海中公園センター	勝浦の豊かな海の生き物たち	30	奥野淳兒
2011.02.12	千葉県郷土史研究連絡協議会	松平定信の江戸湾防備ー防備開始 200 年にあたりー（文化講座）	55	筑紫敏夫
2011.02.13	松戸市立博物館	講演会「自然を語る 1」での講演「照葉樹林の故郷 雲南・北タイの森を訪ねて」	37	原 正利
2011.02.22	千葉県生涯大学校外学習園	房総のツジギリについて（博物館文化セミナー）	98	地引尚幸
2011.02.28	金沢大学・総合地球環境研究所	シンポジウム「半島の現状と未来」：半島での人・自然・文化の景相と里山里海	40	中村俊彦
2011.03.06	木更津市金田公民館	松平定信の寛政改革と白河藩の江戸湾防備（郷土史講座）	35	筑紫敏夫
2011.03.06	ヒメコマツ観察会	ヒメコマツ観察会	12	尾崎煙雄
2011.03.10	千葉県庁技術士会	平成 22 年度勉強会「生物多様性ーCOP10 を終えてー：COP10 でどう変わるのか」	40	中村俊彦
2011.03.20	浦安市郷土博物館	海藻の観察会	震災中止	菊地則雄
県外				
2010.05.22	独立行政法人海洋研究開発機構	横須賀本部施設一般公開解説員	4849	高橋直樹
2010.05.22	日本地衣学会	青空地衣教室	18	原田 浩
2010.06.19	日本蘚苔類学会・国立科学博物館共催	コケ類入門講座	20	古木達郎
2010.07.10	生物多様性条約市民ネットワーク	COP10/MOP5 カウントダウン 100 フォーラム「ビジネス&生物多様性フォーラム」：生物多様性と里山、千葉県の取組	60	中村俊彦
2010.07.21	茨城県美浦村教育委員会	陸平貝塚と関東地方の加曾利 B 式期（後期中葉）の微小貝類	18	黒住耐二
2010.08.01	岐阜県高山市荘川支所地域振興課	荘川化石フォーラム	100	伊左治 鑽司
2010.08.18	農林水産省農林水産技術会議	第 141 回農林交流センターワークショップ〈分子系統樹推定法：理論と応用〉	30	宮 正樹
2010.08.28	信州きのこマイスター認定協議会	平成 22 年度 信州きのこマイスター認定講座（探求コース）講義	40	吹春俊光
2010.09.07	農林水産省植物防疫所	平成 22 年度植物防疫官専門研修（害虫コース）	14	黒住耐二
2010.10.2-3	日本地衣学会	観察会	10	原田 浩
2010.10.26-27	(財) ホクト生物科学振興財団	野生きのこ研修会	50	吹春俊光
2010.11.06	生活環境部バイオマスプロジェクトチーム	千葉県産バイオマスの紹介	20	桑原和之
2010.11.07	生活環境部バイオマスプロジェクトチーム	千葉県産バイオマスの紹介	5	桑原和之

2010.11.07	神奈川県立生命の星・地球博物館	県立機関活用講座『日本列島 20 億年の謎を解く』-「葉山-嶺岡帯の超塩基性岩類」講演	60	高橋直樹
2010.11.13-14	東北大学東北アジア研究センター	シンポジウム「歴史遺産を未来へ」	100	新 和宏
2010.11.19	日本NUS株式会社・TRM ユニット	放射性廃棄物の地層処分による環境影響評価	10	奥田昌明
2010.11.21	垂水市教育委員会終原・明治大学	共催講演会	103	黒住耐二
2010.11.21	公益財団法人東京都公園協会	講演会「都指定天然記念物オニバスの生態とその保護」	25	林浩二
2010.11.27	三宅島郷土資料館	平成 22 年度秋季特別展「2000 年前の三宅島一発掘調査からみえた島の生活」 「貝類遺体から見たココマ遺跡の特徴」	37	黒住耐二
2010.11.28	自然史学会連合	平成 22 年度自然史学会連合講演会「東北の豊かな自然－ワンダー イン イーハトープー」での講演「生物の分布情報はなぜ重要か－詳細分布から探るブナとイヌブナの生態史－」	159	原正利
2010.12.09	平塚市中央公民館	市民大学講座「バラの文化史～芸術・香り・創造から～」	35	御巫由紀
2010.12.10	文科省生涯学習政策局	平成 22 年度博物館学芸員専門講座	16	一場郁夫
2010.12.13	日本アセスメント協会	第 29 回環境システムシンポジウム「里山と里海を評価する」：里山里海の生態系と人間の福利	90	中村俊彦
2011.01.21	金沢大学	第 2 回能登総合シンポジウム「里山里海的重要性」	70	中村俊彦

大利根分館

◆ (1)学校団体支援：展示解説

区分	実施日	学校名	参加者数
幼稚園	2010.7.10	風の谷幼稚園科学教室	48
小学校	2010.8.19	旭市立富浦小学校	46
	2010.8.21	長生村立高根小学校	55
	2010.9.28	潮来市立大生原小学校	10
	2010.9.30	柏市立光が丘小学校	128
	2010.10.2	大網白里町立穂積北小学校	48
	2010.10.12	東庄町笹川小学校	60
	2010.10.14	旭市立旭小学校	46
	2010.10.26	香取市立竟成小学校	20
	2010.10.27	匝瑳市立吉田小学校	15
	2010.10.27	柏市立松葉第一小学校	104
	2010.10.28	香取市立北佐原小学校	47
	2010.10.29	我孫子市立高野山小学校	149
	2010.11.2	多古町立中村小学校	18
	2010.11.5	山武市立大富小学校	28
	2010.11.9	銚子市立高神小学校	42
	2010.11.9	旭市立万歳小学校	28
	2010.11.10	香取市立北佐原小学校	49
	2010.11.10	多古町立中村小学校	20
	2010.11.11	山武市立大富小学校	28
	2010.11.11	銚子市立高神小学校	40
	2010.11.12	旭市立万歳小学校	26
	2010.11.12	香取市立府馬小学校	36
	2010.11.15	香取市立新島小学校	22
	2010.11.19	市川市立南行徳小学校	123
	2010.11.24	香取市立神南小学校	16
	2010.12.10	神崎町立米沢小学校	14
	2010.12.14	市川市立国府台小学校	118
	2010.12.16	旭市立嚶鳴小学校	60
	2011.1.19	香取市立小見川東小学校	28
	2011.1.20	旭市立干潟小学校	58
2011.1.25	多古町立多古第 2 小学校	11	
2011.1.25	多古町立多古第 1 小学校	50	
2011.2.8	成田市立川上小学校	28	
2011.3.8	銚子市立豊岡小学校	16	

◆ (2)一般団体支援：展示解説

実施日	団体名	参加者数
2010.5.9	立教大学人本近代史ゼミ	45
2010.6.24	八街市高齢者学級	46
2010.7.31	印旛地区教員研修会	62
2010.9.16	東京成徳大学	87

大多喜城分館

◆(1)学校団体支援：館内実施・出前授業

	区分	実施日	学校名	実施内容	人数	担当者
館内	小学校	2010.7.2	長南町立西小学校	大多喜城概要説明	20	地引
		2010.7.2	長南町立東小学校	大多喜城概要説明	21	地引
		2010.9.3	茂原市立豊田小学校	大多喜城概要説明	52	地引
		2010.10.13	大多喜町立老川小学校	大多喜城概要説明	17	高橋覚
		2010.11.10	大網白里町立増徳北小学校	大多喜城概要説明	32	地引
		2010.11.17	大網白里町立増徳北小学校	大多喜城概要説明	35	地引
		2010.12.15	大多喜町立西畑小学校	大多喜城概要説明	13	三森
	中学校	2010.8.3	いすみ市立国吉中学校	大多喜城概要説明	4	地引
		2010.5.11	君津市立松岡中学校	大多喜城概要説明	28	地引
		2010.5.21	いすみ市立国吉中学校	大多喜城概要説明	38	地引
		2010.7.29	いすみ市立国吉中学校	大多喜城概要説明	4	高橋覚
		2010.11.11	大多喜町立西中学校	展示解説会	11	高橋覚
	2010.11.13	睦沢町立睦沢中学校	展示解説会	36	高橋覚	
	高校	2010.12.2	大多喜高校	大多喜城概要説明	53	三森
	専門学校	2010.5.1	関東鉄道専門学校	大多喜城概要説明	74	地引
館外	小学校	2010.10.8	四街道市立八木原小学校	甲冑試着体験（依頼校にて）	70	高橋覚
		2010.12.3	四街道市立大日小学校	甲冑試着体験（依頼校にて）	105	高橋覚

◆(2)一般団体支援：館内実施・講師派遣

	実施日	団体名	実施内容	人数	担当者
館内	2010.04.13	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	37	高橋覚
	2010.04.14	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	43	三森
	2010.04.15	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	67	地引
	2010.04.16	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	44	高橋覚
	2010.04.20	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	77	三森
	2010.04.21	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	35	地引
	2010.04.22	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	20	高橋覚
	2010.04.23	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	35	三森
	2010.04.30	京成バスシステム（株）たけのこツアー	大多喜城概要説明	24	地引
	2010.05.20	館山市富崎公民館	大多喜城概要説明	45	地引・三森
	2010.05.20	銀友会	大多喜城概要説明	22	地引
	2010.05.28	浦安富岡公民館	大多喜城概要説明	28	高橋覚
	2010.05.30	佐原柏陽高校OB会	大多喜城概要説明	39	三森
	2010.06.12	ちばの文化資源をめぐる会	大多喜城概要説明	44	地引
	2010.06.23	君津市上総公民館さわやか学級	大多喜城概要説明	52	地引
	2010.07.16	建災防神奈川支部	大多喜城概要説明	23	高橋覚
	2010.07.28	四街道市文化財審議会	大多喜城概要説明	15	三森
	2010.08.04	千葉市教育センター	大多喜城概要説明	20	地引
	2010.08.12	千葉中央ライオンズクラブ	大多喜城概要説明	23	地引
	2010.08.29	いすみ市商工会青年部おみあいツアー	大多喜城概要説明	30	高橋覚
	2010.09.12	印西歴史愛好会	大多喜城概要説明	42	地引
	2010.09.17	国際青少年研修協会	大多喜城概要説明	16	地引
	2010.09.17	市川市婦人消防クラブ	大多喜城概要説明	28	地引
	2010.10.07	君津地方社会教育委員連絡協議会	大多喜城概要説明	17	高橋覚
	2010.10.28	習志野市袖ヶ浦公民館	大多喜城概要説明	33	高橋覚
	2010.11.02	茂原市教育委員会	大多喜城概要説明	22	地引
	2010.11.06	関電工歴史部会	大多喜城概要説明	11	地引
	2010.11.17	練馬地区年金友の会	大多喜城概要説明	33	三森
	2010.11.18	松戸市立博物館友の会	大多喜城概要説明	47	高橋覚
	2010.11.18	船橋市二和公民館	大多喜城概要説明	45	地引
	2010.11.20	袖ヶ浦市根方公民館移動教室	大多喜城概要説明	25	三森
	2010.11.24	君津市清和の文化を探る会	大多喜城概要説明	25	高橋覚
	2010.11.26	恋瀬地区公民館	大多喜城概要説明	31	高橋覚
	2010.12.03	実践桜会千葉合同さーくる	大多喜城概要説明	25	地引
	2010.12.09	野村ゆうゆうクラブ	大多喜城概要説明	18	三森
	2011.01.13	世田谷文芸散策会	大多喜城概要説明	37	地引
	2011.01.18	木更津市文京公民館	大多喜城概要説明	40	地引
	2010.10.31	鳩ヶ谷市長野県人会	展示解説会	25	高橋覚
	2010.11.05	千葉県退職校長会	展示解説会	78	高橋覚
	2010.11.11	横芝町教育委員会寿大学	展示解説会	103	高橋覚
	2010.11.18	市川観光協会	展示解説会	20	三森
2010.11.21	東急バス（神奈川）	展示解説会	21	三森	

	2010.06.15	あんさんぶる茂原	甲冑の試着体験	55	地引・高橋寛・三森
	2010.08.03	君津市青少年相談員	甲冑の試着体験	21	地引・高橋寛・三森
	2010.08.14	ダルーズ訪問団	甲冑の試着体験	24	地引・高橋寛・三森
館外	2010.6～ 2011.1	木更津市郷土博物館	古文書講座「西上総地方の出羽三山信仰を考える」	350	高橋 寛
	2011.1.22	袖ヶ浦市郷土博物館	博物館講座	33	地引尚幸
	2011.2.22	千葉県生涯大学校外房学園	博物館文化セミナー講師「房総のツジギリについて」	98	地引尚幸

分館海の博物館

◆(1)学校団体支援：野外実習授業

事業名・行事名	対象	実施日	学校名	参加者数	実施場所	担当者
野外実習授業(海のフィールドミュージアム事業)	小学校	2010.4.30	目黒区興津自然学園	6	鶴原理想郷・毛戸浦の磯	菊地
		2010.5.7	勝浦市立興津小学校	44	勝浦市興津海岸	中村・菊地
		2010.5.14	板橋区立天津わかしお学校	39	鴨川市城崎海岸	菊地
		2010.5.15	豊島区立竹岡健康学園	24	富津市棚海岸	奥野
		2010.5.18	小金井市立前原小学校	118	館前の磯	奥野
		2010.5.19	小金井市立東小学校	89	館前の磯	中村
		2010.5.21	勝浦市立清海小学校	10	館前の磯	中村
		2010.5.28	星美学園小学校	133	鴨川市城崎海岸	奥野
		2010.5.28	御宿町立御宿小学校	274	御宿町小波月海岸	中村
		2010.5.29	勝浦市立興津小学校	93	勝浦市興津海岸	川瀬
		2010.6.3	小金井市立第四小学校	114	館前の磯	中村・奥野
		2010.6.4	勝浦市立豊浜小学校	96	川津の磯	中村
		2010.6.10	勝浦市立清海小学校	10	館前の磯	中村
		2010.6.13	いすみ市立長者小学校	31	館前の磯	奥野
		2010.6.24	勝浦市立総野小学校	29	館前の磯	中村
		2010.6.29	大多喜町立西畑小学校	29	館前の磯	中村
		2010.7.1	学芸大学付属小金井小学校	167	館前の磯	中村
	2010.7.14	茂原市立緑ヶ丘小学校	40	鴨川市仁衛門島	中村	
	2010.7.15	香取市立小見川小学校	41	館前の磯	奥野・中村	
	2010.7.28	勝浦市立清海小学校	10	館前の磯	菊地	
2010.9.28	勝浦市立清海小学校	10	館前の磯	菊地		
高校	2010.7.27	千葉県立岬高等学校	15	館前の磯	奥野	
	2010.8.8	埼玉県立熊谷西高等学校	36	館前の磯	奥野	
	2010.8.9	埼玉県立熊谷西高等学校	36	館前の磯	奥野	
	2010.8.11	千葉県立長生高等学校	6	館前の磯	中村	

◆(2)一般団体支援：団体フィールドトリップ

事業名・行事名	実施日	団体名	参加者数	実施場所	担当者
団体フィールドトリップ	2010.4.28	生涯大学校外房学園	67	館内	中村・菊地・村田
	2010.5.29	国立科学博物館ボランティア「ふ～し～の会」	9	館前の磯	菊地
	2010.5.30	生命のにぎわい調査団現地研修会	49	館前の磯	村田
	2010.6.12	勝浦市教育委員会「磯の生き物探訪」	36	館前の磯	中村
	2010.6.28	鴨川市教育委員会「クサフグの産卵観察会」	6	鴨川市松ヶ鼻の磯	川瀬
	2010.7.24	千葉県夏休みサイエンススクール	41	館前の磯	中村
	2010.7.28	市原市津公民館	38	団体見学対応	村田
	2010.8.6	東京海洋大学フレッシュマンセミナー	82	館内	奥野・菊地
	2010.8.12	勝浦市教育委員会	28	館前の磯	中村

4.6 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修の実施詳細
本館

事業	対象	期間	日数	学校名	人数	担当科・者
職場体験	中学校	2010.06.09-10	2	稲毛高等学校附属中学校	1	動物学
		2010.06.22	1	千葉市立星久喜中学校	2	歴史学
		2010.06.30-7.1	2	千葉市立末広中学校	2	地学
		2010.07.29-30	2	千葉市立川戸中学校	3	資料管理
		2010.09.28-29	2	千葉市立松ヶ丘中学校	3	環境教育
		2010.10.06-07	2	習志野市立第二中学校	3	地学
		2010.10.28-29	2	千葉市立緑が丘中学校	3	植物学
		2010.11.09-10	2	東金市立北中学校	3	歴史学
		2010.11.10-11	2	習志野市立第七中学校	3	資料管理
		2010.11.10-11	2	千葉市立蘇我中学校	3	環境科学・生態学
		2010.11.11-12	2	東金市立東中学校	3	動物学
		2010.11.16-17	2	袖ヶ浦市立長浦中学校	1	資料管理
		2010.11.17-18	2	千葉市立花園中学校	3	植物学
		2010.11.17-18	2	千葉市立泉谷中学校	3	地学
		2010.11.18-19	2	市原市立湿津中学校	3	動物学
		2010.11.18-19	2	千葉市立磯辺第二中学校	3	環境教育
		2010.11.18-19	2	東金市立東金中学校	3	資料管理
		2010.11.25-26	2	千葉市立葛城中学校	3	環境教育
		2010.11.25-26	2	千葉市立小中台中学校	1	歴史学
		2010.12.01-02	2	東金市立西中学校	3	環境科学
		2010.12.02-03	2	千葉市立磯辺第一中学校	3	生態学
		2010.12.02-03	2	千葉市立有吉中学校	3	植物学
		2011.01.25-26	2	千葉市立真砂第二中学校	3	環境科学
	2010.12.07	1	千葉市立松ヶ丘中学校	3	教育普及課	
2011.01.20	1	千葉市立都賀中学校	3	教育普及課		
高校	2010.07.15	1	獨協高等学校	5	生態学	
インターンシップ	高校	2010.08.03-07	5	東金高校・柏中央高校・東葛飾高校(生態園業務)	4	林浩
		2010.08.17-21	5	土気高校・東葛飾高校(生態園業務)	2	林浩
	大学	2010.08.13-9.16	10	千葉大学(標本整理)	1	原田
		2010.09.01-09	5	和洋女子大学(図書整理)	1	友田
教員研修	教員	2010.06.24	1	君津市教育研究会	9	島立
		2010.07.02	1	君津市立三島小学校	4	尾崎
		2010.07.22	1	千葉県立国府台高校	1	大庭
		2010.07.30	1	印旛地区教育研究会環境教育研究部	9	大木
		2010.08.05	1	君津市教育研究会	7	島立
		2010.08.29	1	国立科学博物館	100	一場
		2010.9.7, 9.14	2	千葉県総合教育センター	215	林浩
		2010.11.05	1	千葉県総合教育センター	21	天野・齋木
		2010.11.16	1	千葉市教育研究会学校図書館部会	20	林浩・大木・友田
		2010.11.17	1	千葉市教育研究会理科部会	20	齋木
		2010.07.26	1	県教育庁特別支援教育課	104	一場
		2010.07.27	1	県教育庁特別支援教育課	162	
		2010.07.28	1	県教育庁特別支援教育課	104	
		2010.07.29	1	県教育庁特別支援教育課	103	
		2010.07.30	1	県教育庁特別支援教育課	103	
		2010.08.03	1	県教育庁特別支援教育課	119	
		2010.08.04	1	県教育庁特別支援教育課	119	
		2010.08.05	1	県教育庁特別支援教育課	173	
		2010.08.06	1	県教育庁特別支援教育課	173	
		2010.08.10	1	県教育庁特別支援教育課	128	
		2010.08.11	1	県教育庁特別支援教育課	128	
		2010.08.12	1	県教育庁特別支援教育課	143	
		2010.08.13	1	県教育庁特別支援教育課	143	
		2010.08.16	1	県教育庁特別支援教育課	112	
		2010.08.17	1	県教育庁特別支援教育課	112	
		2010.08.18	1	県教育庁特別支援教育課	170	
		2010.08.19	1	県教育庁特別支援教育課	170	

大利根分館

事業	対象	期間	日数	学校名	人数
教員研修	中学校社会科教員	2010.8.10	1	印旛地区教員研修	17

大多喜城分館

事業	対象	開催日	日数	学校名	人数	担当者
ゆめ・仕事びったり体験	小学校	2010.7.27	1	大多喜町立大多喜小学校 6 年	2	高橋寛
体験学習	中学校	2010.11.11	1	大多喜町立西中学校	11	高橋寛

分館海の博物館

事業	対象	期間	日数	学校名	人数	場所	担当者
職場体験	小学校	2010.8.3-5	3	勝浦市立興津中学校	1		中村
		2010.9.7	1	勝浦市立郁文小学校	2		中村
		2011.1.20	1	勝浦市立興津中学校	1		中村
		2011.1.19-21	3	勝浦市立勝浦中学校	2		奥野
教員研修		2010.8.10	1	海の環境学習研修会(定員 20)	27	館前の磯	奥野・村田
		2010.6.25	1	千葉県高等学校理科部会	8	館前の磯	川瀬
		2010.6.26	1	長生高等学校理数科	5	館前の磯	中村
		2010.8.10	1	目黒区教育委員会指導課指導係	20	館内	菊地
		2010.8.18	1	いすみ市校長会	14	館内	中村
		2010.8.20	1	目黒区教育委員会指導課指導係	20	館内	奥野
		2010.8.25	1	夷隅教職員組合青年部研修会	5	館前の磯	中村
	2011.2.19	1	目黒区教育委員会	20	館内	中村	
博物館職員研修		2011.2.20	1	横須賀市自然・人文博物館	4	館内	奥野

4.8 委員受託一覧

氏名	委員名	受託先	期間
嘉村茂邦	理事	日本博物館協会	2010.4.1-2011.3.31
	副会長	千葉県博物館協会	2010.4.1-2011.3.31
	協議会委員	千葉大学先進科学センター運営協議会	2010.10.1-2012.9.30
	委員	館山市博物館協議会	2010.4.1-2011.3.31
	理事	財団法人日本自然保護協会	2010.4.1-2011.3.31
中村俊彦	理事	全国科学博物館協議会	2010.4.1-2011.3.31
	国連大学高等研究所 日本の里山・里海評価 科学評価パネル	国連大学	
	日本自然保護協会 理事	(財) 日本自然保護協会	
	南関東エコロジカルネットワーク形成に関する検討委員会委員	国土交通省関東地方整備局	
	千葉県 印旛沼流域水循環健全化会議委員	千葉県河川環境課	
	我孫子市 谷津ミュージアム事業推進専門家会議議長	我孫子市	
	千葉県 環境審議会委員	千葉県	
	船橋市 環境審議会委員	船橋市	
	市川市 環境審議会専門委員	市川市	
山武市 成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員	山武市		
港区 緑と水の委員会委員	東京都港区		
藤崎芳樹	伊能忠敬記念館協議会協議会委員	香取市教育委員会	2010.6.1-2012.5.31
新 和宏	科学博物館におけるミュージアムショップの在り方について	(財) 全国科学博物館振興財団	2010.4.1-2012.3.31
小田島高之	衛星データ利用推進委員会委員	財団法人リモート・センシング技術センター	2010.6.1-2011.3.11
宮野伸也	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員動物部会長	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員動物部昆虫分科会長	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
	希少野生動植物種保存推進員	環境省	2010.4.1-2011.3.31
筑紫敏夫	千葉県文書館 調査委員(君津地区担当)	千葉県文書館	2010.4.1-2011.3.31
	千葉県郷土史研究連絡協議会 常任理事	千葉県郷土史研究連絡協議会	2010.4.1-2011.3.31
	千葉県文化財保護協会 理事	千葉県文化財保護協会	2010.4.1-2011.3.31
	富津市文化財審議会 委員	富津市	2010.4.1-2011.3.31
岡崎浩子	木更津市立郷土博物館金のすず友の会 理事	木更津市立郷土博物館金のすず友の会	2010.4.1-2011.3.31
	文部科学省教科書用図書検定調査審議会臨時委員	文部科学省	2010.4.1-2011.3.31
高橋直樹	印西市文化財評議員	印西市	2010.4.1-2013.3.31
伊左治鎮司	千葉県立船橋高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	千葉県教育委員会	2010.4.1-2011.3.31
	白山市手取層群調査協議会委員	石川県白山市	2010.4.1-2011.3.31
黒住耐二	白山手取川ジオパーク推進協議会ジオパーク部会オブザーバー	石川県白山市	2010.12.20-2011.3.31
	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省	2010.4.1-2011.3.31
	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
	「東京都における保護上重要な野生生物種の種に関する検討会」(本土部) その他無脊椎動物専門部会委員	環境局自然保護部	2010.4.1-2011.3.31
古木達郎	「東京都における保護上重要な野生生物種の種に関する検討会」(島しょ部) その他無脊椎動物専門部会委員	環境局自然保護部	2010.8.1-2011.3.31
	絶滅危惧植物・移入植物専門第二委員会委員	日本植物分類学会	2010.4.1-2011.3.31
	希少野生動植物種保存推進員	環境省自然保護局	2010.4.1-2011.3.31
	絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会委員	環境省自然環境局	2010.4.1-2011.3.31
	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
吹春俊光	調査研究員	栃木県立博物館	2010.4.1-2011.3.31
	調査員	国立科学博物館	2011.1.13
	絶滅危惧植物・移入植物専門第二委員会委員	日本植物分類学会	2010.4.1-2011.3.31
	希少野生動植物種保存推進員	環境省自然保護局	2010.4.1-2011.3.31
天野 誠	絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会委員	環境省自然環境局	2010.4.1-2011.3.31
	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
	希少動植物種保存推進員	千葉県自然環境局野生生物課	2010.4.1-2011.3.31
	研究事業協力者	東京大学総合研究博物館	2010.4.1-2011.3.31
原田 浩	非常勤鑑定員	農林水産省横浜植物防疫所成田支所	2011.1.1-2011.3.31
	調査研究員	栃木県立博物館	2010.4.1-2011.3.31
清藤一順	柏市文化財保護委員会委員	柏市教育委員会	2008.5.1-2010.4.30
	柏市史編さん委員	柏市教育委員会	2010.5.1-2012.4.30
	柏市史編さん委員会参与	柏市教育委員会	2009.5.1-2011.4.30
	流山市史編さん審議会委員	流山市教育委員会	2009.5.1-2011.4.30
	「松戸市史上巻」改訂部会員	松戸市教育委員会	2010.10.1-2012.9.30
内田龍哉	水郷佐原山車会館運営審議会委員	水郷佐原山車会館運営審議会	2010.4.1-2011.3.31
小林裕美	水郷佐原山車会館運営審議会委員	水郷佐原山車会館運営審議会	2011.3.25
	栄町史編さん委員会調査研究員	栄町教育委員会	2009.4.1-2011.3.31
地引尚幸	「図説香取・海匠の歴史」編集委員	郷土出版社	2010.7-2010.12
	木更津市史調査研究員	木更津市教育委員会	2010.4.1-2011.3.31
高橋 寛	富里市文化財審議会委員	富里市教育委員会	2010.4.1-2011.3.31
斉藤明子	国立科学博物館附属自然教育園運営委員	国立科学博物館	2009.4.1-2011.3.31

御巫由紀	収蔵庫を考える懇談会委員	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	2010.4.1-2011.3.31
	国営越後丘陵公園「国際香りのばら新品種コンクール」審査委員会	国土交通省 法陸地方整備局 国営越後丘陵公園事務所	2010.4.1-2011.3.31
	市川市	市川市緑の調査専門委員	2010.4.1-2011.3.31
	千葉県環境財団	ちば環境再生推進委員会助成部会委員	2010.4.1-2010.8.22
原 正利	鶴枝ヒメハルゼミ発生地保護協会アドバイザー	茂原市教育委員会	2010.4.1-2011.3.31
	松戸市立博物館協議会委員	松戸市教育委員会	2010.4.1-2011.3.31
	印西市文化財審議委員	印西市教育委員会	2010.3.23-3.31
	第4回高校生物研究発表会審査委員	千葉大学	2010.9.25
大庭照代	最初の評議員	財団法人日本鳥類保護連盟	2010.12.1-2011.3.31
	非常任理事	日本サウンドスケープ協会	2010.4.1-2011.3.31
林 紀男	印旛沼水質改善技術検討会委員	千葉県県土整備部	2010.4.1-2011.3.31
	手賀沼水生植物再生事業検討会委員	千葉県環境生活部	2010.4.1-2011.3.31
	八郎湖研究会植生部会委員	秋田県生活環境部	2010.4.1-2011.3.31
尾崎煙雄	環境省モニタリング1000里地調査検討委員	(財)日本自然保護協会	2010.5.1-2011.3.31
	君津市博物館基本構想検討委員	君津市教育委員会	2008.10.1-2012.9.30
島立理子	野田市史編纂執筆委員	野田市	2009.4.1-
大野啓一	自然環境保全基礎調査植生調査関東ブロック1調査会議委員	環境省自然保護局生物多様性センター	2010.4.1-2011.3.31
	我孫子市環境審議会委員	我孫子市役所	2010.1.27-2012.1.26
	我孫子市岡発戸新田地区エコアップ懇談会委員	我孫子市役所	2010.4.1-2011.3.31
由良 浩	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会委員	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会	2011.2.1-2013.1.31
	学識者ヒアリング	(財)日本生態系協会	2010.11.5
林 浩二	行徳内陸性湿地再整備検討協議会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2012.3.31
	文化庁事業「博物館の教育機能に関する調査研究」協力者会議委員	(株)丹青研究所	2010.10.25-2011.3.31
萩野康則	平成22年度千葉県レッドデータブック改訂委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
	希少野生動植物種保存推進員	環境省自然環境局野生生物課	2009.7.1-2012.6.30
落合啓二	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省	2009.7.1-2012.6.30
	千葉県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ)策定検討会委員・作業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2004.7.-
	千葉県特定外来生物(アカゲザル)防除実施計画策定検討会委員・作業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2006.7.-
	千葉県特定外来生物(アライグマ)対策検討会副会長・作業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2006.12.-2010.7.27
	千葉県特定外来生物(キョン)防除実施計画策定検討会副会長・作業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2007.12.-
	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2008.3.-2011.3.31
桑原和之	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
	三番瀬環境学習施設等検討委員会委員	千葉県環境生活部環境政策課	2010.4.1-2011.3.31
	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省	2010.4.1-2011.3.31
	平成22年度千葉市平和公園オオタカ生息環境保全検討委員会	千葉市保健福祉局健康部生活衛生課	2010.4.1-2011.3.31
	平成22年度千葉市の鳥・コアジサシの保護に関する協力	千葉市環境保全部環境保全課	2010.4.6-2011.3.31
	環境省モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査検討委員会	NPO法人バードリサーチ	2010.4.1-2011.3.31
倉西良一	千葉県レッドデータブック改訂晩執筆委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
	シャープゲンゴロウモドキ保全協議会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2008.4.1-2011.3.31
宮田昌彦	千葉県レッドデータブック改訂委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2010.4.1-2011.3.31
本吉正宏	いすみ市郷土資料館連絡協議会委員	いすみ市教育委員会	2010.4.1-2012.3.31
	いすみ市文化財審議会委員	いすみ市教育委員会	2010.4.1-2012.3.31
奥野淳兒	東京都における保護上重要な野生生物の種に関する検討会 外部協力者	財団法人自然環境研究センター	2010.7-2011.3.31
村田明久	環境省「モニタリングサイト1000」調査員	特定非営利活動法人 日本国際湿地保全連合	2010.1-2011.3.31

団体の内訳詳細（団体の種類・市町村の内訳）

本館

地域	学生生徒団体									学齢前団体				一般団体			
	大学	高等学校	中学校	小学校	特別支援	各種学級	子どもルーム	子ども会等	小計	保育園	幼稚園	幼児サークル	小計	身障者	老人介護	一般	小計
千葉県	2		3	39		2	5	3	52	14	15	1	30	6	2	13	21
葛南	市川市								0		1		1			1	1
	船橋市		1		1			1	2		1		1	1		4	5
	習志野市	1			1			1	2	1			1			1	1
	八千代市								0	1			1	1	1		2
	浦安市		1					1	1				0				0
東葛飾	松戸市			1	1				2				0				0
	野田市								0				0				0
	柏市				1				1				0			3	3
	流山市	1			1				1				0			1	1
	我孫子市								0				0				0
	鎌ヶ谷市				1				1				0				0
北総	銚子市	3							0				0				0
	成田市				1				1				0			1	1
	佐倉市				1			2	3				0		1		1
	旭市								0				0				0
	四街道市				1				1	2			2				0
	八街市				1				1				0				0
	印西市				2				2				0	1		1	2
	白井市				1				1				0				0
	富里市								0				0				0
	匝瑳市				1			1	2				0				0
	香取市				2				2				0			2	2
	印旛郡				1				1				0				0
	香取郡								0				0				0
東上総	茂原市		1		1				1				0			1	1
	東金市			1	2				3				0				0
	勝浦市								0				0				0
	山武市								0				0				0
	いすみ市								0				0			1	1
	山武郡								0				0				0
	長生郡				3				3				0			1	1
夷隅郡								0	3			3				0	
南房総	館山市				1				1				0				0
	木更津市						1	1	2				0			1	1
	市原市				1				1		2		2			2	2
	鴨川市				1				1				0			1	1
	君津市		1		2				2				0			4	4
	富津市								0				0			1	1
	袖ヶ浦市								0	1			1				0
	南房総市				1				1				0				0
安房郡								0				0				0	
県外	4	2	2	3				2	13				0	4		6	10
合計	11	6	7	71	6	2	6	12	121	22	19	1	42	13	4	45	62

大利根分館

地域	学生生徒団体									学齢前団体				一般団体				
	大学	高等学校	中学校	小学校	特別支援	各種学級	子どもルーム	子ども会等	小計	保育園	幼稚園	幼児サークル	小計	身障者	老人介護	一般	小計	
千葉市									0				0			2	2	
葛南	市川市			2					2				0				0	
	船橋市			2					2				0			1	1	
	習志野市								0				0				0	
	八千代市								0				0				0	
	浦安市								0				0				0	
	東葛飾	松戸市								0				0				0
野田市									0				0				0	
柏市			2						2				0				0	
流山市									0				0				0	
我孫子市			2						2				0				0	
鎌ヶ谷市			1						1				0				0	
北総	銚子市								0				0				0	
	成田市			1					1				0			1	1	
	佐倉市			2					2				0			1	1	
	旭市			4					4				0				0	
	四街道市								0				0			1	1	
	八街市			2					2				0				0	
	印西市			2					2				0				0	
	白井市								0				0			1	1	
	富里市								0				0					0
	匝瑳市			2					2				0					0
	香取市			8					8				0			4	4	
	印旛郡			1					1				0			1	1	
	香取郡			1					1				0			1	1	
	東上総	茂原市			2					2				0				0
東金市									0				0				0	
勝浦市				1					1				0			1	1	
山武市									0				0				0	
いすみ市									0				0				0	
山武郡									0				0				0	
長生郡									0				0				0	
夷隅郡									0				0				0	
南房総	館山市								0				0				0	
	木更津市								0				0				0	
	市原市			1					1				0				0	
	鴨川市			1					1				0				0	
	君津市								0				0				0	
	富津市								0				0				0	
	袖ヶ浦市								0				0				0	
	南房総市								0				0				0	
安房郡								0				0				0		
県外				2					2				0			4	4	
合計	0	0	0	41	0	0	0	0	41	0	0	0	0	0	0	19	19	

大多喜城分館

地域	学生生徒団体								学齢前団体				一般団体					
	大学	高等学校	中学校	小学校	特別支援	各種学校	子どもルーム	子ども会等	小計	保育園	幼稚園	幼児サークル	小計	身障者	老人介護	一般	小計	
葛南	千葉市			1					1				0			24	24	
	市川市								0				0			2	2	
	船橋市						1		1				0			11	11	
	習志野市								0				0			1	1	
	八千代市								0				0			3	3	
	浦安市								0				0			2	2	
	松戸市								0				0			4	4	
東葛飾	野田市								0				0			2	2	
	柏市								0				0			2	2	
	流山市								0				0			1	1	
	我孫子市								0				0			1	1	
	鎌ヶ谷市								0				0			2	2	
	銚子市								0				0				0	
	成田市								0				0			1	1	
北総	佐倉市								0				0			1	1	
	旭市								0				0	1		1	2	
	四街道市								0				0				0	
	八街市								0				0				0	
	印西市								0				0			1	1	
	白井市								0				0			1	1	
	富里市								0				0				0	
	匝瑳市								0				0				0	
	香取市								0				0			2	2	
	栄町								0				0					0
	酒々井町								0				0					0
	神崎町								0				0					0
	多古町								0				0					0
	東庄町								0				0					0
東上総	茂原市			1	1			1	3				0		1	1	2	
	東金市	1							1				0				0	
	勝浦市				2				2				0			1	1	
	山武市								0				0				0	
	いすみ市			2	1				3				0	1	3	4		
	横芝光町								0				0		1	1		
	芝山町								0				0				0	
	九十九里町								0				0				0	
	大網白里町				2				2				0				0	
	白子町								0				0					0
	長柄町								0				0					0
	長南町				3				3				0			3	3	
	睦沢町			1					1				0					0
	一宮町								0				0					0
御宿町								0				0					0	
大多喜町		1		2		1	1	5	2			2					0	
長生村								0				0					0	
南房総	館山市								0				0			4	4	
	木更津市								0				0			2	2	
	市原市								0				0			6	6	
	鴨川市								0				0			1	1	
	君津市							2	2				0			6	6	
	富津市								0				0				0	
	袖ヶ浦市								0				0			1	1	
南房総市								0				0					0	
鋸南町								0				0					0	
県外	3		1					4				0				127	127	
合計	4	1	6	11	0	0	2	4	28	2	0	0	2	1	2	218	221	

県外内訳

地域	学生生徒団体								学齢前団体				一般団体				
	大学	高等学校	中学校	小学校	特別支援	各種学校	子どもルーム	子ども会等	小計	保育園	幼稚園	幼児サークル	小計	身障者	老人介護	一般	小計
関東	東京都	1							1				0			28	28
	茨城県								0				0			13	13
	栃木県								0				0			16	16
	埼玉県								0				0			36	36
	群馬県								0				0			12	12
	神奈川県								0				0			15	15
その他	福島県								0				0			1	1
	新潟県								0				0			1	1
	山梨県								0				0			1	1
	長野県	1							1				0			3	3
静岡県								0				0			1	1	
海外	アメリカ	1		1					2				0				0
合計	3	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	127	127

分館海の博物館

地域	学生団体									学齢前				一般			
	大学	高等学校	中学校	小学校	特別支援	各種学校	子どもルーム	子ども会等	小計	保育園	幼稚園	幼児サークル	小計	身障者	老人介護	一般	小計
千葉市				1	1			2	4				0	2		4	6
葛南	市川市								0		1		1				0
	船橋市		1						1				0	1		4	5
	習志野市								0				0				0
	八千代市								0		1		1				0
	浦安市								0				0				0
	松戸市								0				0				2
東葛飾	野田市								0				0				0
	柏市								0				0				0
	流山市								0				0			2	2
	我孫子市								0				0			1	1
	鎌ヶ谷市								0				0				0
	銚子市								0				0				0
北総	成田市								0				0				0
	佐倉市								0				0				0
	旭市								0				0				0
	四街道市								0				0				0
	八街市								0				0				0
	印西市								0				0				0
	白井市								0				0				0
	富里市								0				0				0
	匝瑳市								0				0			2	2
	香取市				1				1				0				0
	栄町								0				0				0
	酒々井町								0				0				0
	神崎町								0				0				0
	多古町								0				0				0
	東庄町								0				0			1	1
東上総	茂原市			1		1			2				0			2	2
	東金市								0				0				0
	勝浦市				8			1	9				0			1	1
	山武市								0				0				0
	いすみ市		1		7	1			9				0			1	1
	横芝光町								0				0				0
	芝山町								0				0				0
	九十九里町								0				0				0
	大網白里町				3				3				0				0
	白子町								0				0				0
	長柄町								0				0				0
	長南町				3				3				0				0
	睦沢町				2				2				0				0
	一宮町								0				0			1	1
	御宿町				1				1				0				0
大多喜町				1	1			2	1			1				0	
長生村								0				0				0	
南房総	館山市			1					1				0				0
	木更津市			1					1				0				0
	市原市								0				0			2	2
	鴨川市				1				1	2	3		3				0
	君津市								0				0	1			1
	富津市								0				0				0
	袖ヶ浦市			1					1	2			0				0
	南房総市								0				0				0
鋸南町								0				0				0	
不明								0				0				1	1
県外	2		4	22				1	29	1	1		2	7		29	36
合計	2	2	6	52	3	1	0	6	72	2	6	0	8	11	0	53	64

県外内訳

地域	学生団体									学齢前				一般			
	大学	高等学校	中学校	小学校	特別支援	各種学校	子どもルーム	子ども会等	小計	保育園	幼稚園	幼児サークル	小計	身障者	老人介護	一般	小計
東京都	2	0	4	22					28	1	1		2	6		11	17
関東	神奈川県							1	1				0	1		1	2
	茨城県								0				0			3	3
	群馬県								0				0			1	1
	埼玉県								0				0			12	12
その他								0				0				1	1
合計	2	0	4	22	0	0	0	1	29	1	1	0	2	7	0	29	36

■所在地

千葉県立中央博物館（本館・生態園）
〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2
TEL 043-265-3111 FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大多喜城分館
〒298-0216 夷隅郡大多喜町大多喜 481
TEL 0470-82-3007 FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館大利根分館
〒287-0816 香取市佐原ハ 4500
TEL 0478-56-0101 FAX 0478-56-1456

千葉県立中央博物館分館海の博物館
〒299-5242 勝浦市吉尾 123
TEL 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

■開館日・休館日

◇開館期間

平成 22 年 4 月 1 日（木）～平成 23 年 3 月 31 日（木）

◇休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌平日に休館）

年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

大利根分館 10 月～3 月定期休館。事前予約された学校等団体のみ観覧受付

◇開館時間

午前 9 時～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

※ 東日本大震災の計画停電による短縮開館の実施

実施期間：3 月 19 日（土）～4 月 24 日（日）（土日祝・春休み期間（3 月 25 日～4 月 4 日）は通常開館）

開館時間：正午～午後 4 時 30 分（実施日：3 月 23 日（水）・24 日（木）。※4 月からは午前 10 時開館）

◇臨時開館日・臨時休館日

	臨時開館日	臨時休館日
本館・生態園	7 月 20 日、25 日、 8 月 2 日、9 日、16 日、23 日、30 日 (生態園は休園)	5 月 6 日
大利根分館	5 月 31 日、6 月 7 日、14 日、21 日、28 日 (企画展開催中の月曜日)	
大多喜城分館	1 月 2 日～3 日	7 月 21 日～22 日、10 月 26 日～27 日 12 月 7 日～8 日（展示替え）
分館海の博物館	5 月 6 日 8 月 2 日、9 日、16 日、23 日、30 日 1 月 2 日～4 日	5 月 11 日、9 月 28 日、10 月 19 日～22 日 12 月 14 日～15 日、1 月 12 日～13 日 (展示替え、メンテナンス、収蔵庫燻蒸)

※東日本大震災による臨時休館 3 月 12 日(施設点検のため)、3 月 14 日～18 日（東京電力の輪番停電により）

■入場料

◇本館

	通常期間		企画展期間	
	個人	団体	個人	団体
一般	300	240	500	400
高校・大学生	150	120	250	200

◇分館

	通常期間		企画展期間	
	個人	団体	個人	団体
一般	200	160	300	240
高校・大学生	100	80	150	120

※ 20 人以上は団体料金を適用

※ 小中学生以下、65 歳以上は無料

※ 身体障害者および介護者は無料

◇生態園 無料

◇年間パスポート料金

	本館		分館	
	購入価格	企画展追徴	購入価格	企画展追徴
一般	1,500	200	1,000	100
高校・大学生	750	100	500	50

千葉県立中央博物館年報 23 平成 22 年度

編集・発行 千葉県立中央博物館

発行日 2013 年 3 月 31 日

〒260-8682 千葉市中央区青葉 955-2

TEL 043-265-3111 FAX 043-266-2481

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>